



又 3
4666



序

紋字彙曰織紋也凡綿綺繡繡
 之文皆曰紋唐人多物之曰言
 てかたは事と紋とを本朝衣服
 備品皆家の紋ありて是は正統
 衣服に製して定式の礼に
 大令行略中の目録是とて
 以て是に修補と号するは
 甚妙なる事以て是を
 遠く由是修補と号して
 秘書と類するを得る極本の

鳥飼辭雅子書



門 又三
 號 4666
 卷

惣目録

當流紋畫

此のいろははよの目録と
 して見やう

おらんた紋畫

六十六より
 七十四まで

源氏香の圖

七十五より
 七十八まで

割紋割様

七十九より
 百十八まで

二ツ割より十ツ割と
 桐。ふぢ。ひ。幡らぎ
 。ち。あ。ふ。き
 を外別は秀く
 目録八次のいろはは



いろははけ目録

のいろ

井筒のいろ 三十一。割飛 百八十

井げた 三十一。割飛 百八十

いづまのいろ 甲

いらぬいろ 甲

いづのいろ 甲

いづみのいろ 甲

はらりいろ 全

花菱のいろ 六十一。割飛 百八十

花根のいろ 七十一

おの まじき

せうづるのた

お角割

可いびのら

痛遠のら 世。刺

痛のら 世

割破のら 世

割破志 今より百十

か 世。拍

かめのら 世

かぶのら 世。おと

か 世。六

唐花のら 世。唐花

さのら 世。拍

か 世

か 世

か 世

か 世。刺

か 世

か 世

か 世。拍

か 世

か 世

よ 世

よこづち 飛今
 四割のり 全
 たち花のり 世。別飛百六
 海のり 世
 室のり 世
 たまのり 世
 作のり 世
 立葵割のり 全
 つるのり 世。幸八
 つみのり 世
 つたのり 世
 角のり 世

樞のり 世
 かじこのり 全
 棠のり 世。幸八
 なみのり 平。別飛百六
 南てんのり 平
 かしのり 柏のり
 七割のり 全
 棠のり 世
 橋のり 世
 六角割のり 百六
 ひし合後割のり 全
 六割のり 全

う

うろこのろい 甲六。別形見。甲八

ら

らちハのろい 甲二。羽うちハキ丁。度ちハ十三

ろ

ろまのろい 甲

る

るんじん ぶんのろい

く

くきぬまのろい 甲三。本々

九

九よりのろい 甲三

此

此のろい 甲。本九

く

くつこのろい 甲

車

車のろい 本九

や

○モト外下車ハ丁目の知人ハ車ハ人
との知人ハ車ハ人の知人ハ車ハ人

矢

矢のろい 甲五

ハ

ハ割りのろい 本三

ま

ま松のろい 甲六

松

松のろい 甲六。別形百十

ま

まんのろい 甲七。まん下まが
別形百十六

井

井のろい 甲七

ま

まりのろい 甲八。ゆんま
甲六

ほ

ほさりのろい 甲

ほ

ほりのろい 甲九。ま

丸

丸のろい 甲

ま

まのろい 甲。ま

ま

まんのろい 甲

二

二割りのろい 甲

二

二割法 甲

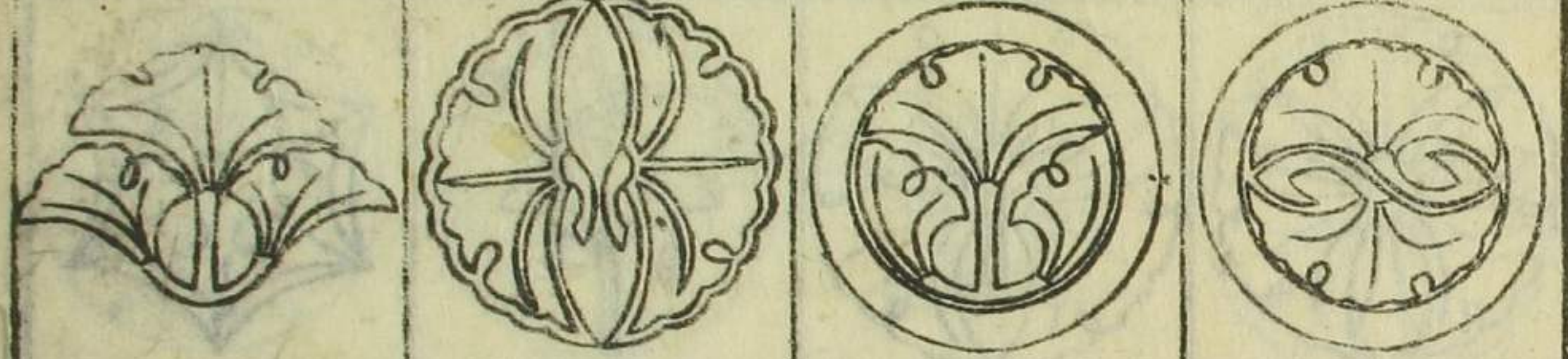
ハ

ハ割りのろい 甲

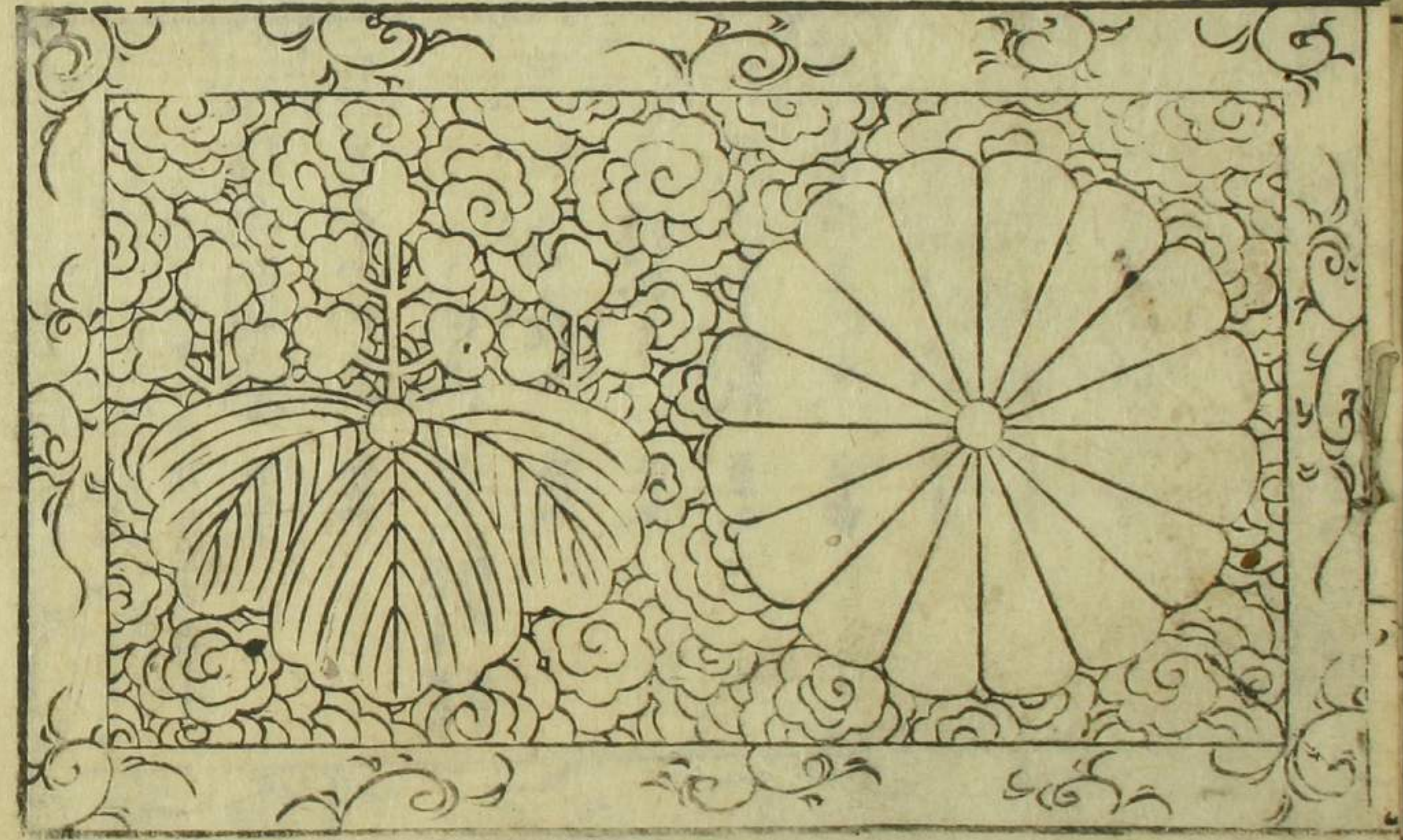
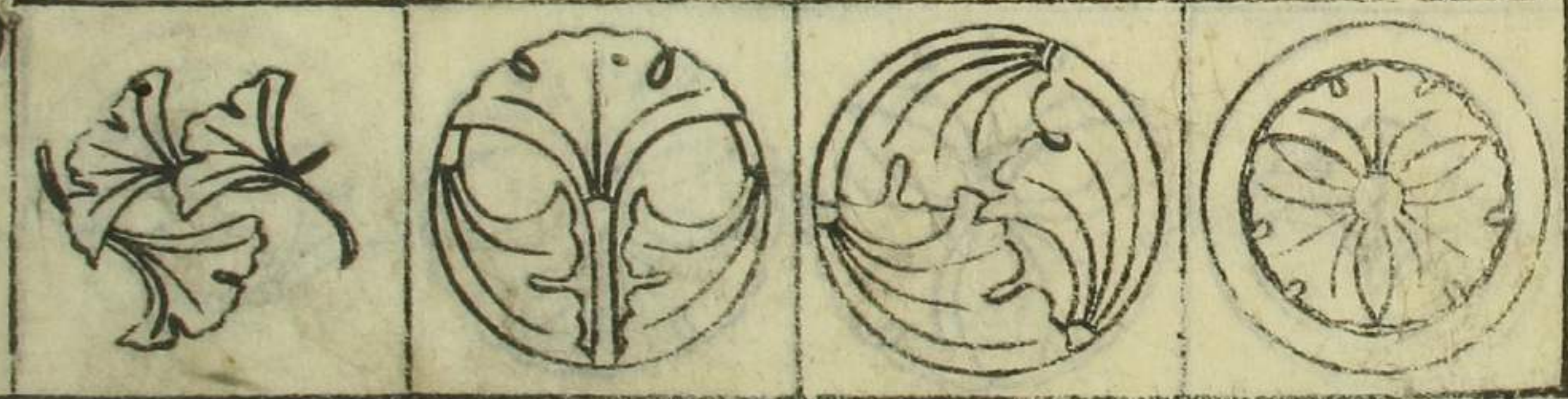
こ	こころのろい	五十一
あ	あまのろい	五十二
あ	あまのろい	五十三
あ	あまのろい	五十四
あ	あまのろい	五十五
あ	あまのろい	五十六
あ	あまのろい	五十七
あ	あまのろい	五十八
あ	あまのろい	五十九
あ	あまのろい	六十
あ	あまのろい	六十一
あ	あまのろい	六十二
あ	あまのろい	六十三
あ	あまのろい	六十四
あ	あまのろい	六十五
あ	あまのろい	六十六
あ	あまのろい	六十七
あ	あまのろい	六十八
あ	あまのろい	六十九
あ	あまのろい	七十

さ	ささのろい	五十一
さ	ささのろい	五十二
さ	ささのろい	五十三
さ	ささのろい	五十四
さ	ささのろい	五十五
さ	ささのろい	五十六
さ	ささのろい	五十七
さ	ささのろい	五十八
さ	ささのろい	五十九
さ	ささのろい	六十
さ	ささのろい	六十一
さ	ささのろい	六十二
さ	ささのろい	六十三
さ	ささのろい	六十四
さ	ささのろい	六十五
さ	ささのろい	六十六
さ	ささのろい	六十七
さ	ささのろい	六十八
さ	ささのろい	六十九
さ	ささのろい	七十

3てい表之 3ていひつむ 3てい表三丸 3てい村中



3ていむらと 3てい三翫 3てい三三三 3てい三丸



うていんせふ うてい割写 うていひがち うてい写



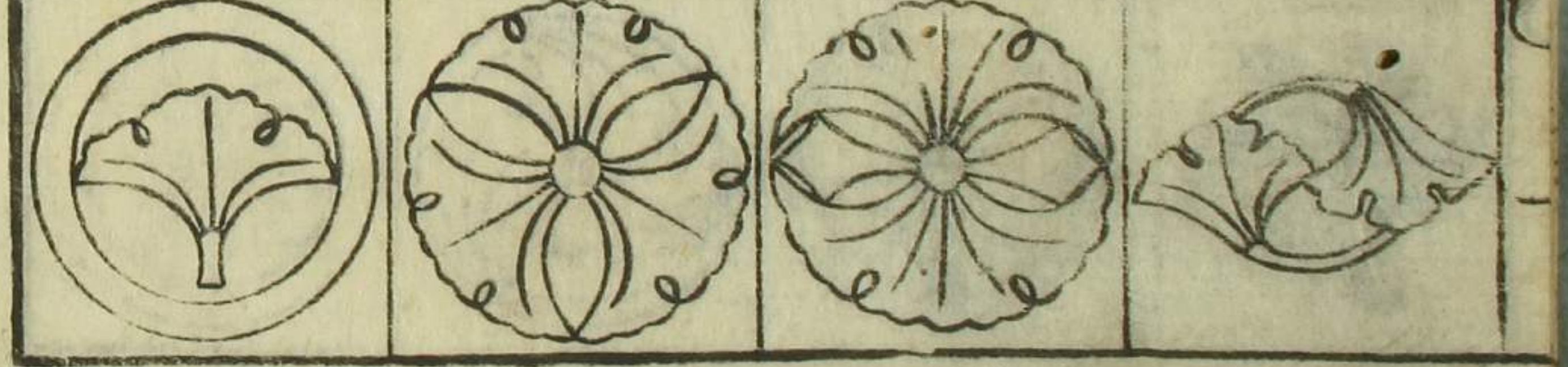
うてい割写丸 うてい三丸 うていギ三 うていしひ



うてい三細丸 うてい三丸 うていギ三 うていひがち



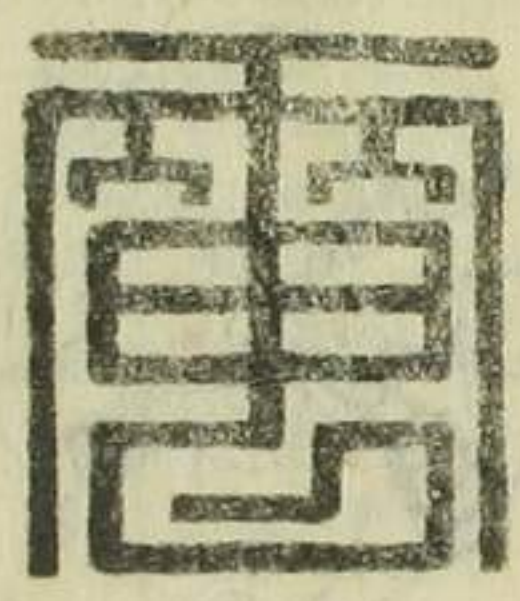
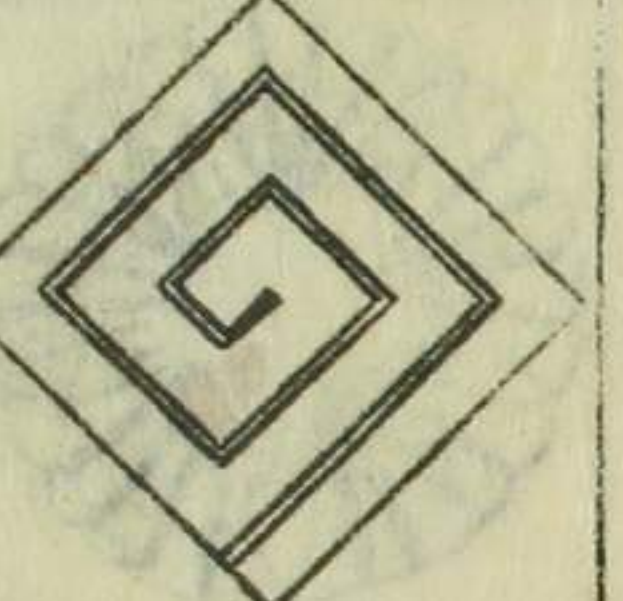
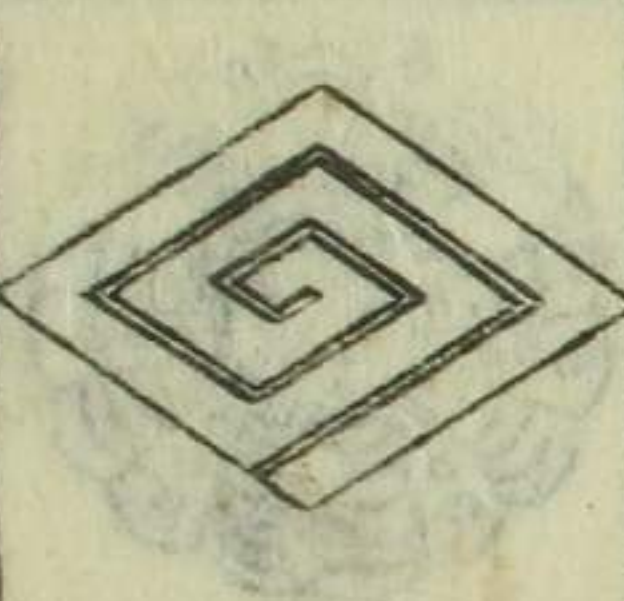
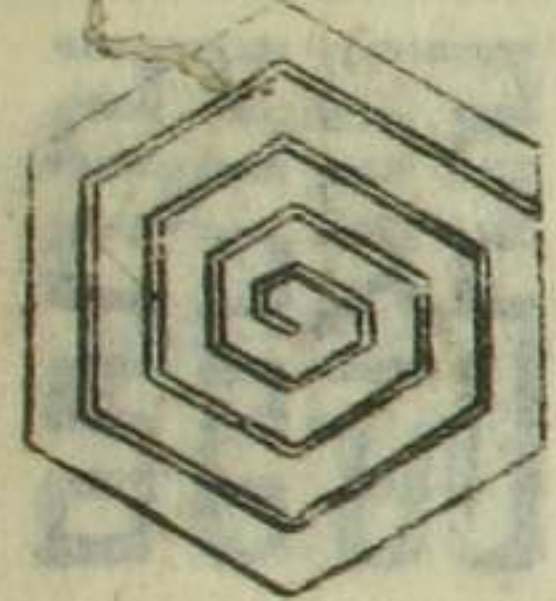
うてい三丸 うてい三丸 うていんせふ うていひがち



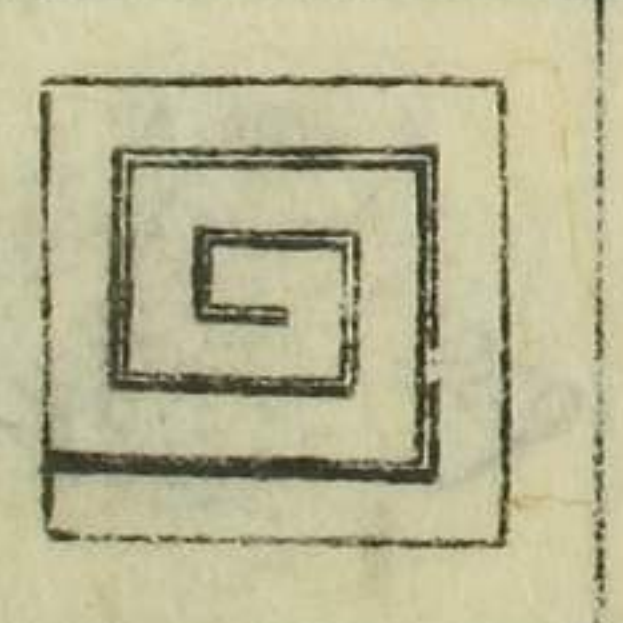
つめのつ	能井 鼓敵	ほづい	井々
とげい	づい 甲子	づ 井 平	井 篆

うてい 東城	杏 銀	うてい いく	うてい 甲子
うてい 東城	字 篆	うてい 解	うてい 甲子

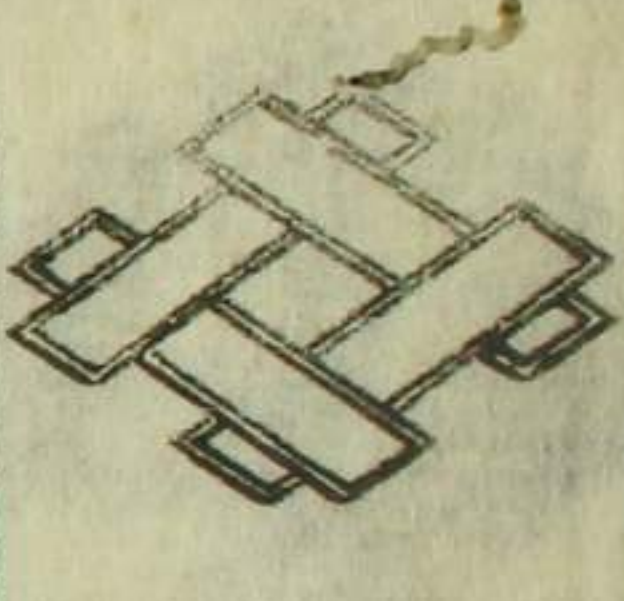
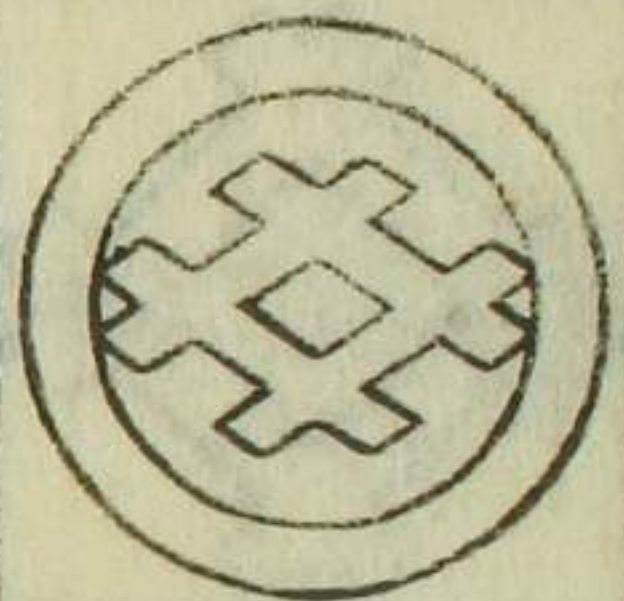
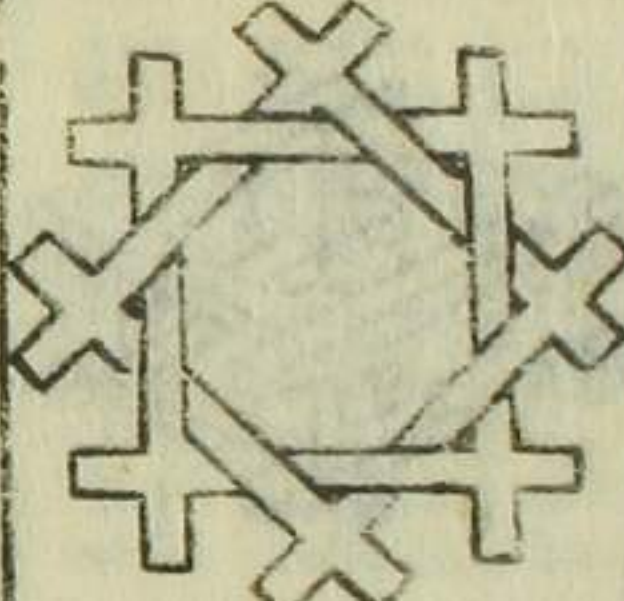
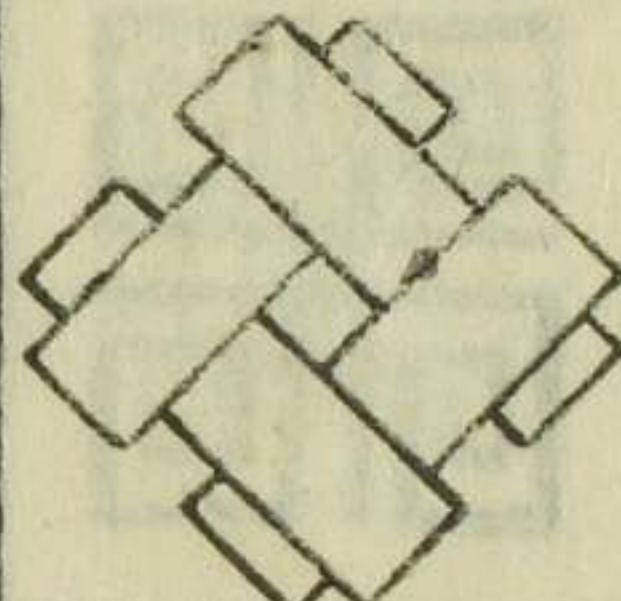
まつまの甲 こ まつまの美 こ まつまの美 こ 雷



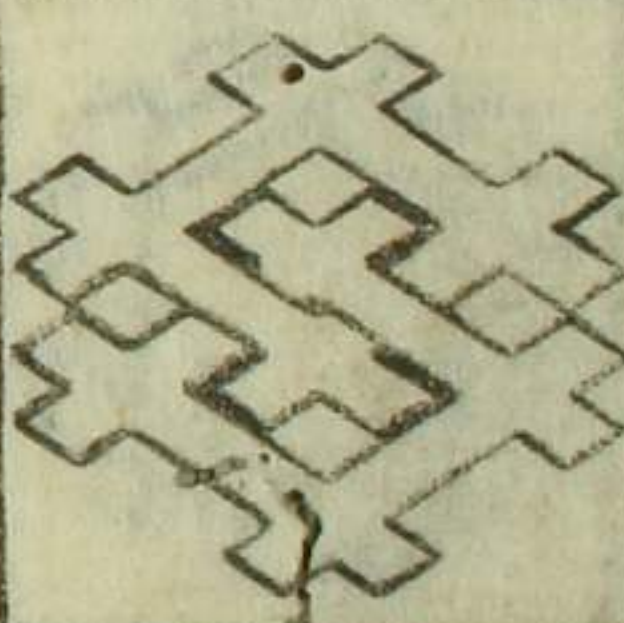
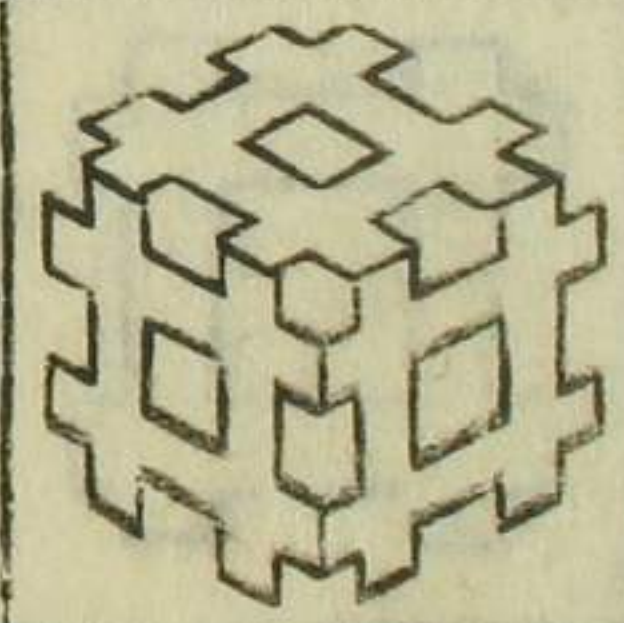
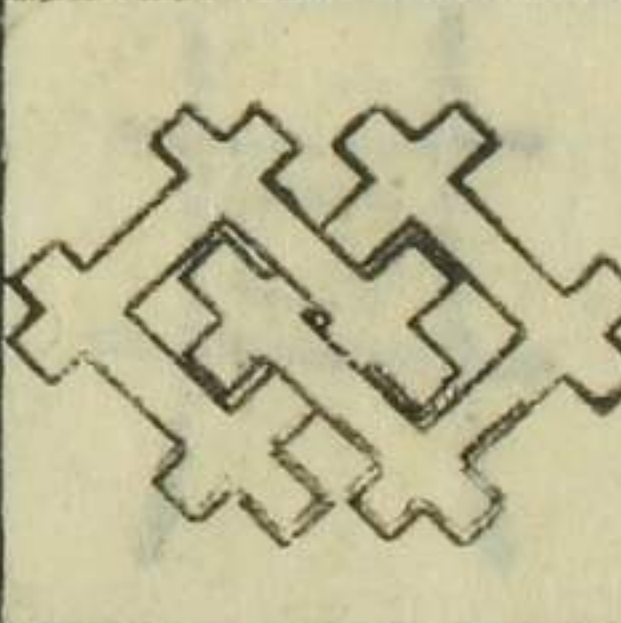
まつまのし こ まつまの写 こ まつまの平 こ 字篆



ア井 こ ア井 こ とげいの丸 こ とげいの子 こ



でのぶち こ とげいの三 こ とげいの輪 こ での鼓 こ

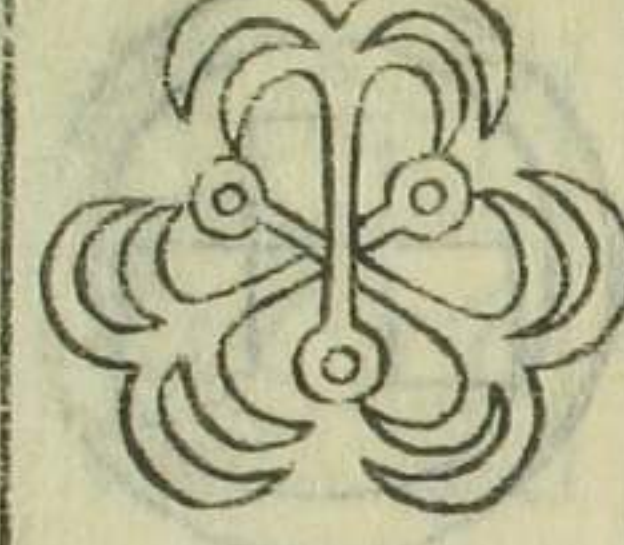


アウいのま

アウいんせ大

アウいとを彫

旋ルビ



アウい丸

アウい子つ

アウい写

字篆

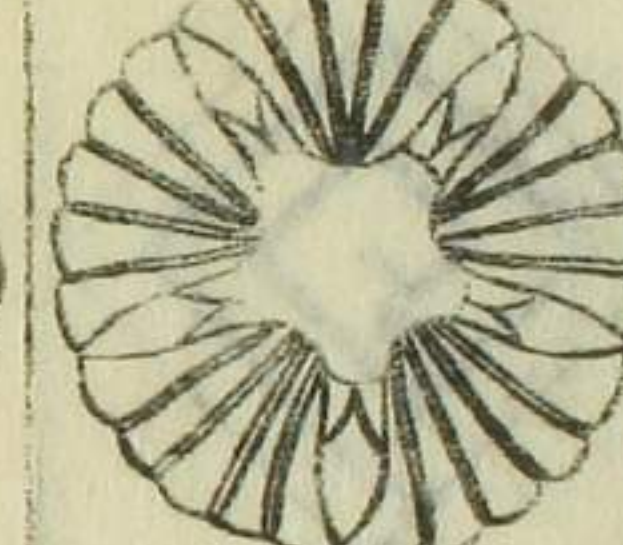
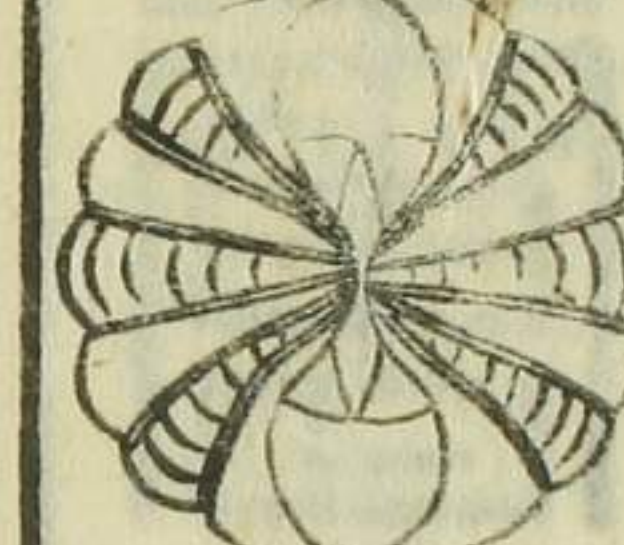


貝らといひ向カ

貝らといひ

貝らといひ

蛤カ文カ

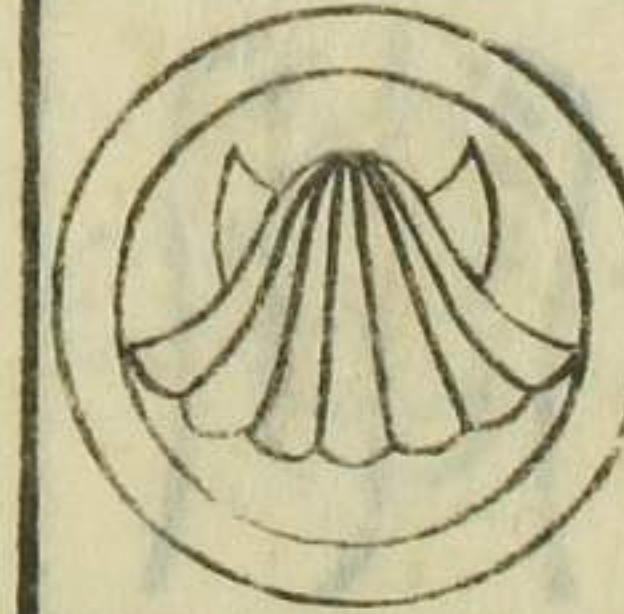


貝らといひ丸

貝らといひ


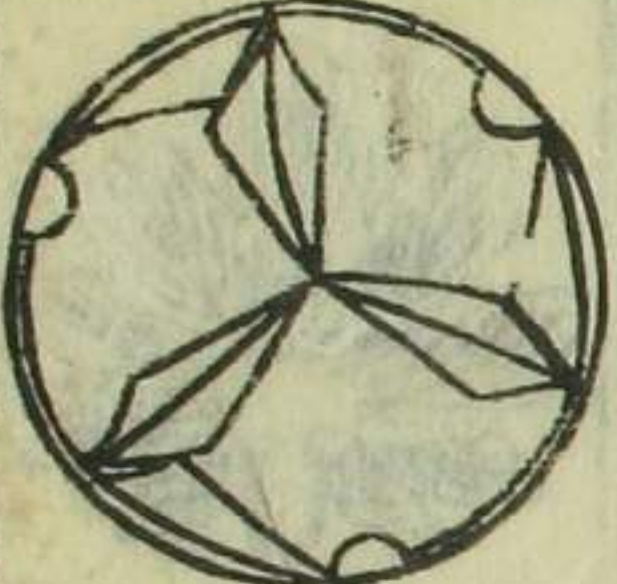
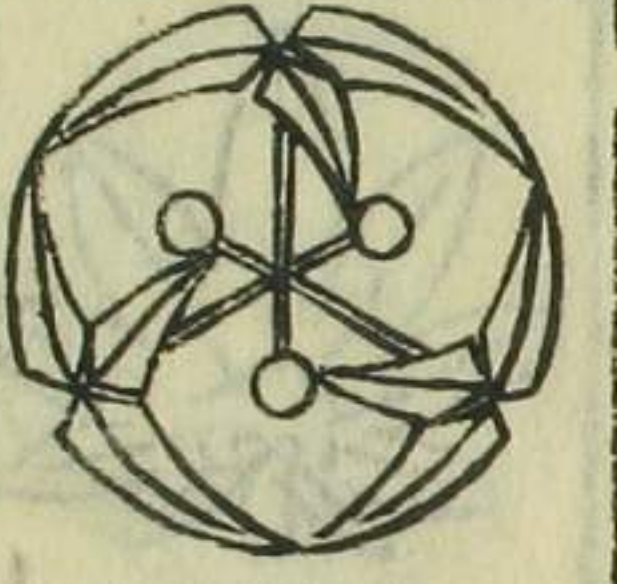





貝らといひ写

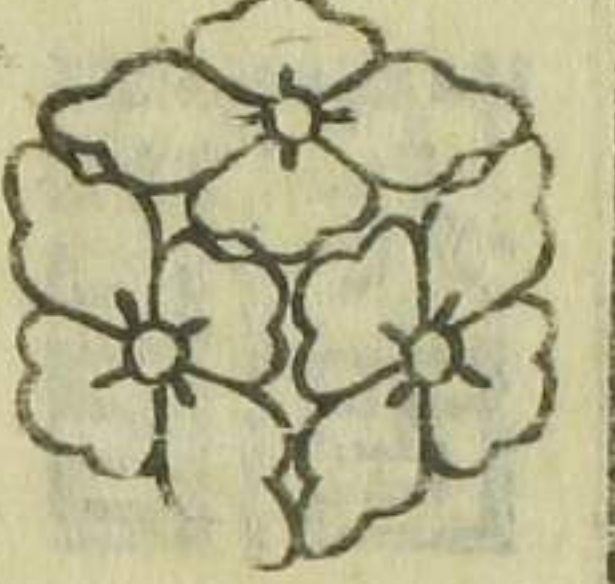
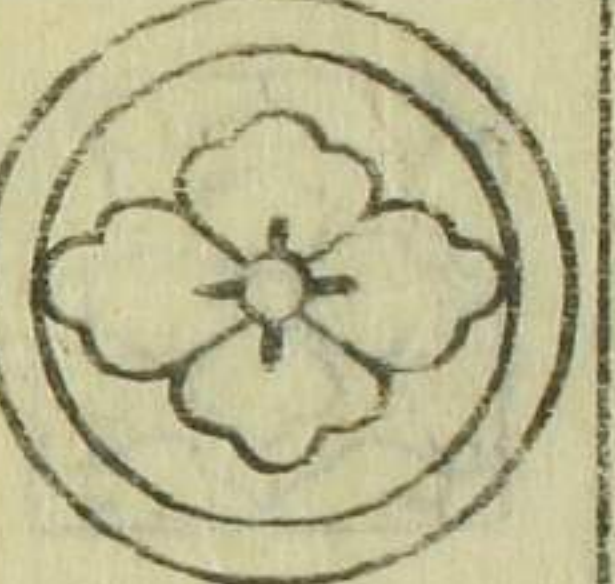
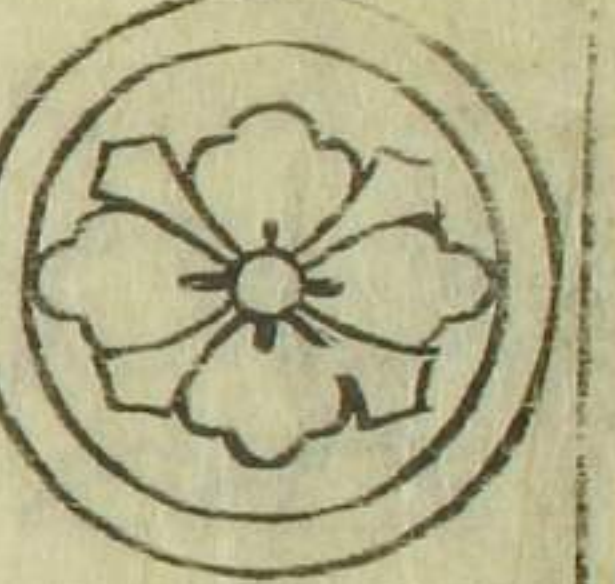


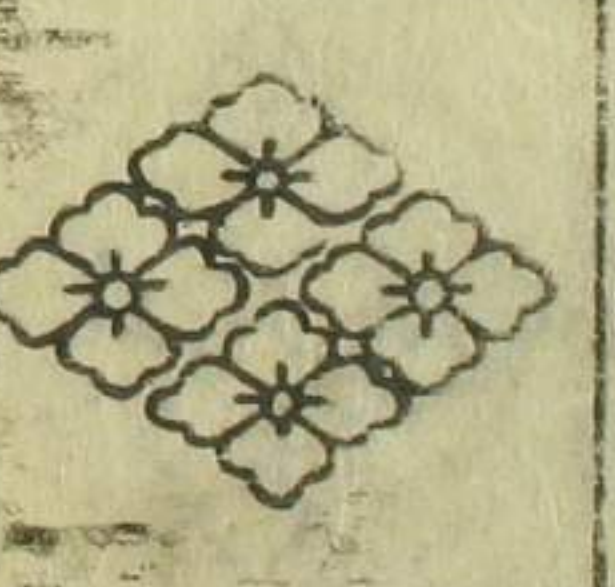
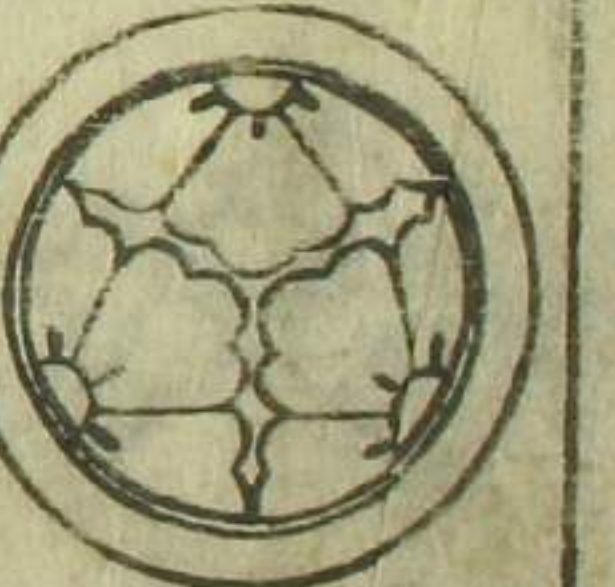
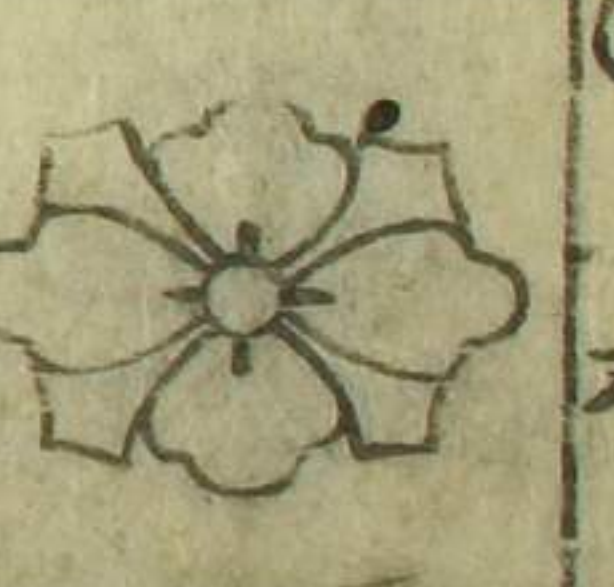
字篆



しひ表る	しひかんせふ	しひあんせふ	菱花字
			菱花字
しひれて	しひかゝる	しひか写	字兼
			字兼

菱字	菱字	菱字	菱字
			菱字
菱字	菱字	菱字	菱字
			菱字

ねはち丸	ねとて三	ねと三	羽
			
ねは写丸	白は丸	ねハ四	字篆
			

しん表三	しんち丸	しんち丸	しんち丸
			
しんち丸	しんち丸	しんち丸	しんち丸
			

とせし松 とせし松 とせし松 蕪



蕪

とせし松 とせし松 とせし松 字篆



蕪

ハロフこのそ ハロフちえも ハロフハロフ 蕪



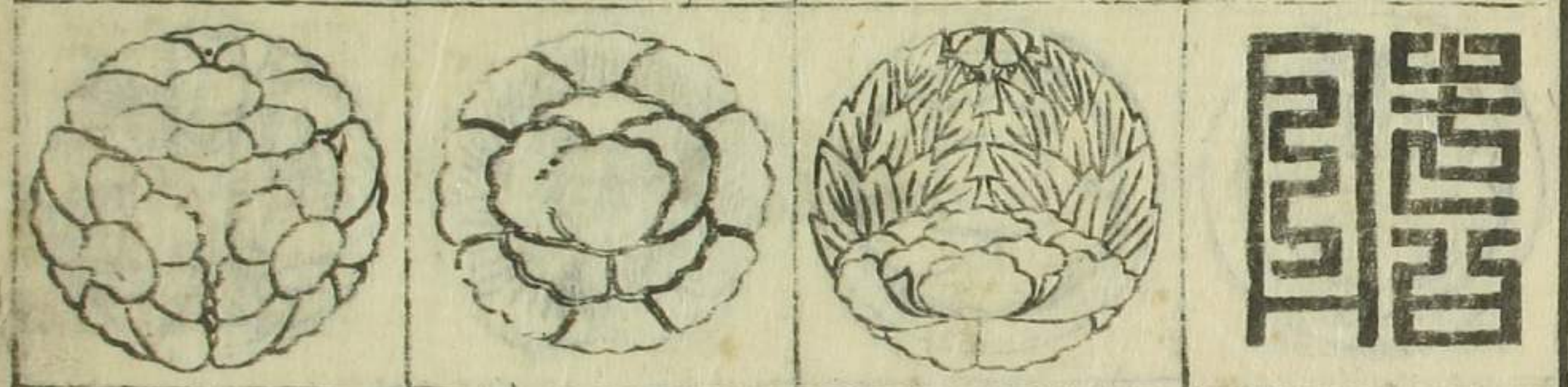
蕪

ハロフこのそ ハロフ蕪 ハロフ蕪 字篆



蕪

三不之 三不之 三不之 丹克狂



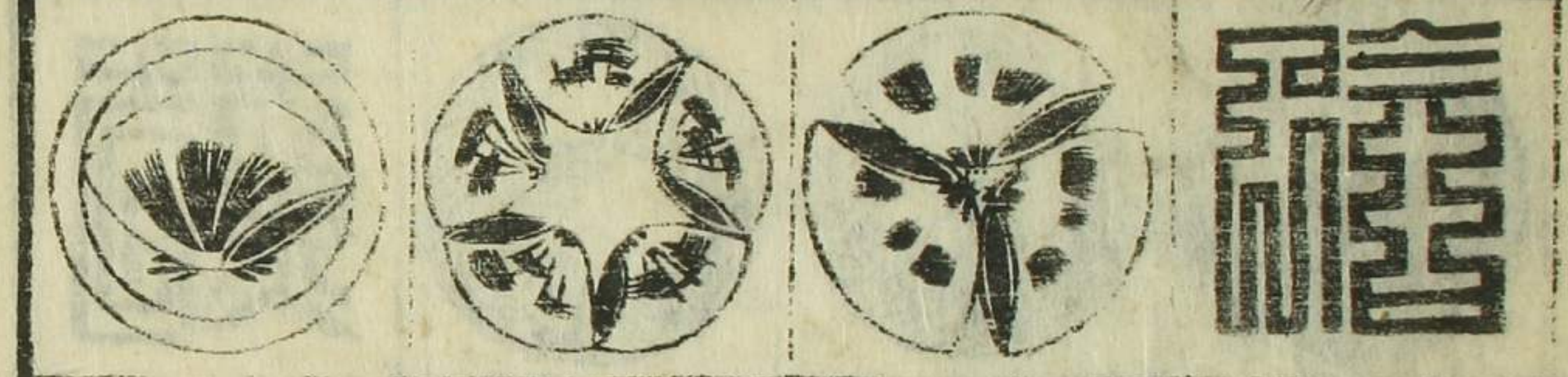
𠄎𠄎

三不之 三不之 三不之 字篆



𠄎𠄎

三不之 三不之 三不之 始



𠄎𠄎

三不之 三不之 三不之 字篆



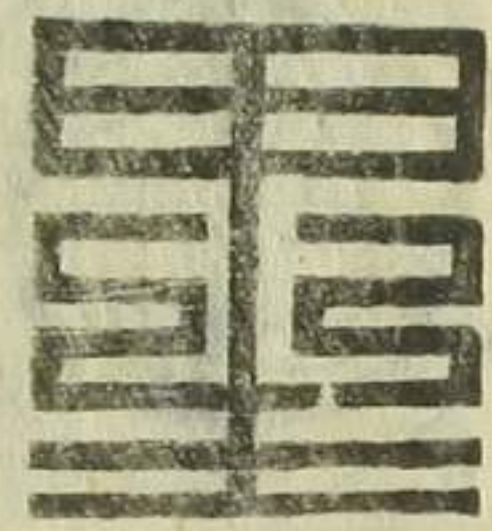
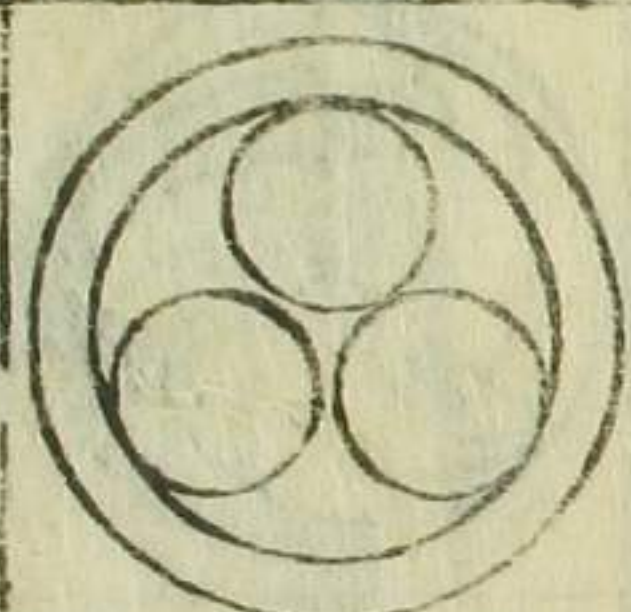
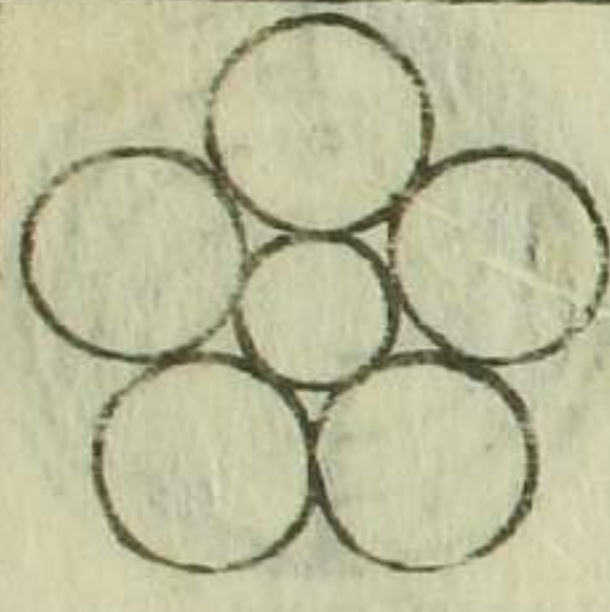
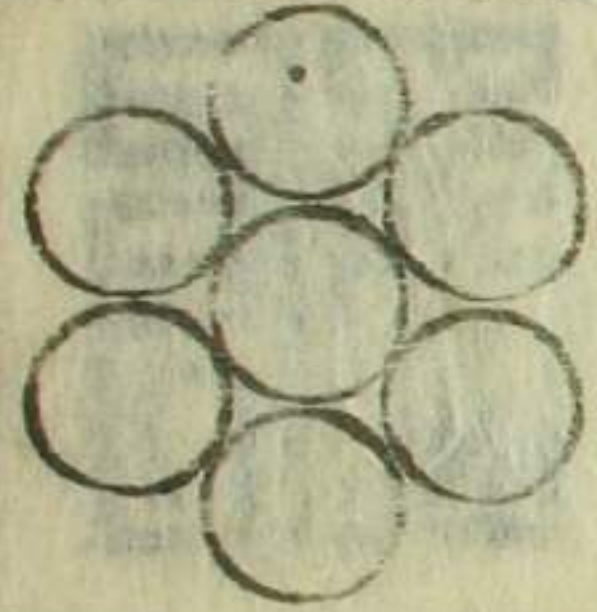
𠄎𠄎

し不七

し不六

し不三九

皇

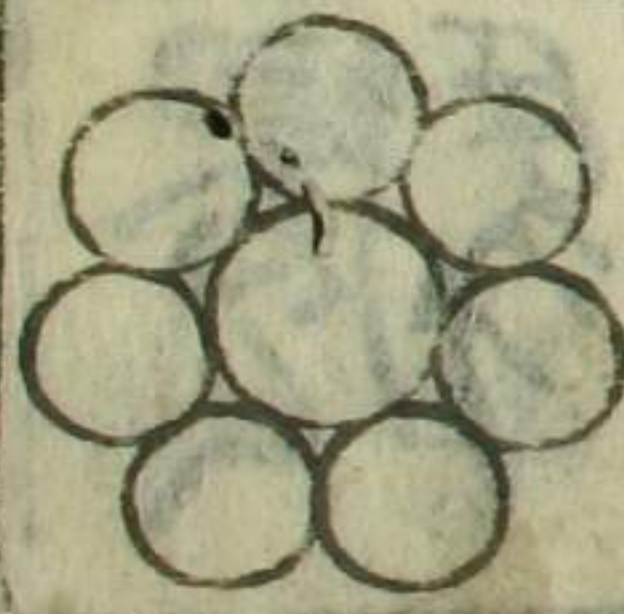


し不八

し不九

し不四九

字篆

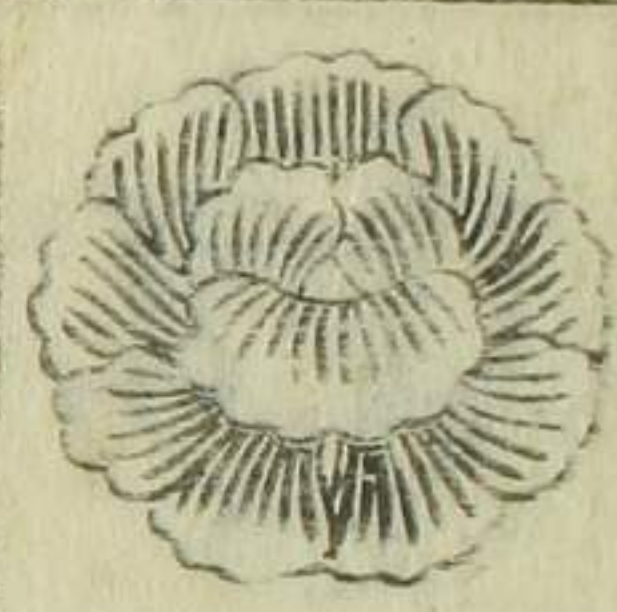


君の象一丸

んた不丸

んと不

丸のん不

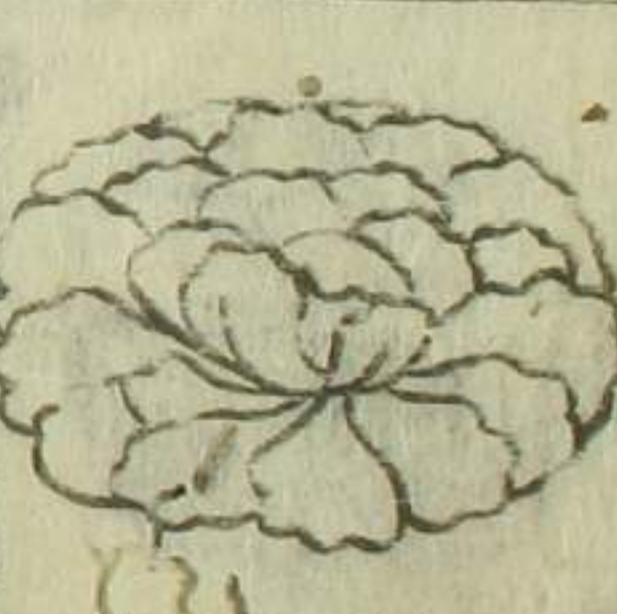


んと不

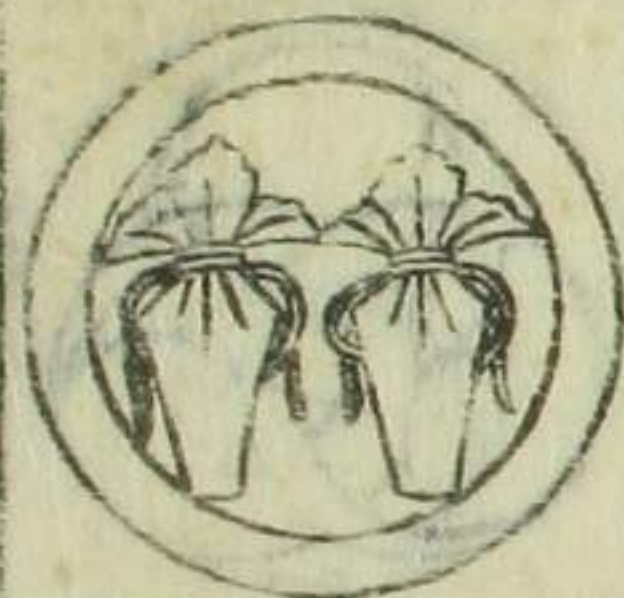
んと不

え不と子い

ん不きう



しへちるに しへちる丸 しへちる丸 子 瓶



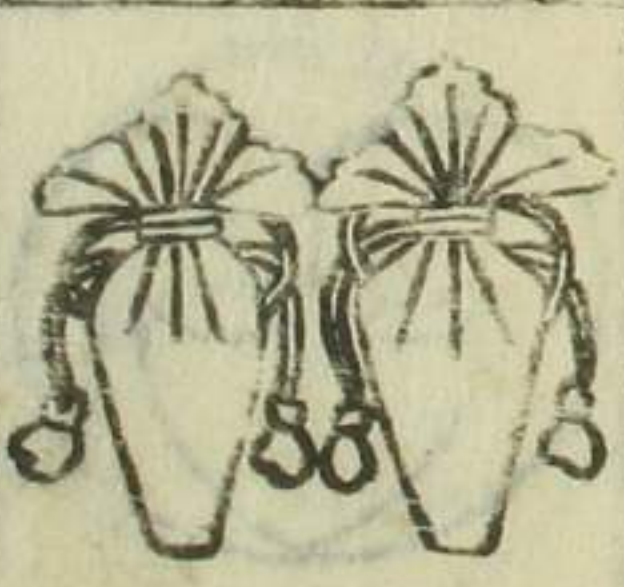
瓶

しへちる

しへちる

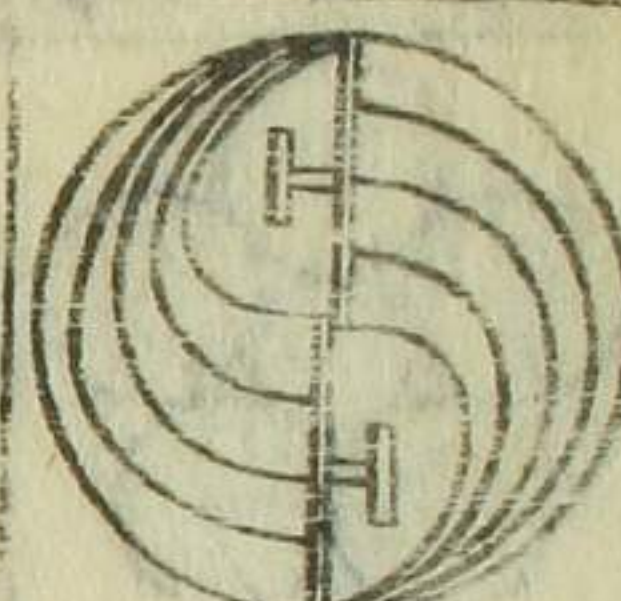
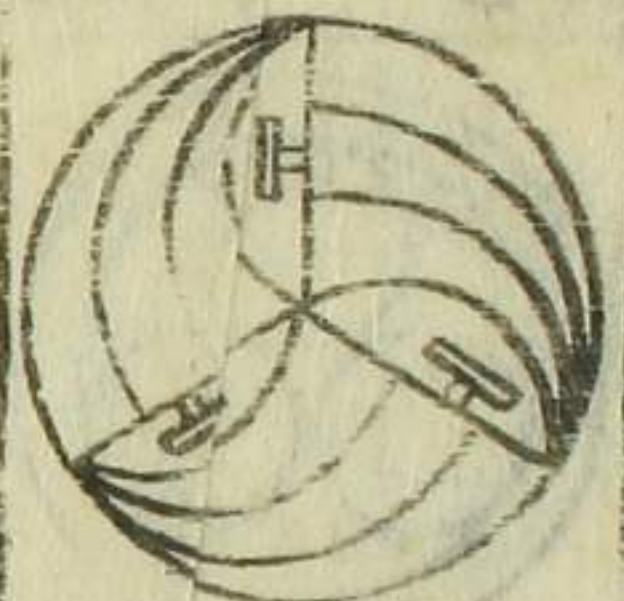
しへちる

字 篆



瓶

帆 号 丸 帆 号 三 不 么 五 帆 不



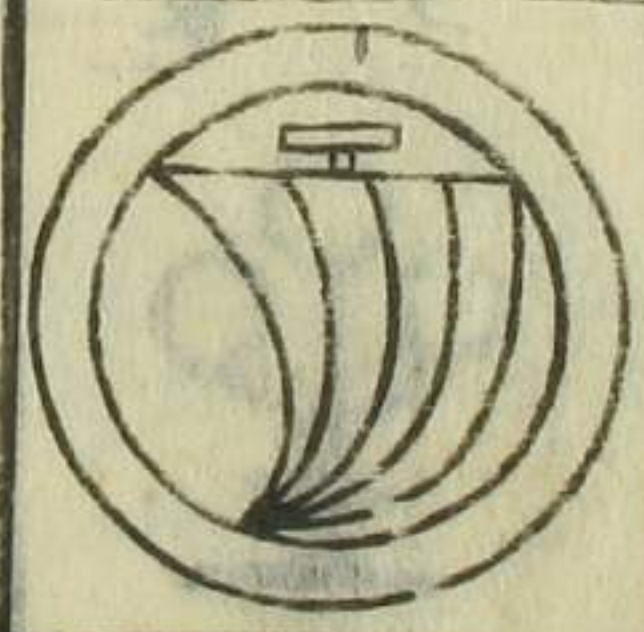
帆

帆 丸

不 么 五

帆 不

字 篆



帆

巴三六九	又二五七	巴一四六	又八〇二
又〇二五	又七六九	又三〇七	又四一六

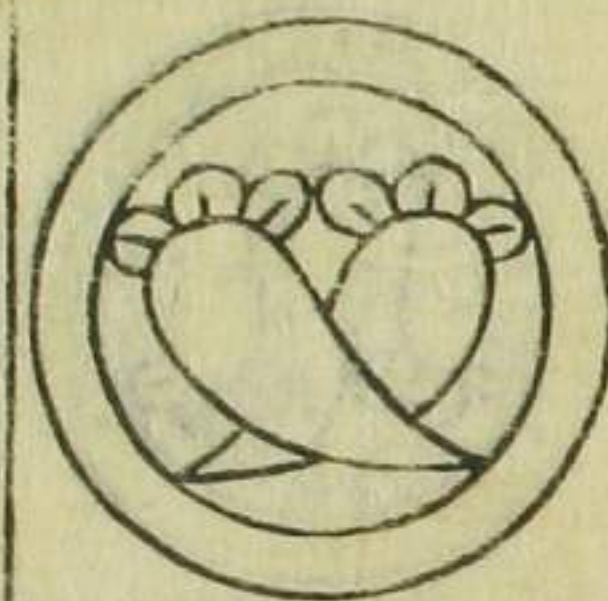
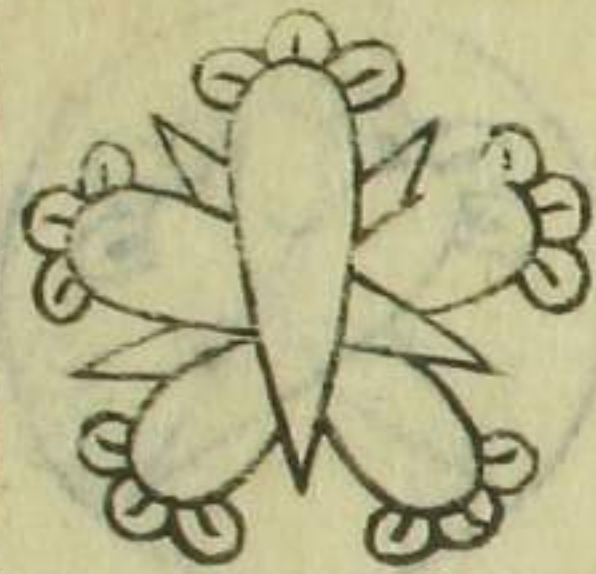
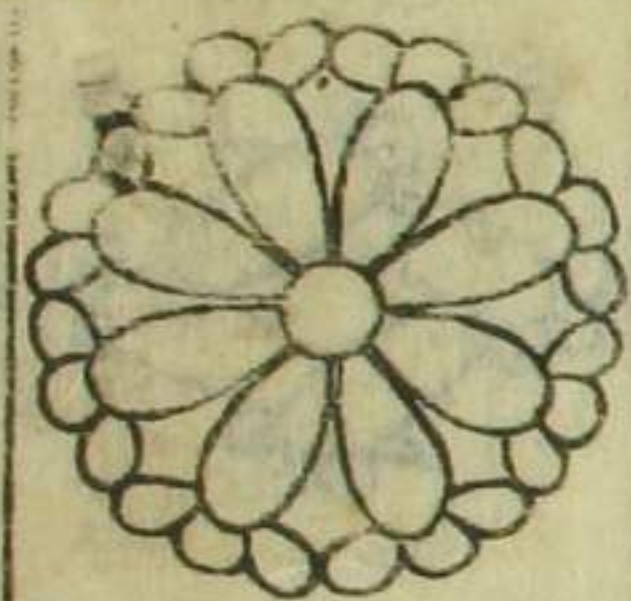
又〇二五	又七六九	又三〇七	又四一六
又〇二五	又七六九	又三〇七	又四一六

丸子丁今

子丁み

子丁久ち丸

子丁

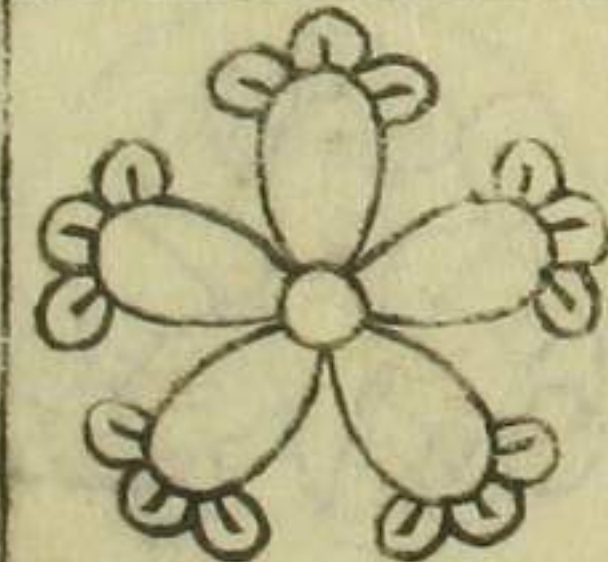
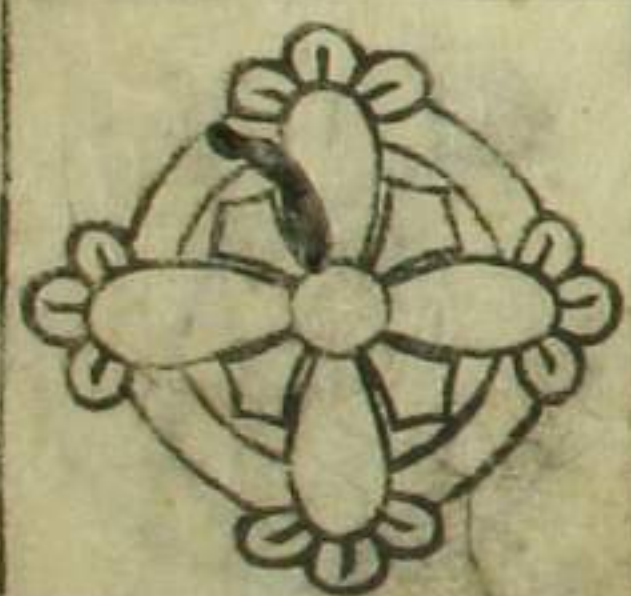


子丁

子丁

丸子丁

字篆



ハチノ老

ハチノ老

ハチノ老

唐

之



ハチノ老

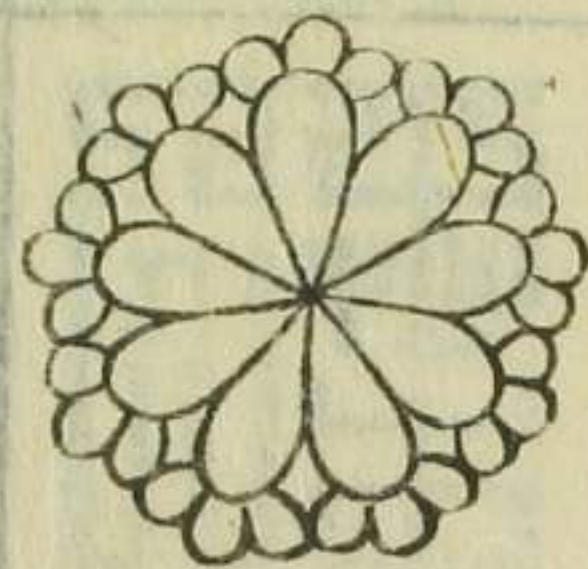
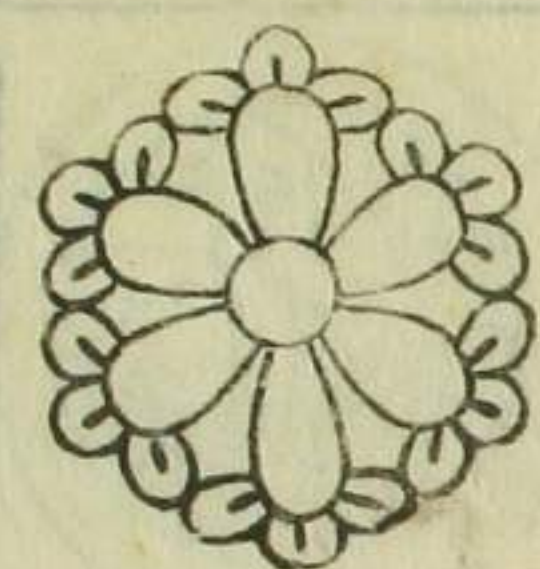
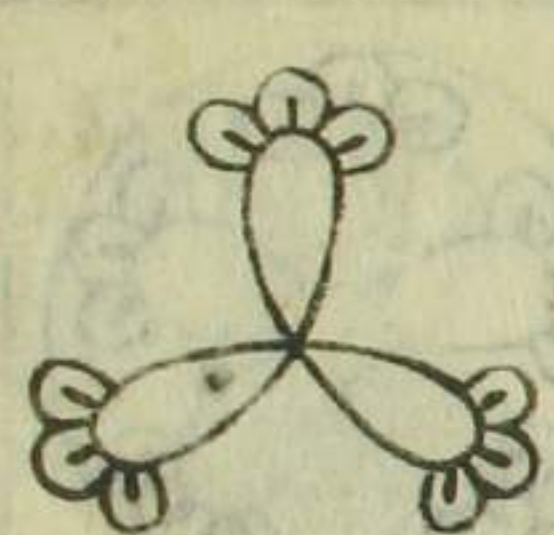
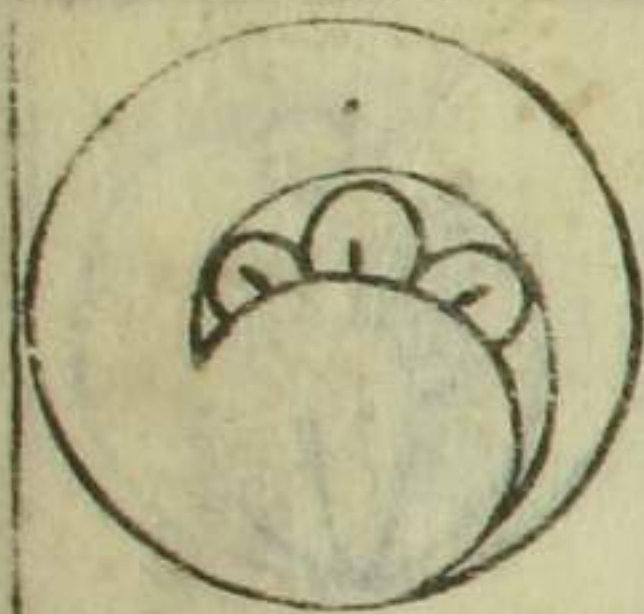
ハチノ老

ハチノ老

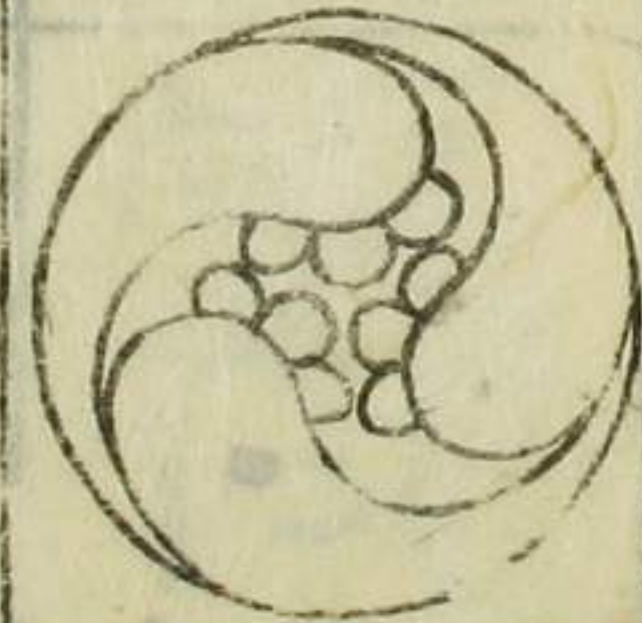
字篆



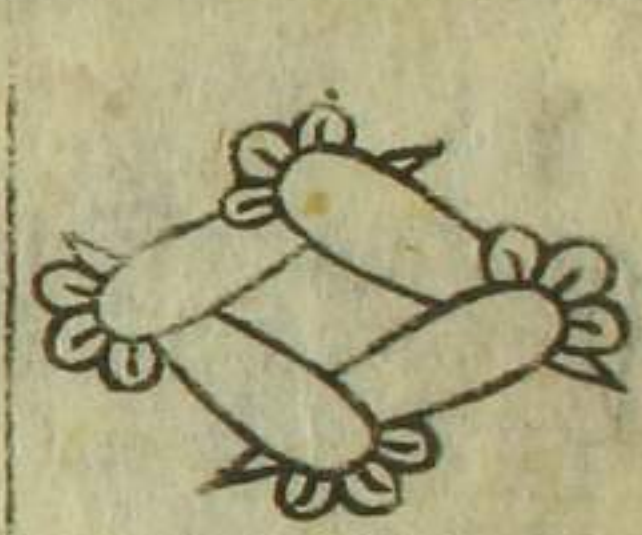
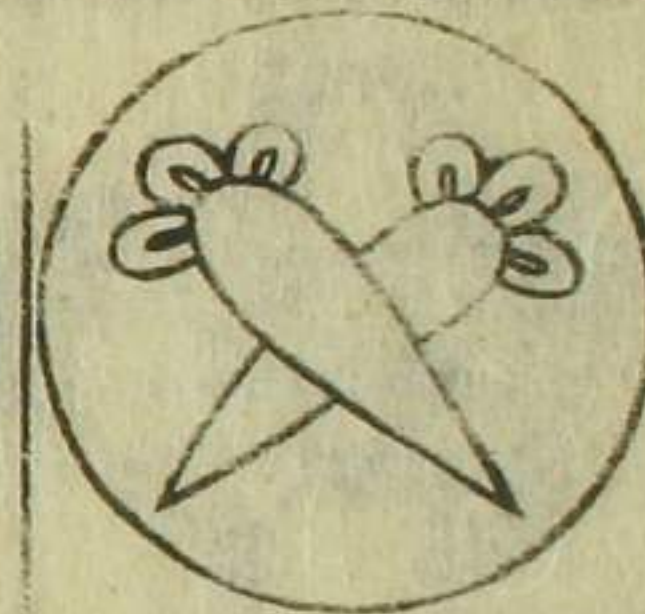
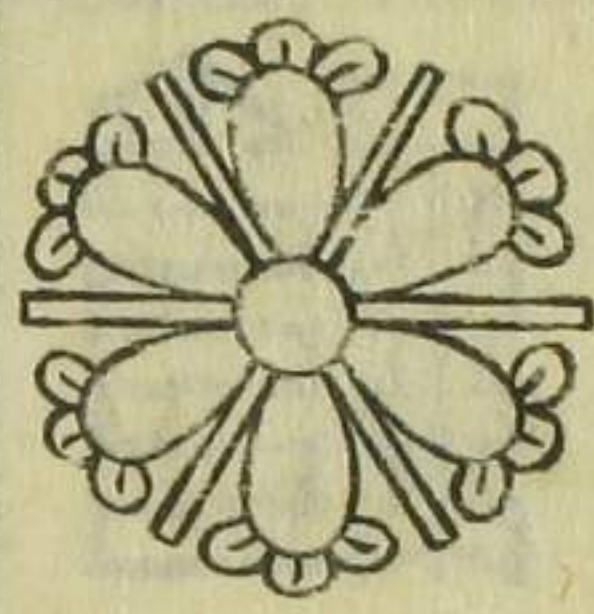
えと子丁右 巴子丁三 車子丁六 車子丁九



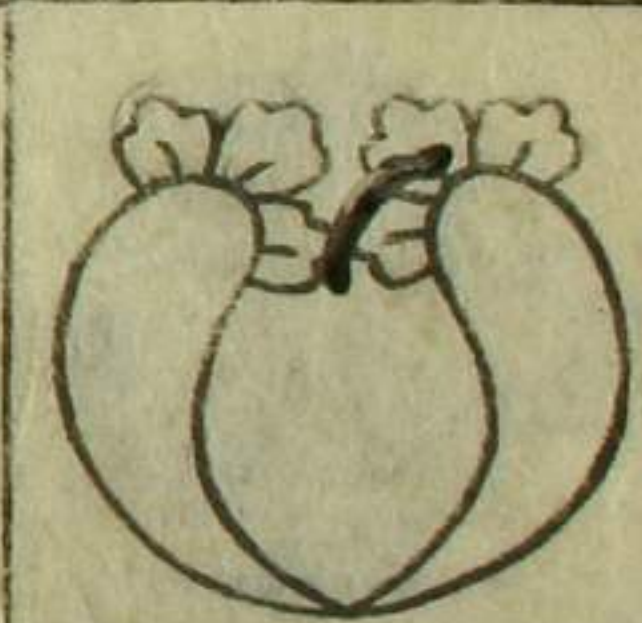
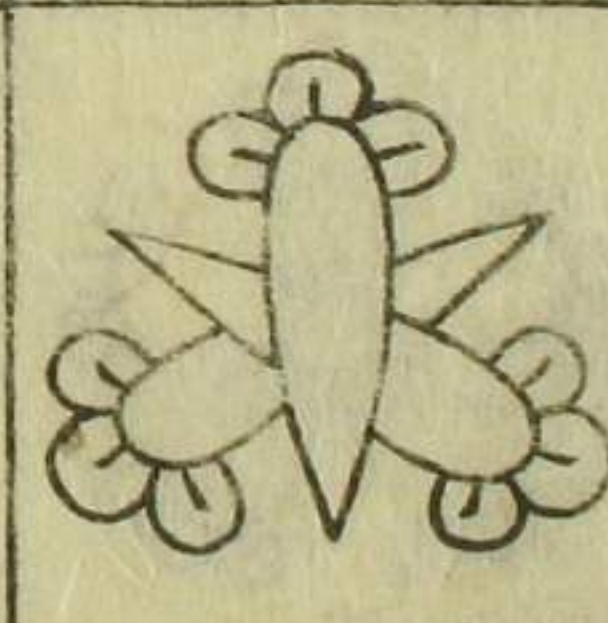
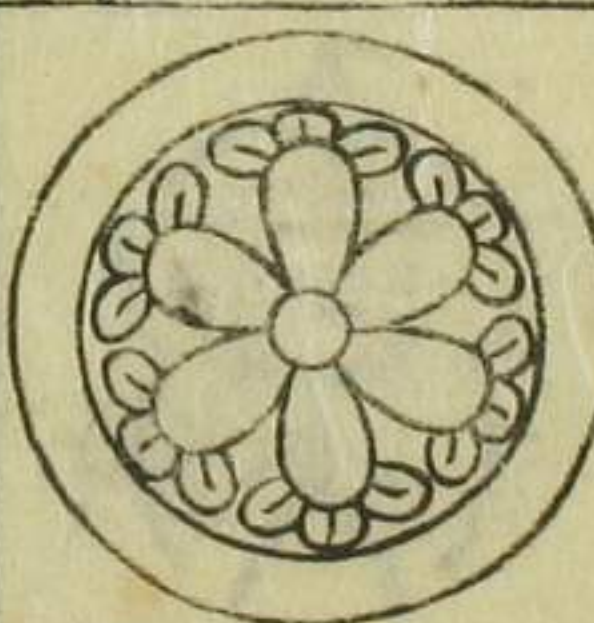
巴子丁三六 巴子丁九 子丁ラ九 えと子丁三六



車子丁六 子丁遊三九 子丁ちも石 子丁マ井



軒子丁六九 子丁ぐち三 子丁のま九 子丁抱

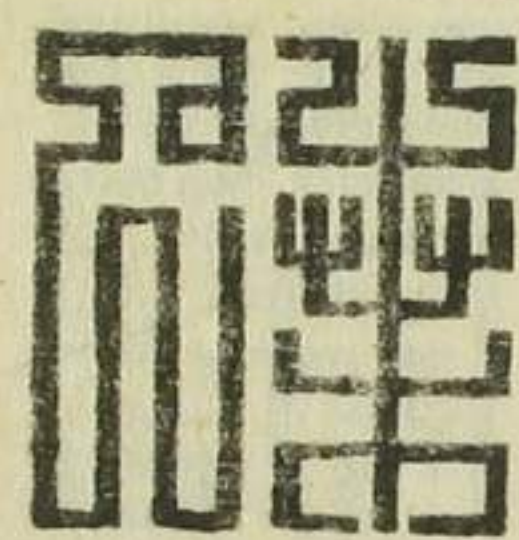


うてんせふ

うて甲

うておと丸

蝶字



うておと丸

蝶んせふ

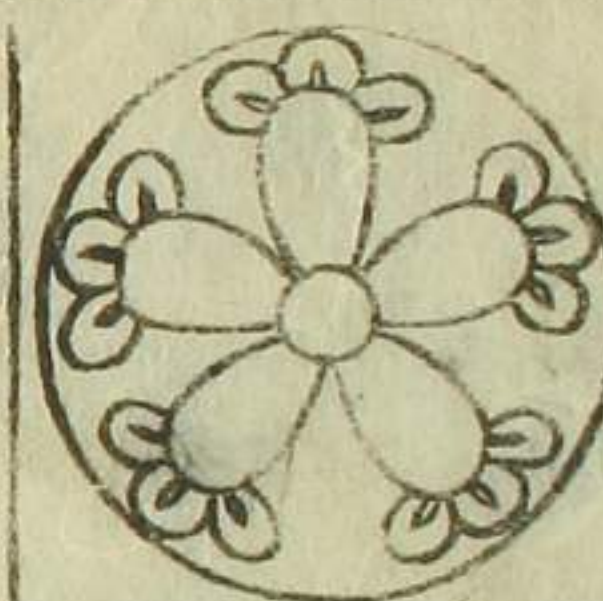
うてんせふ

字篆



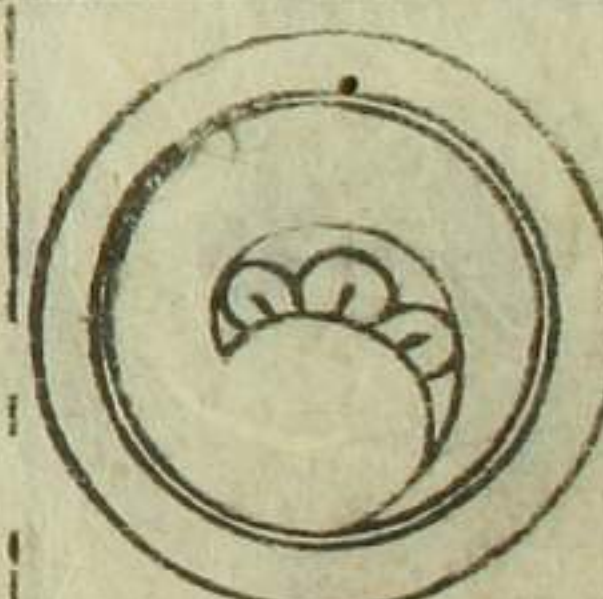
子丁あま丸

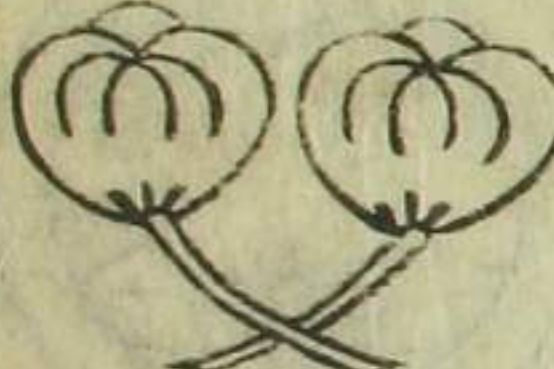
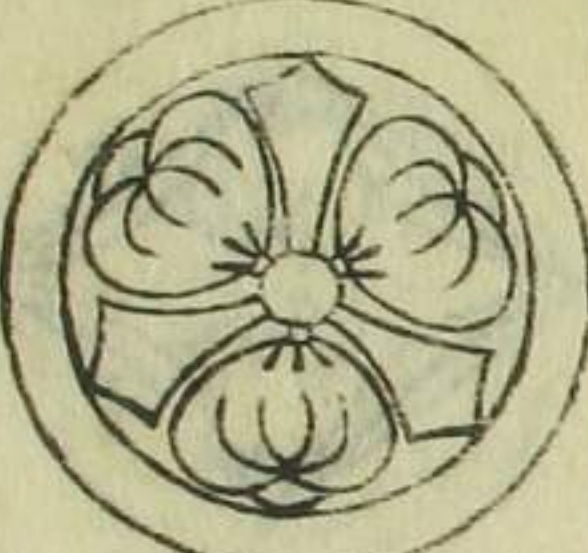

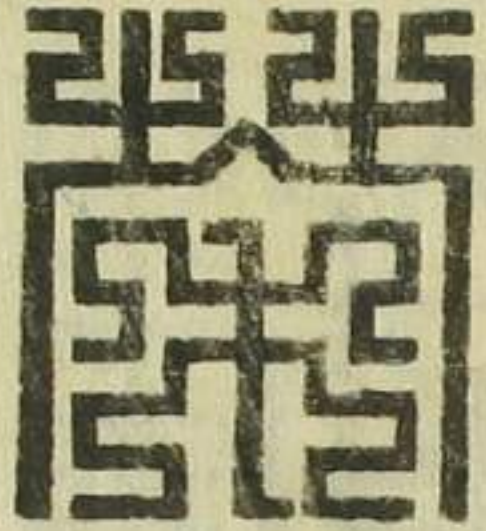


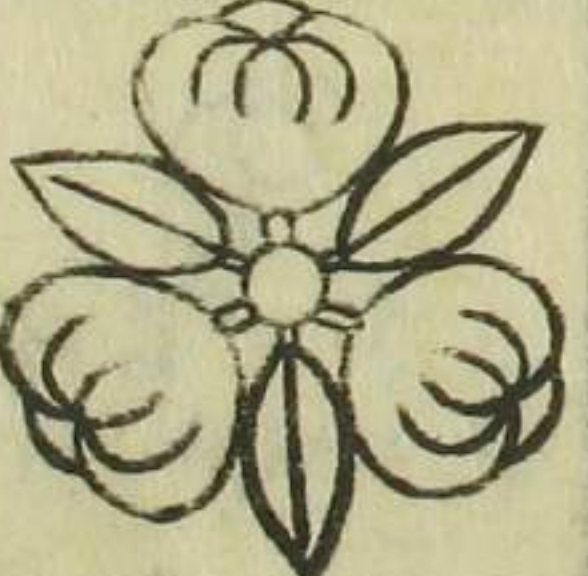
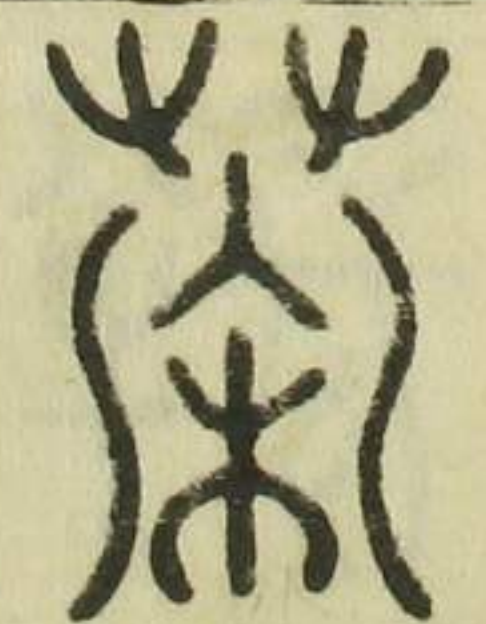
子丁へ?








巴子丁丸

巴子丁



この茶花標	この茶三湖丸	この茶三	茶名
			
この茶へ?	この茶ラ	この茶系三	字篆
			

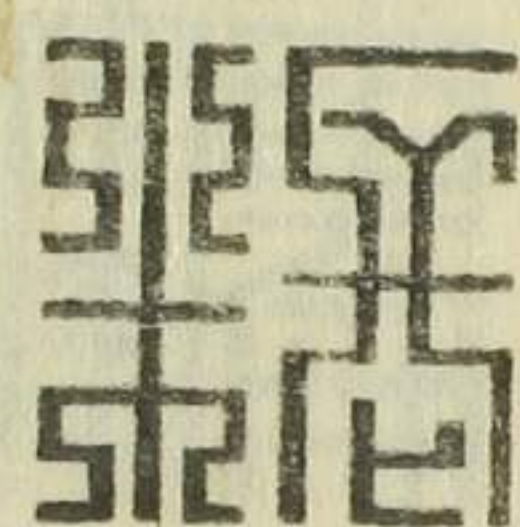
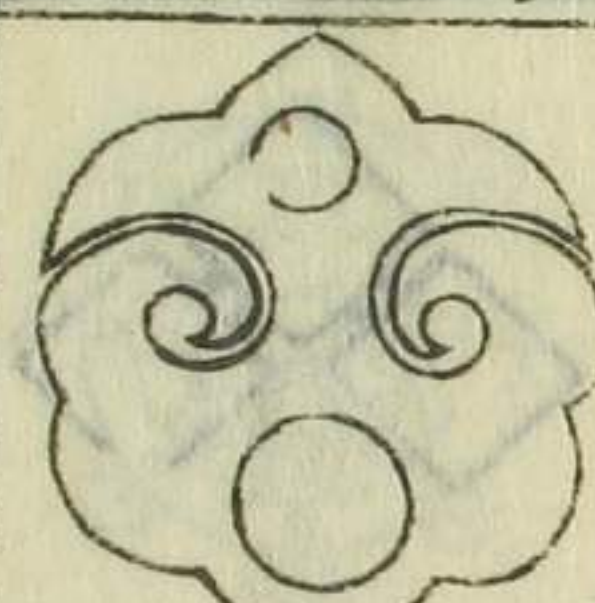
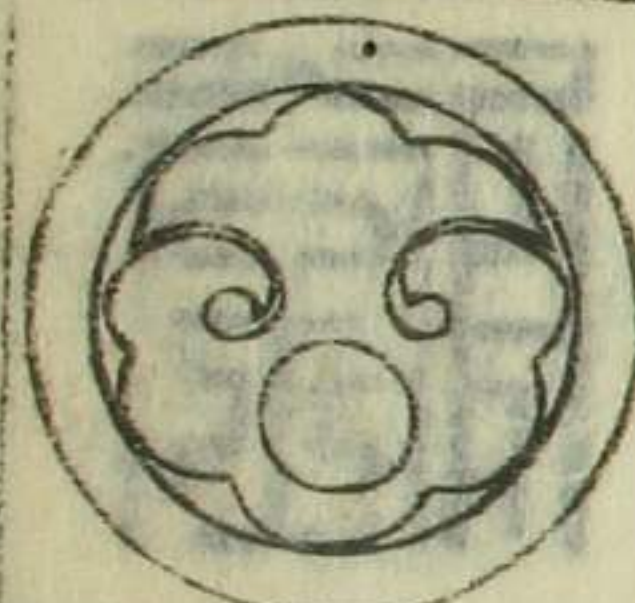
	うて表三	うて扇	うてよっお
			
		うてひろよ	うてひろひ
			

んそ虫丸

んそ虫けり

んそ虫う

半見長



んそ虫言

ま虫もろ

んそ虫言

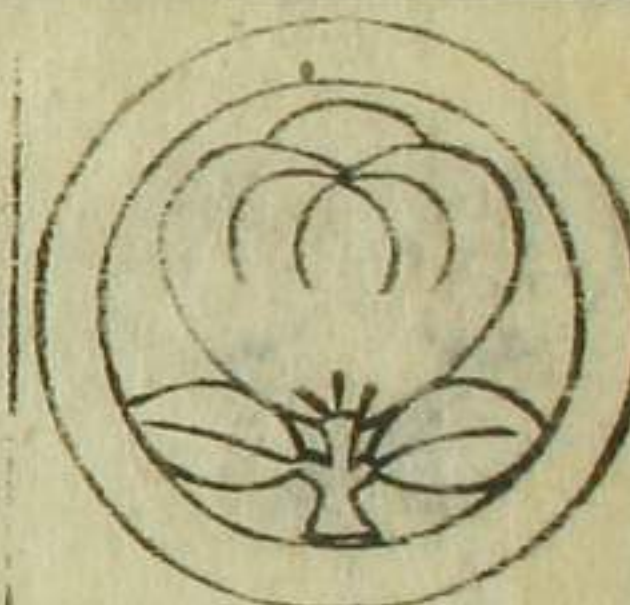
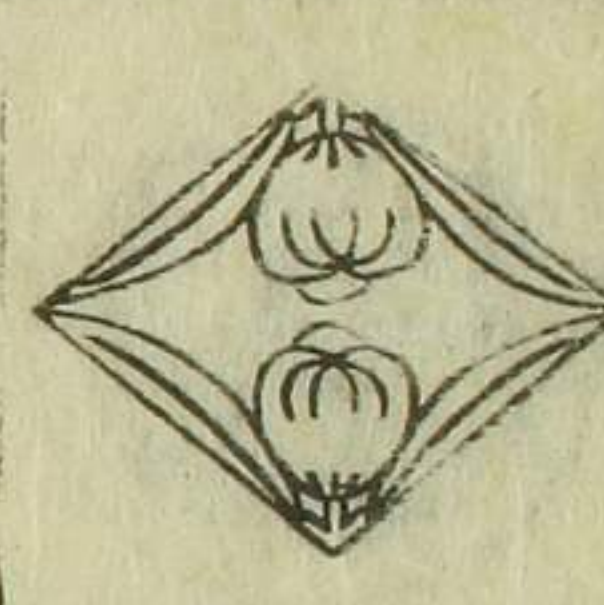
字篆



この名ころい

この葉しひ

この葉う丸



この葉葉携

この葉きむま



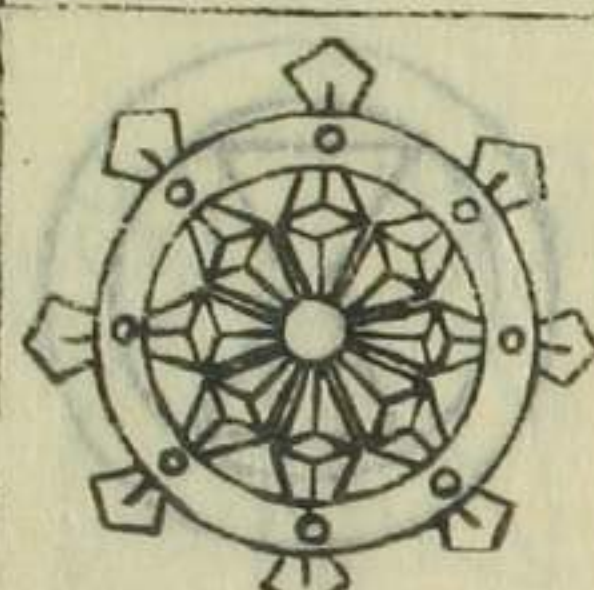
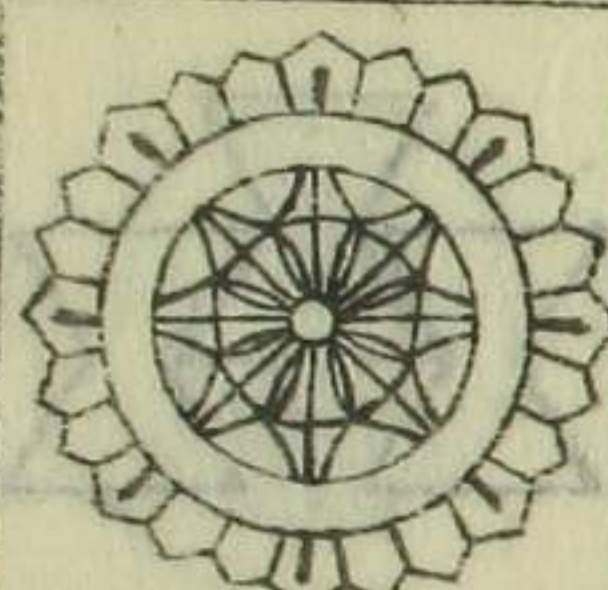
十

字人王 辺

字人王 くき

字人王

寶 輪



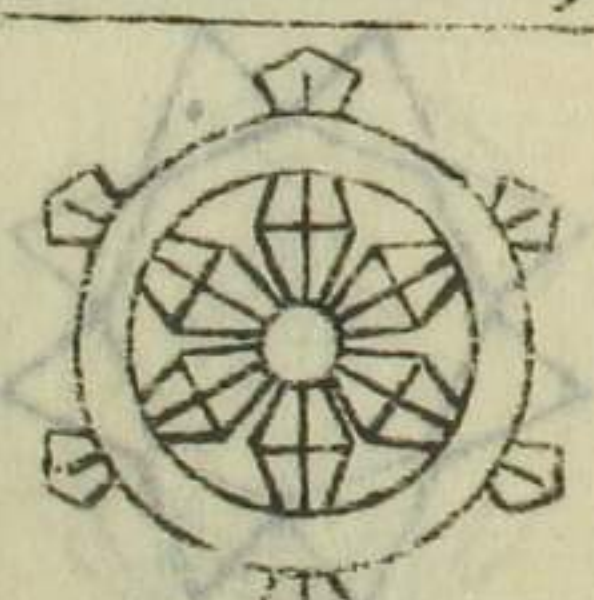
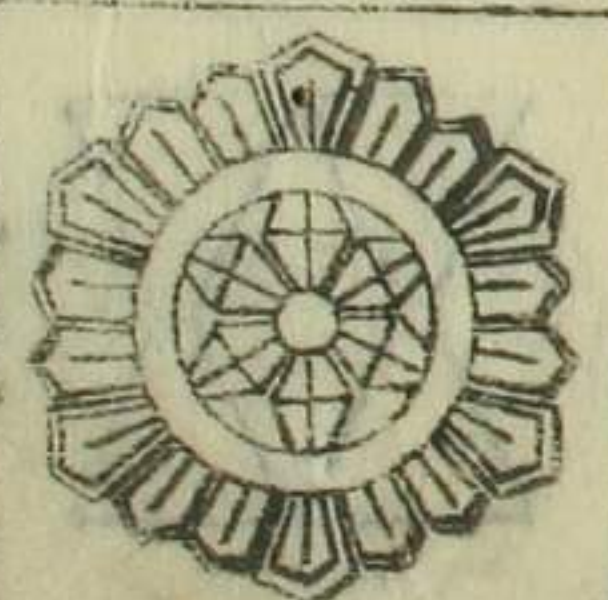
寶 輪

字人王 ち

字人王 のみ

字人王 ち

字 篆

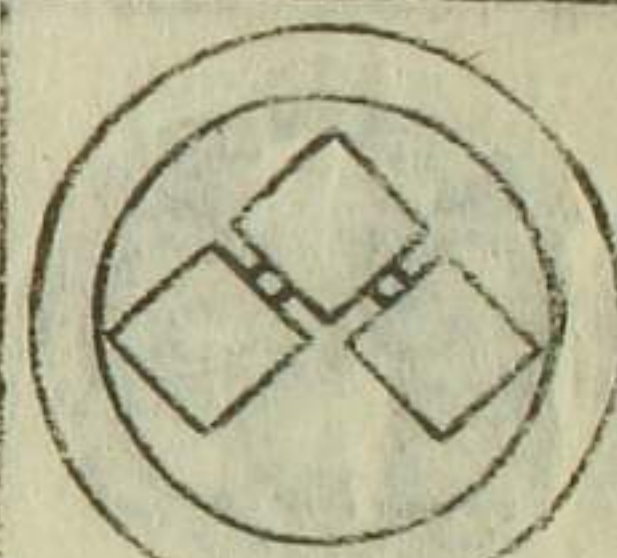
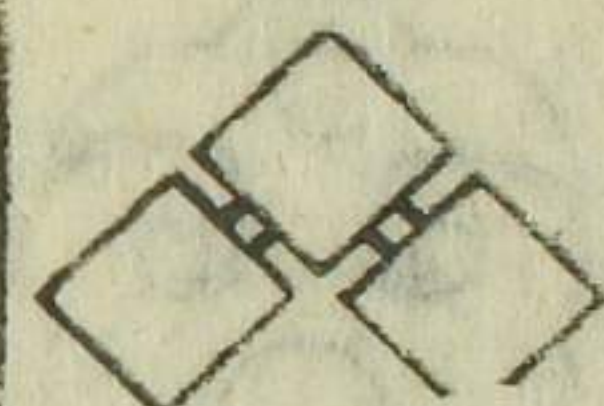


寶 輪

四 千 七 五 九

三 五 七 九

藤

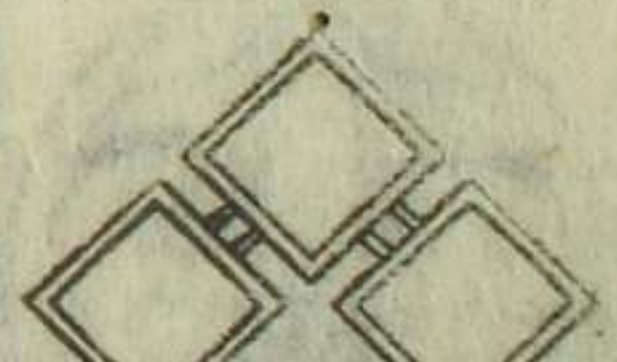
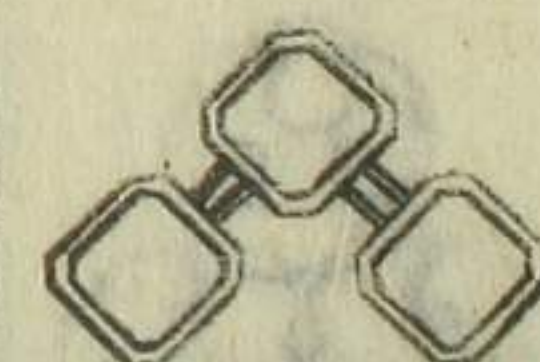
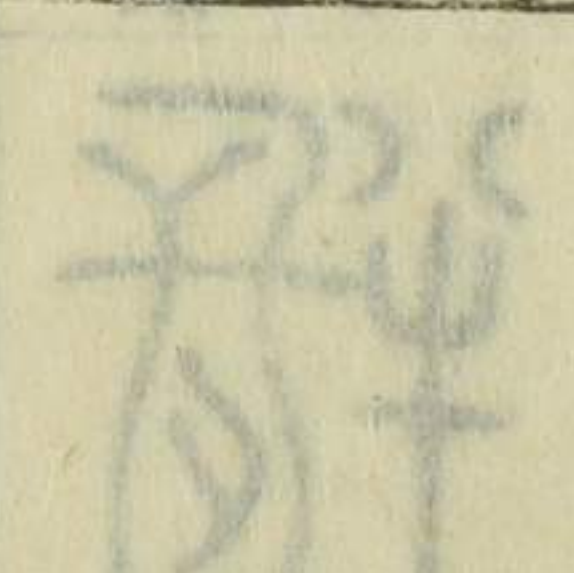


藤

三 五 七 九

三 五 七 九

字 篆



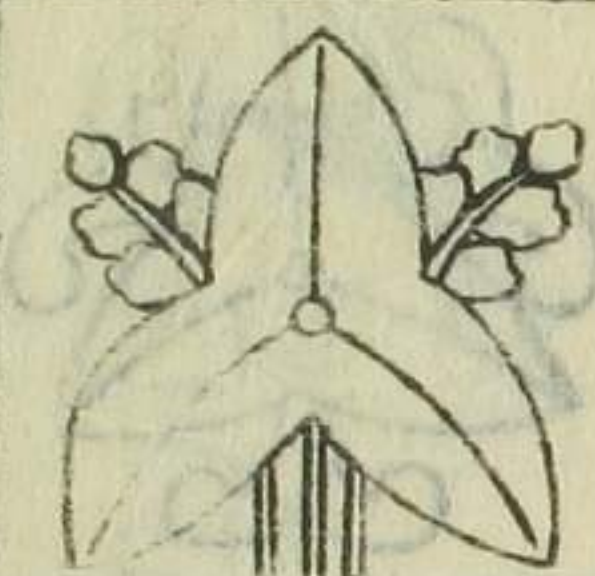
藤

かきえさぶ

かきえさぶ

かきえさぶ

此



此

かきえさぶ

かきえさぶ

かきえさぶ

字 篆



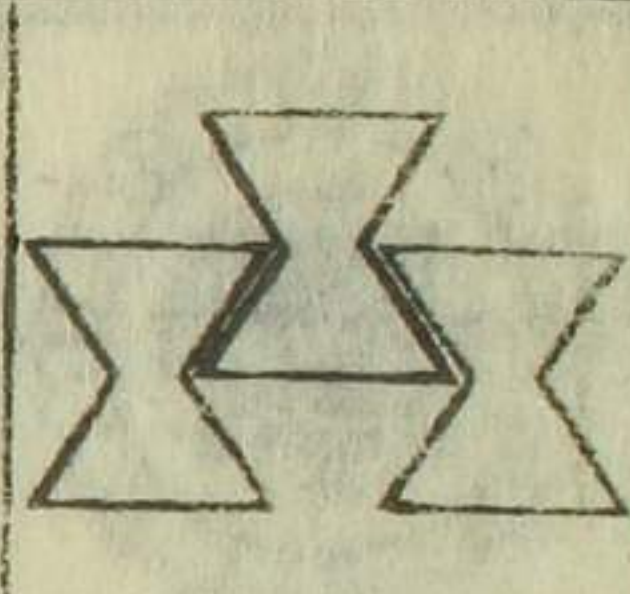
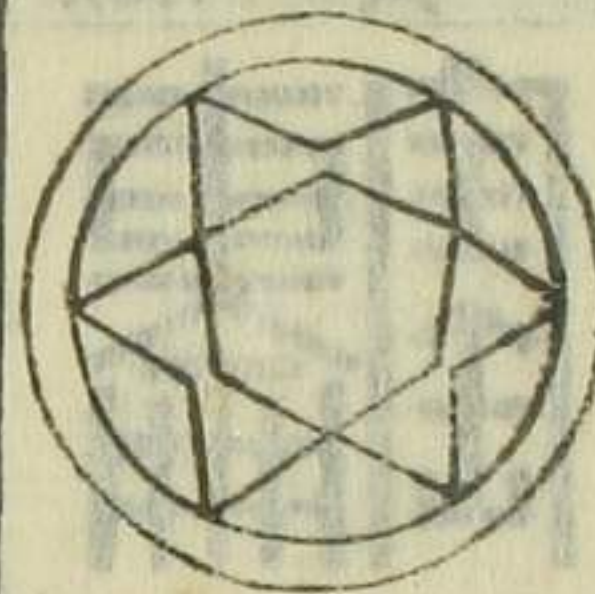
字 篆

こころ

こころ

こころ

瓢



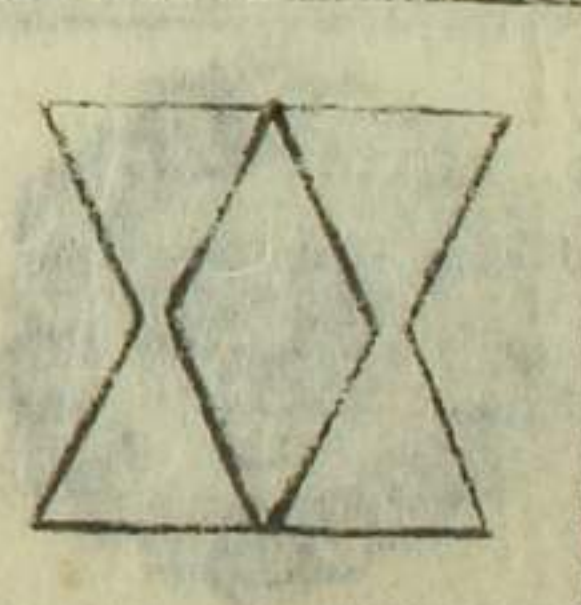
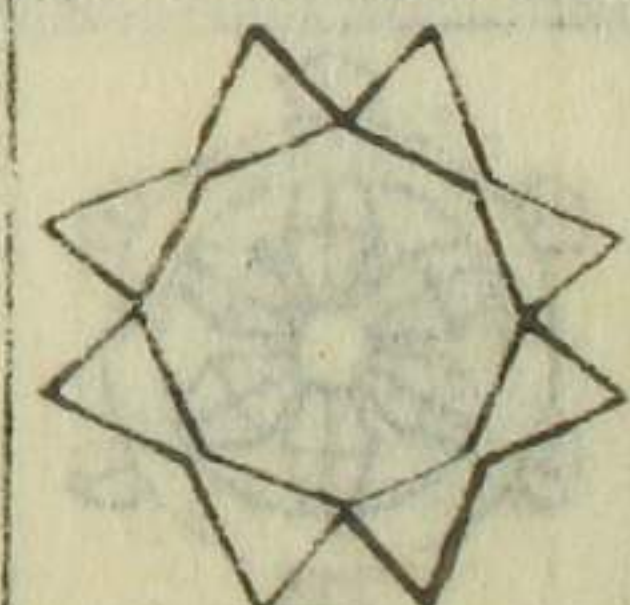
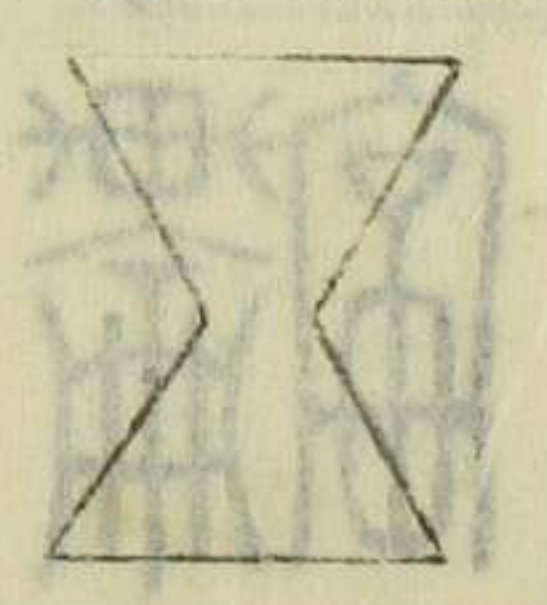
瓢

こころ

こころ

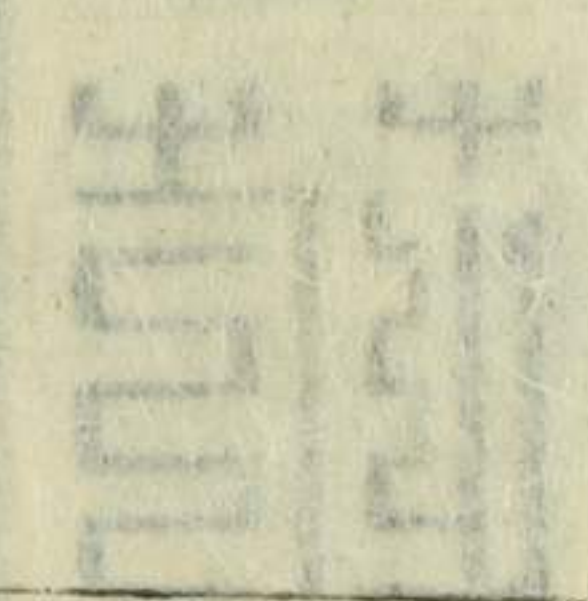
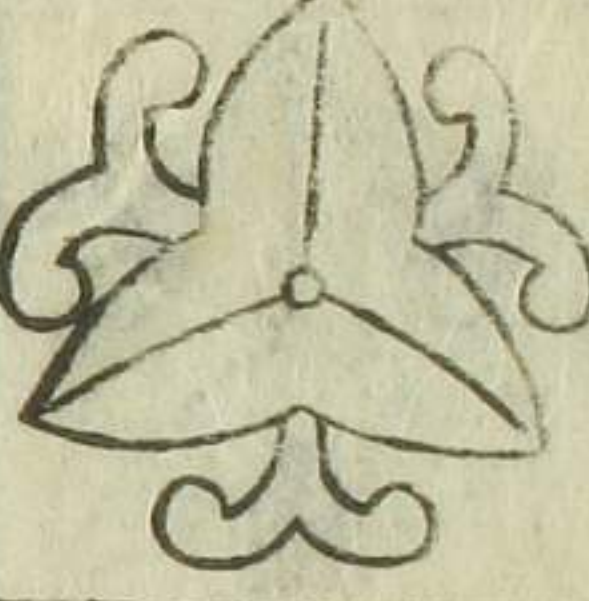





こころ

字 篆



瓢

らいつにど	にとんめ	やにんを	鬼 <small>とに</small>
			鬼
にとさう	よかまじん	まきまき	字篆
			鬼

	地はる	まきまき	まきまき	丸の地はる
				
		まきまき	まきまき	
				

車 くらに丸



まろく くらに



くらに ぶは



藤



くらに くら



くらに 丸ぶ



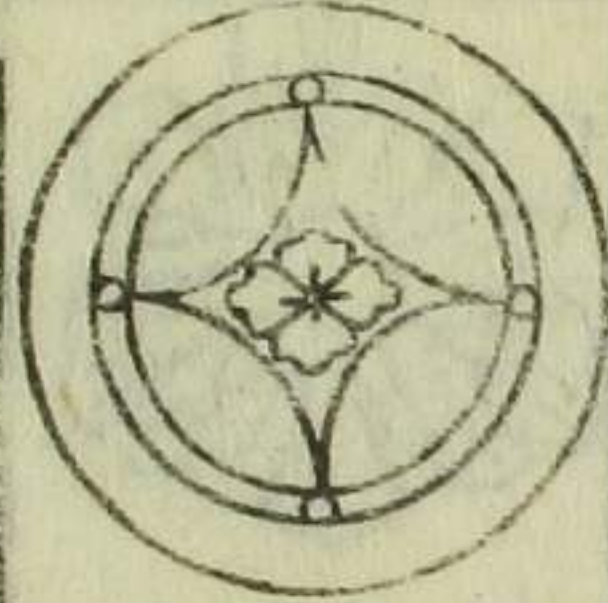
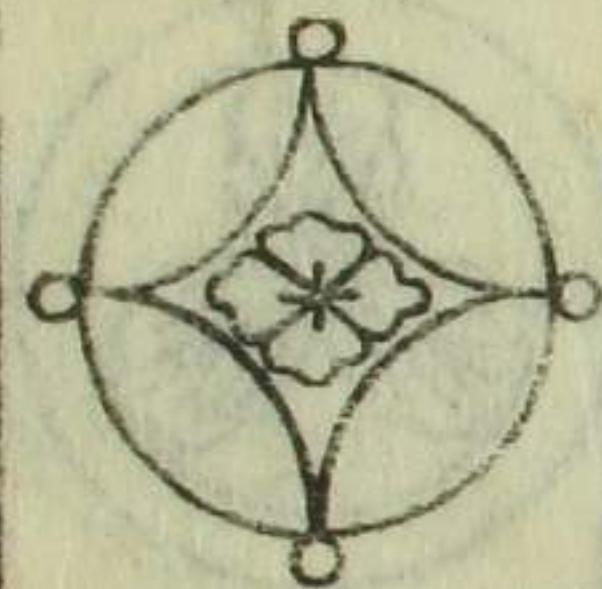
くらに ぶは丸



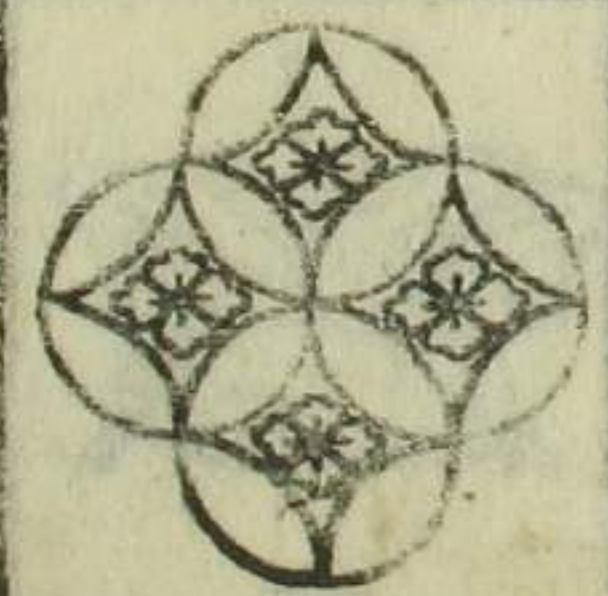
字 篆



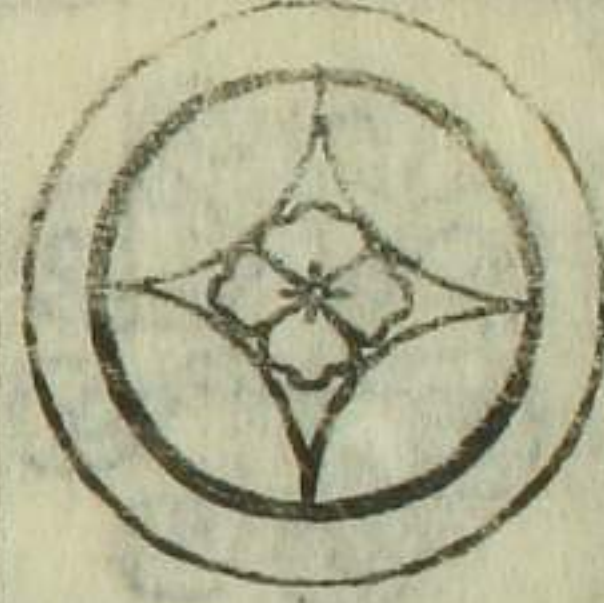
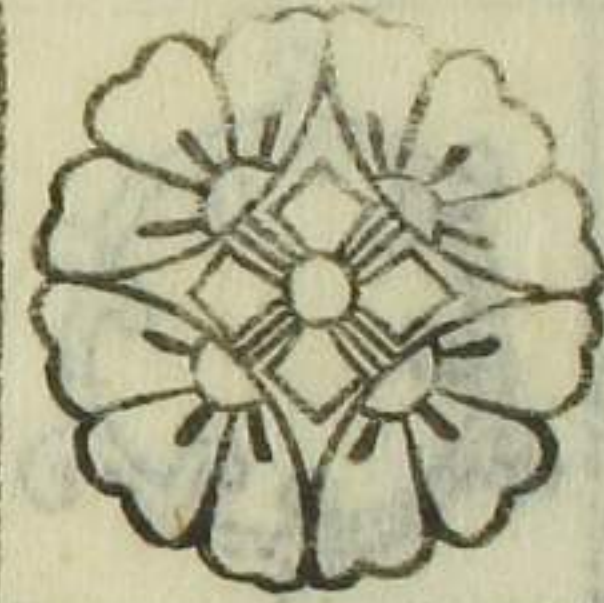
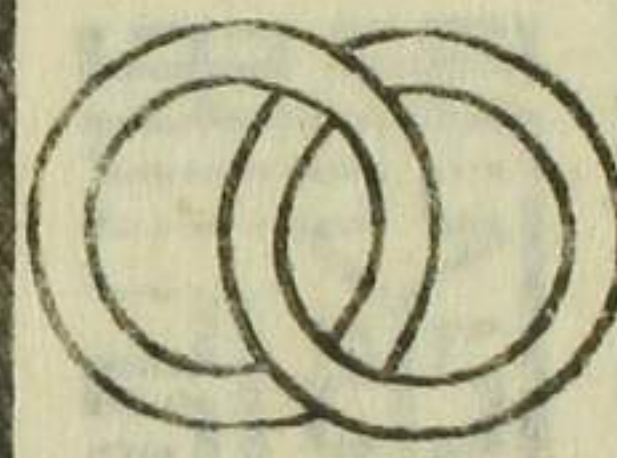
遠勝うかつあ 遠に方四丸 心ちり行三



心ちり貴号 心ちりむ号 心ちり細



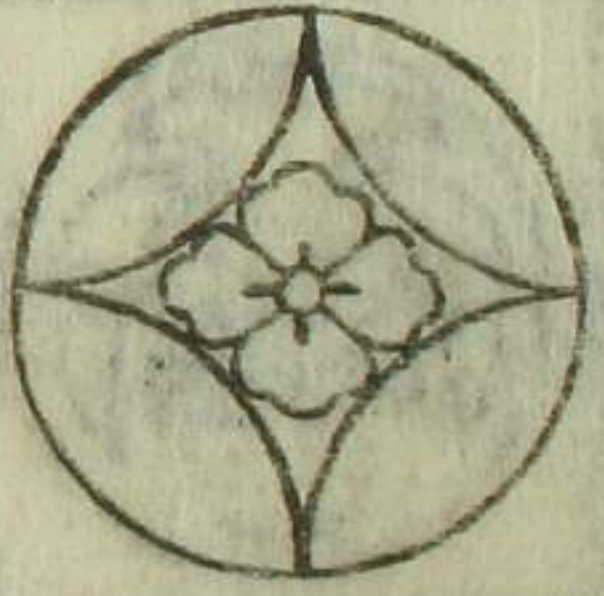
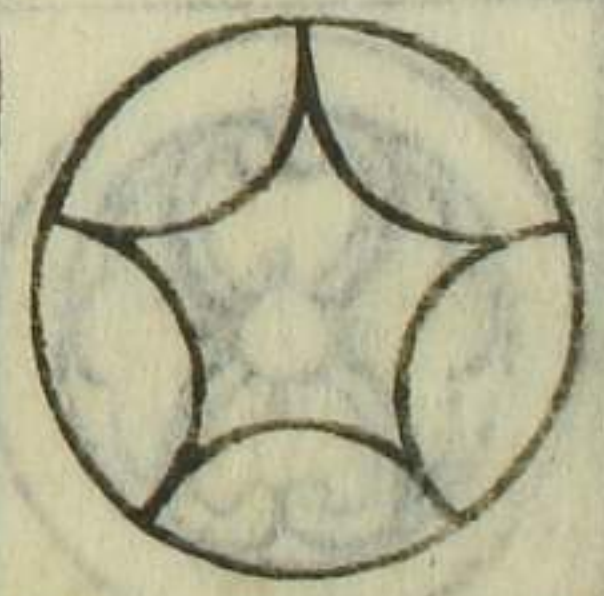
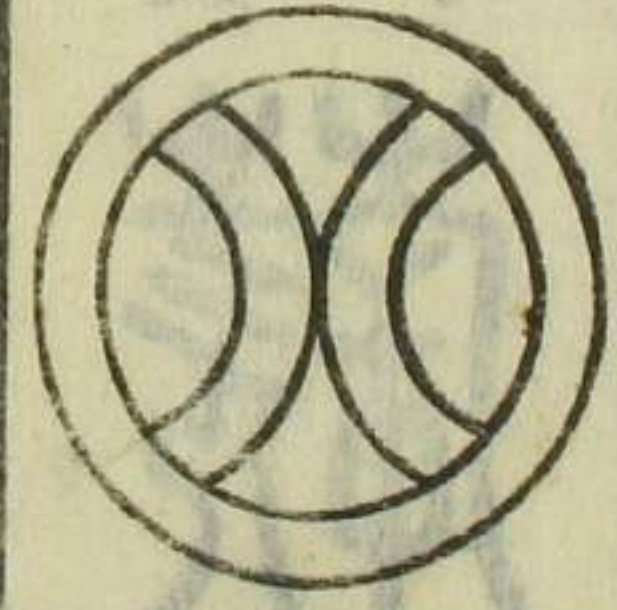
心ちり 心ちり輪 心ちり玉丸 違 輪



違 輪

心ちり玉丸 心ちりつ又 心ちり輪玉

字 篆



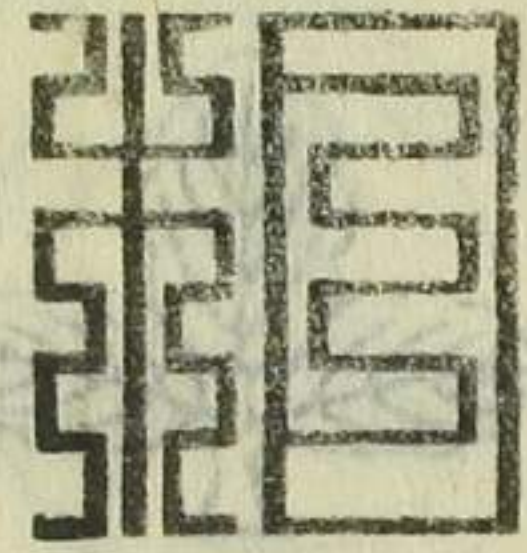
違 輪

丸ハシ

栴ツ之丸

栴ツ之綴

栴

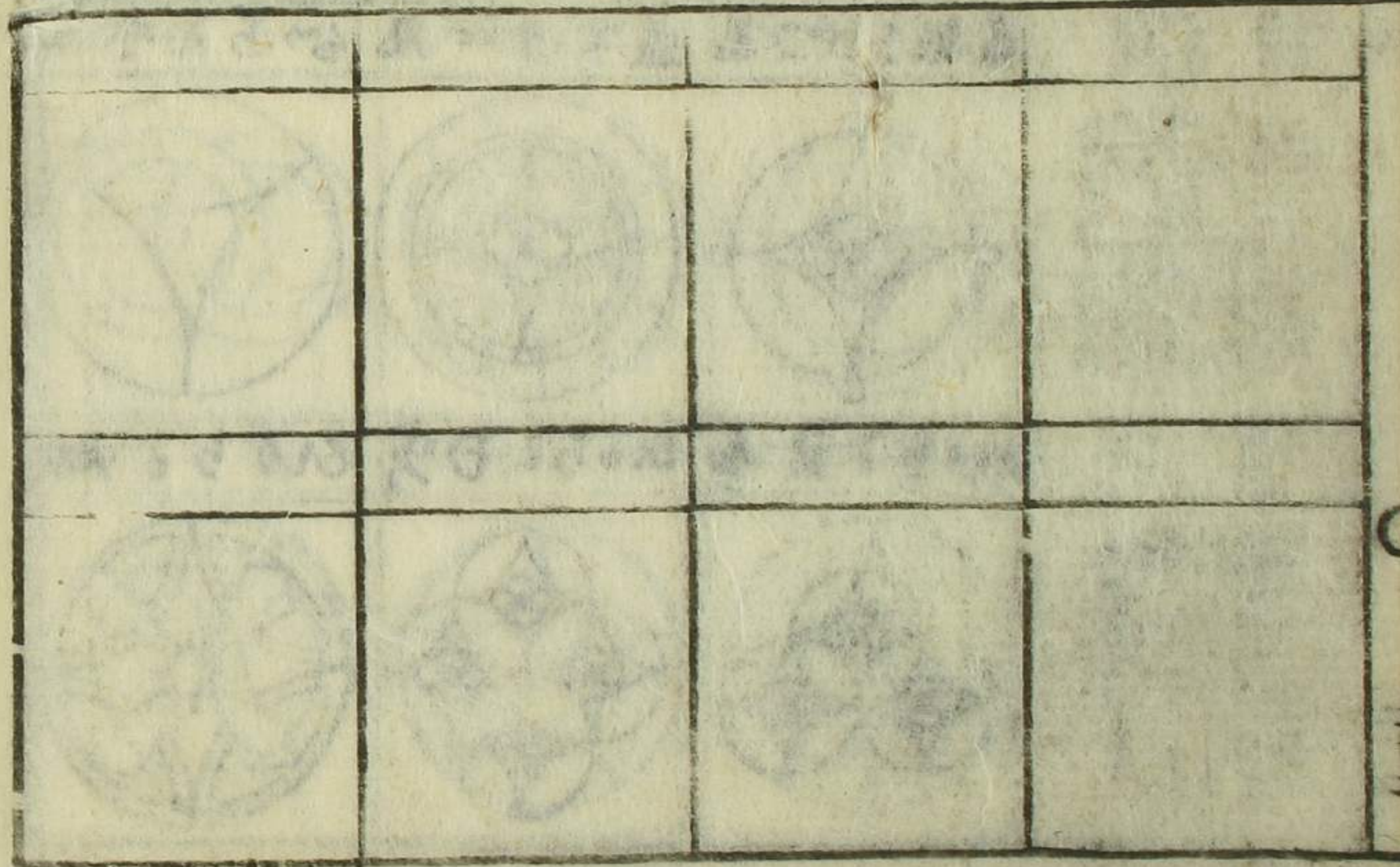


栴ツ之号

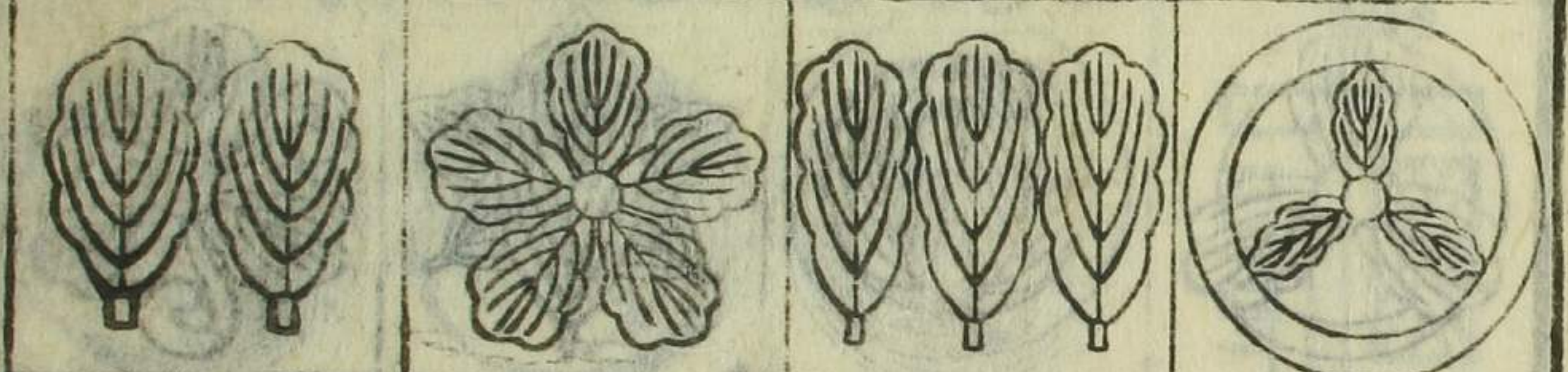
栴ツ之紋

ハシハシ

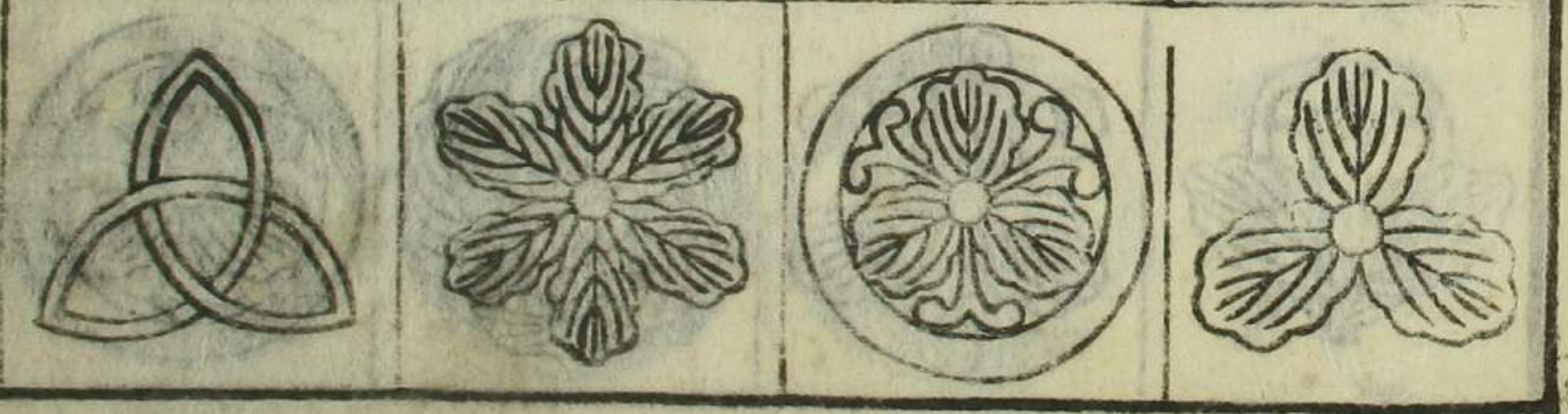
字篆



ハシ本ニ ハシつみ ハシ本之 栞佐加丸



栞ひそむの丸 まるく栞 ハシ多あ丸 ハシつみ



ハシ多あ丸 ハシ多あ丸 ハシつみに丸 栞つみ多あ丸



ハシひそむ ハシ多あ丸 ハシころろ ハシ多あ丸



めらち子 丸のめら 毎死む上



壱日ハ里之 丸ひらち 丸ひらむ



龜多



字篆



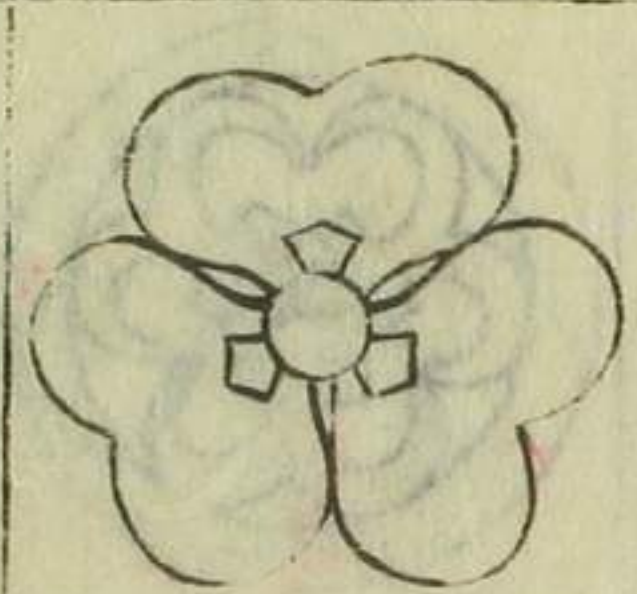
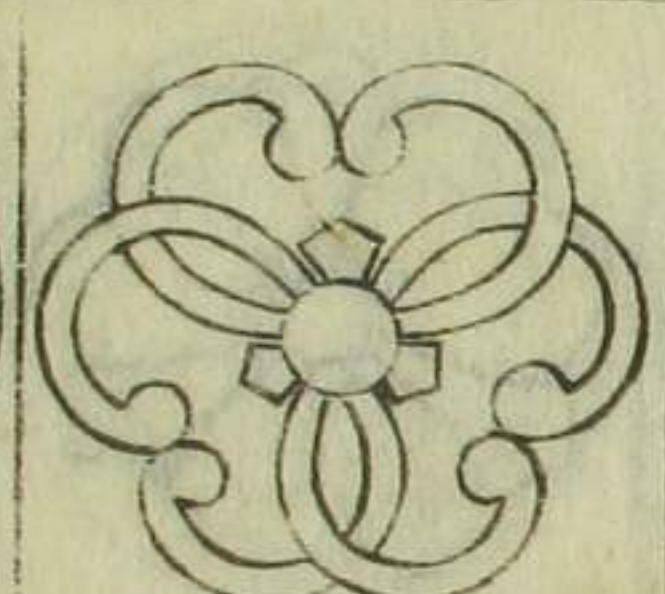
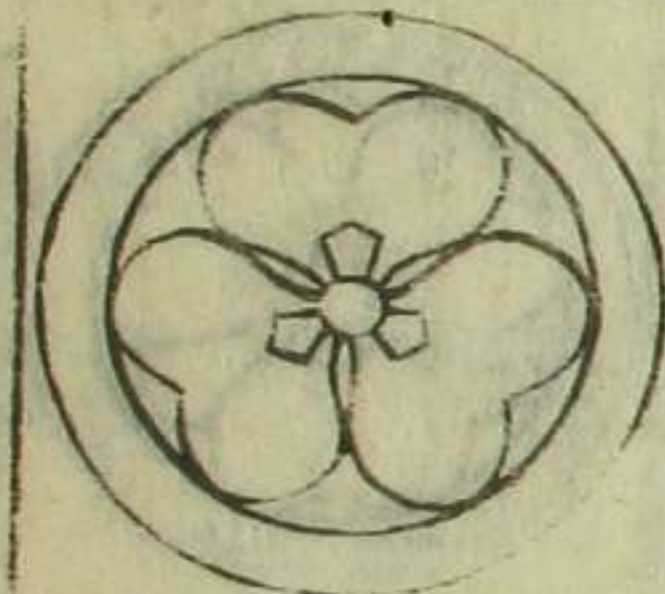
ハシ丸 丸ハシ 丸ハシ 丸ハシ



ハシ丸 丸ハシ 丸ハシ 丸ハシ

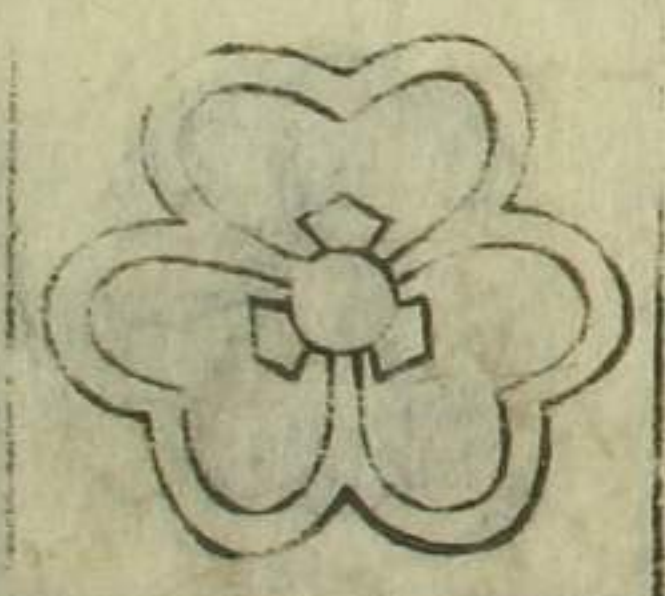


みそさろ如 三つひそむる みそさろ 漿 酢



西 西

三つハシ 三つハシ 三つハシ 字 篆



西 西

と女樹ふむ とかアさの とぶろちそ 甲



甲

とかのふむ 甲 形 柳 とぶろしか 字 篆



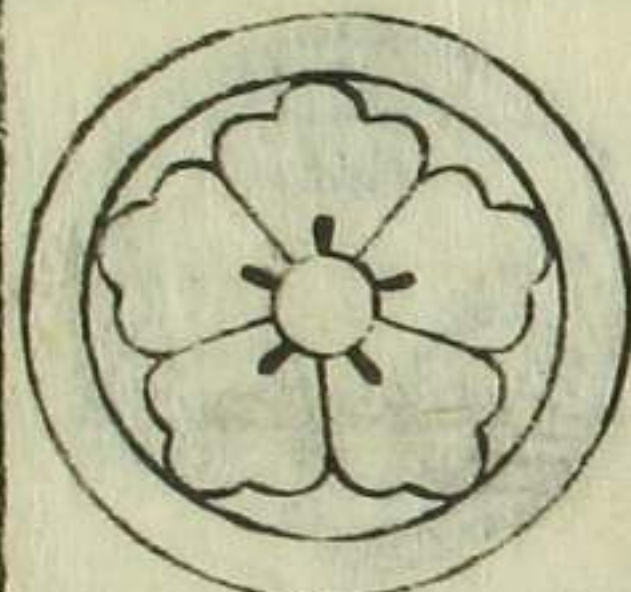
甲

二十

むらう二



むらうに丸



むらう七



華唐



むらうつ



むらう



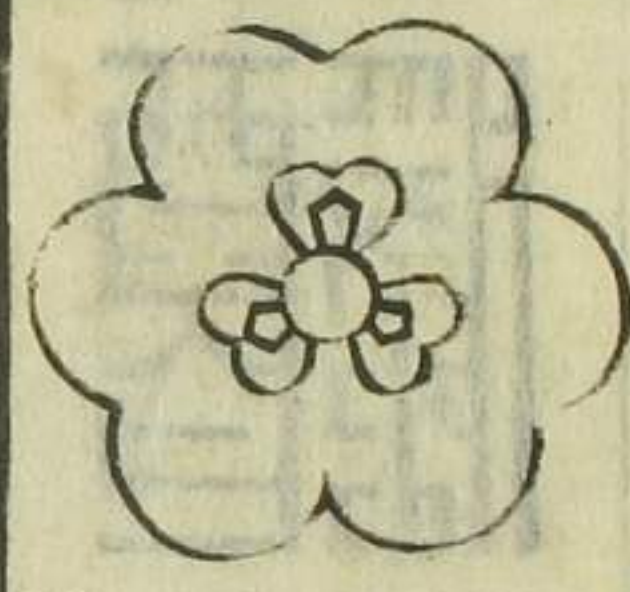
むらう



字篆



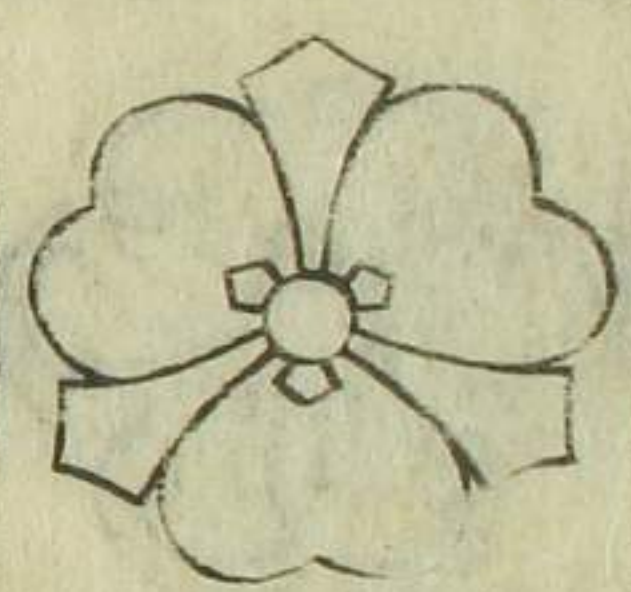
むらうとふ



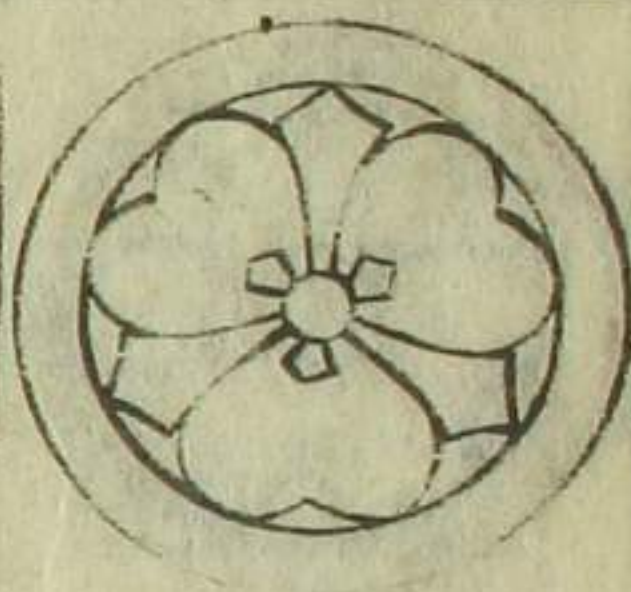
むらう大丸



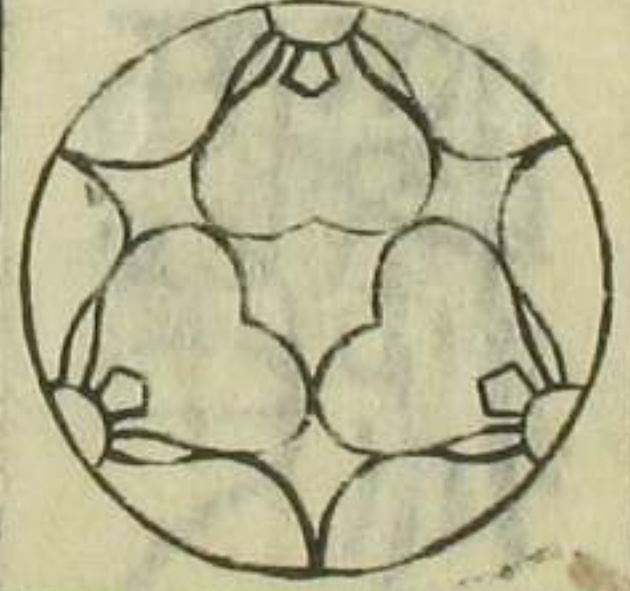
むらう



むらう丸



むらう



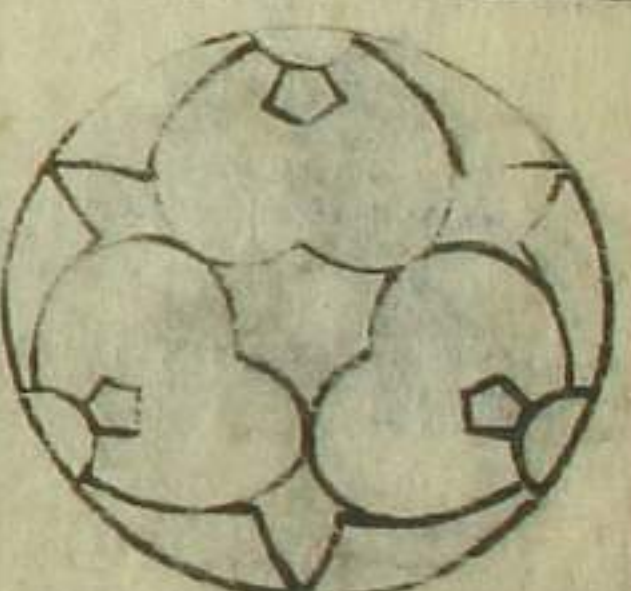
むらう



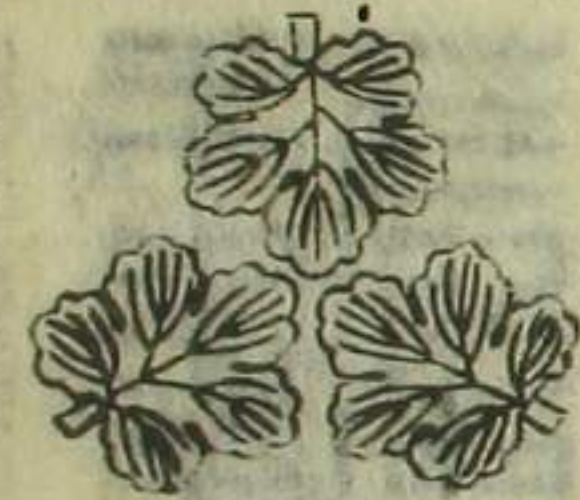
むらう



むらう



葉のちかき



はのちか丸



葉のちかき



楓



葉のちかき



葉のちか丸



葉のちか丸



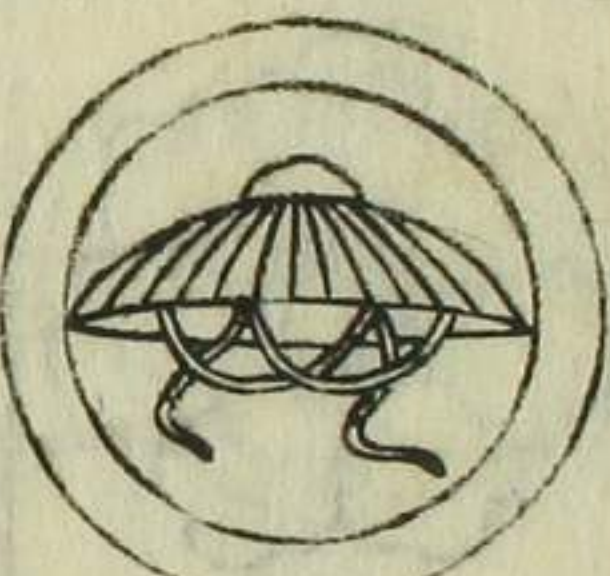
字 篆



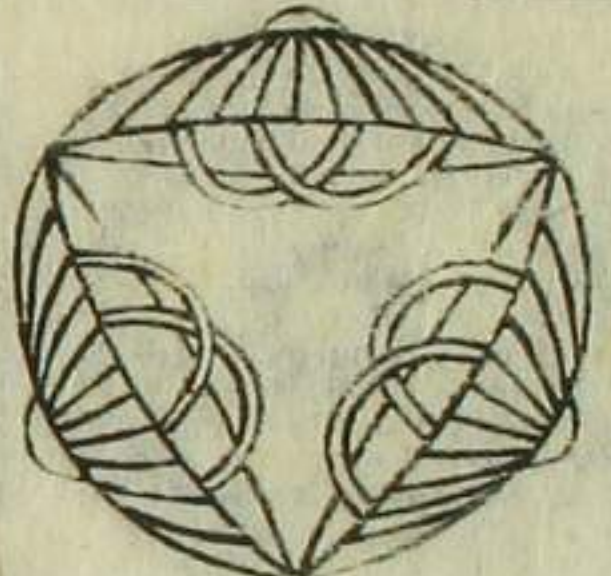
さかべの丸



さか丸



丸さか丸



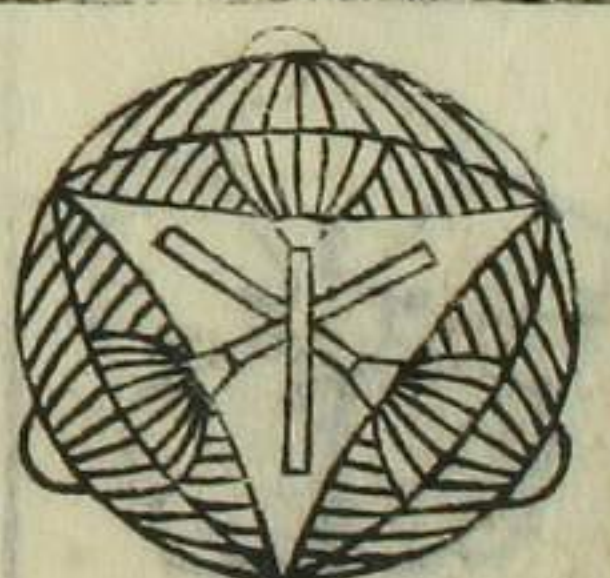
笠



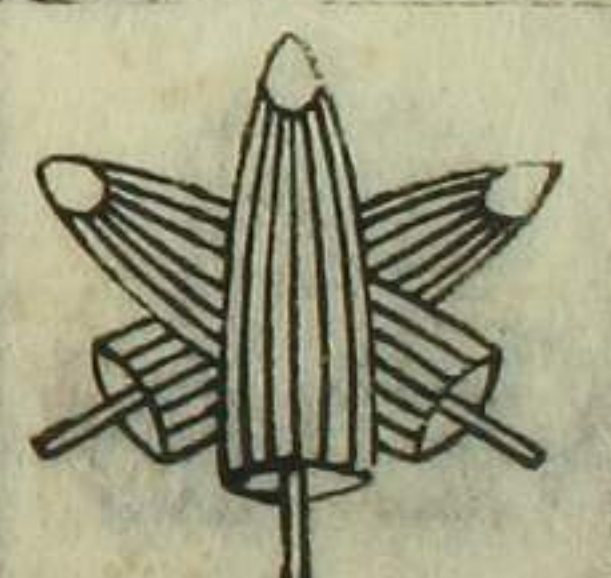
さか丸


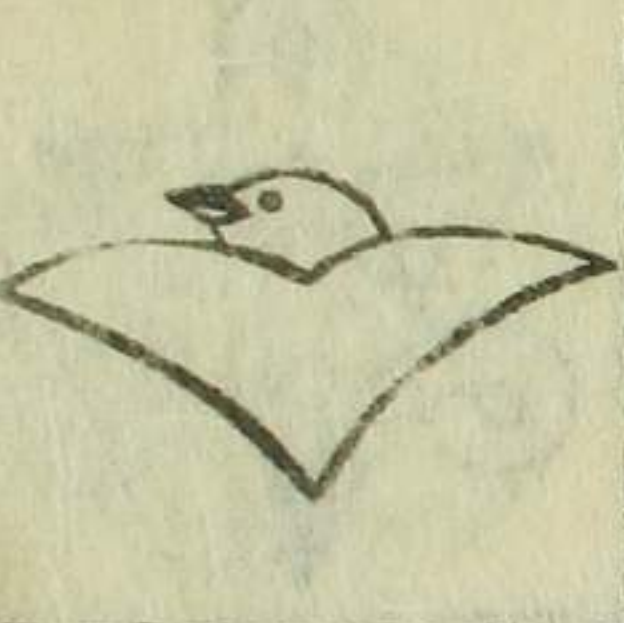
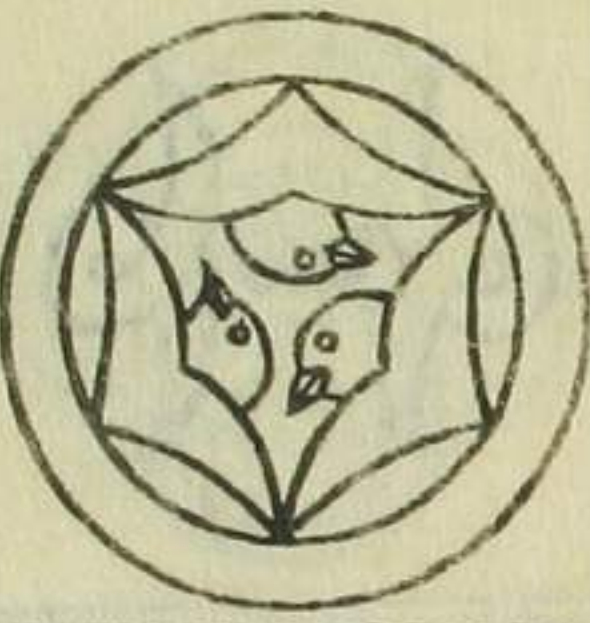
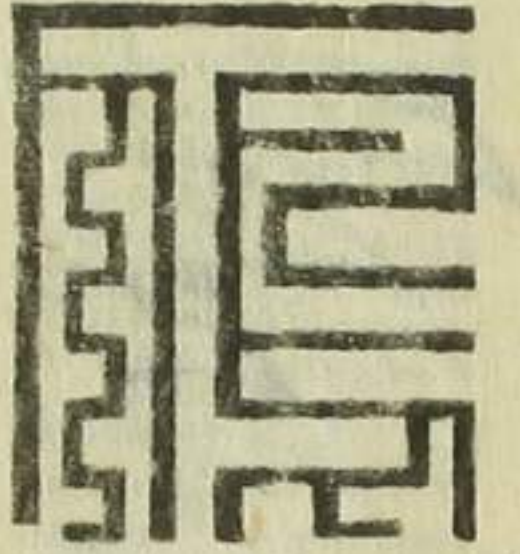






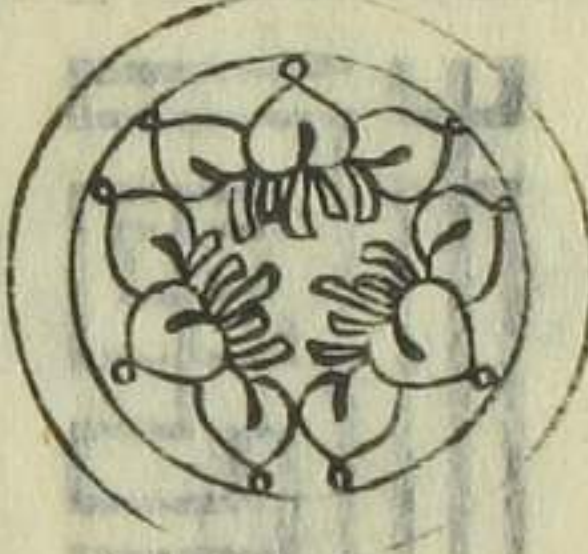
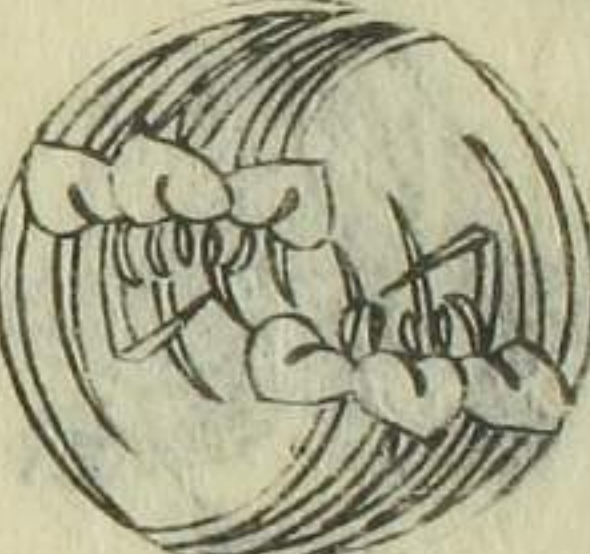




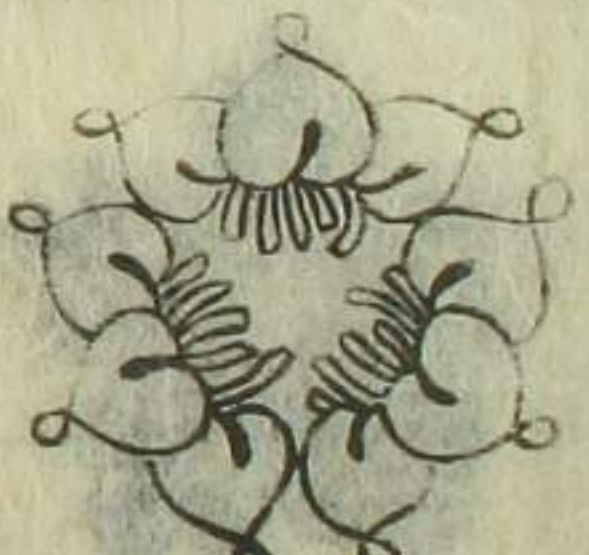

笠さか丸



笠さか丸



りつづえ	アかマ	アかに丸	雁
			
アマヨ丸	アかしひ	アヨシウむ	字篆
			

よんきき丸	よんかひちち	よんつれか丸	若 杜
			
よんえふひ	よんきかたて	よんきか	字篆
			

さしあつ六 さしあつ八 さしあつ七 敷金



東 屋

さしあつ九 さしあつ七 さしあつ八 字篆



東 屋

さしあつ三 さしあつ四 さしあつ五 さしあつ六



さしあつ七 さしあつ八 さしあつ九 さしあつ十



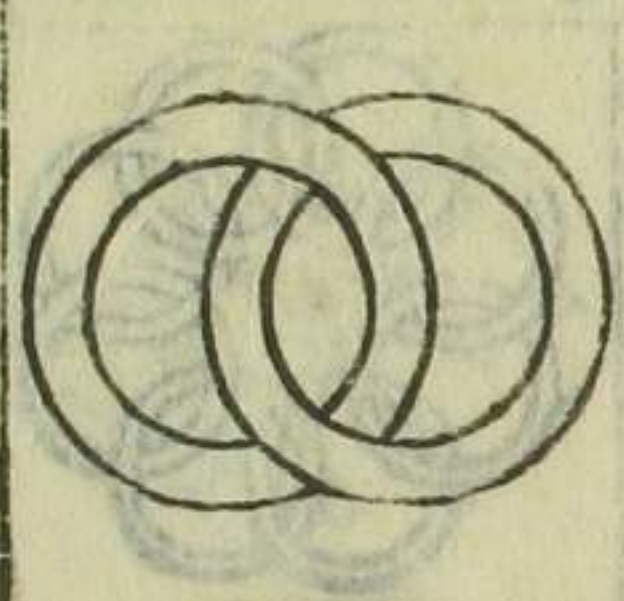
三十一

まがしちるく

まがしつえ

まがしひり

輪 金



東 金

まがしちる

まがしつえ

まがしひり

字 篆



東 金

まがしちる

まがしつえ

まがしひり

鎌



東 金

まがしちる

まがしつえ

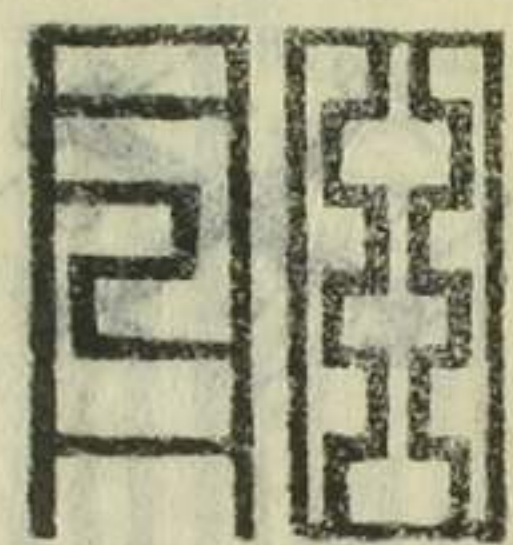
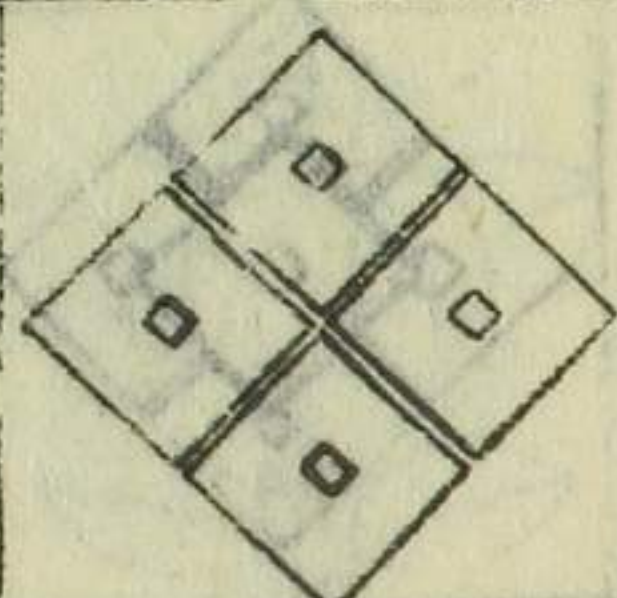
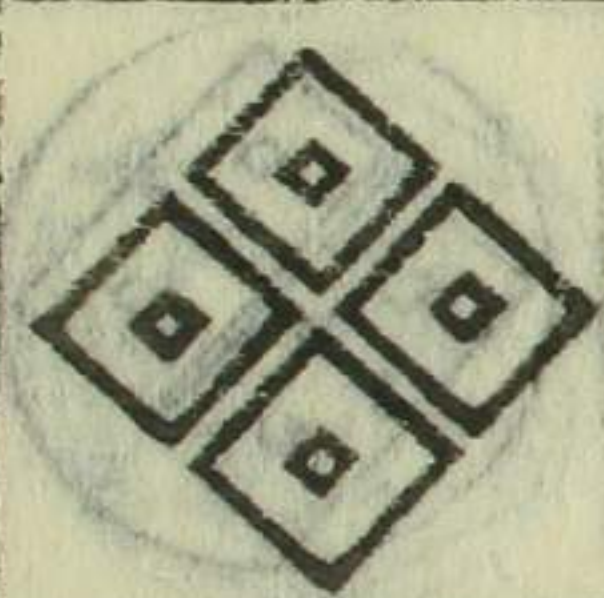
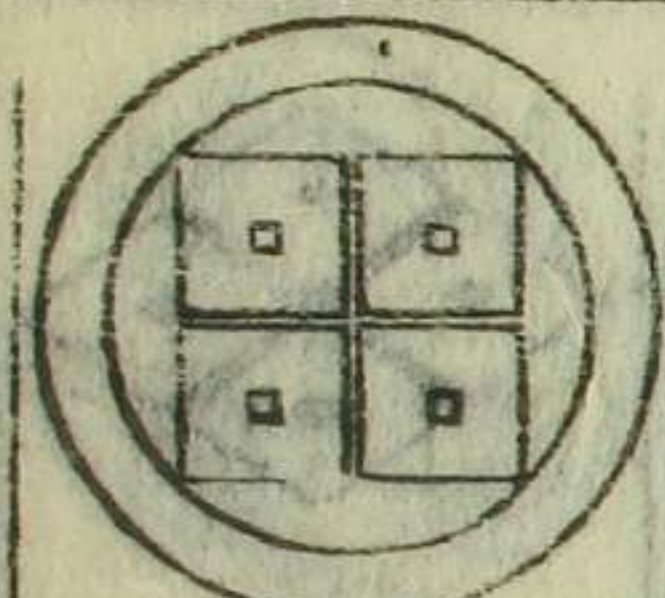
まがしひり

字 篆

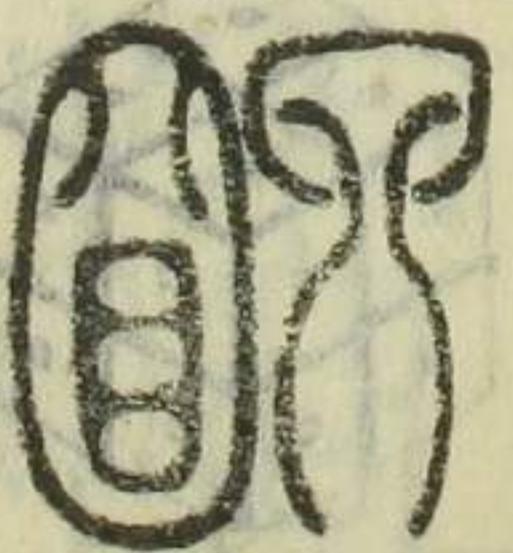
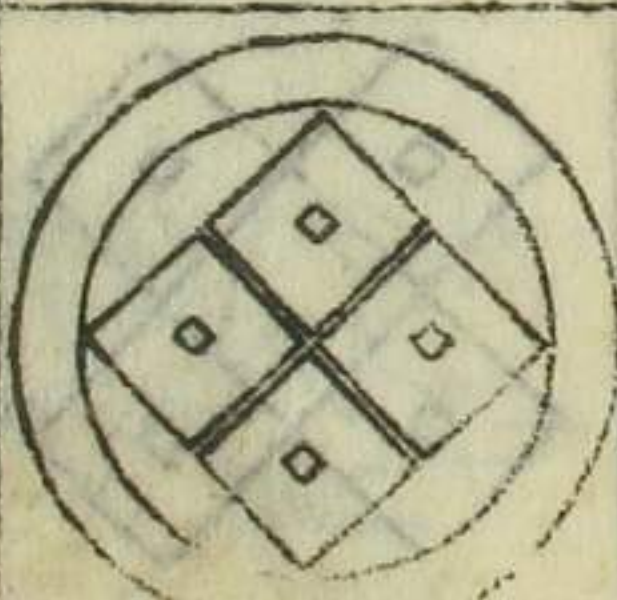
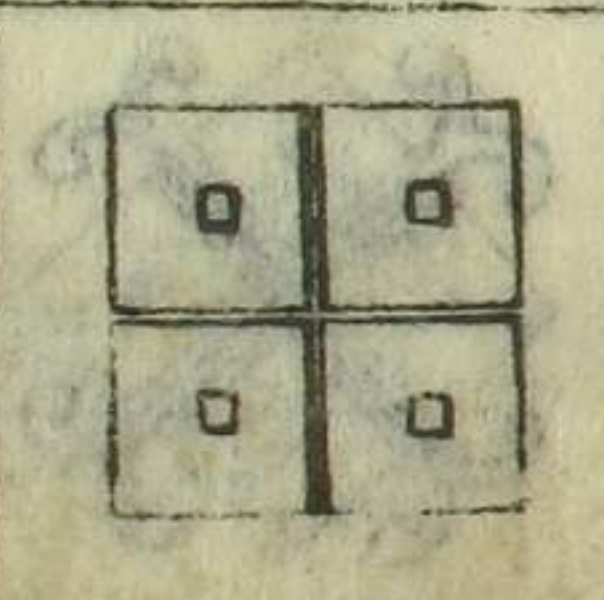
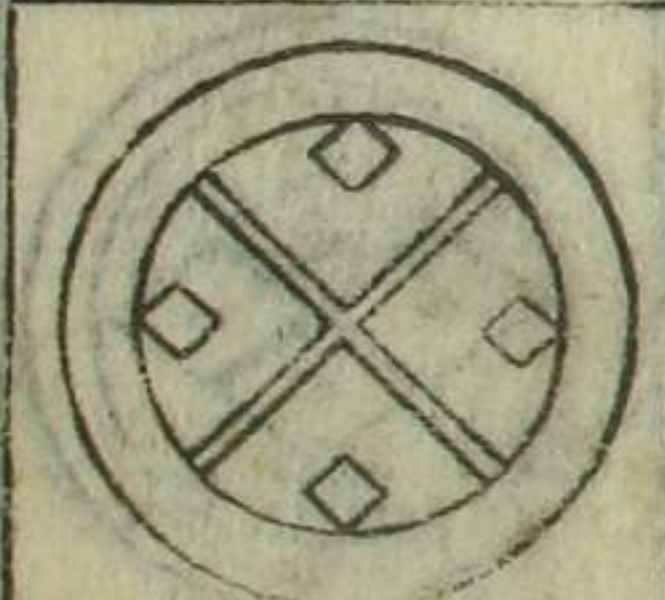


東 金

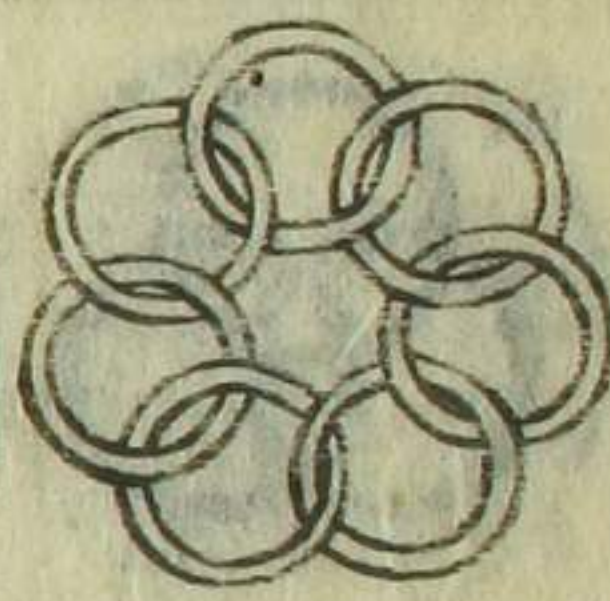
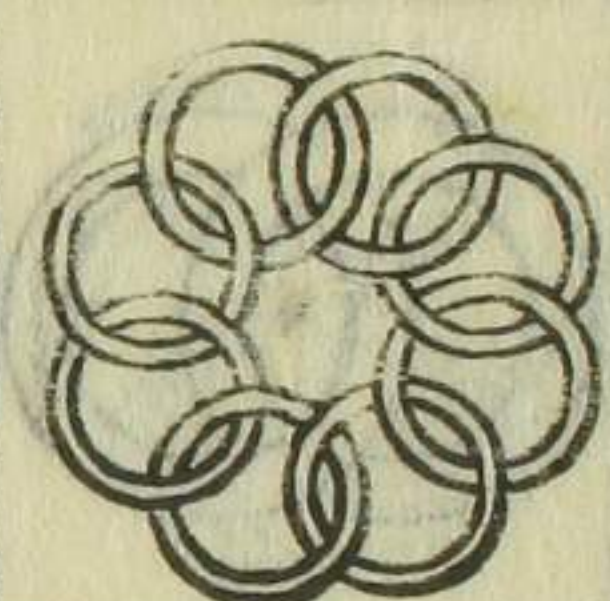
めつよ 平丸 九 めつよ 立丸のけか めつよ 立丸みと 目 四



めつよ 平丸 九 めつよ 立丸 めつよ 立丸 字 篆



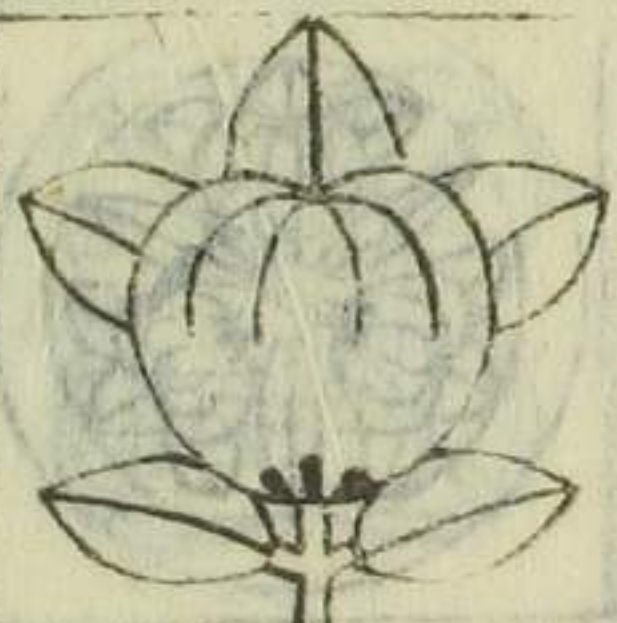
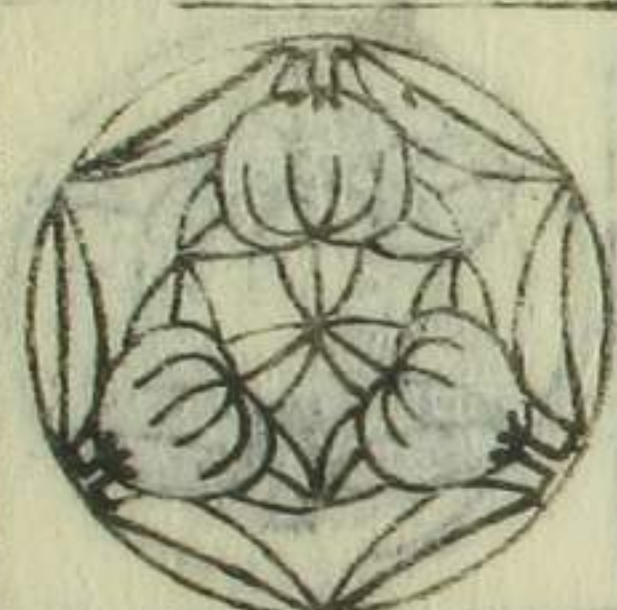
二 七 八 九



九 七 八 九



ちちたたふ ちちたたえ ちちたたふ



橘結



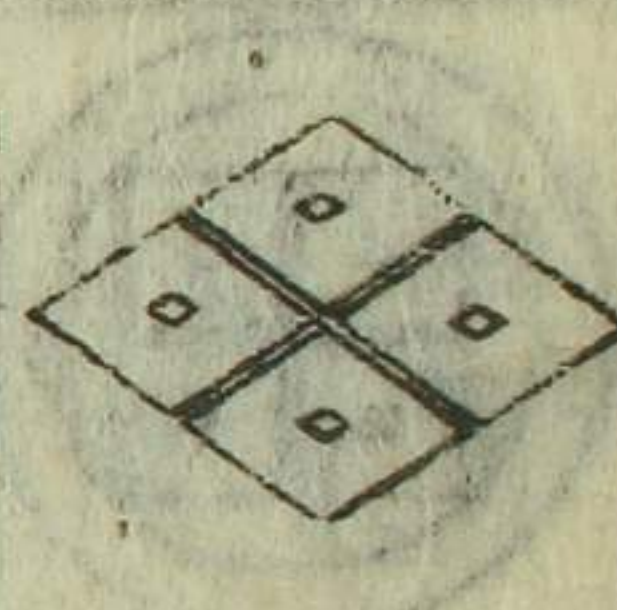
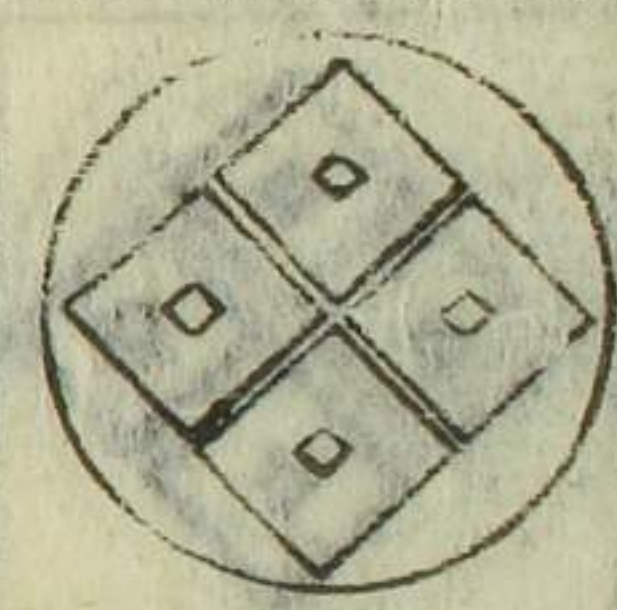
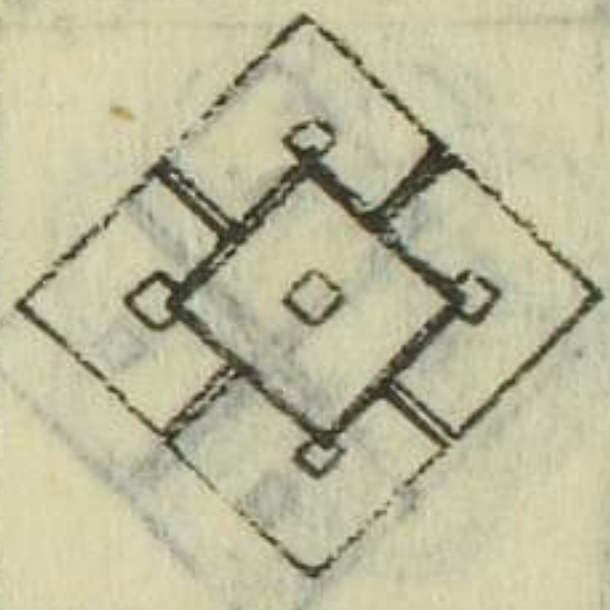
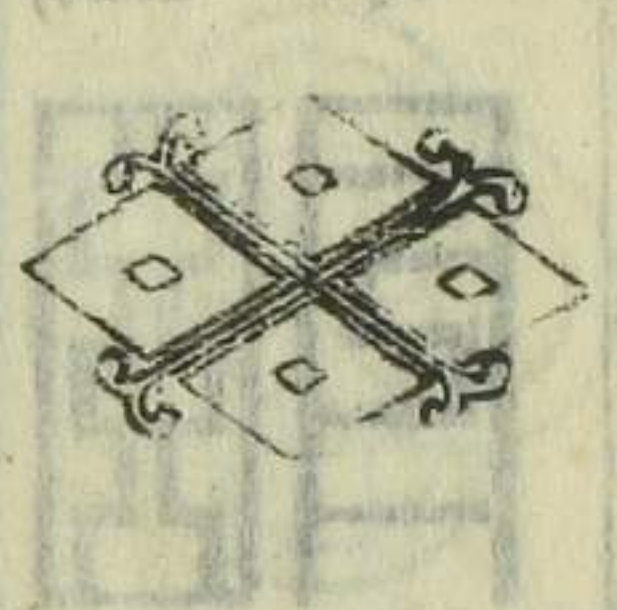
ちちたたふ ちちたたしむ ちちたたひかち



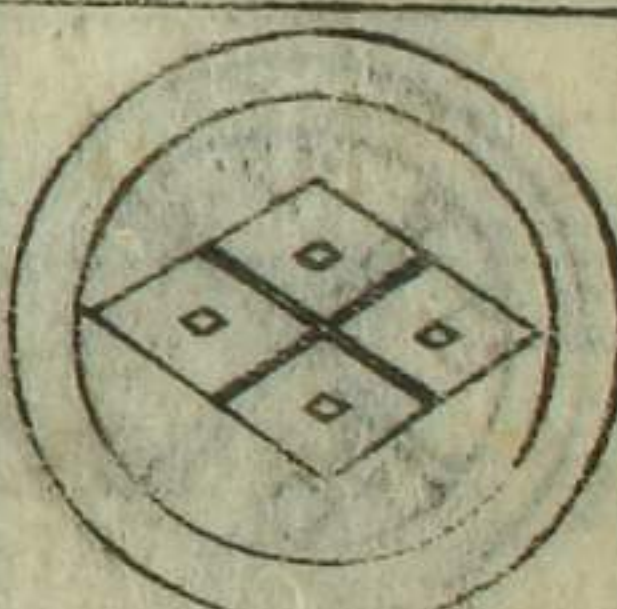
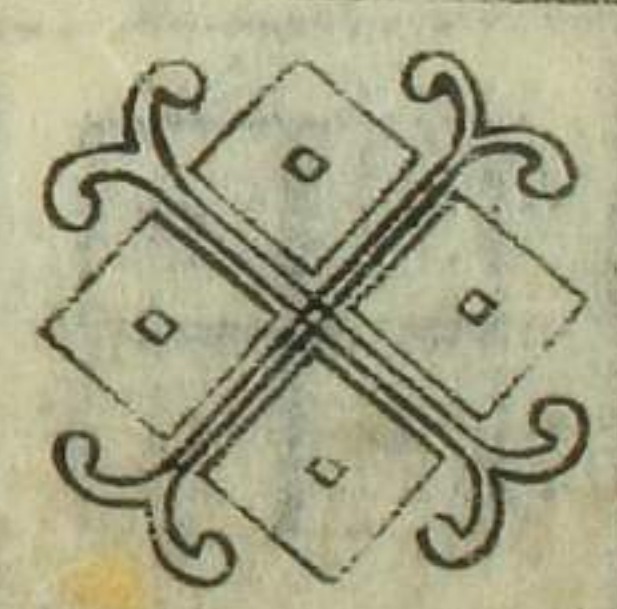
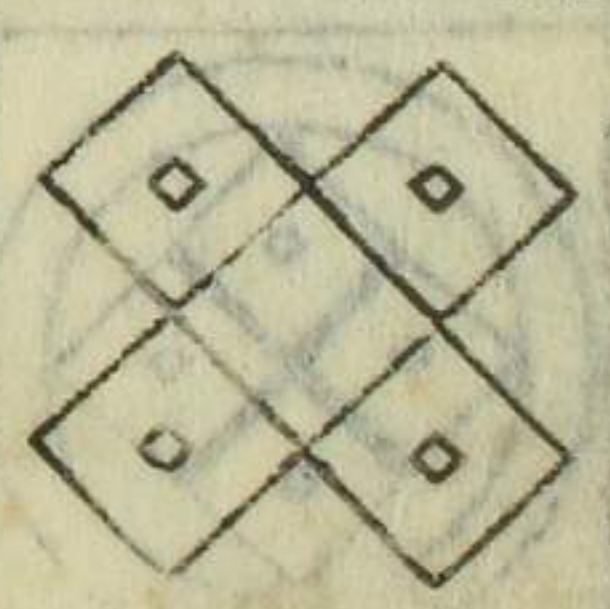
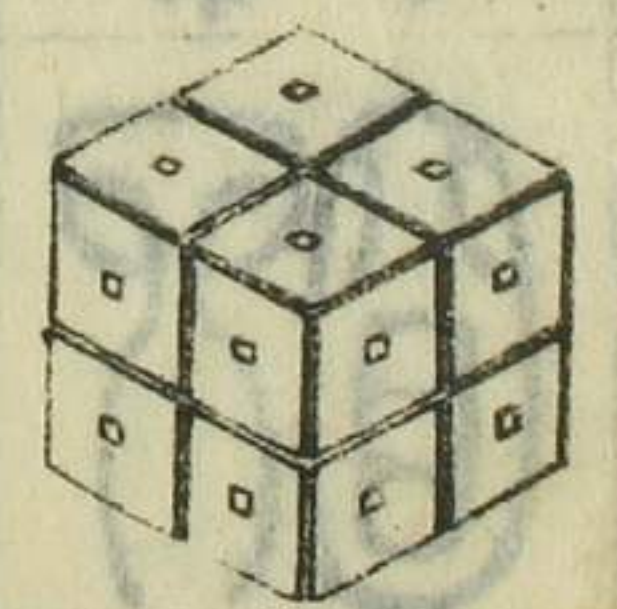
字篆



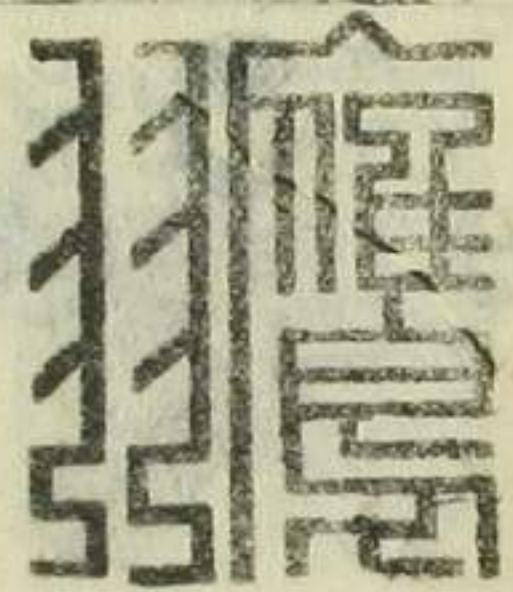
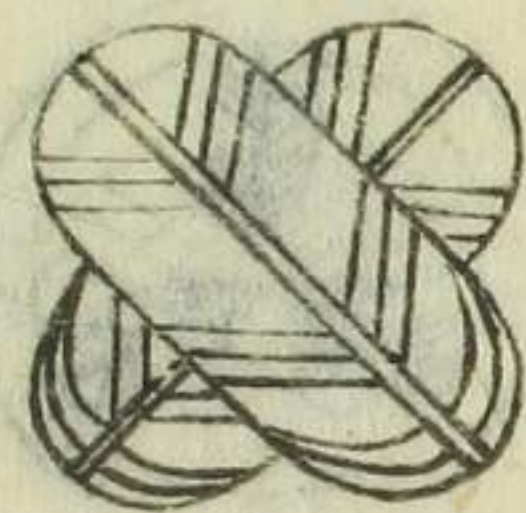
あつよろづ 目には角取 器は解ち 石はめつしむ



あつよひな あつよえた あつよもま 目にはひかち



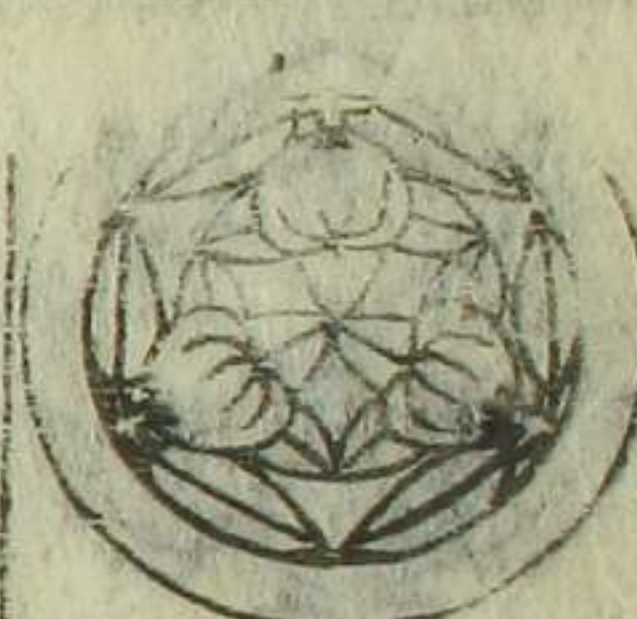
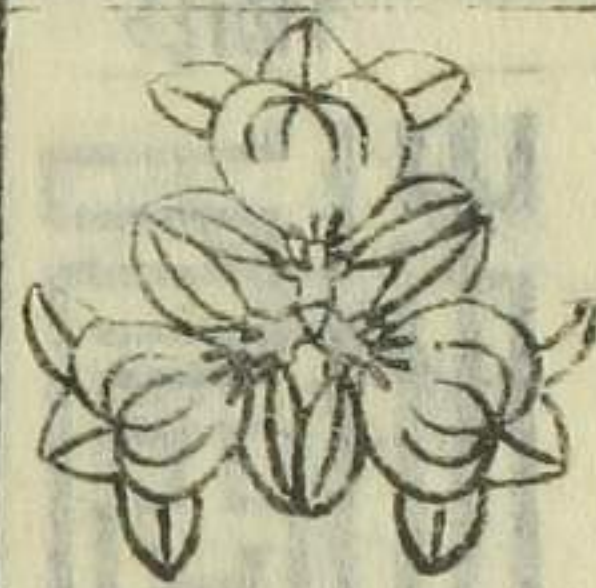
そのりさか二 そのりさか丸 そのりさかひら 羽に 鷹



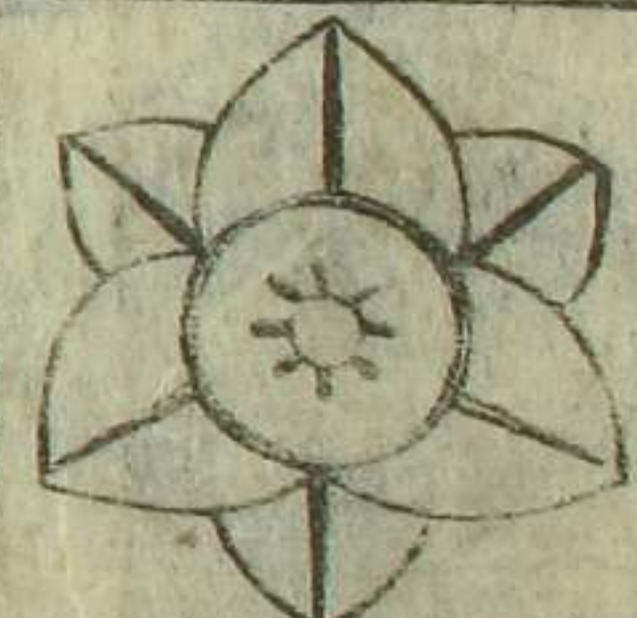
そのりさか丸 そのりさかひら そのりさか一 字 象



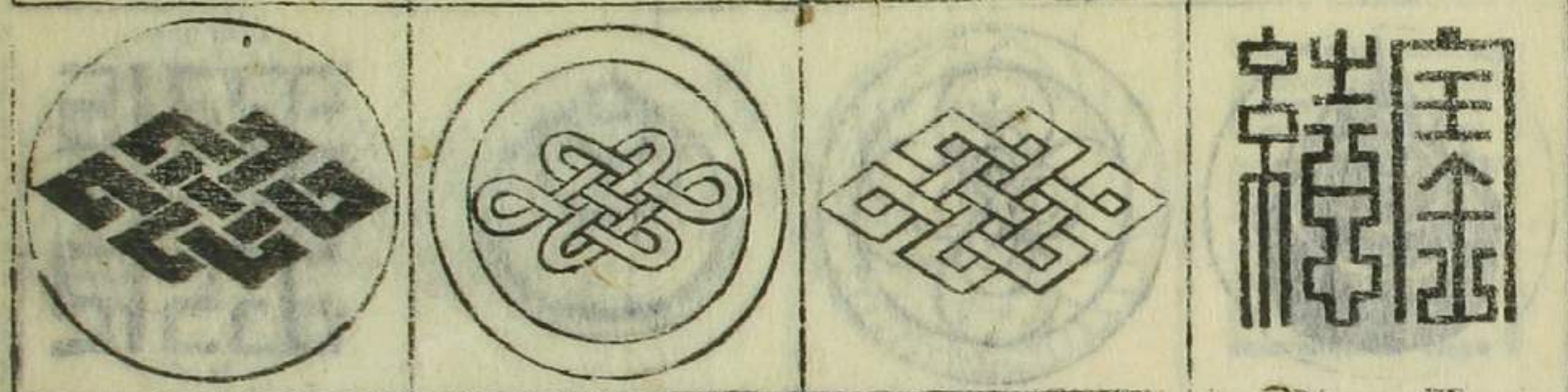
そのりさか二 そのりさか丸 そのりさかひら そのりさか一



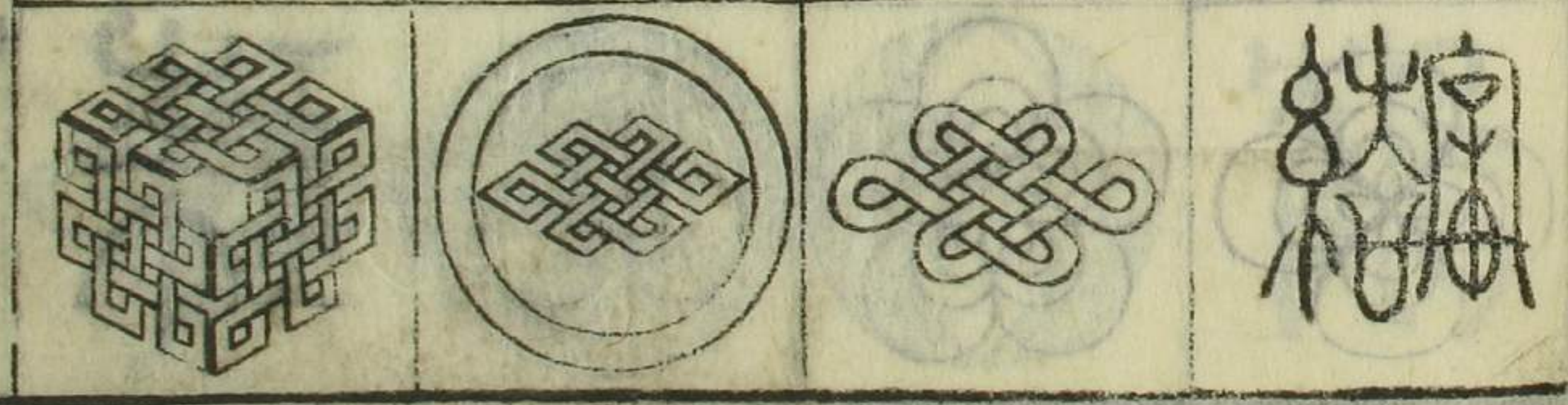
そのりさか二 そのりさか丸 そのりさかひら そのりさか一



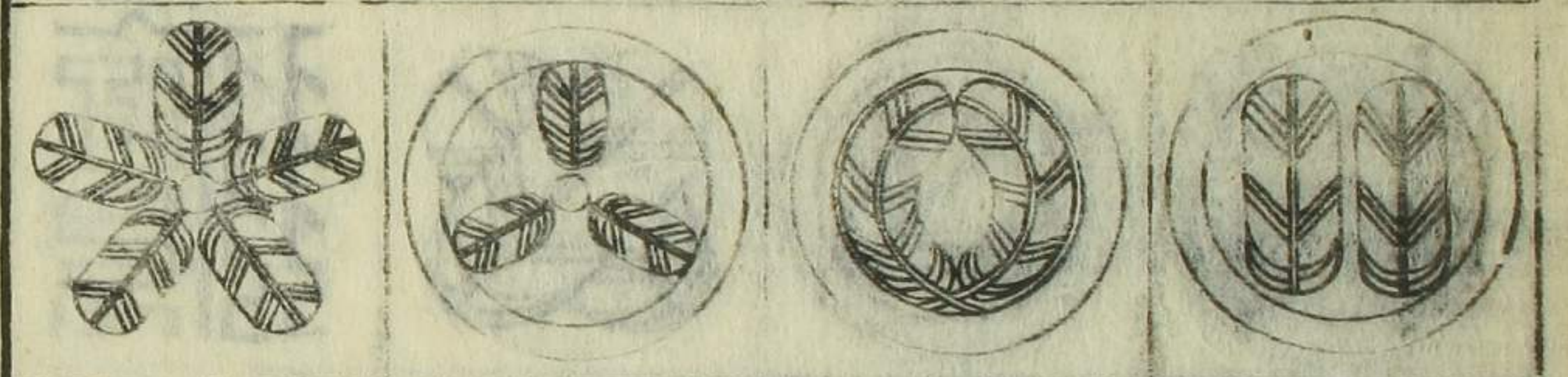
ひそむらふに ひとむらふ丸 ひとむらふと 結寶



ひとむらふ丸 ひとむらふ丸 ひとむらふ丸 字象



そのむらふ丸 ひとむらふ丸 ひとむらふ丸 ひとむらふ丸



そのむらふ丸 ひとむらふ丸 ひとむらふ丸 ひとむらふ丸



鳥のついで 鳥のついで 鳥のついで 鳥

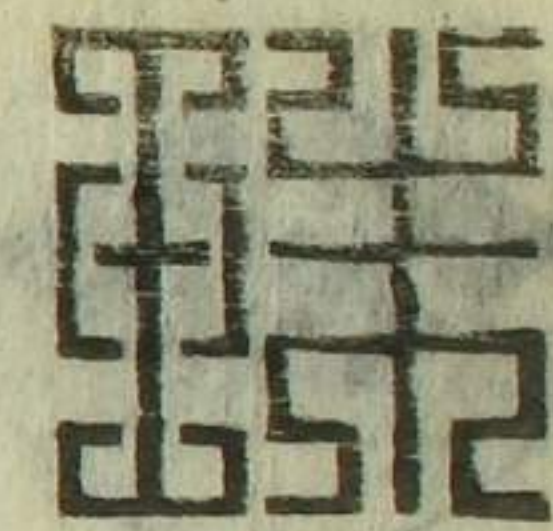
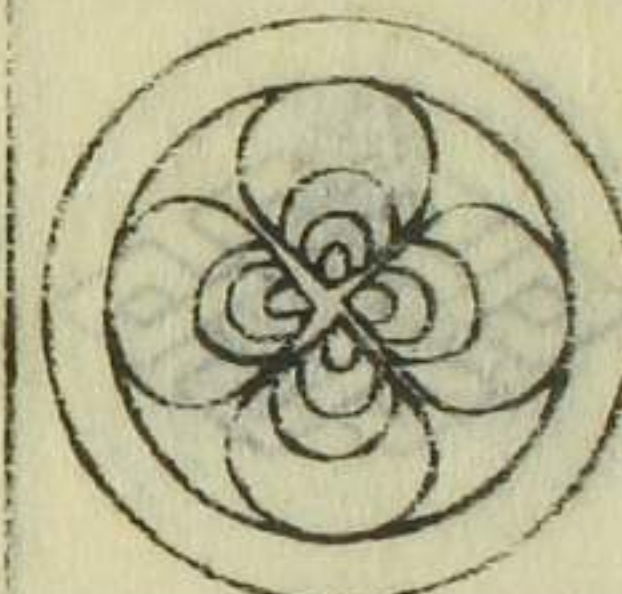


しむるは 鳥のついで 鳥のついで

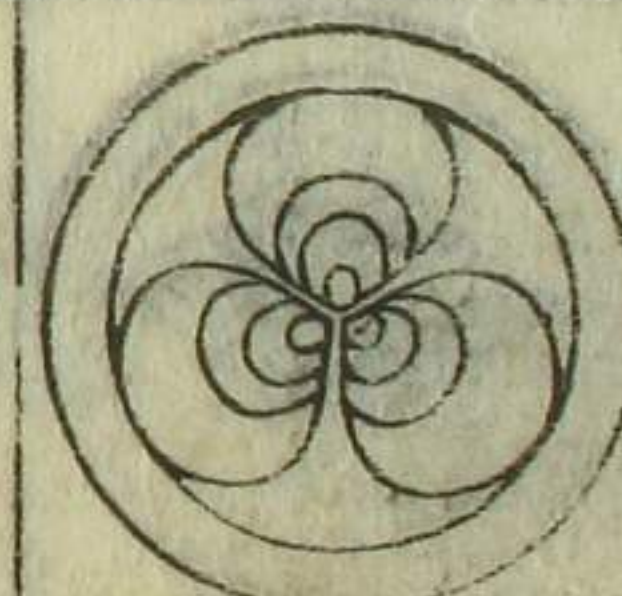
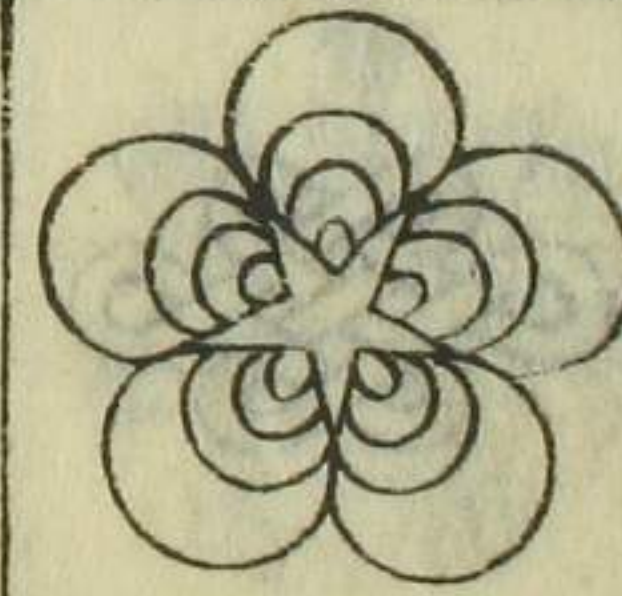
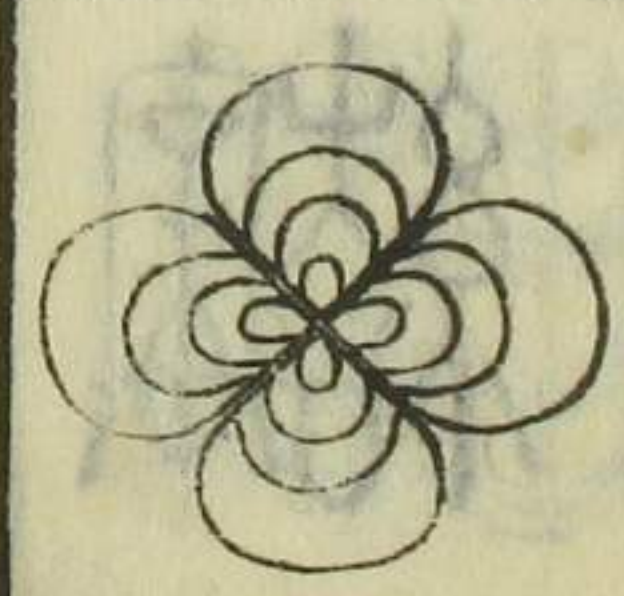
字篆


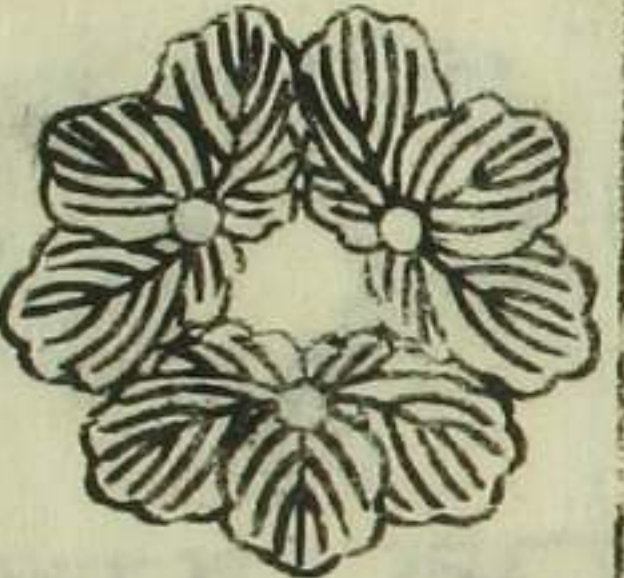

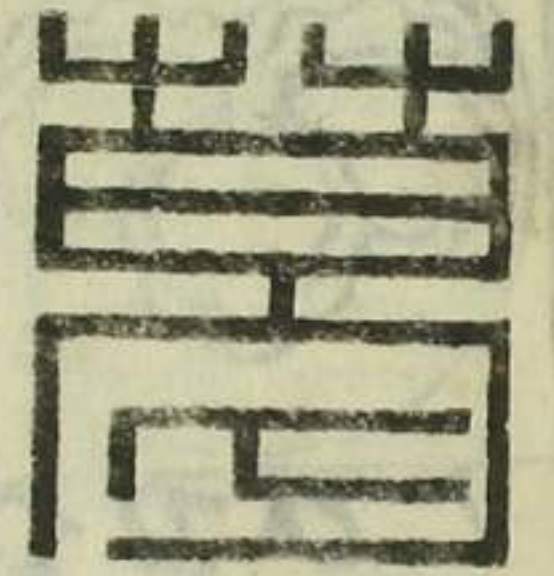
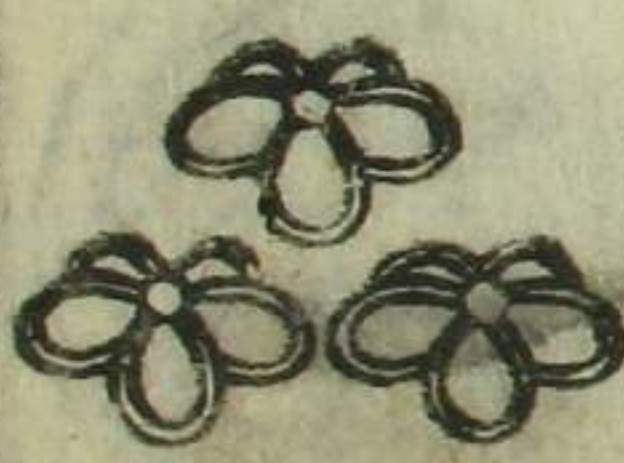






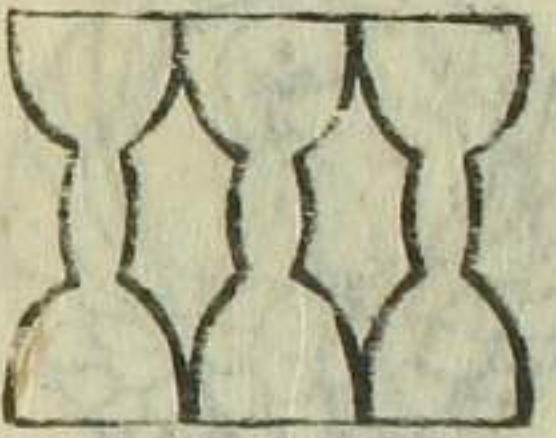
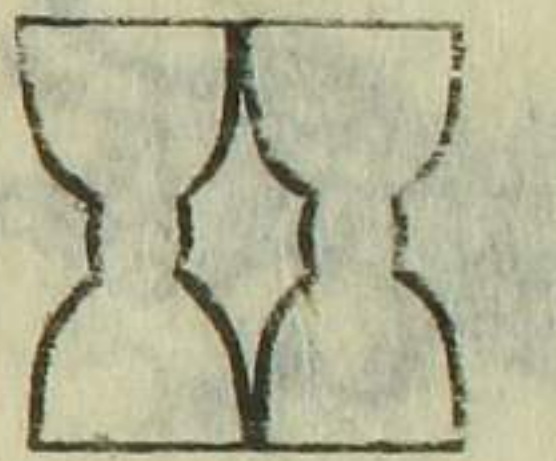

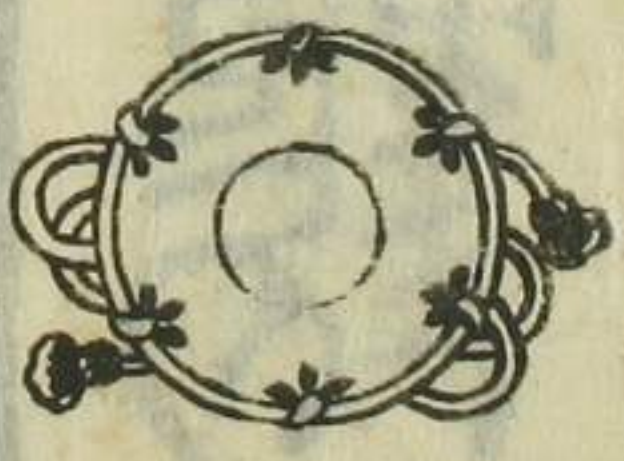
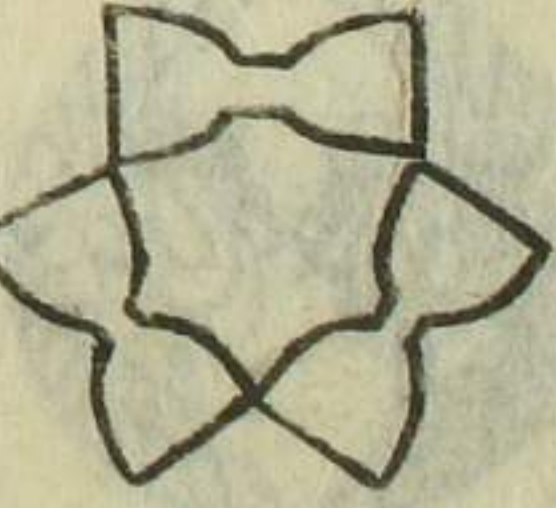
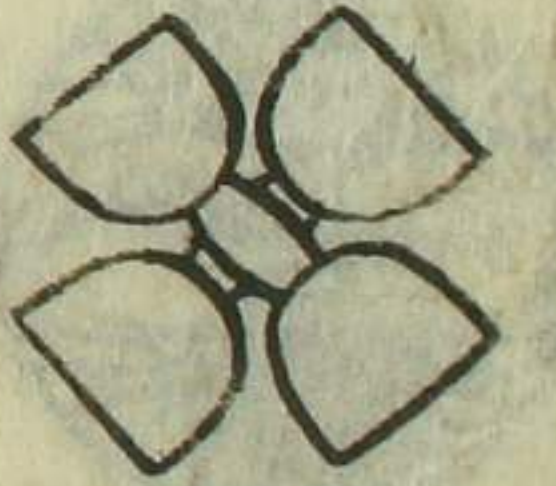

玉のついで 玉のついで 玉のついで 珠



玉のついで 玉のついで 玉のついで 字篆



よつねを	よつと	よつは	高
			
よつねを	よつと	よつは	字 景
			

み	よつねを	よつと	鼓
			
よつへら	よつと	よつと	字 景
			

のつと丸	のつと丸	のつと丸	角
			爾
のつと丸	のつと丸	のつと丸	字象
			爾

のつと丸	のつと丸	のつと丸	のつと丸
のつと丸	のつと丸	のつと丸	のつと丸

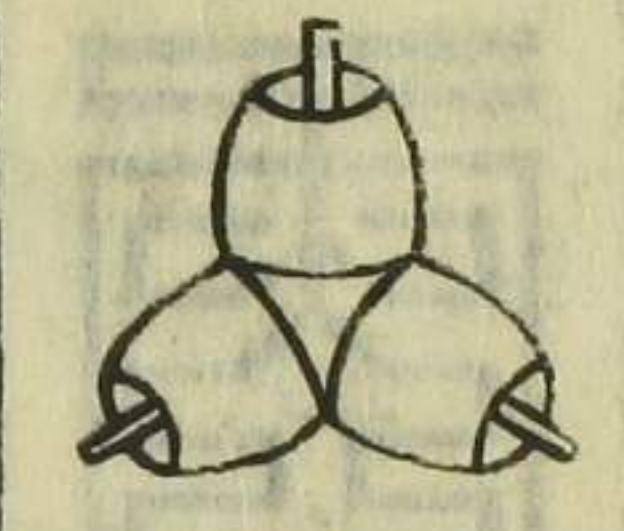
三十一

種?

ちつに丸

ちつはちくに

ちつとよ

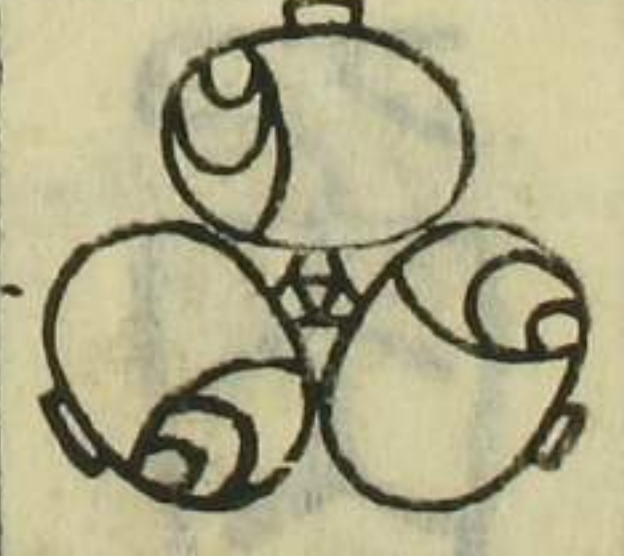
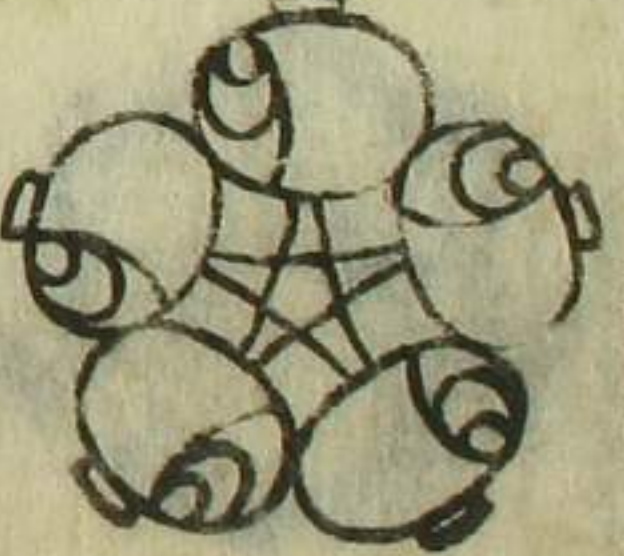


字篆

ちほつ八

ちほつ一

ちつ之

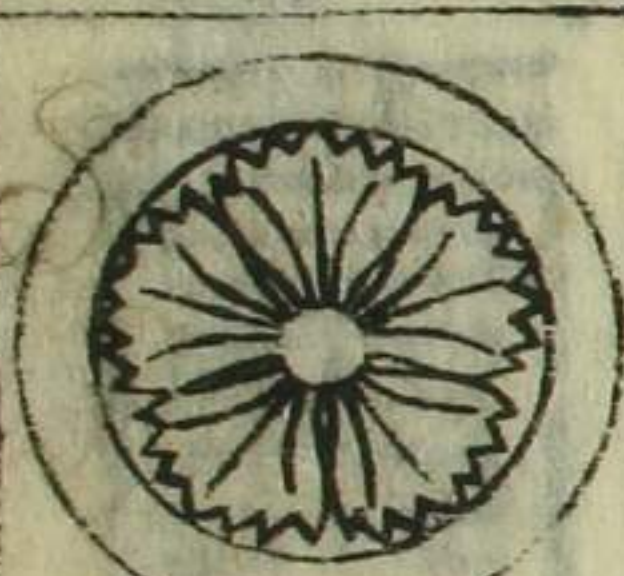


子之種

としでか

ちほつ

ちほつ



字篆

ちほつ

ちほつ

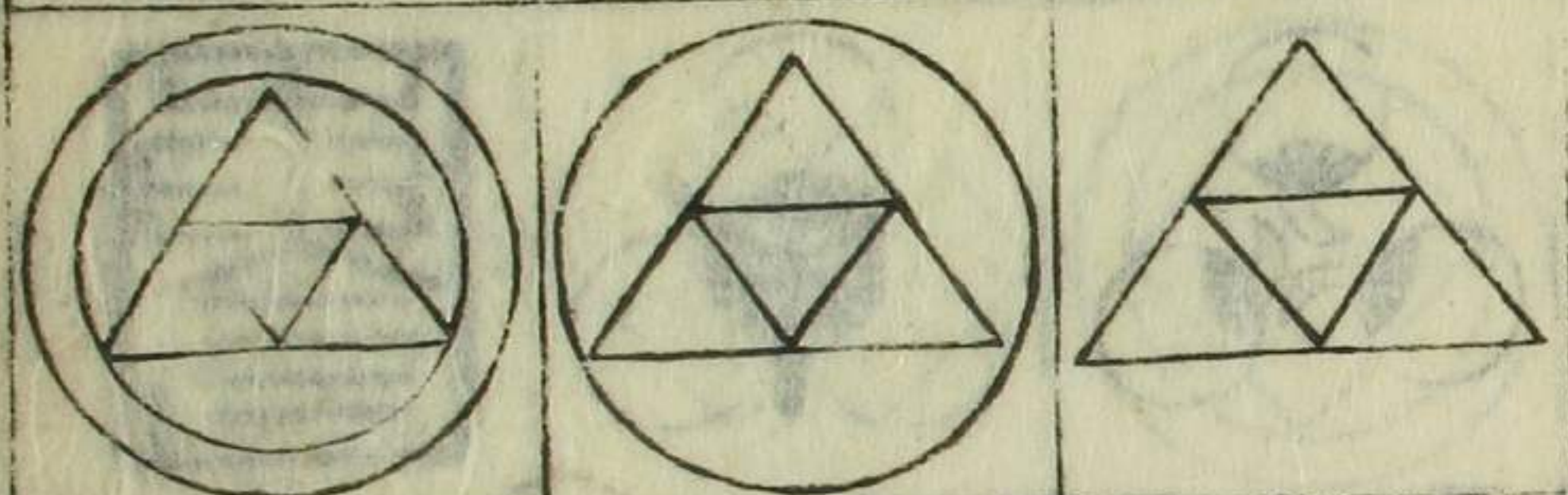
ちほつ



ちとめむす	八めびのけり	ちとめむ	梅 <small>うめ</small>
八福 <small>はちふく</small>	ちとめむ <small>ちとめむ</small>	ちとめむ <small>ちとめむ</small>	字篆

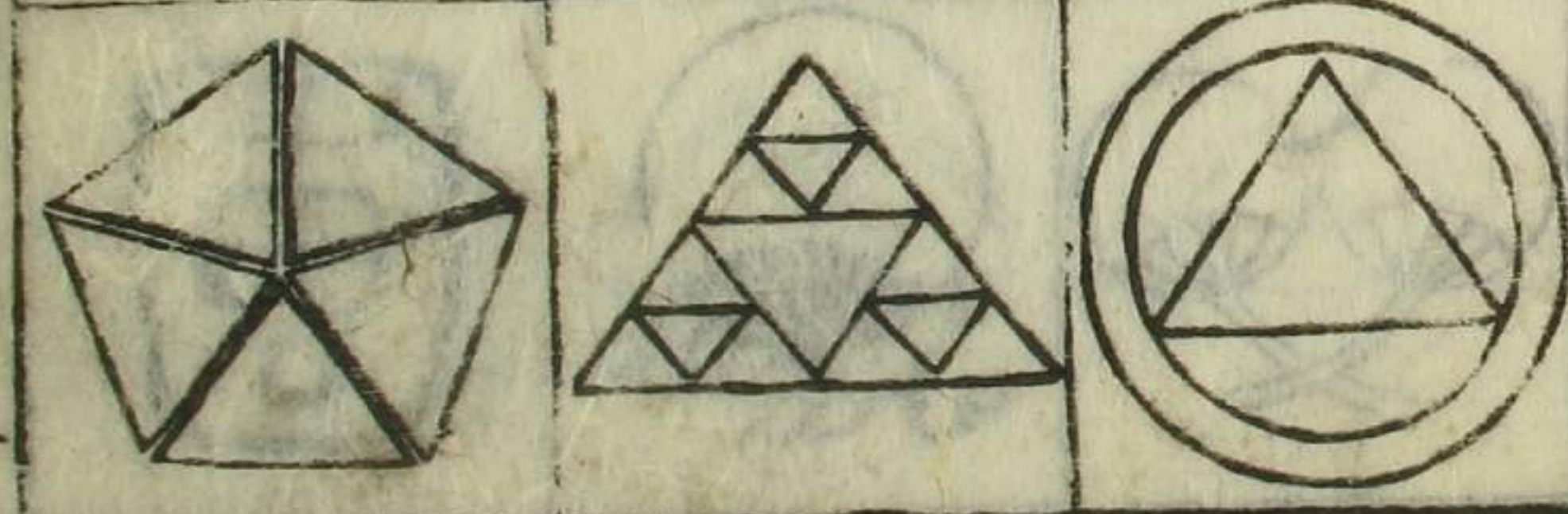
八つさひむ	八つさくか	八つさどえ	天 <small>あま</small> 南 <small>みなみ</small>
八つさむらむ	八つさむらむ	八つさむらむ	字篆

ころろろ丸 ころろろ丸 ころろろ丸 鱗

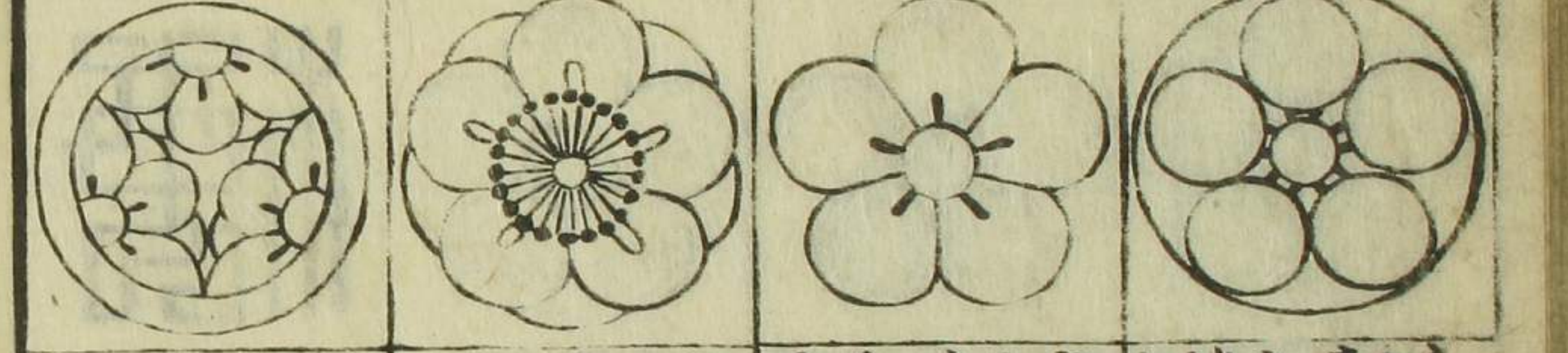


𩺰

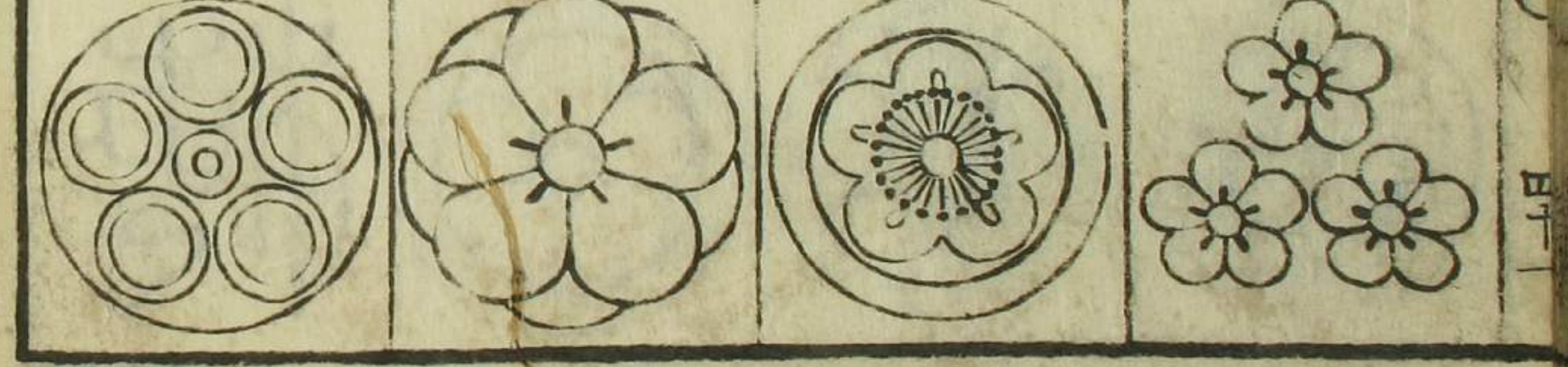
ころろろ丸 ころろろ丸 ころろろ丸 字篆



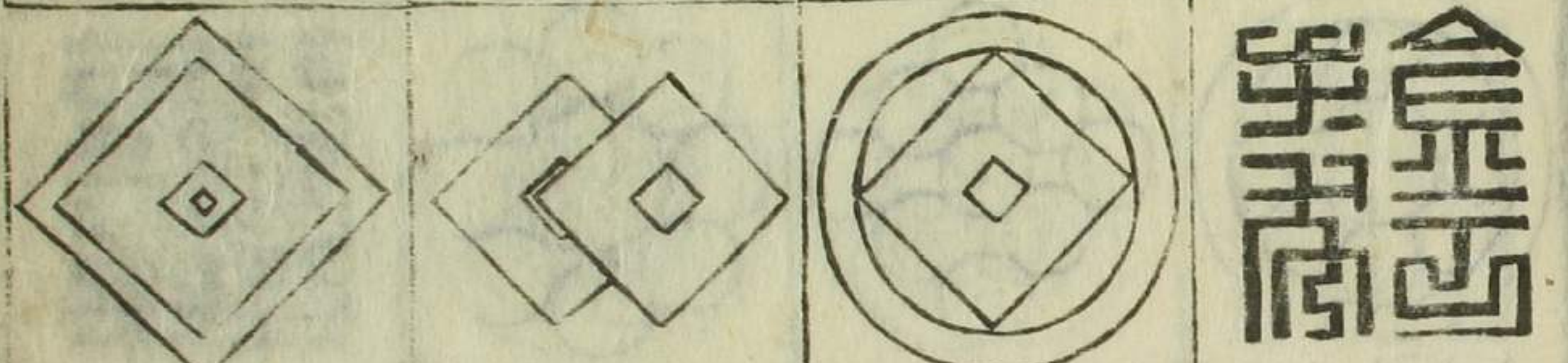
梅之丸 丸之丸 丸之丸 丸之丸



丸之丸 丸之丸 丸之丸 丸之丸

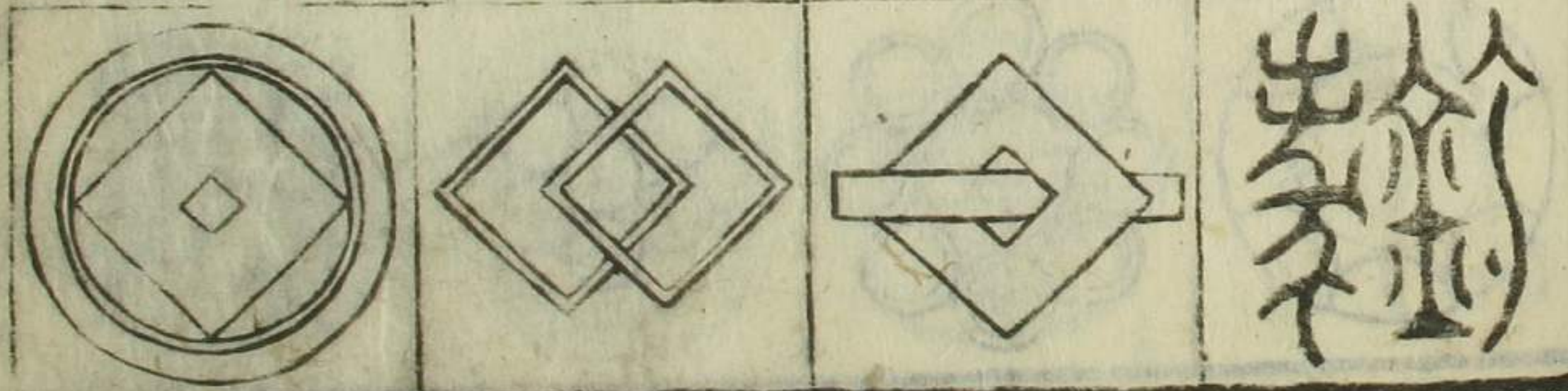


きぬたのけか きぬさくひうち きぬたに丸 梭釘



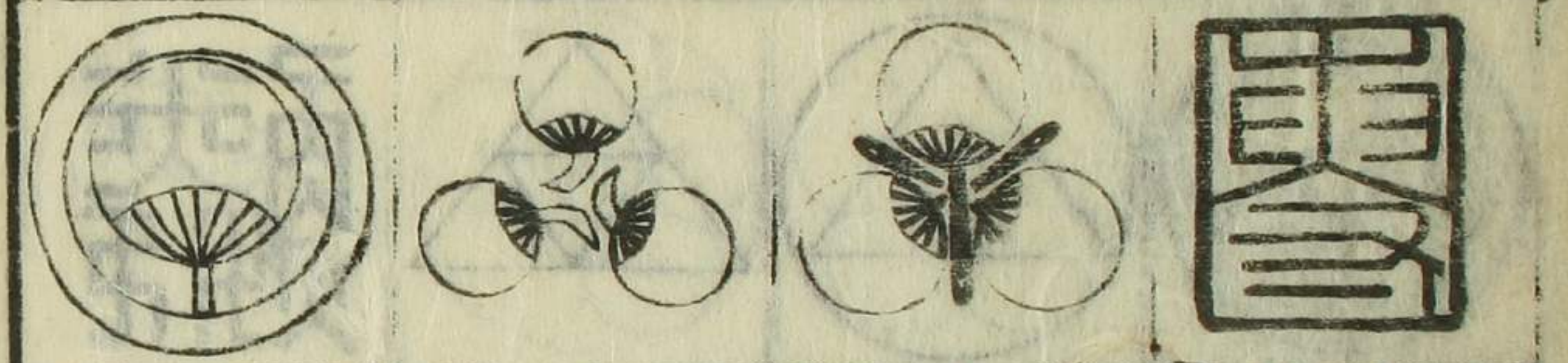
篆字

きぬたに丸 丸にきぬた 丸にきぬた



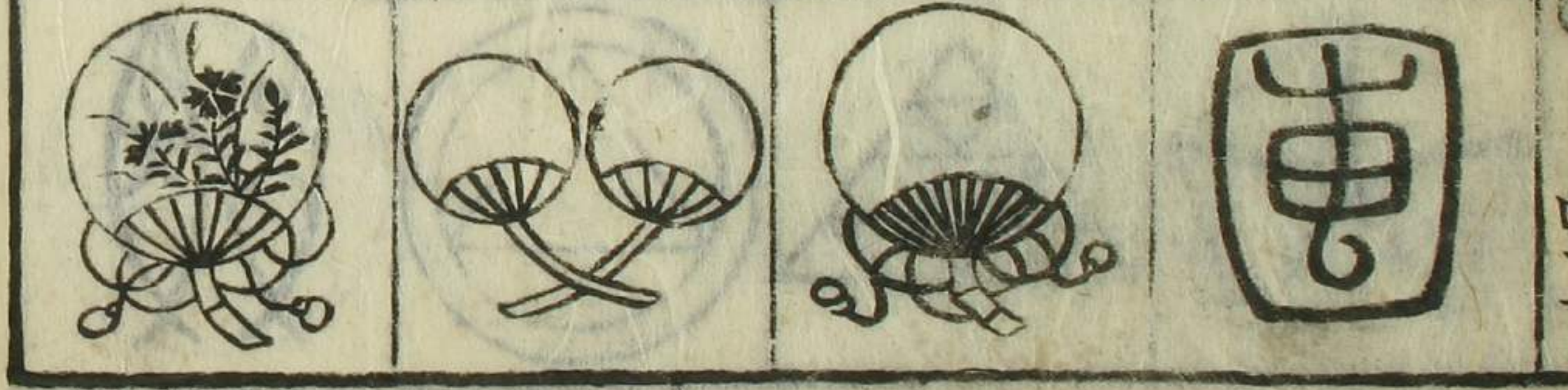
篆字

ハちうとを丸 ハちう美之 ハちうひちち



篆字

ハちう 丸 ハちうひちち 丸



篆字

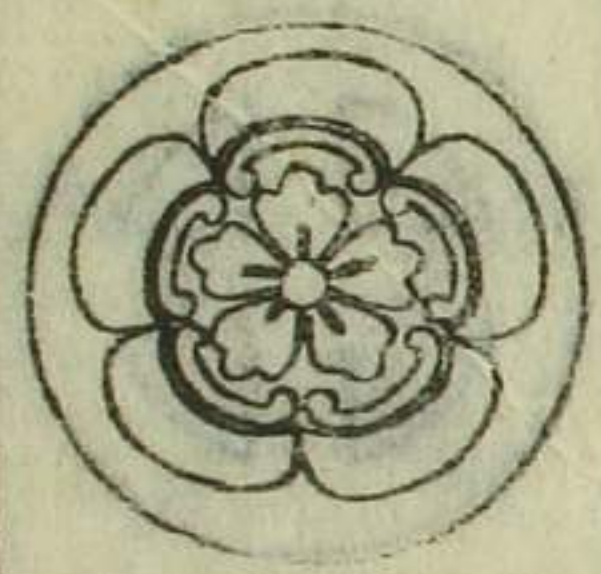
りふりふりふりふり



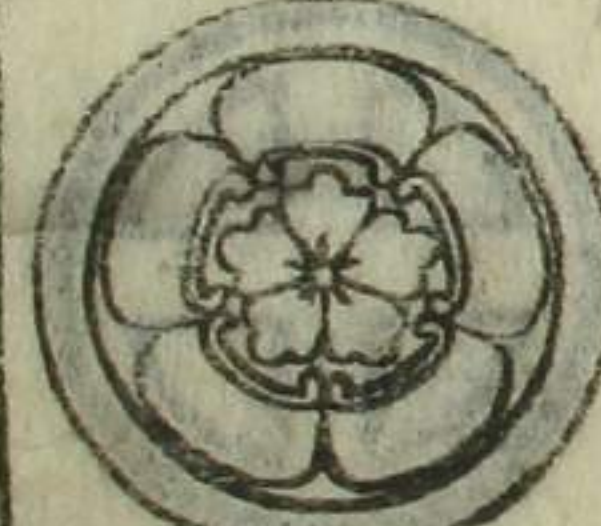
りふりふりふり



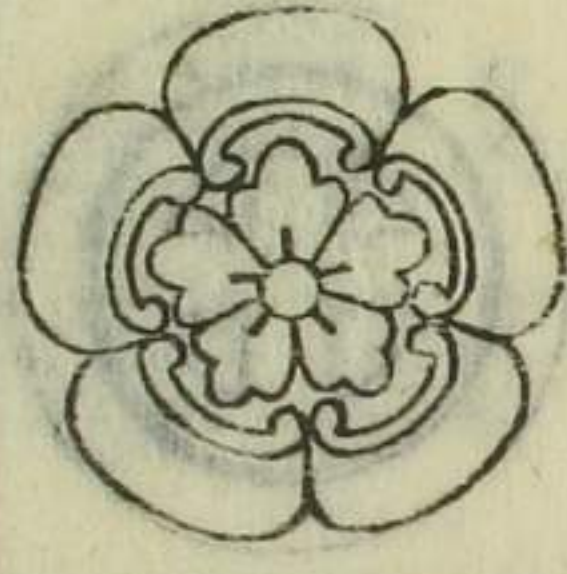
りふりふりふり



りふりふりふり



りふりふり



りふりふり



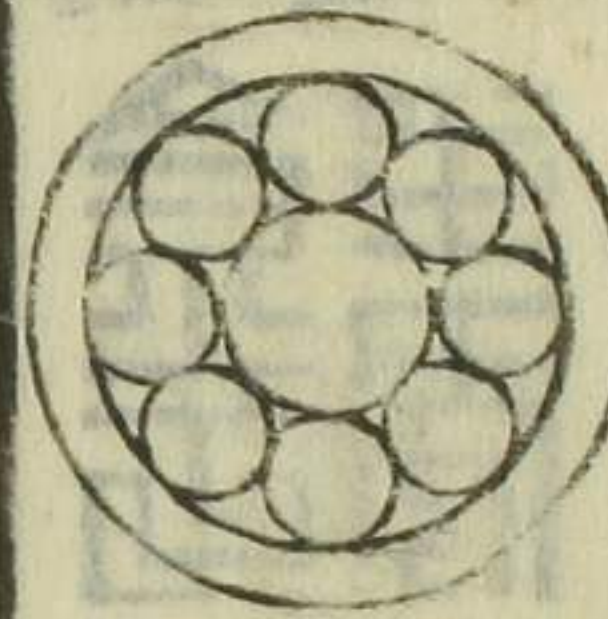
りふり



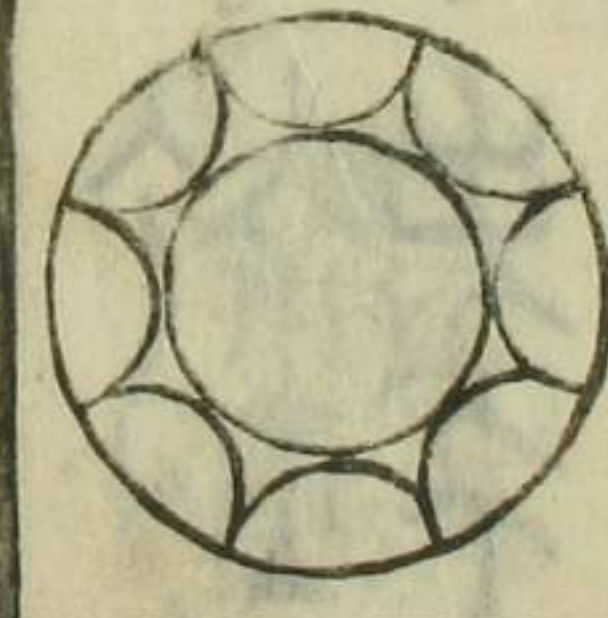
字篆



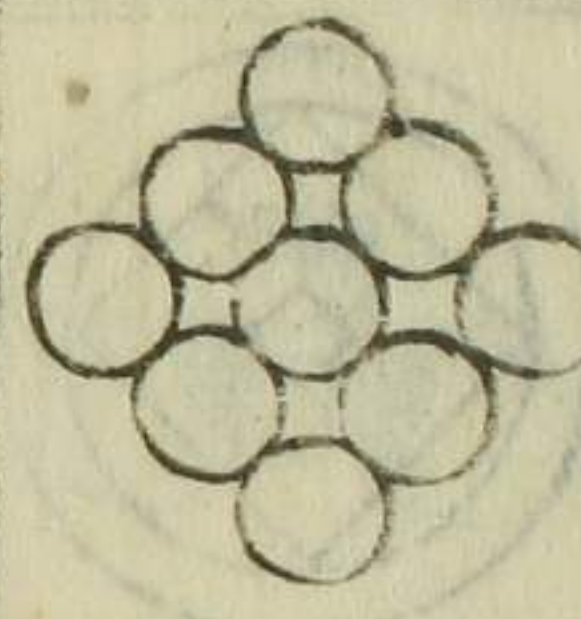
りふりふり



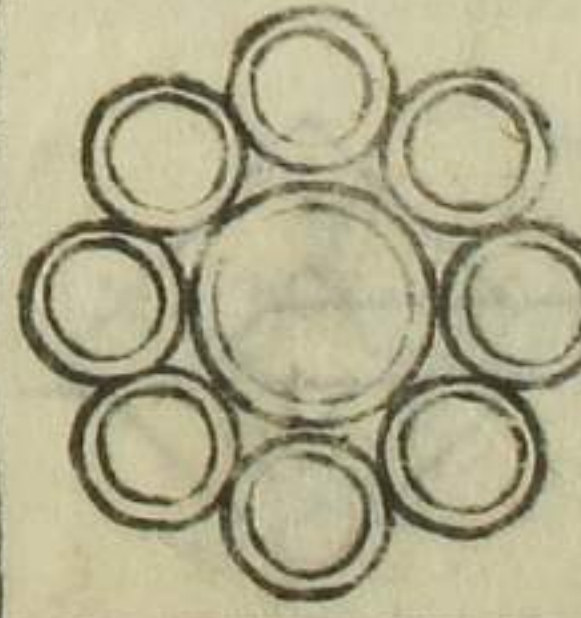
りふりふり



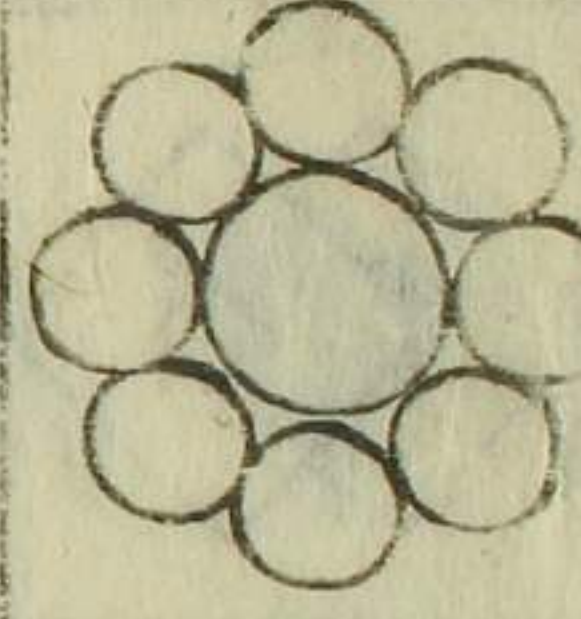
りふりふり



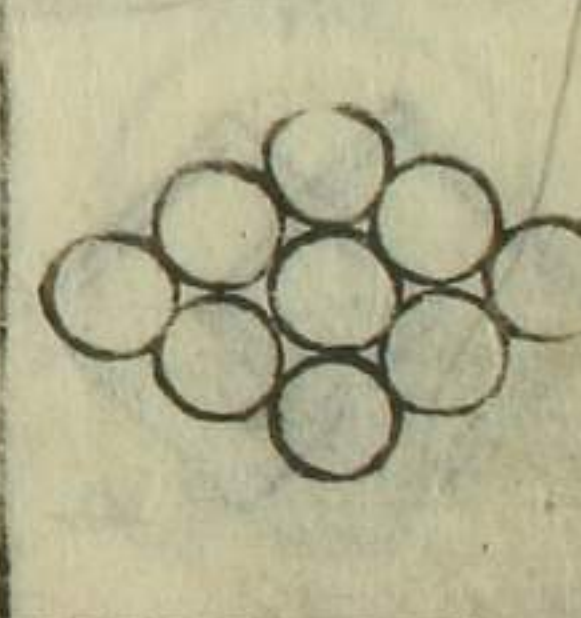
りふりふり



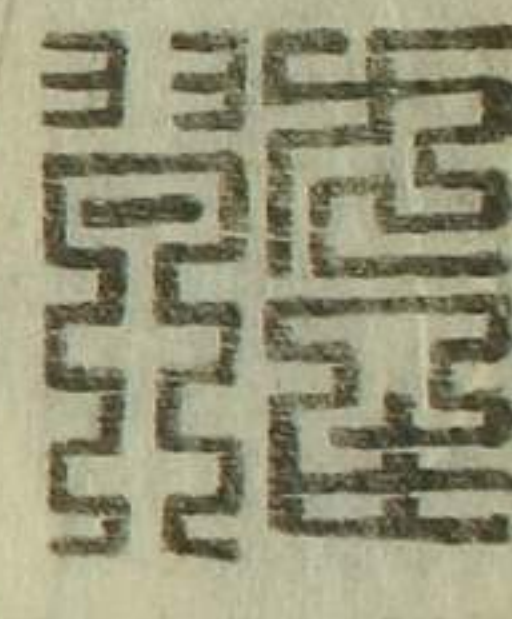
りふり



りふり



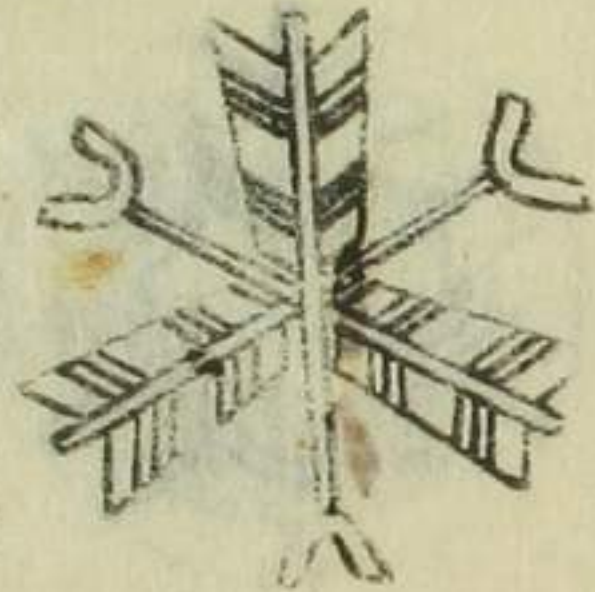
りふり



字篆



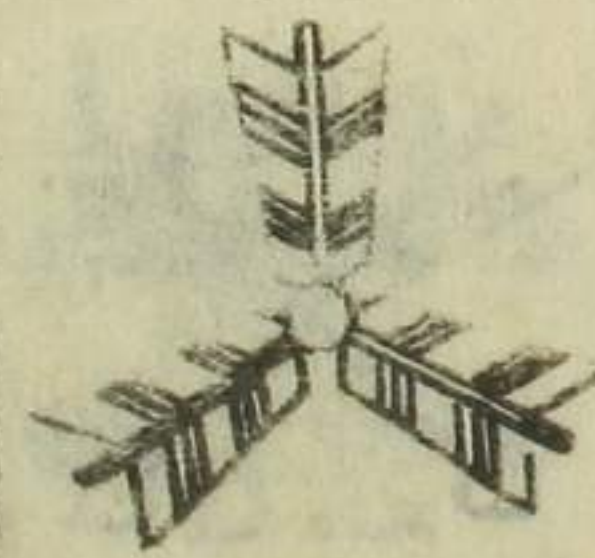
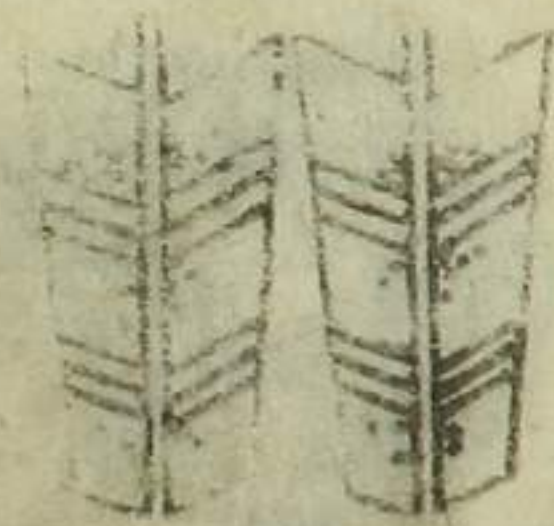
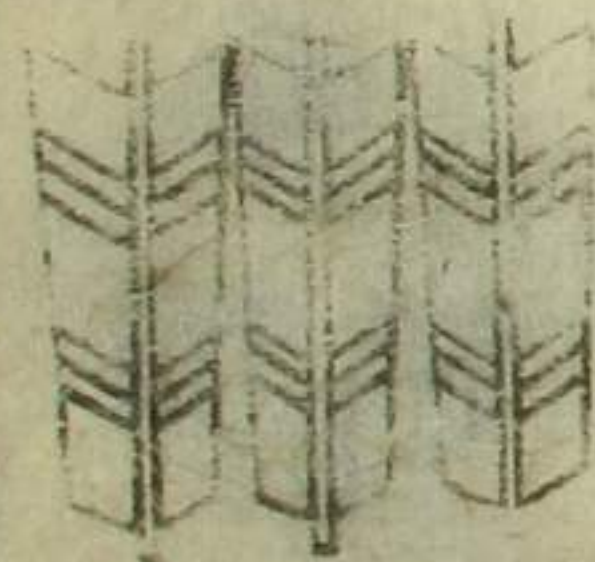
和ひがち 和むらさき 和ふさかき 矢



和のてし平之 和のてし平二

矢つ之

字象

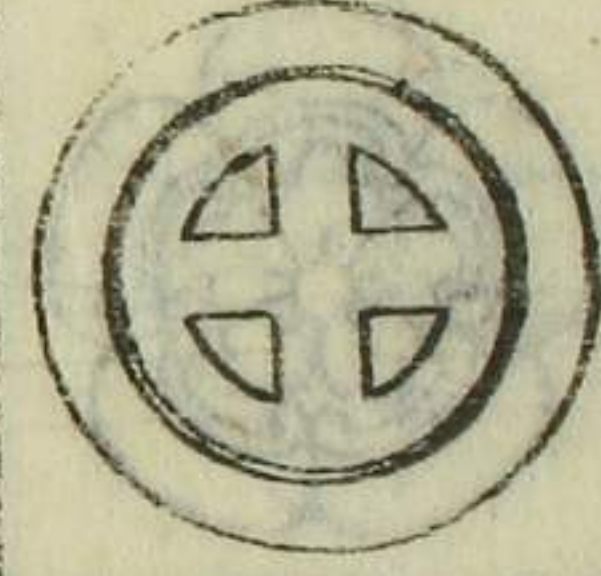


つくまちのこ

つく丸

つく

書

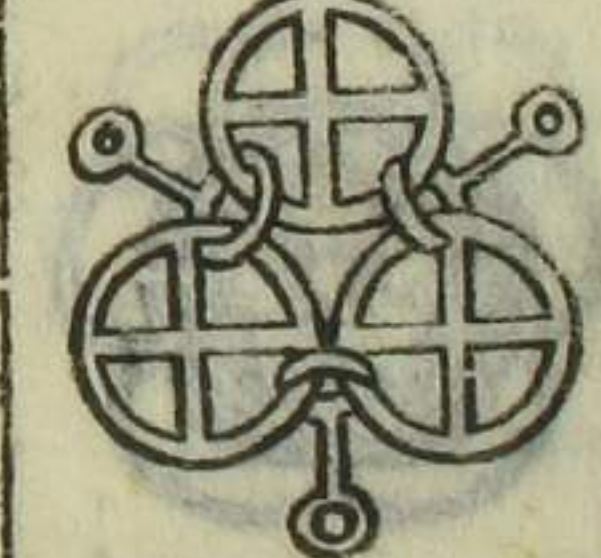
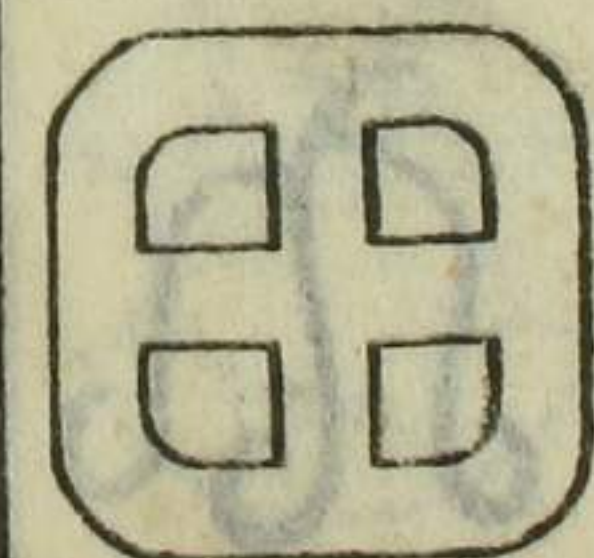


つくくか

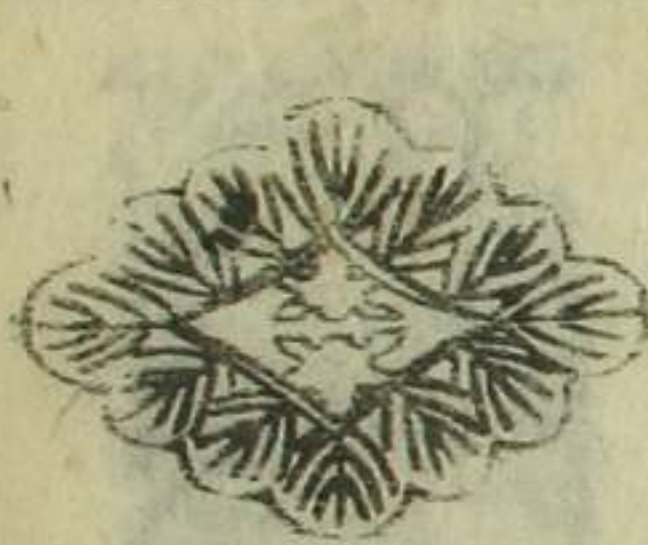
つくつ之

つきのけか

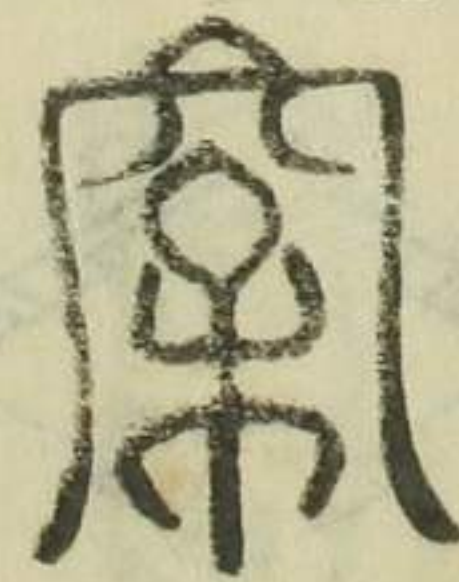
字象



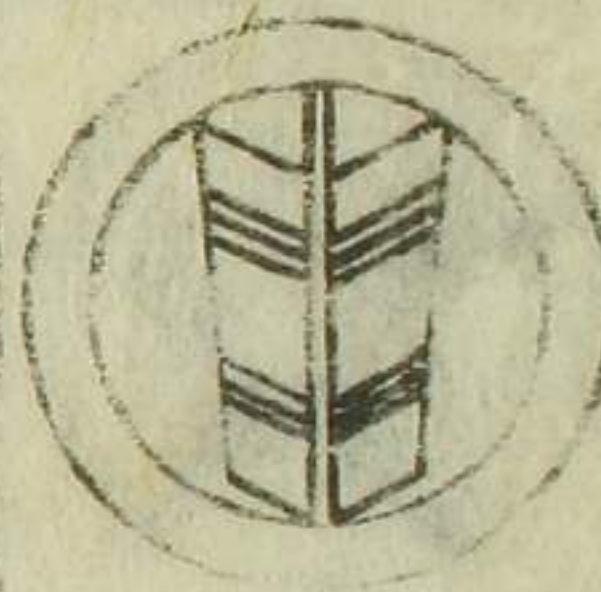
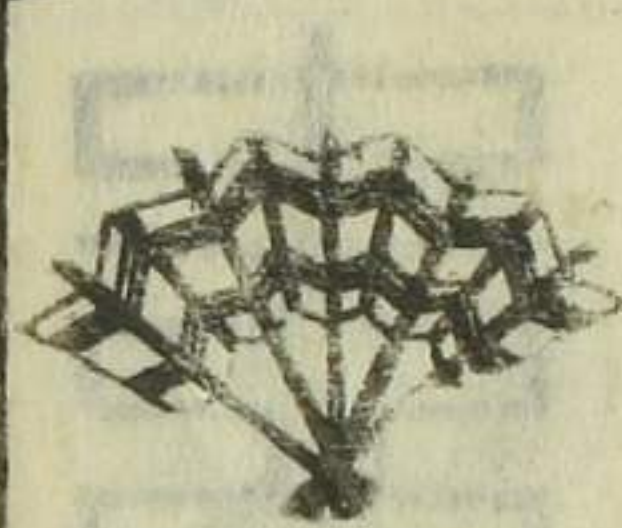
つましむ 丸つぼつと 松いろ云丸 松多



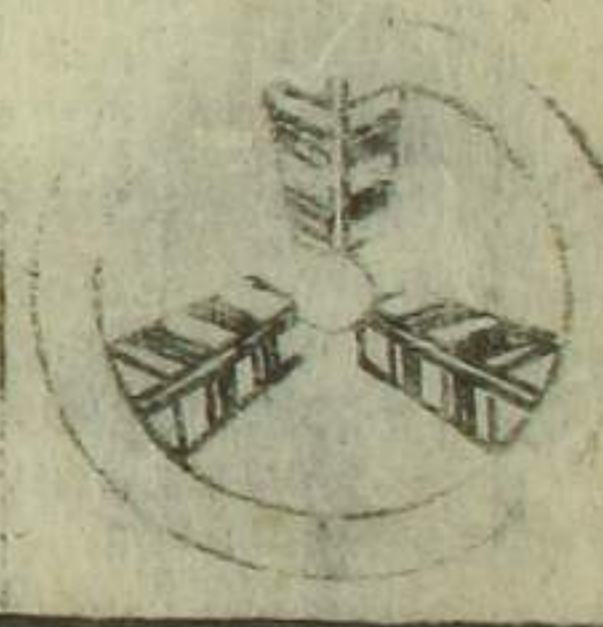
めま くお めまつと 松いろお丸 字 象



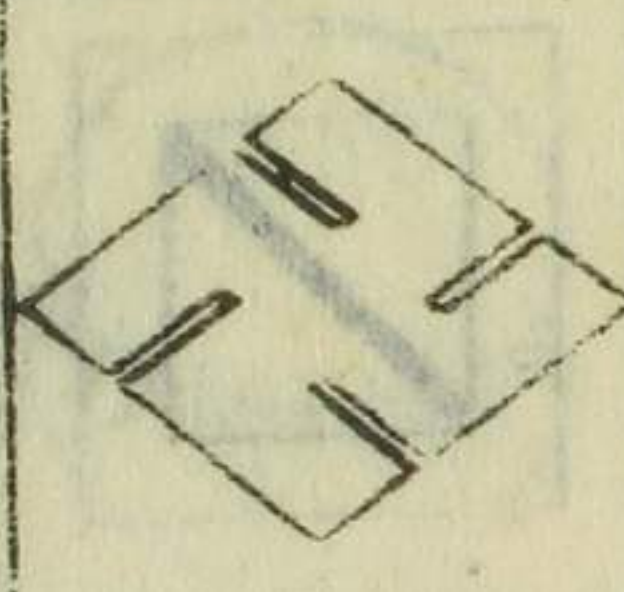
丸 丸お丸 矢つと 丸つと丸 丸お丸



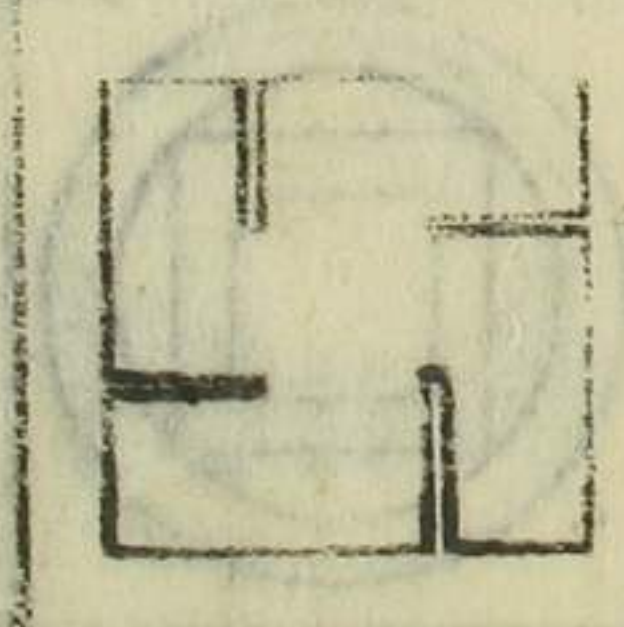
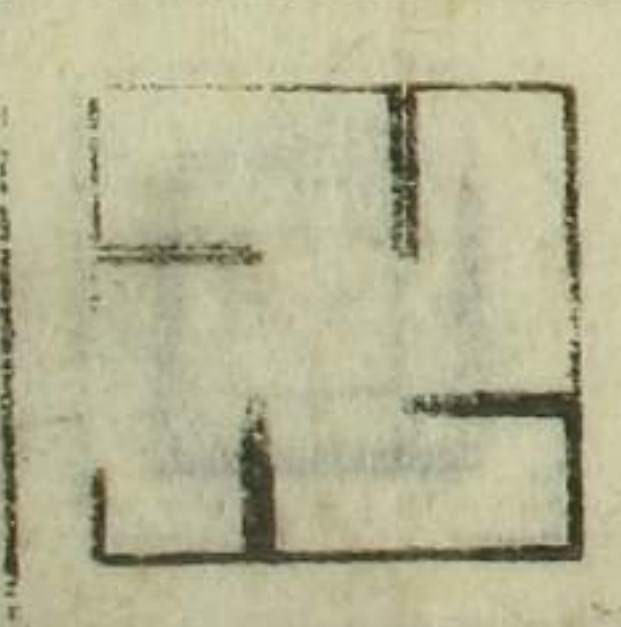
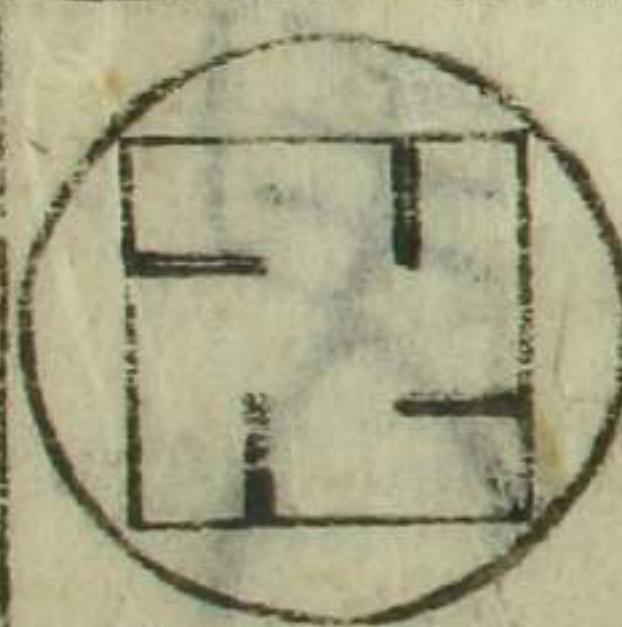
丸お丸お丸 丸お丸お丸 丸お丸お丸 丸お丸お丸



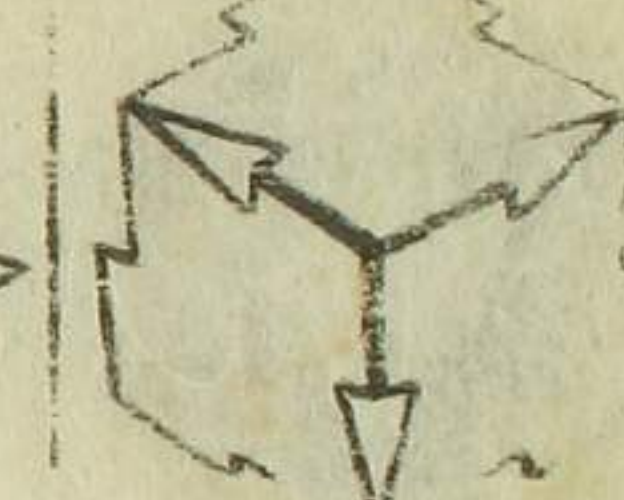
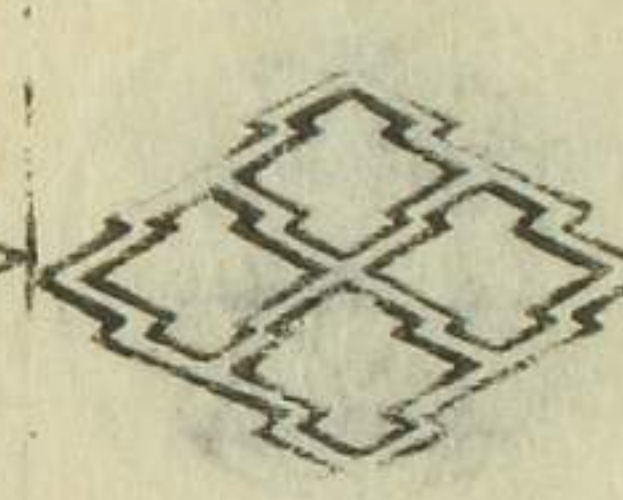
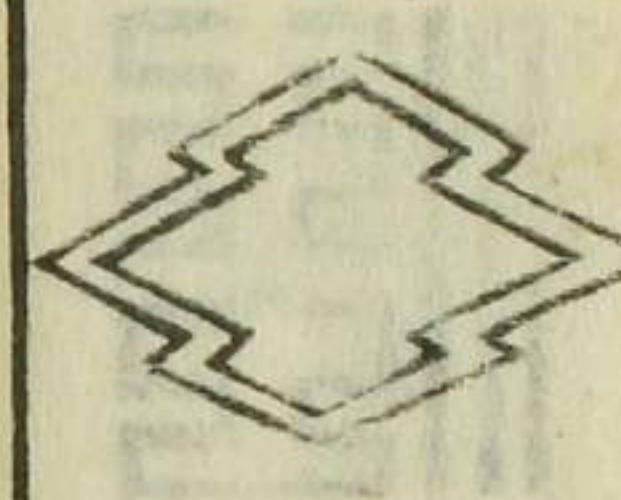
字 萬 萬 字



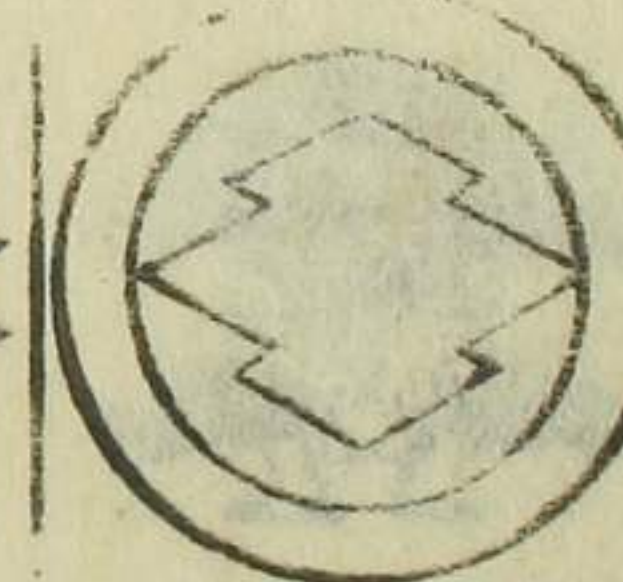
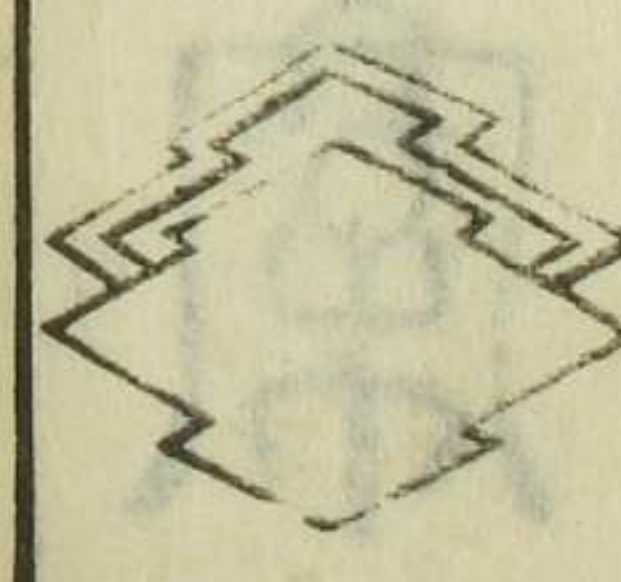
字 象 象 字



字 松 松 字



字 象 象 字

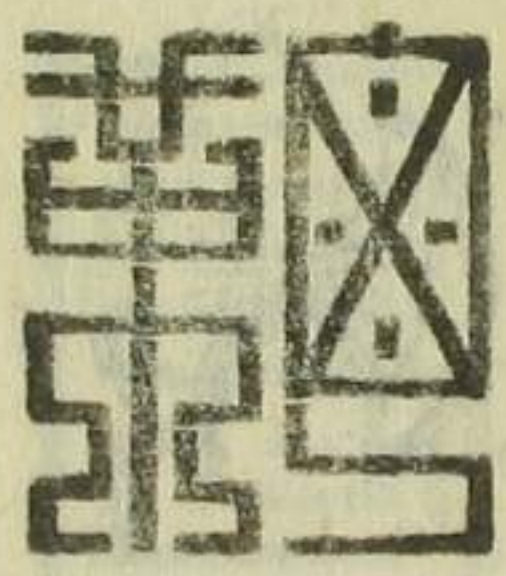
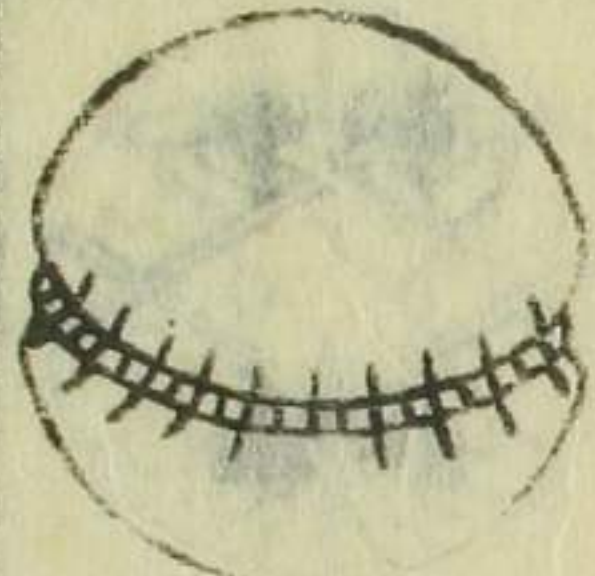


ミミミミミ

ミミミミミ

ミミミ

篆



ミミミミミ

ミミミミミ

ミミミミミ

篆

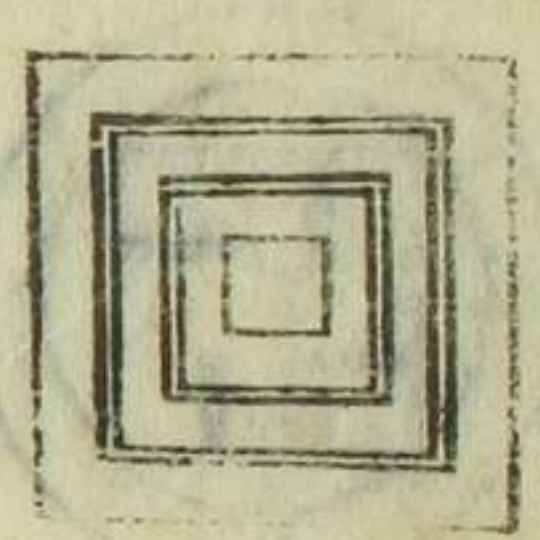
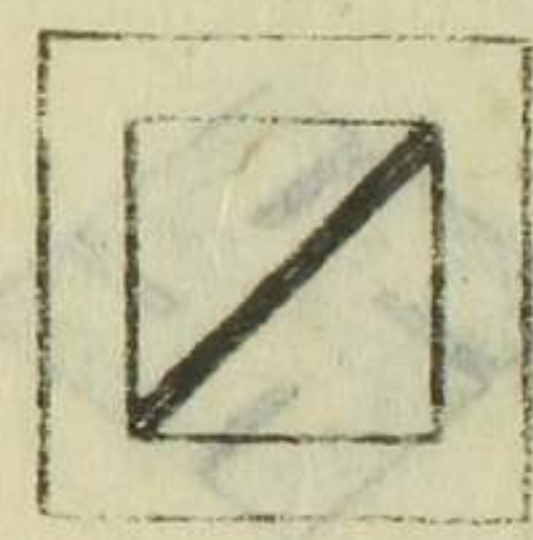
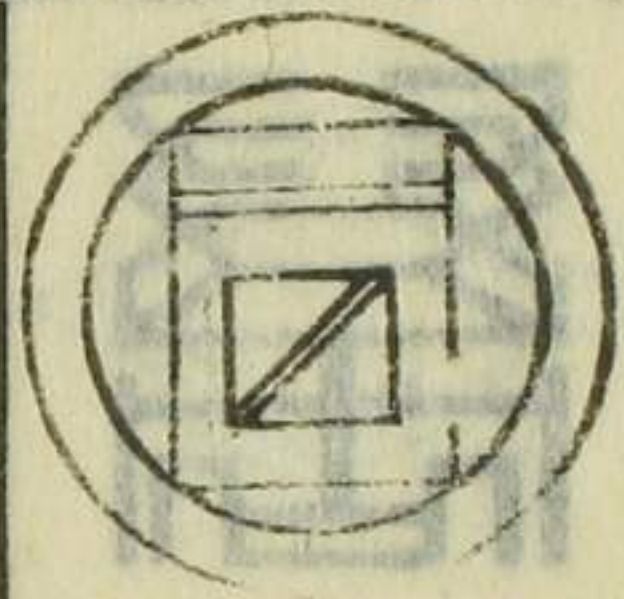


ミミミミミ

ミミミミミ

ミミミ

篆

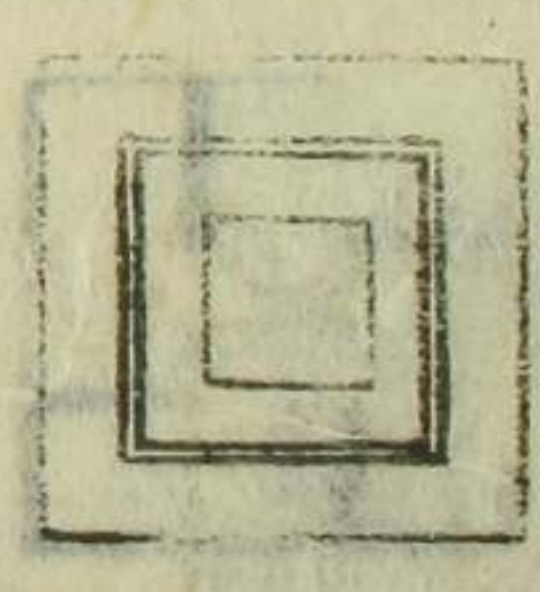
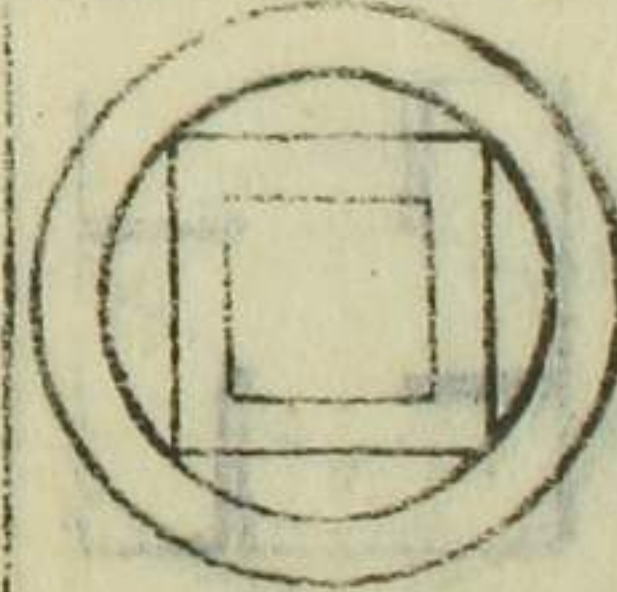
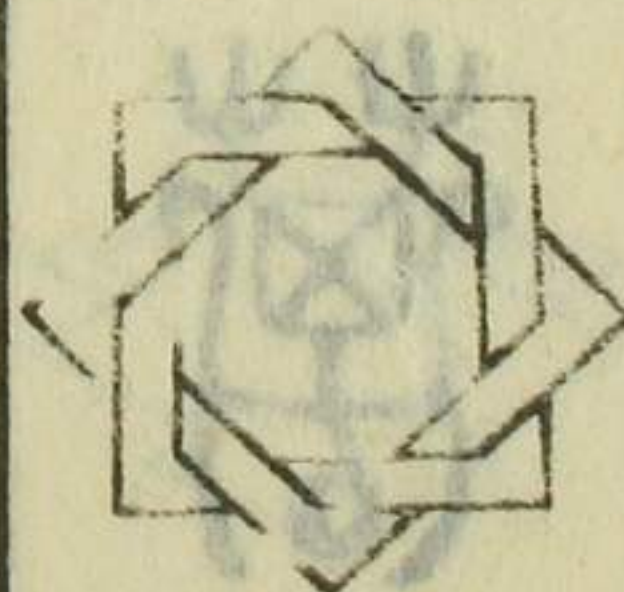


ミミミミミ

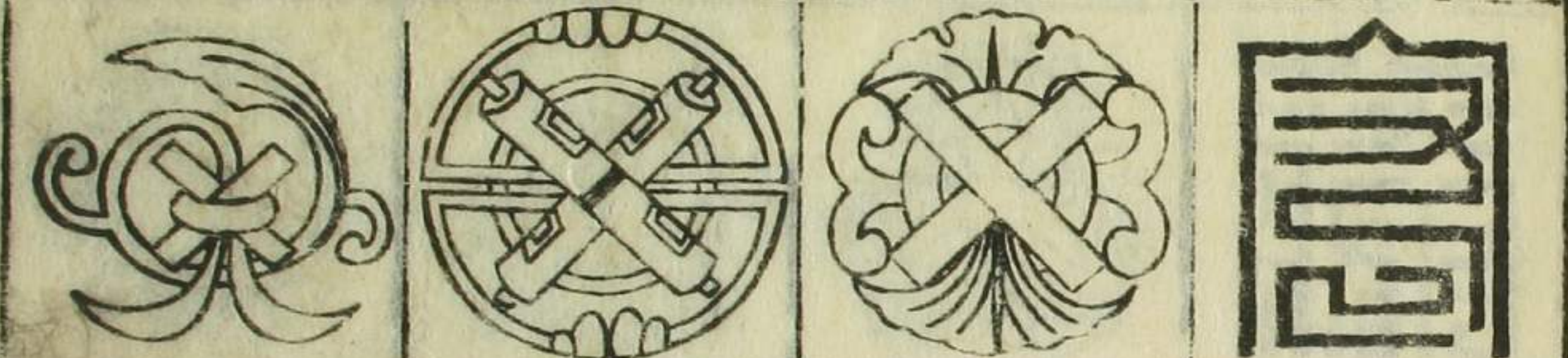
ミミミミミ

ミミミミミ

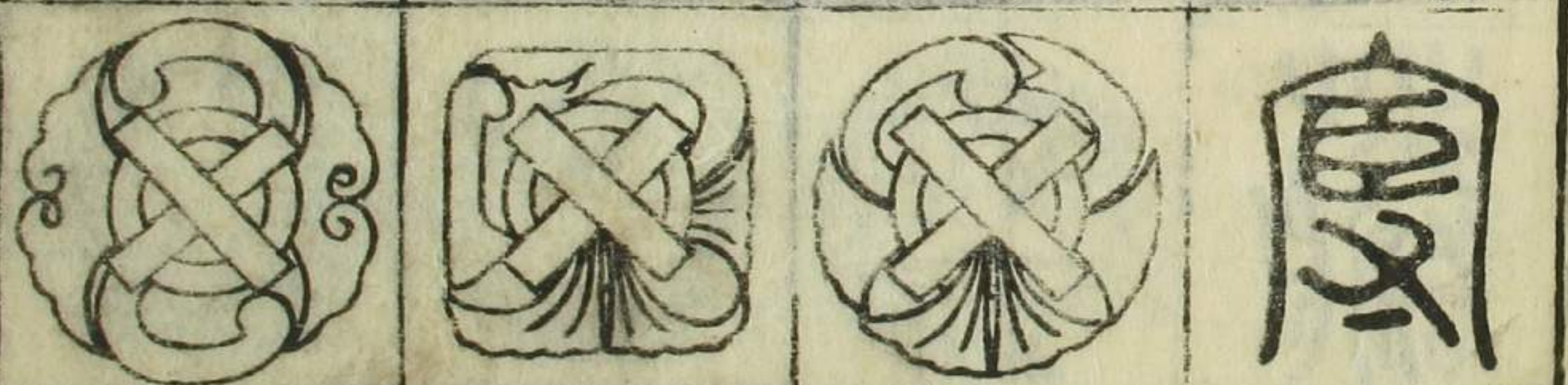
篆



守
守
守
守



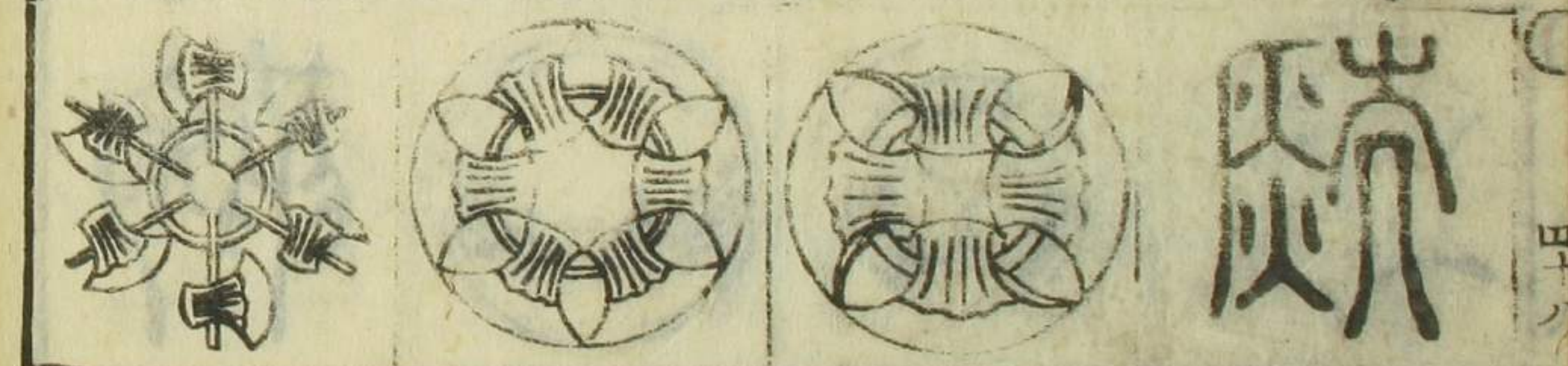
字
字
字
字



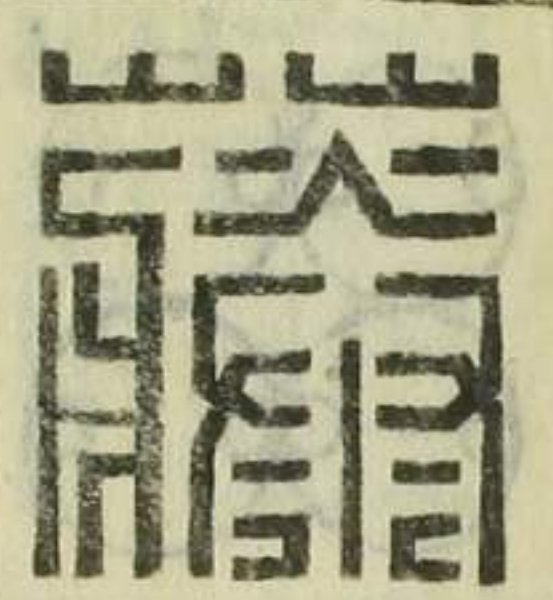
鉄
鉄
鉄
鉄



字
字
字
字



こがふ かのちふつ ちふつえ 藤

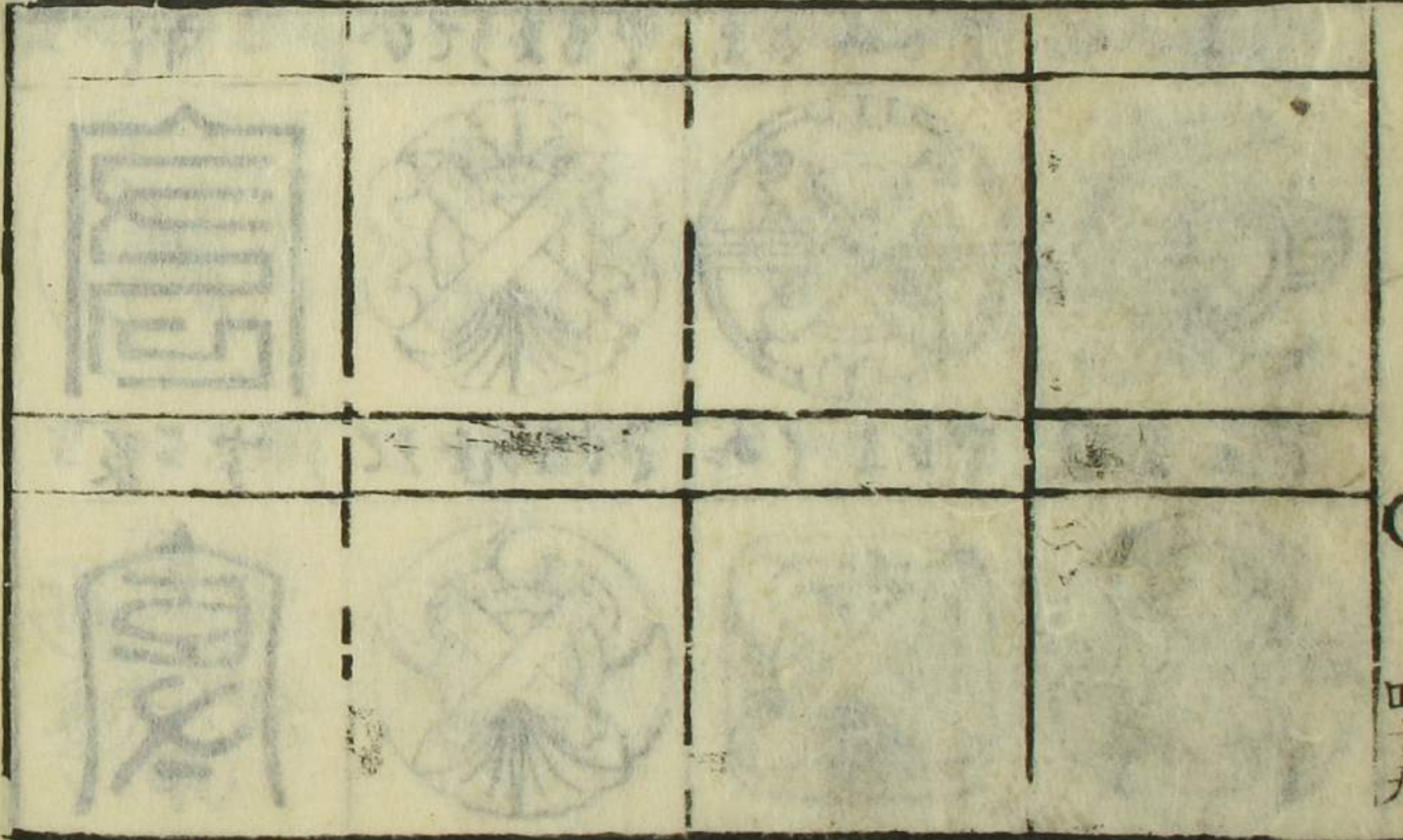


ちふつはの

ちふつかさ

えとちふ

字篆



くせごりり

徳五と

ぢとこひり

柱

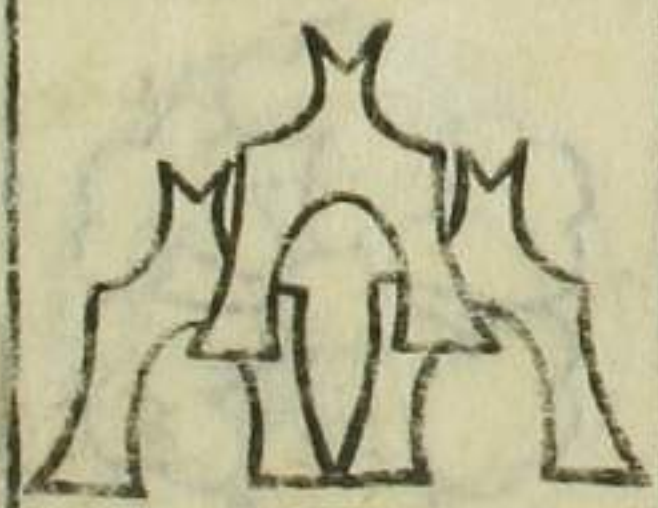


くせごりり

字篆

ちとこ

字篆

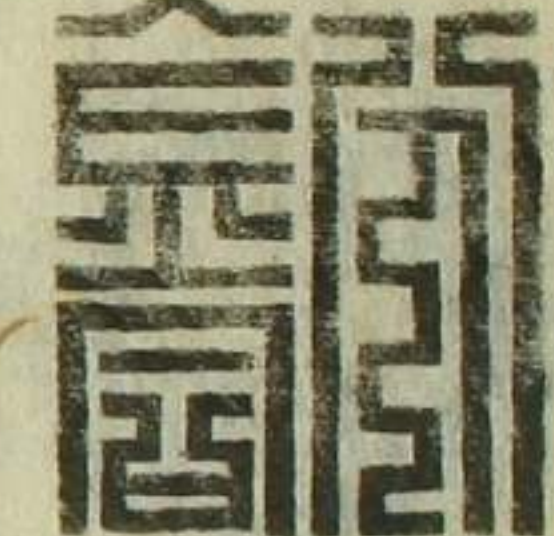
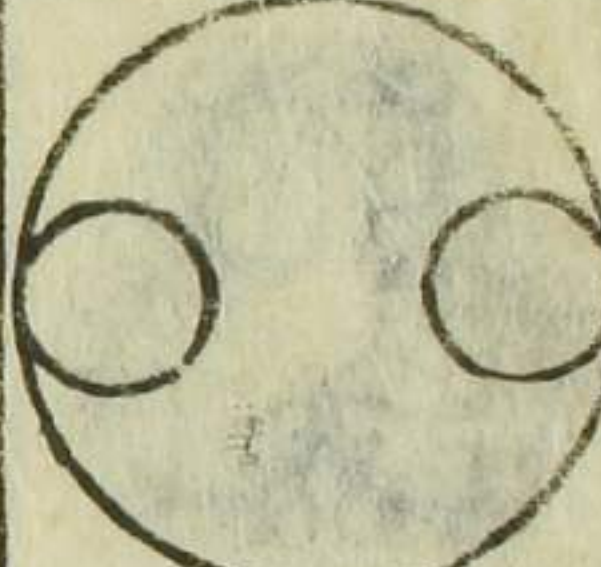
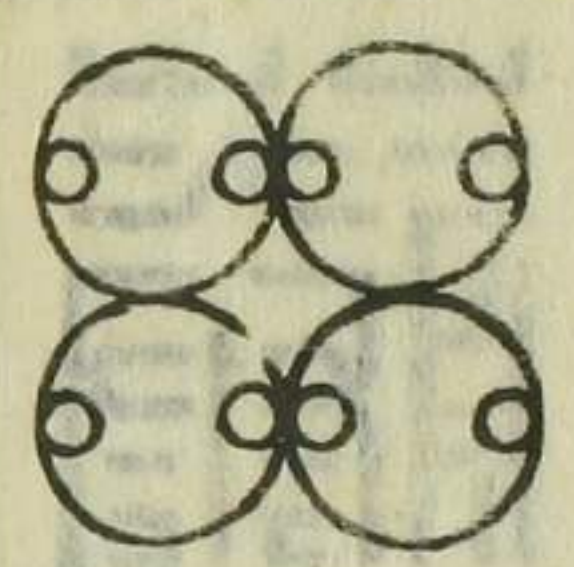


うとんふ

うとんふ

銅分九

しひぢふ

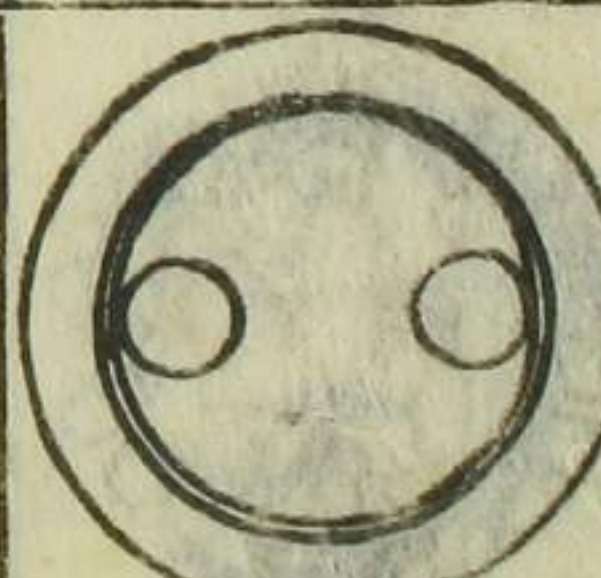
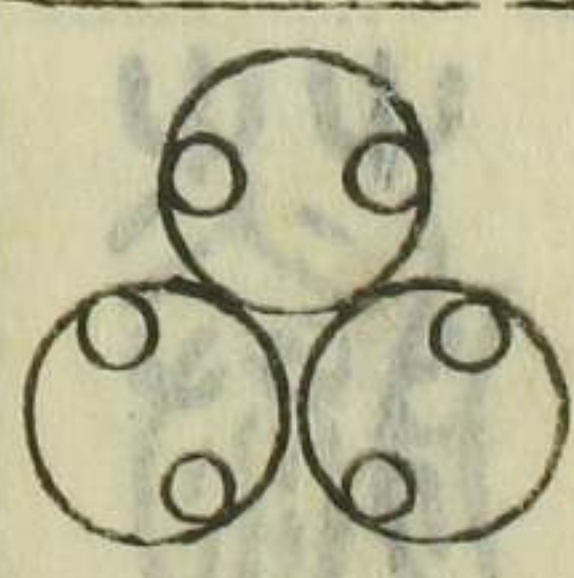


うとんふ

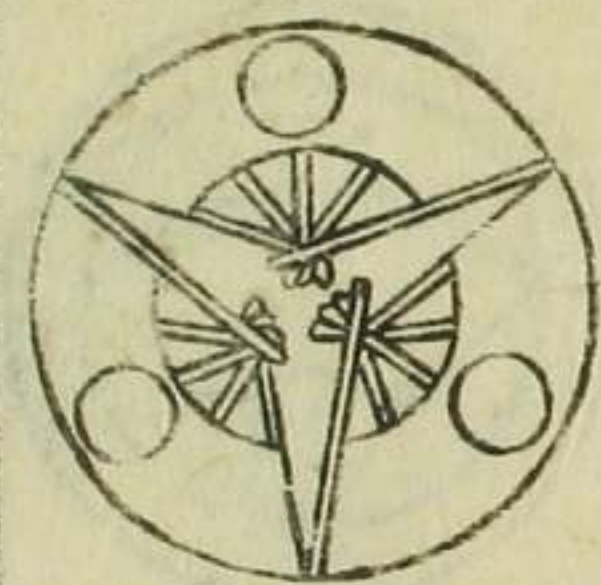
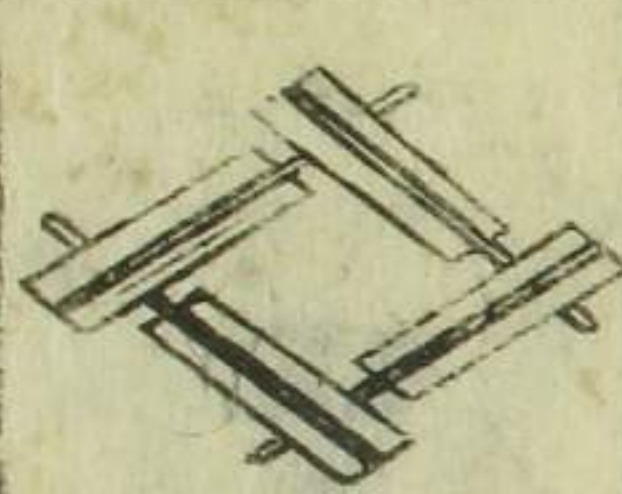
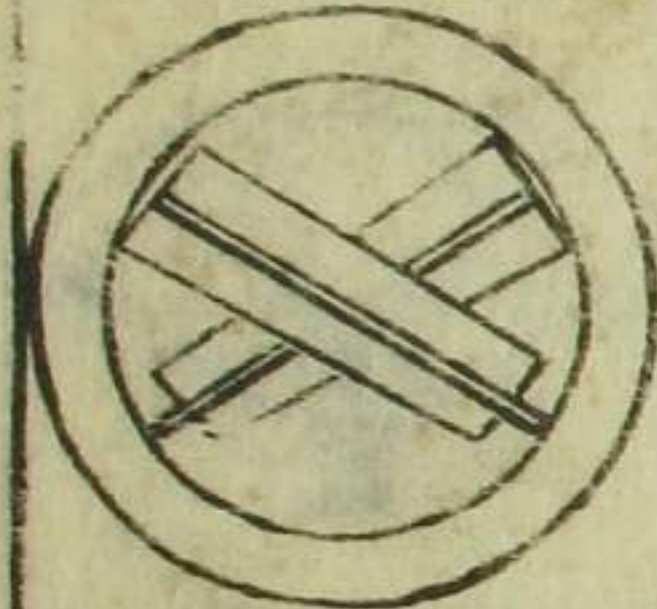
うとんふ

字篆

えとぢふ



扇ひぐら丸 片づ井扇 扇丸日三 扇

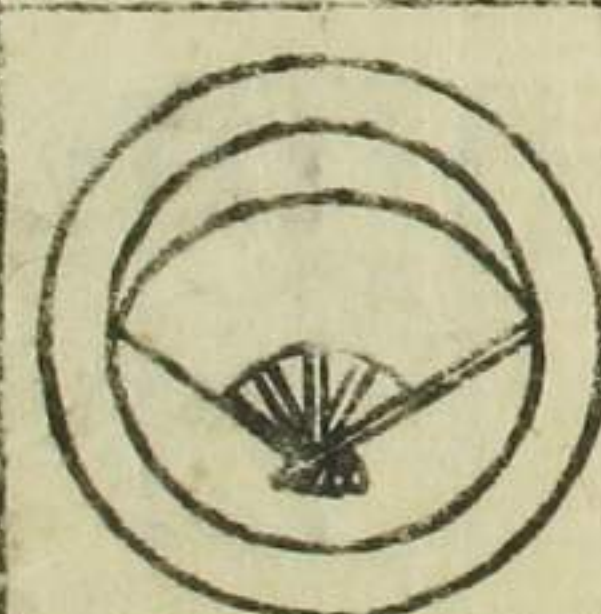


ぎふあねやみ

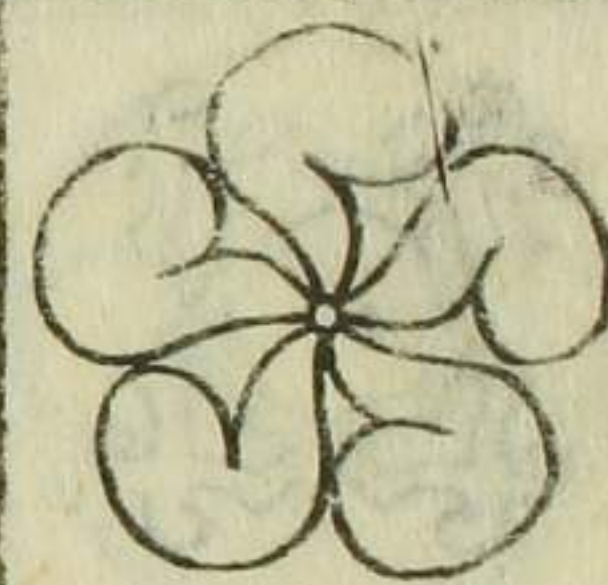
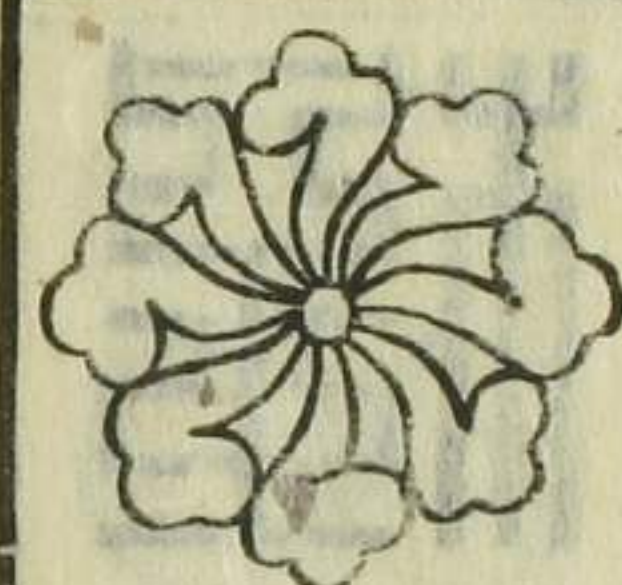
丸の扇三

扇丸下平丸

扇



旭つてみ分 旭つてみ分 旭つてみ分 線と鉄

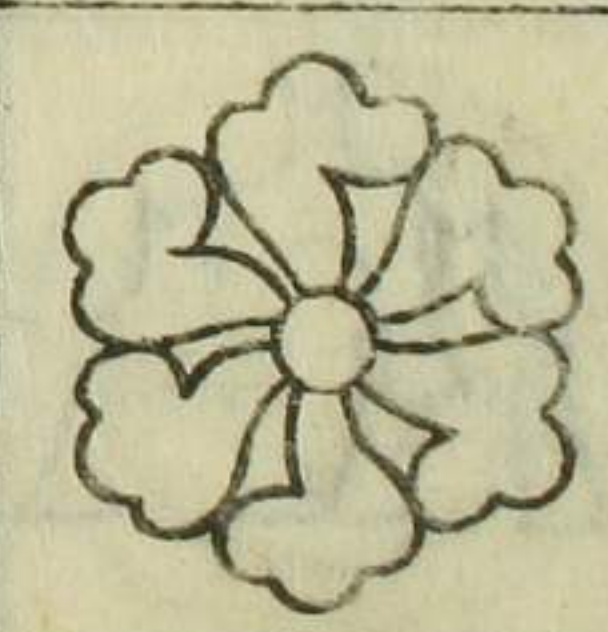
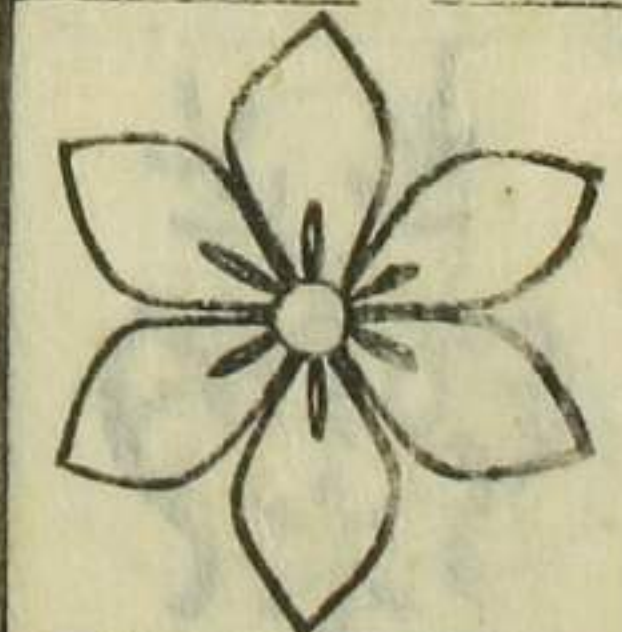


旭つてみ分

旭つてみ分

旭つてみ分

字篆

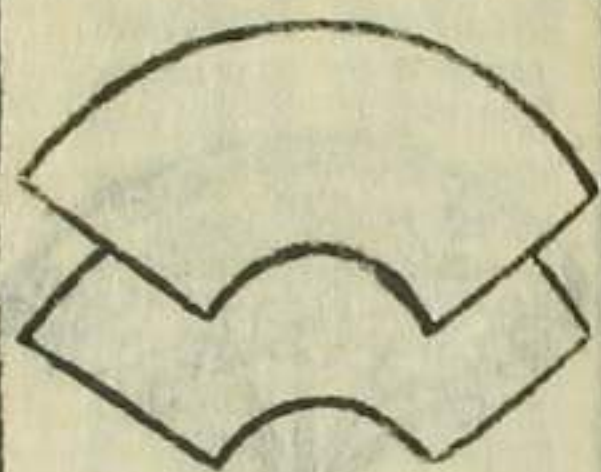
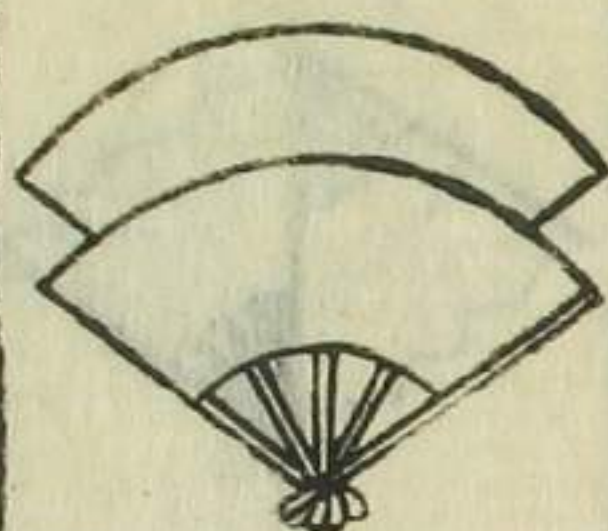
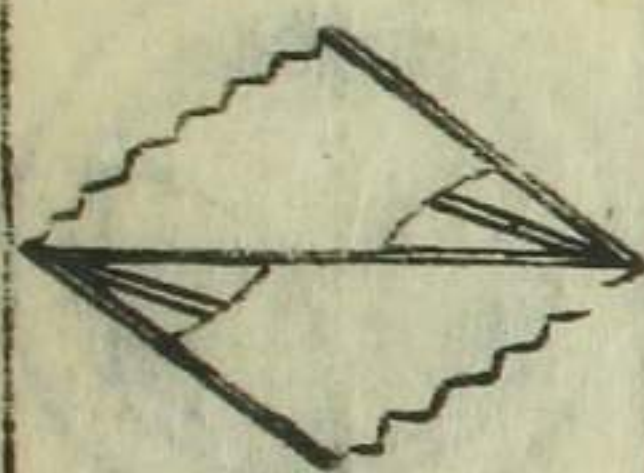


あしひ

ぎふらひ

きふあま

あぢねぢ

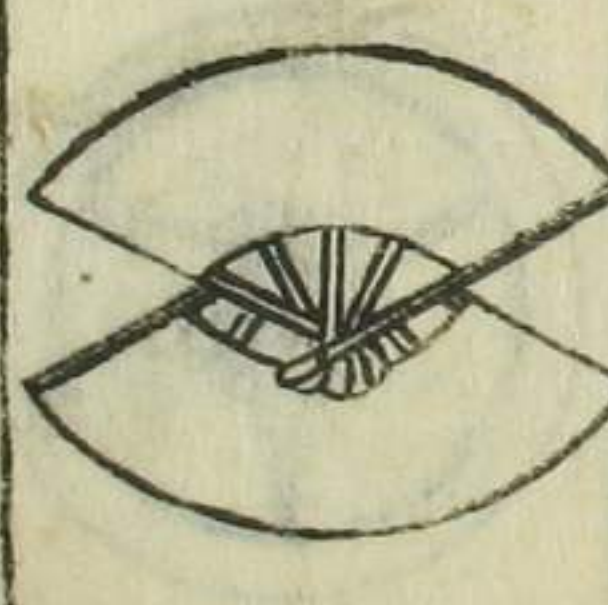


丸あしひ

あぢねぢの丸

あまきふ

あぢねぢ

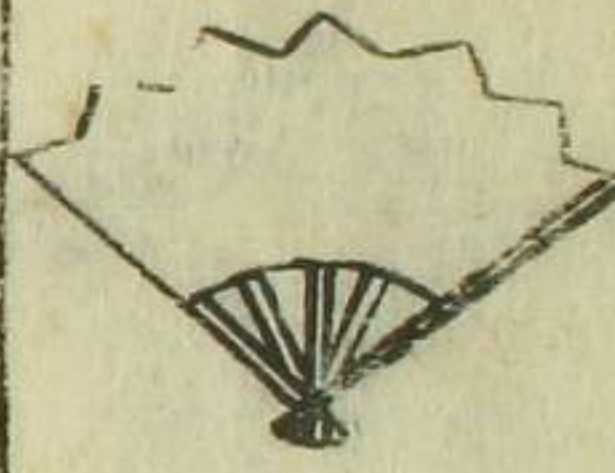
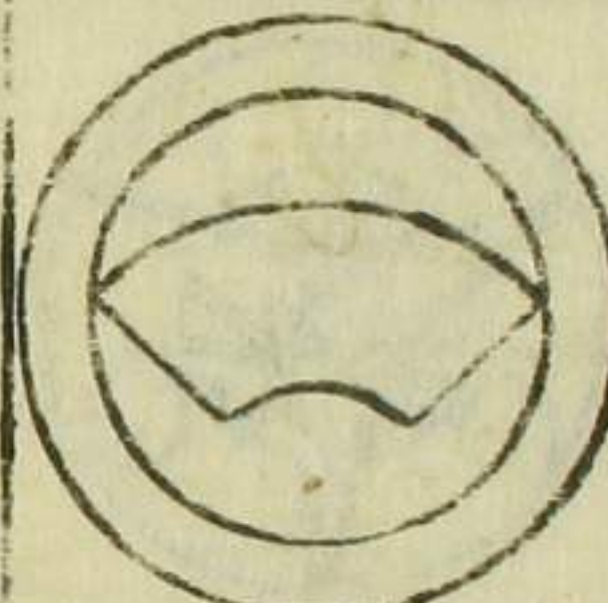
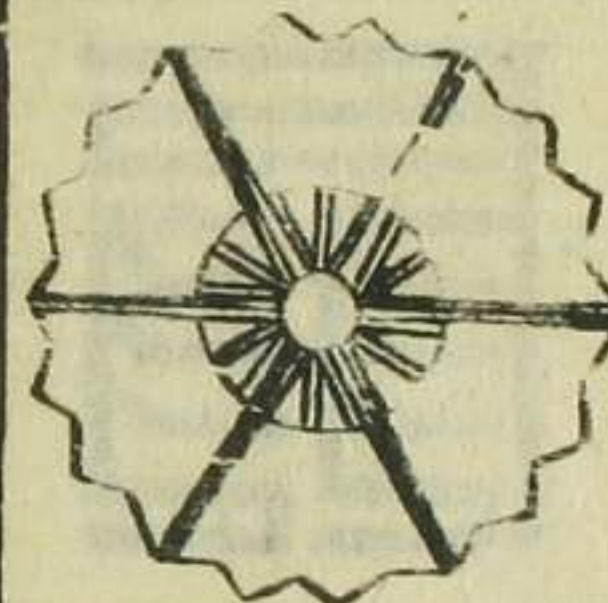


丸あぢねぢ

あぢねぢの丸

きふあま

あぢねぢの丸

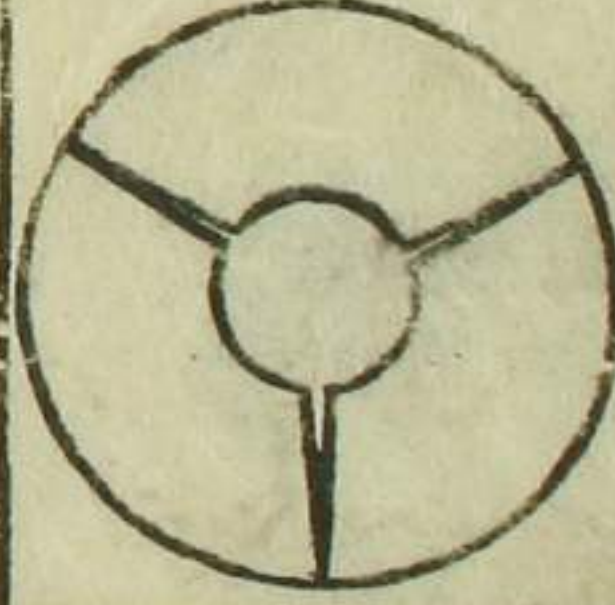
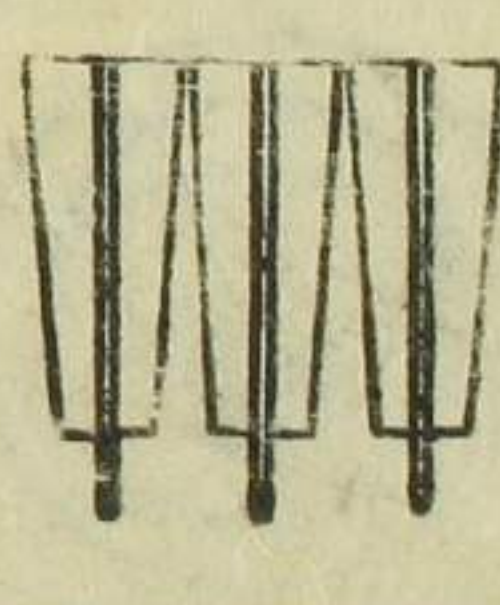
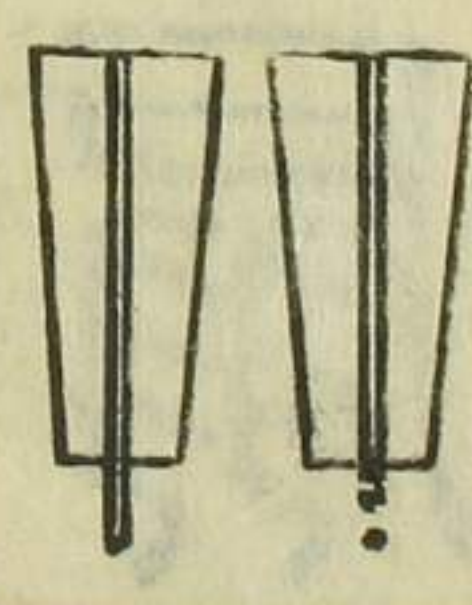


あぢねぢの丸

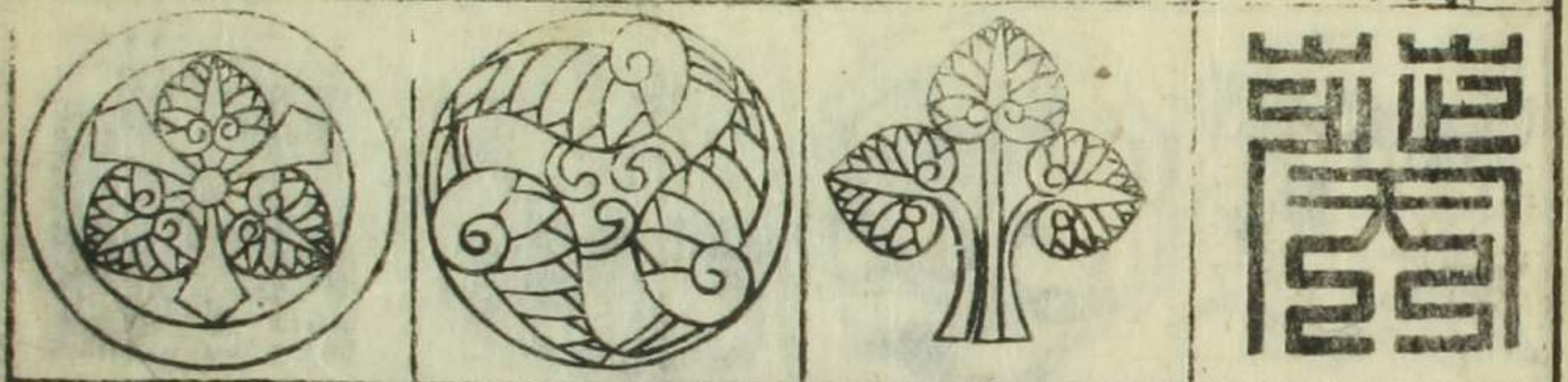
あまきふの丸

あぢねぢの丸

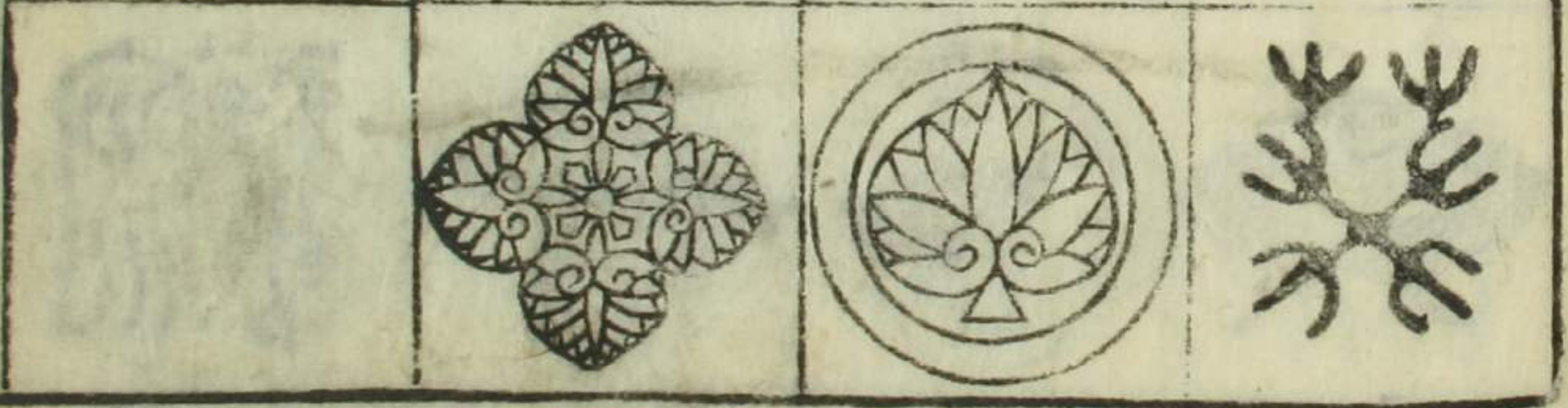
あぢねぢの丸



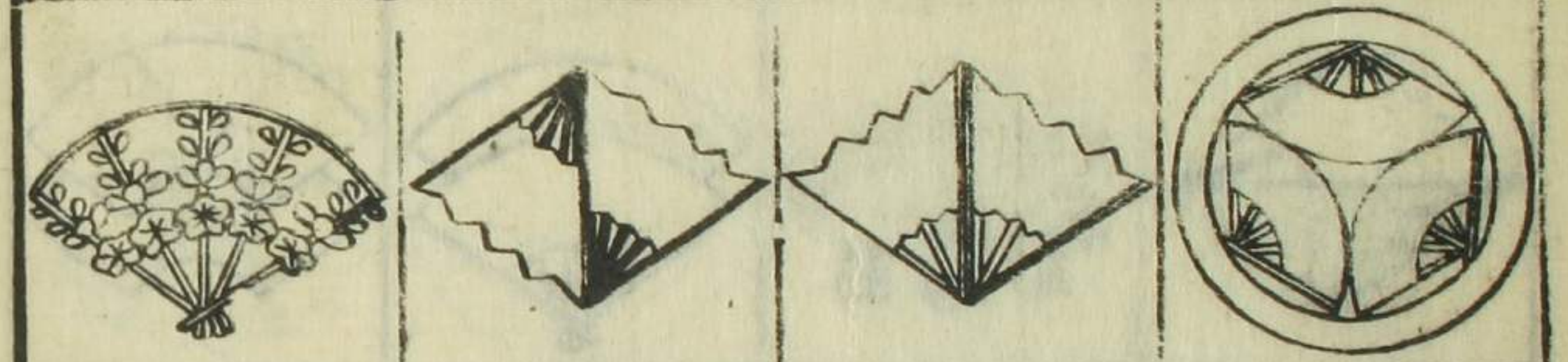
ひふわ三つ丸 ひふわ三つ丸 ひふわちさ ひふわちさ 葉 葉



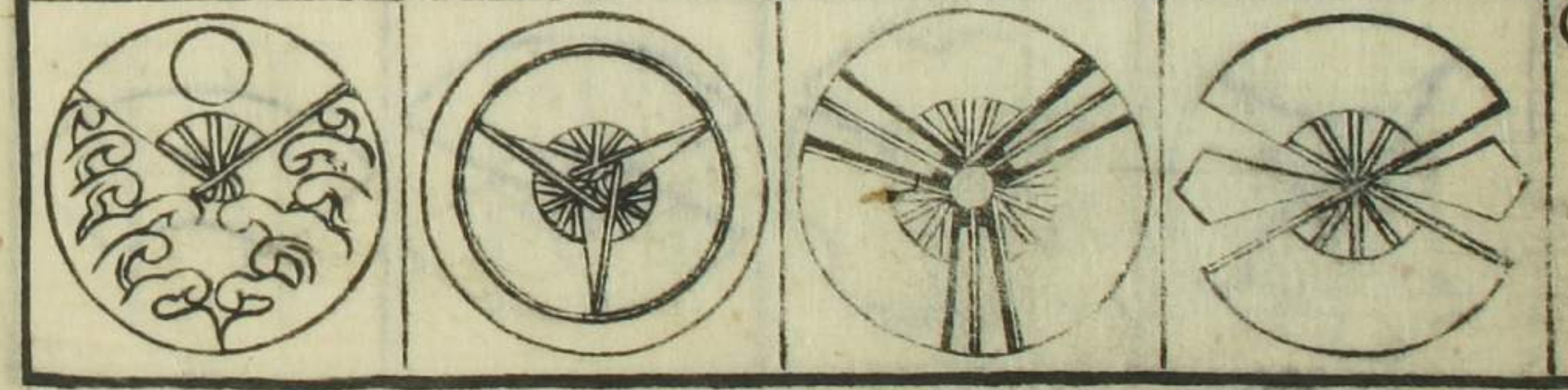
ひふわつね ひふわう丸 字象



きんろ丸 きんろ丸 しびる遠 しびる遠 美し丸 美し丸 丸三丸 丸三丸



扇市丸 扇市丸 丸三丸 丸三丸 車丸 車丸 丸三丸 丸三丸

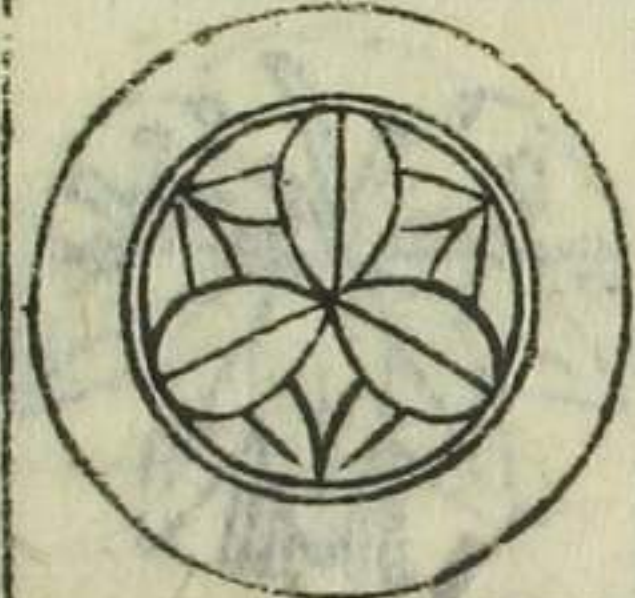


さいひ丸

ぬのさい丸

ぬのさち丸

標



ぬのは竹

ぬいそ竹

ぬのは

字篆

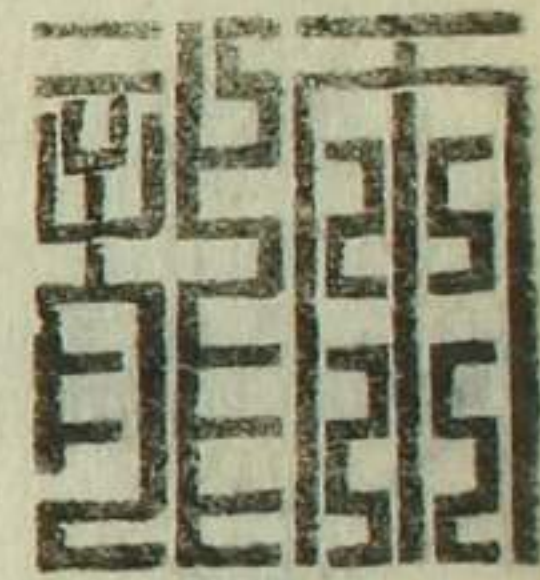


貝ひ丸

龍ま丸

魚の龍ま丸

龍雨



笠丸

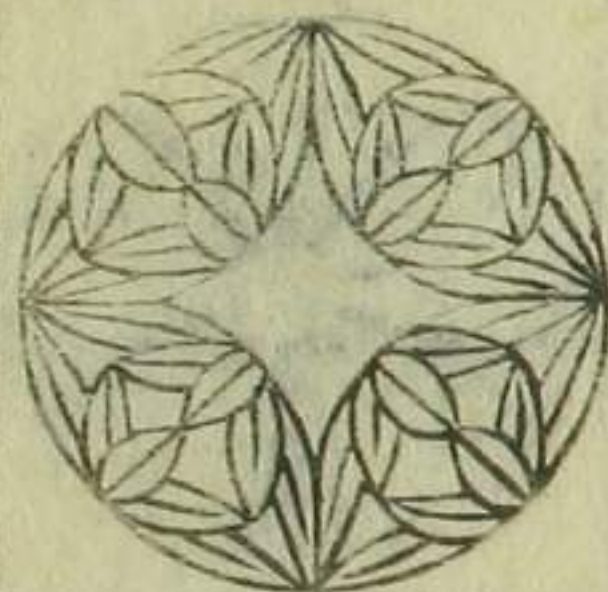
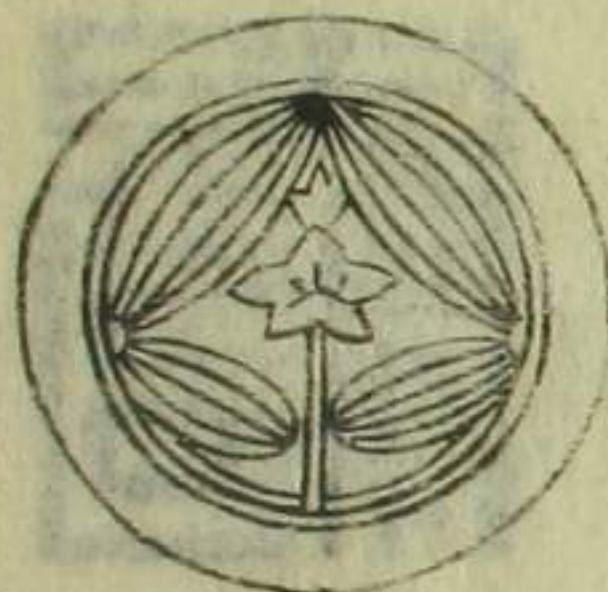
龍ま丸角

龍ま丸

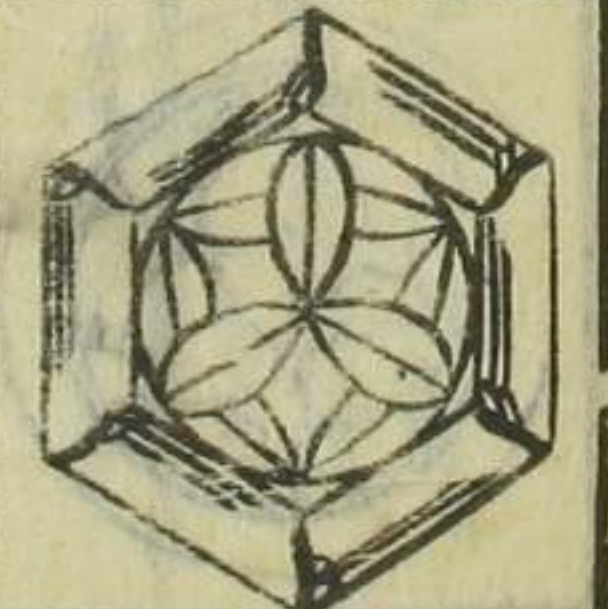
字篆



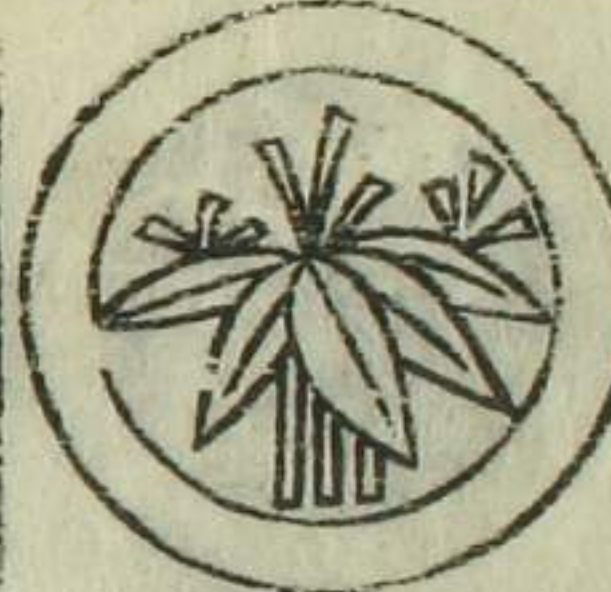
さろふを如 如れを世ふ さひまの きいまい竹ちよ



さろふ 是ふむしを さひむを 如のきにくか



如のきいまい 是れゆ さろに如 うえんきいまい



うえんきいまい さくか さろく うえんきいまい

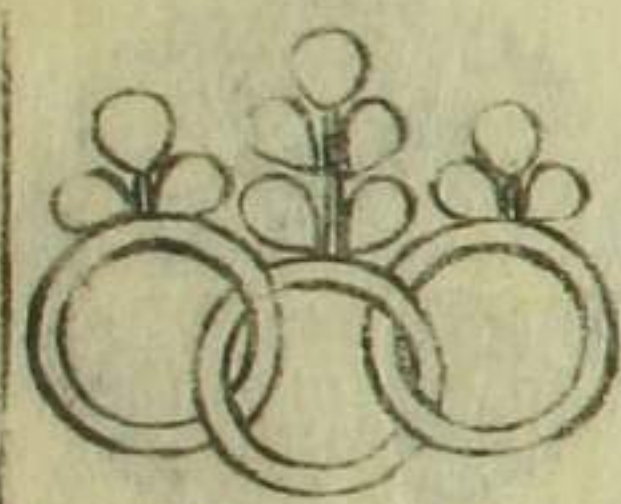


つき つか

つき 兎のえみ

つき 桐のえみ

桐

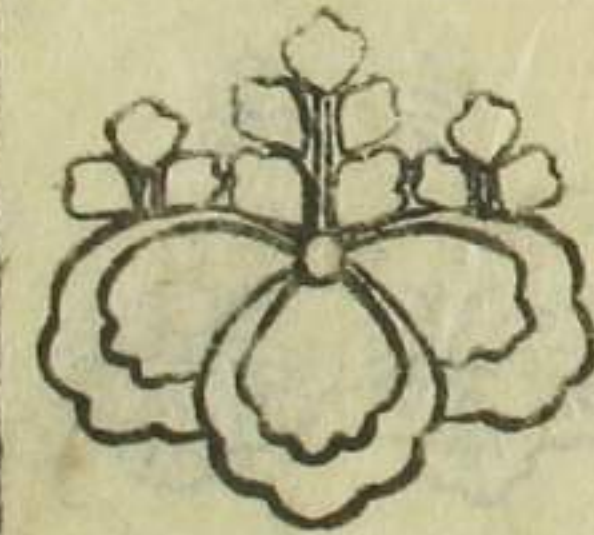
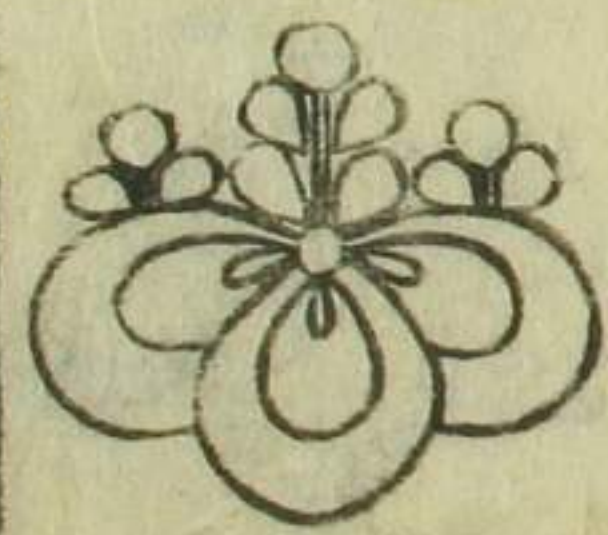


つき ろほ

つき のんほりか

つき のほむあか

字 篆



らくさ ろほ

らくさ つま丸

らくさ

櫻

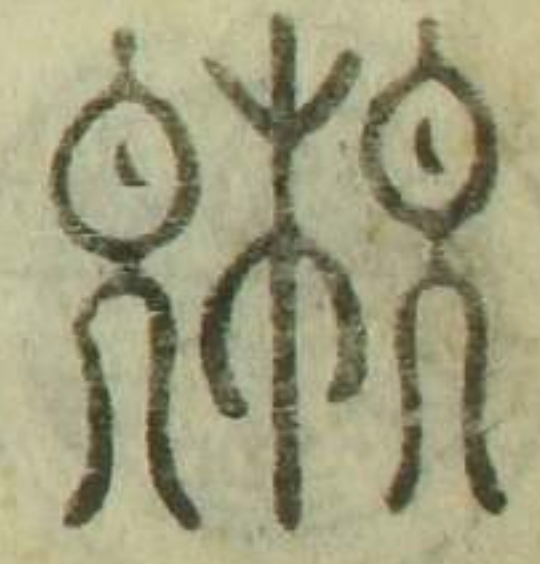
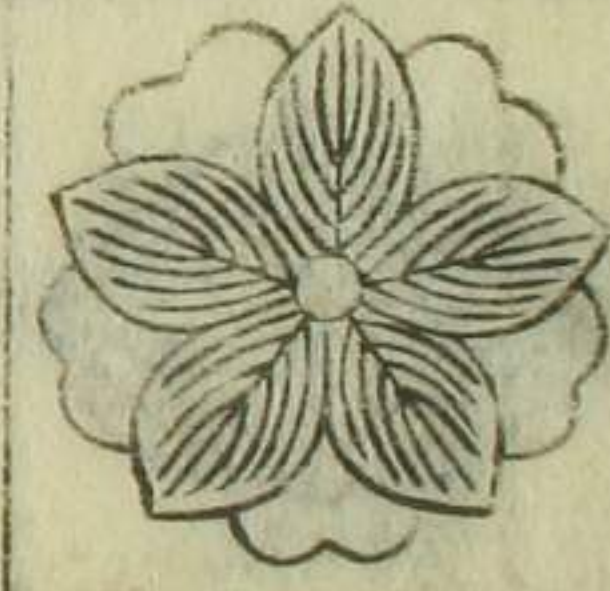
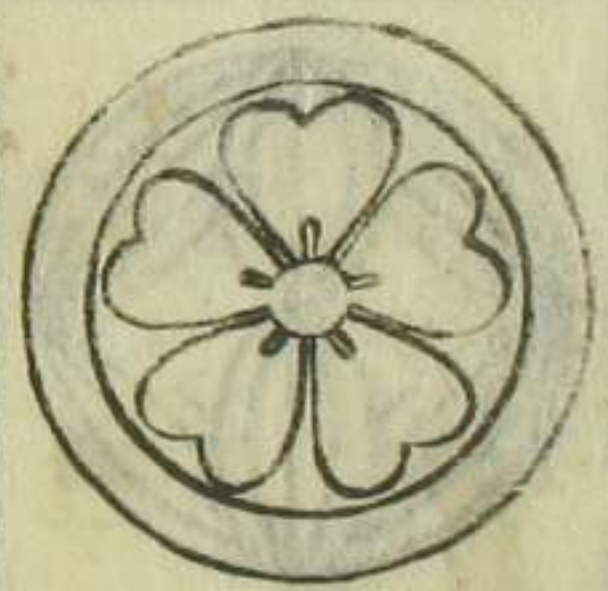
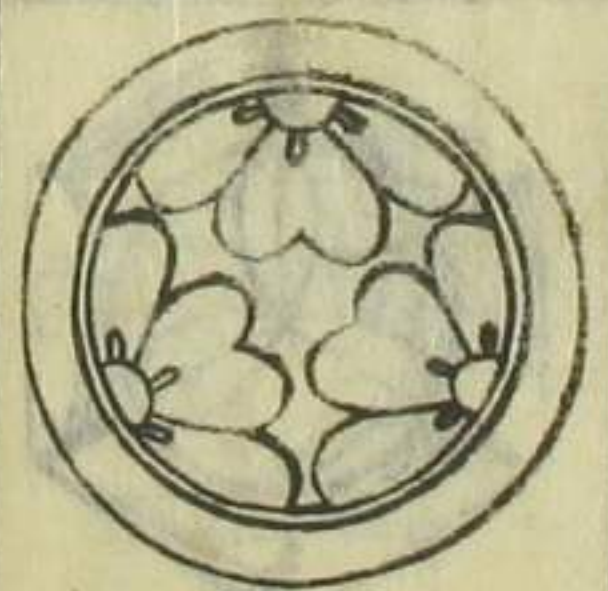


らくさ つま丸

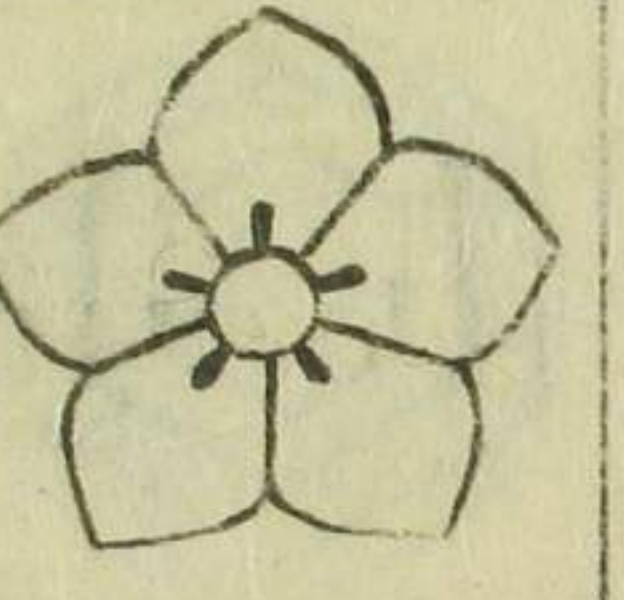
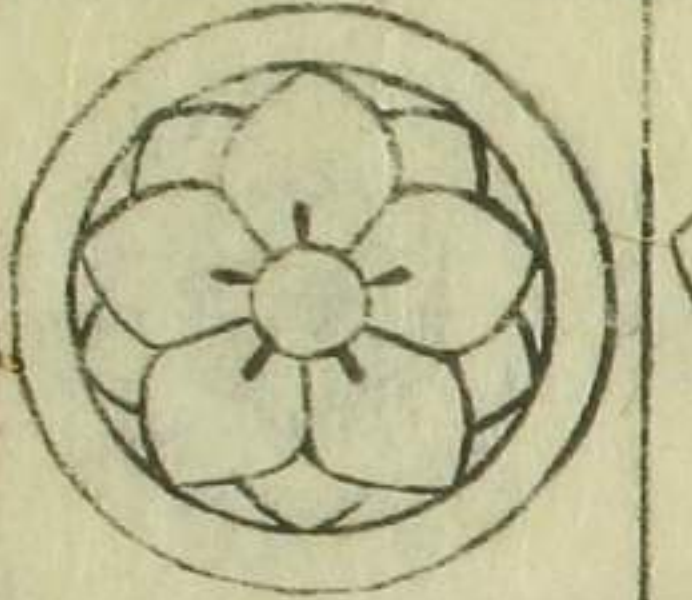
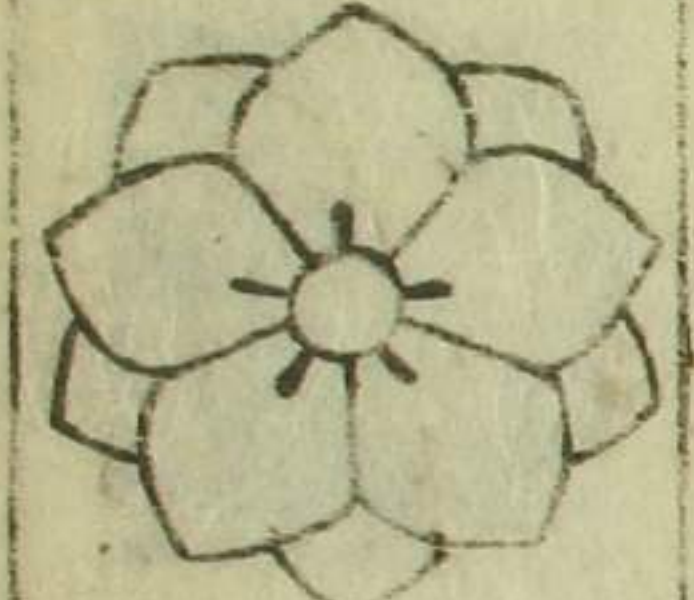
らくさ れ丸

らくさ 臺

字 篆

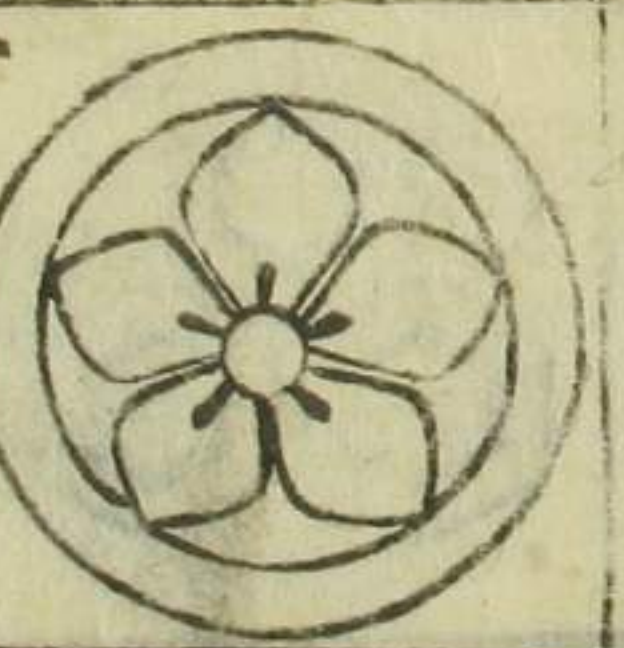
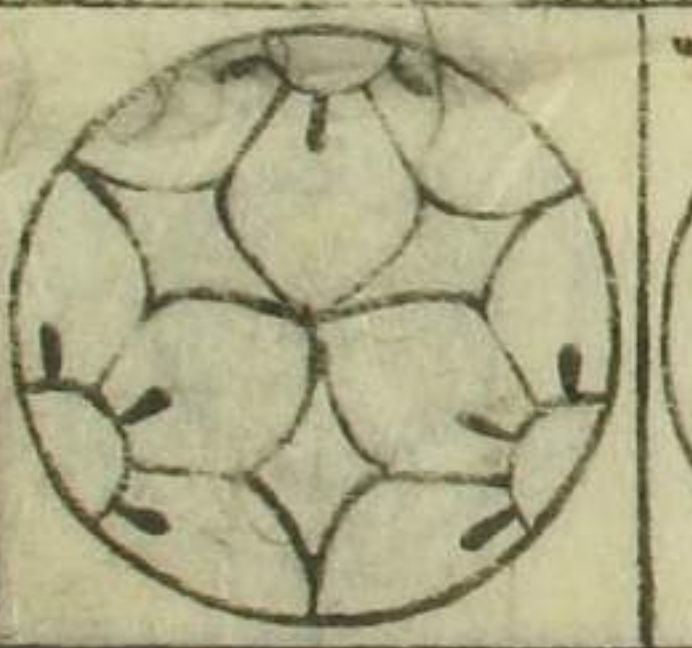


八 八 八 楨 楷
 八 八 八 楨 楷



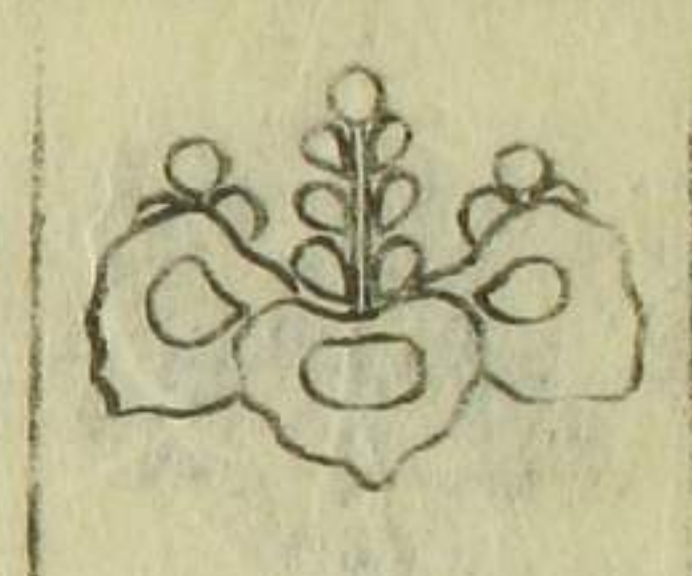
木 木 木 木
 木 木 木 木

八 八 八 字 象
 八 八 八 字 象



木 木 木 木
 木 木 木 木

三 唐 光 三
 三 唐 光 三



三 三 三 三
 三 三 三 三



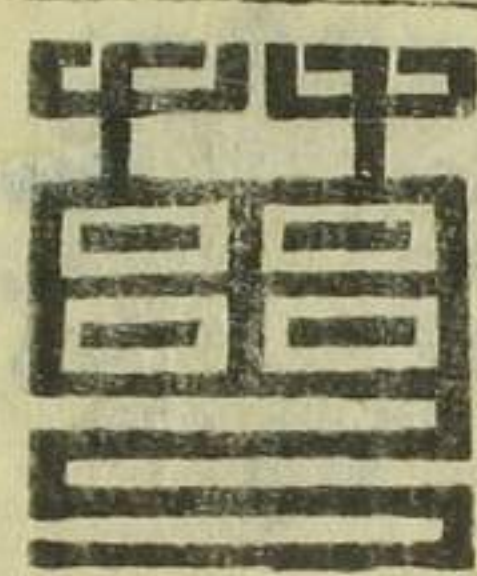
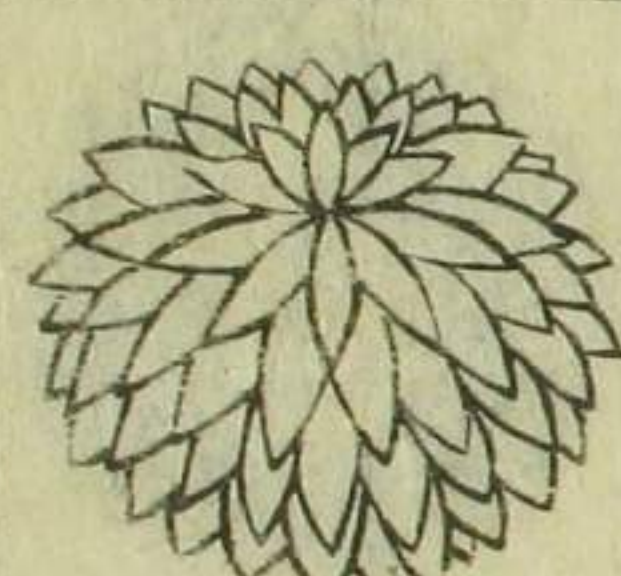
七
 七

くねえり

くさろふか

くさねあき

菊

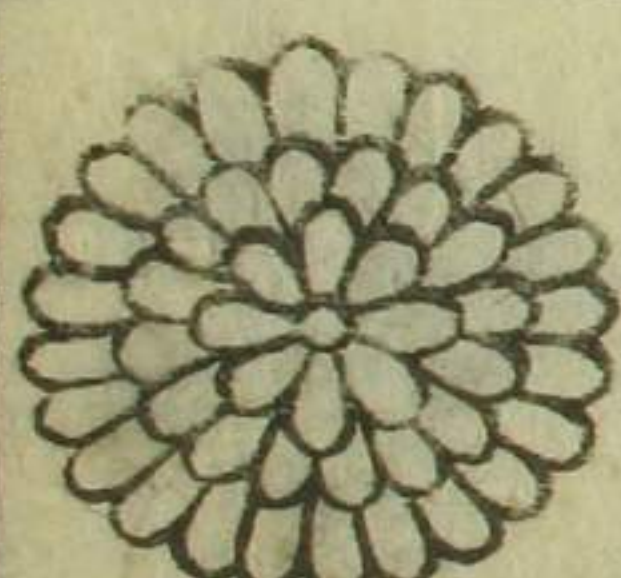


くねのよせ

丸くさり

丸のくさ

字象

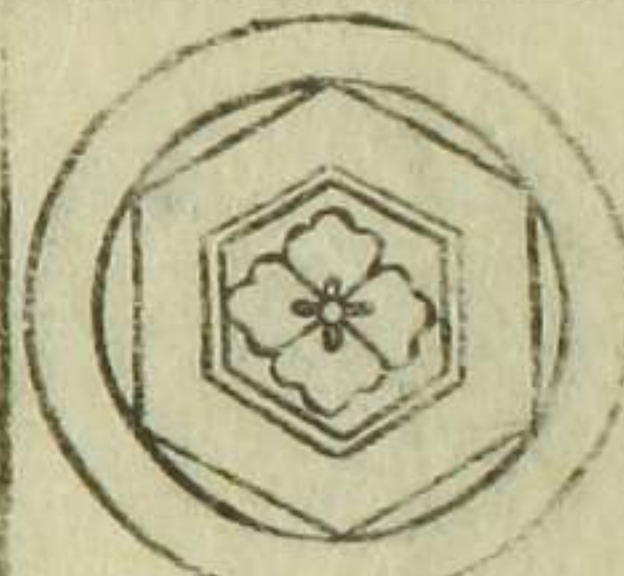
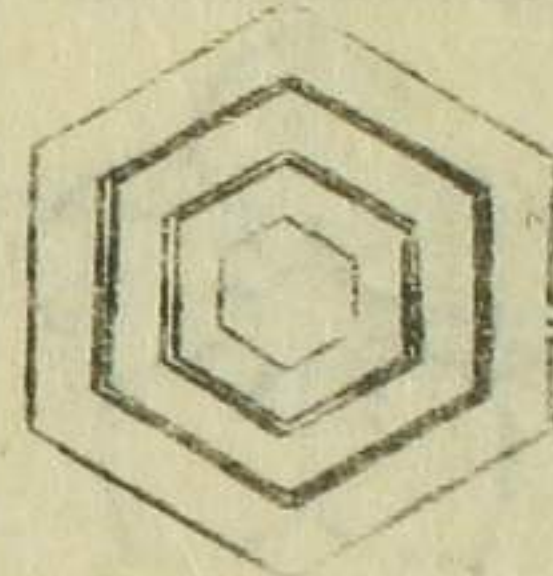
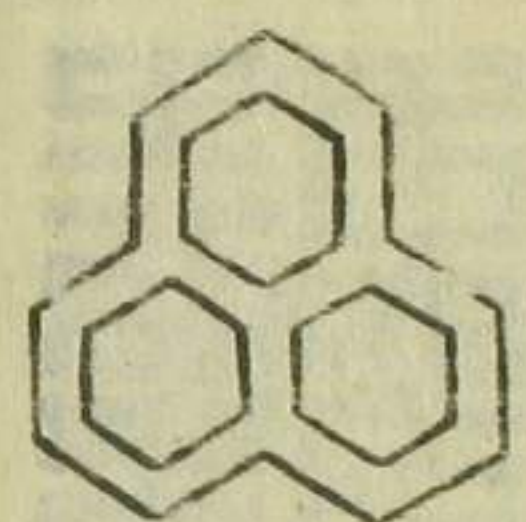


うかつき

甲子入り

甲色に丸

甲龜

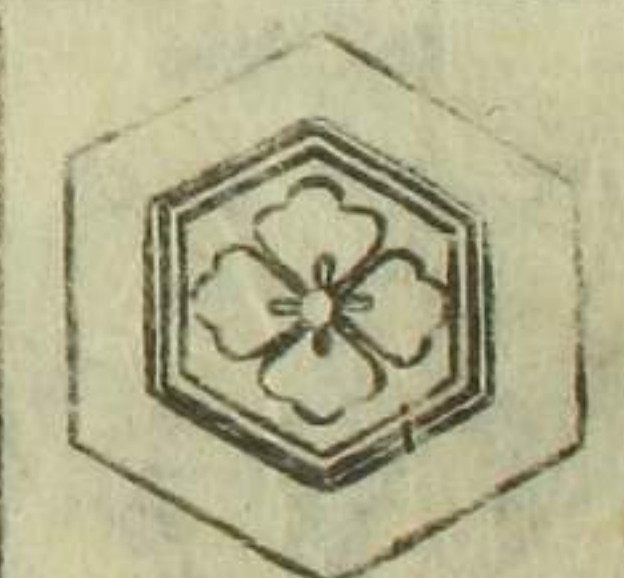
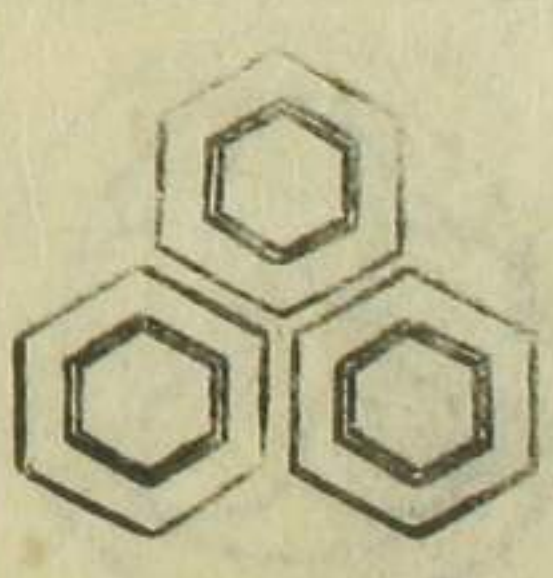
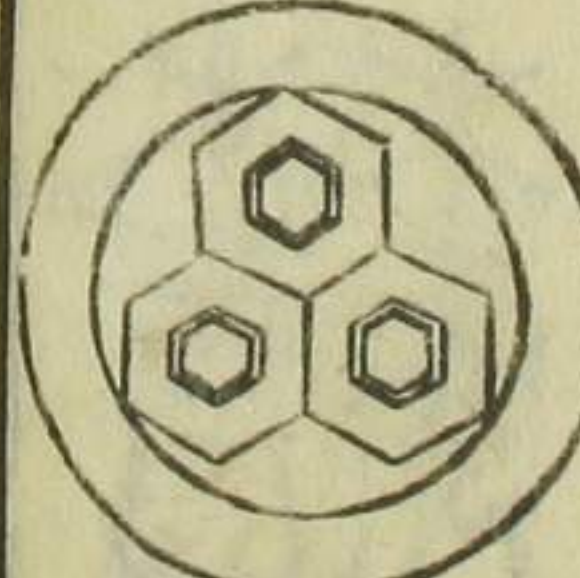


うかつき丸

甲色表つみ

うかつき丸

字象



うらめいらち

花のうらめ

うらめたふ

荷の葉



うらめを

えりさうめ

うらめ司

字篆

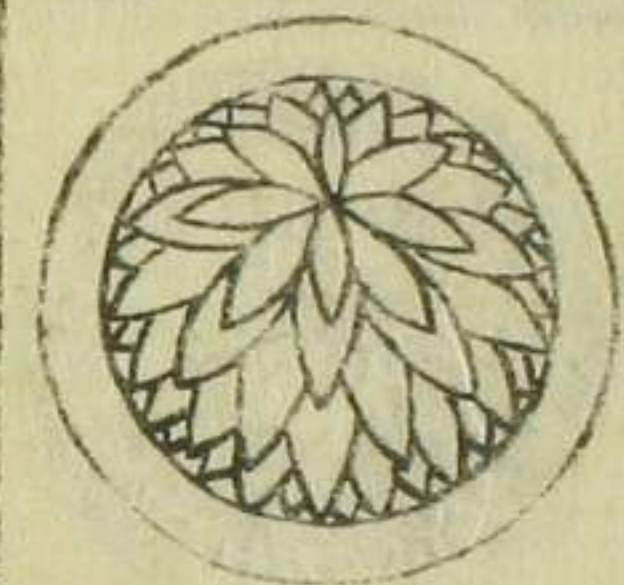
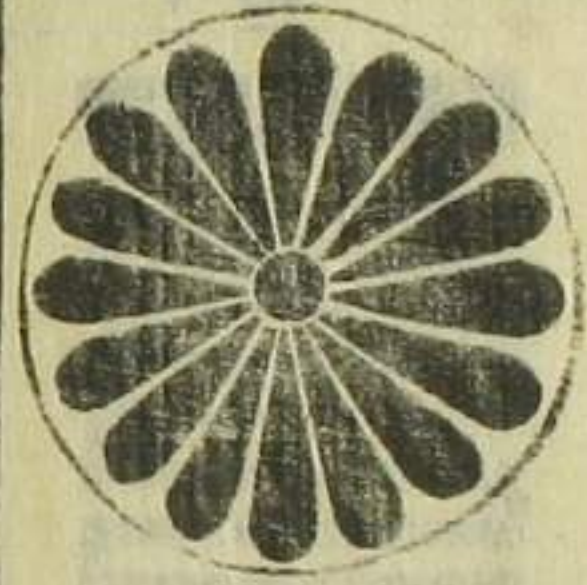


くねちちん

くねちちんの丸

くねちちん

くねちちん

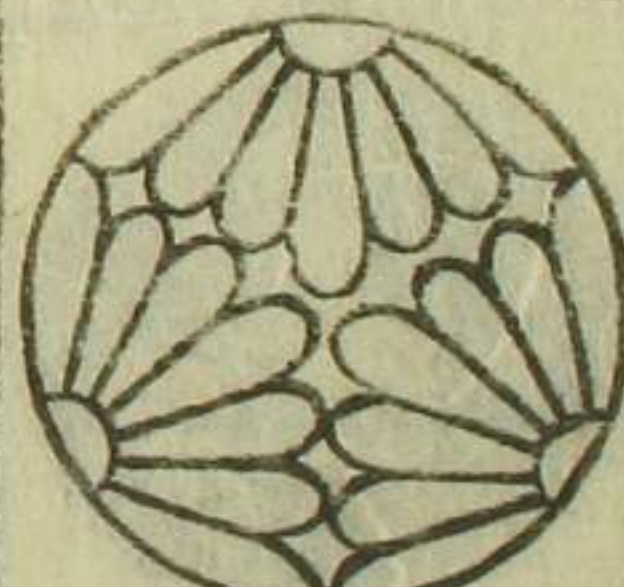
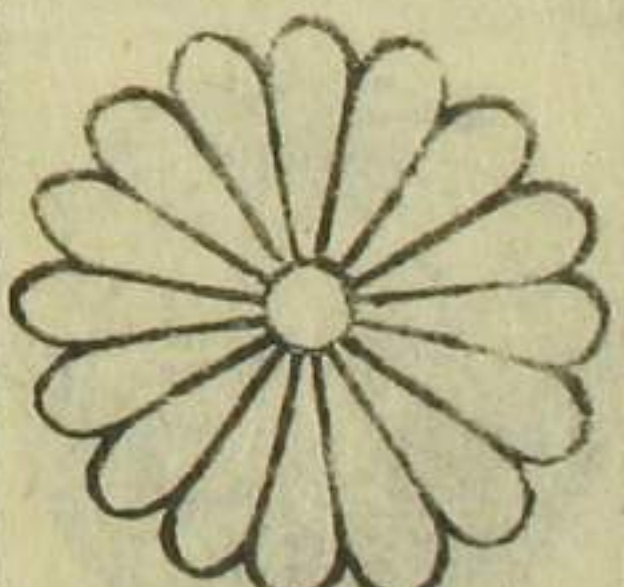
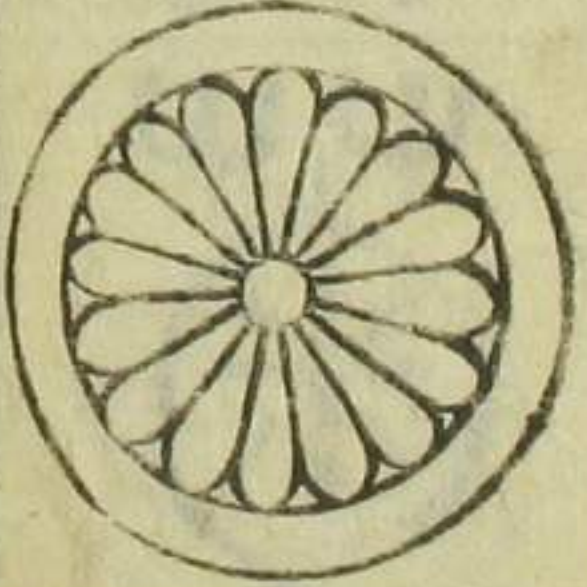


くねちちん

くねちちん

くねちちん

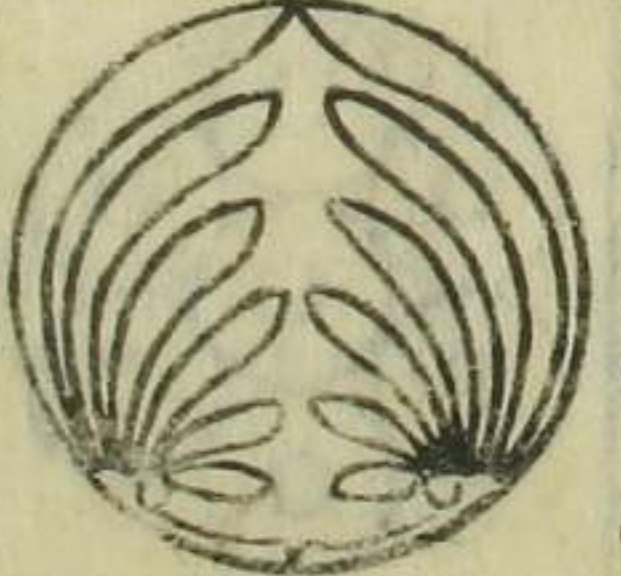
くねちちん



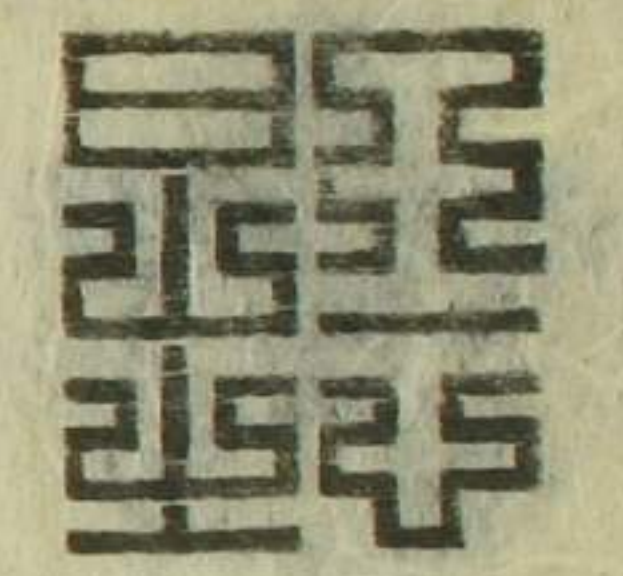
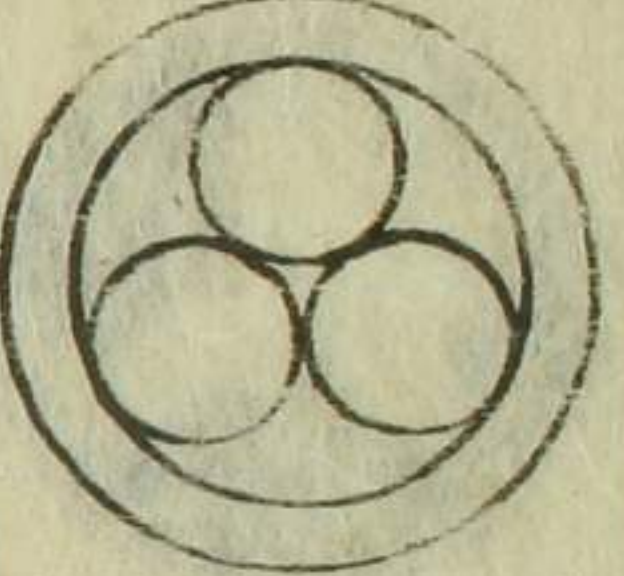
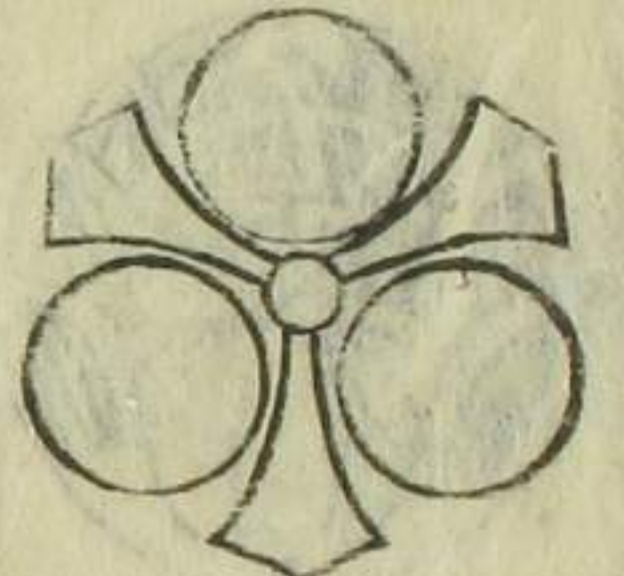
乃由志つ之 乃由志ひらち 乃由志 柵 櫻



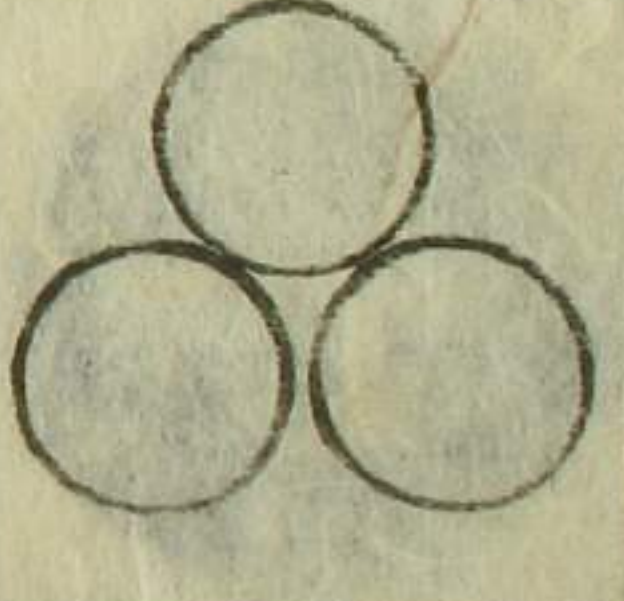
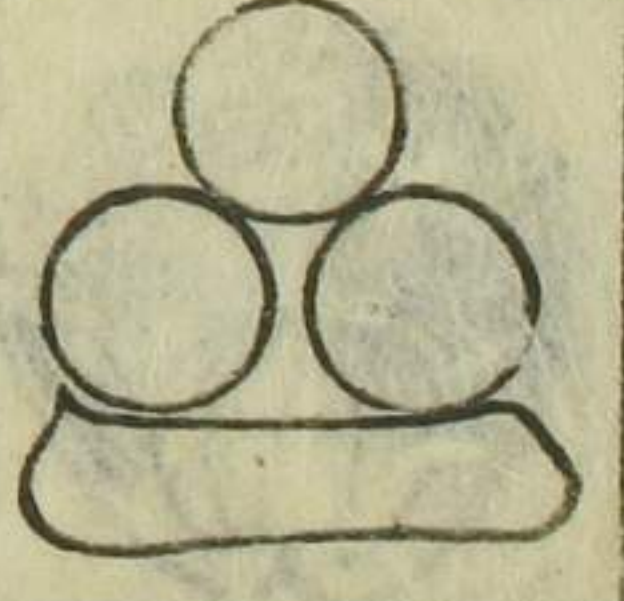
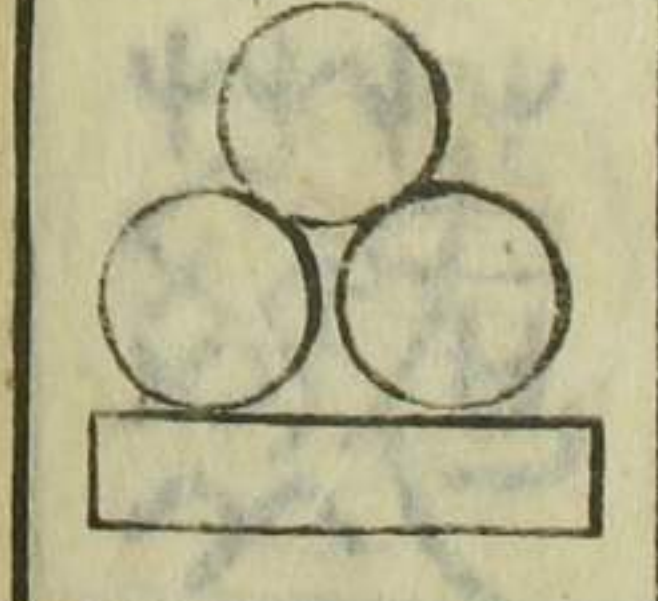
乃由志己ハ里 乃由志邦志 乃由志己ハ 字 篆



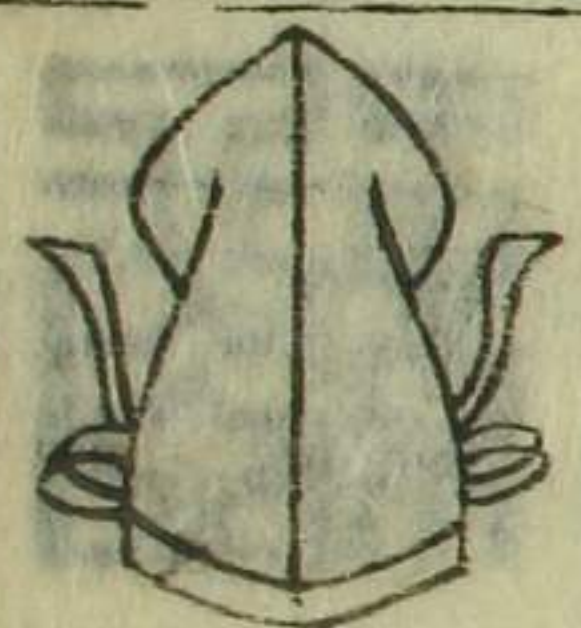
乃由志己ハ 乃由志己ハ 乃由志己ハ 星 三 乃



乃由志己ハ 乃由志己ハ 乃由志己ハ 字 篆



しやあてし 子 | 帽が鳥 丸のひあ 老び海



ほあひらむさ

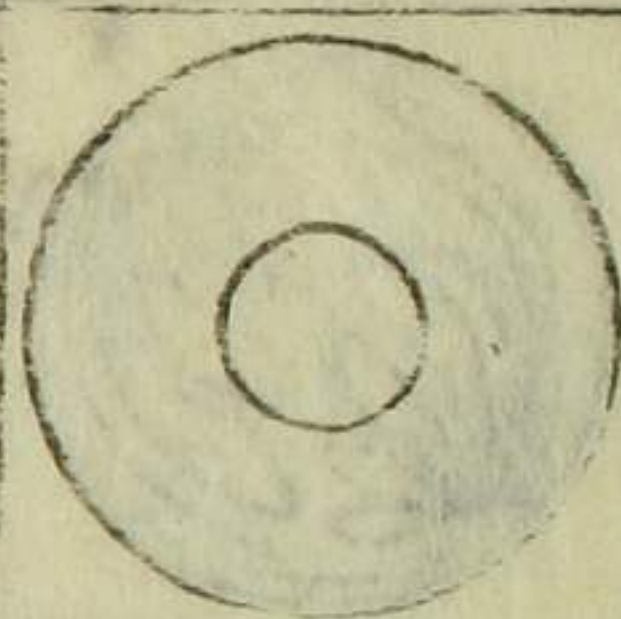
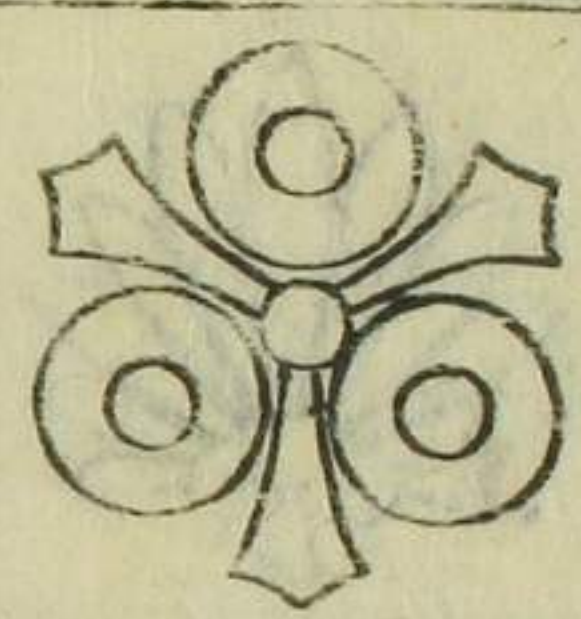
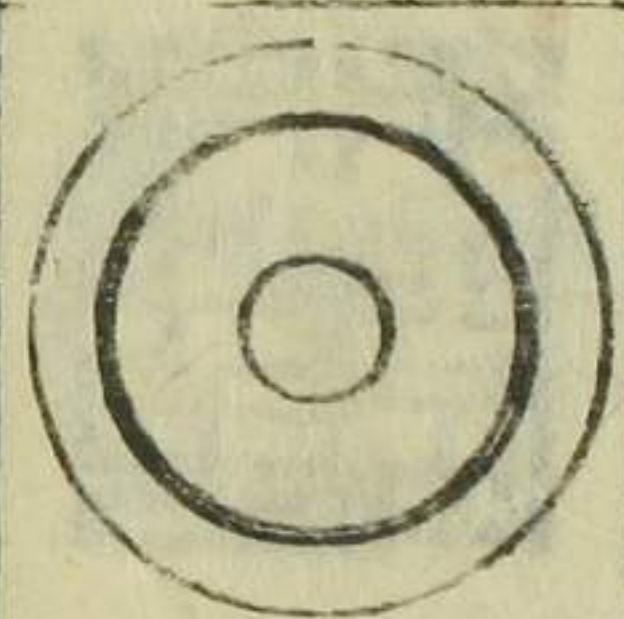
字篆

むあひあ

字篆



めのとあ丸 めのとあんけ めのとあお 目と蛇

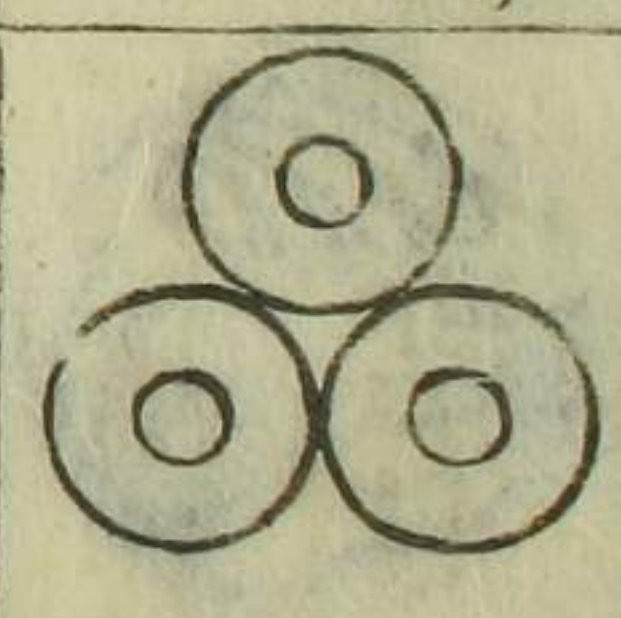
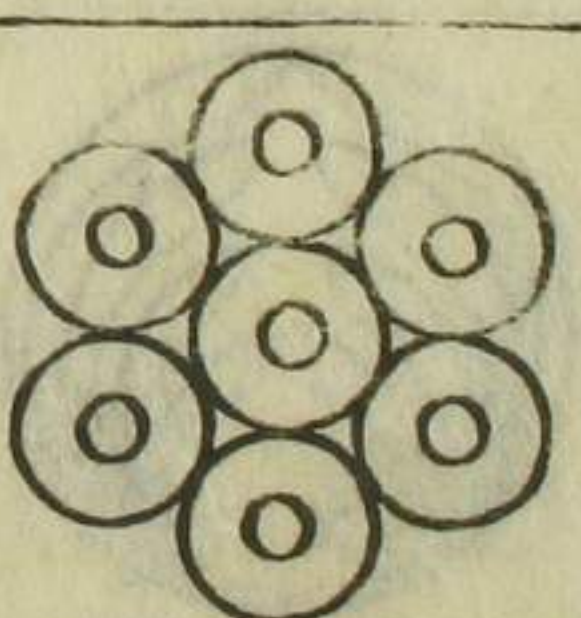
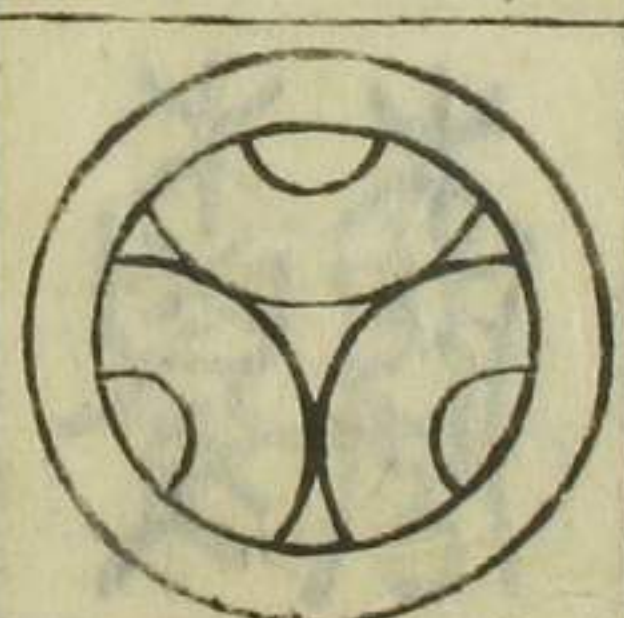


めのとあ？

めのとあて

めのとあて

字篆

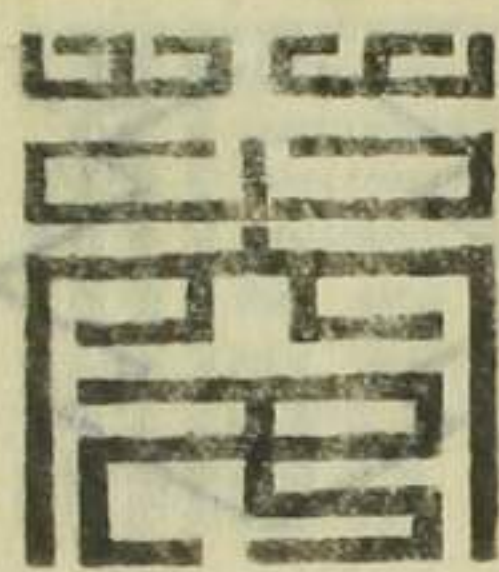
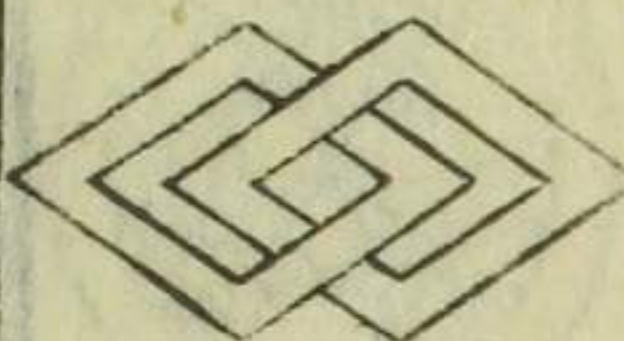
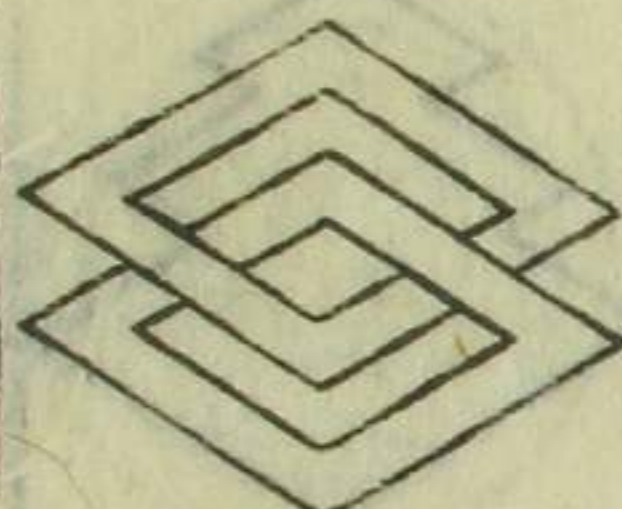
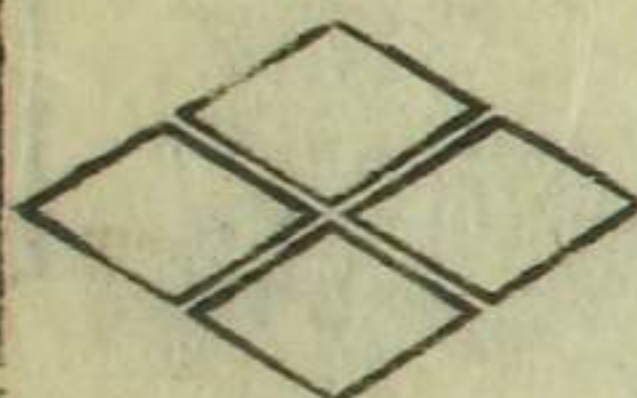


しひ重りて

しひ色さか

しひひのち

菱

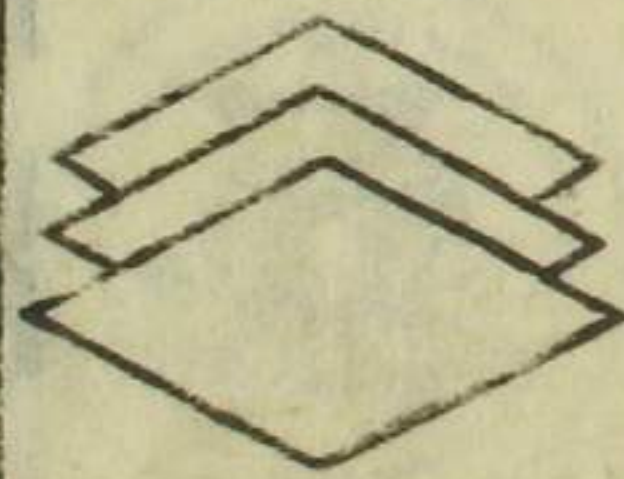
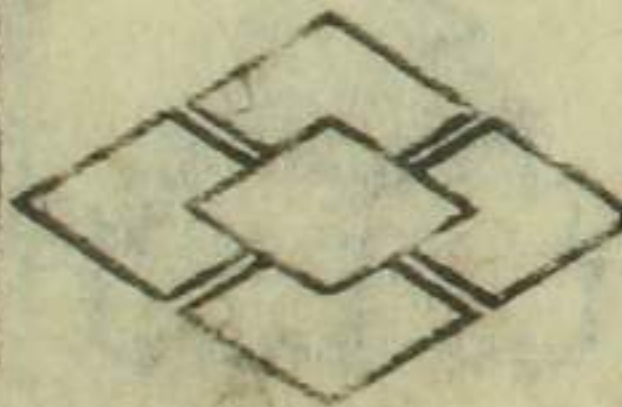
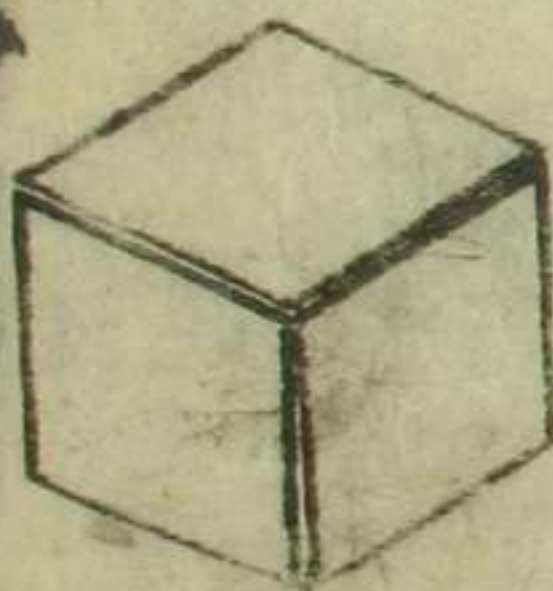


しひつ之

しひつ之

しひ色さか之

字篆



しらひ色さか

しら色さか

しら色さか

終

五



しらひ色さか

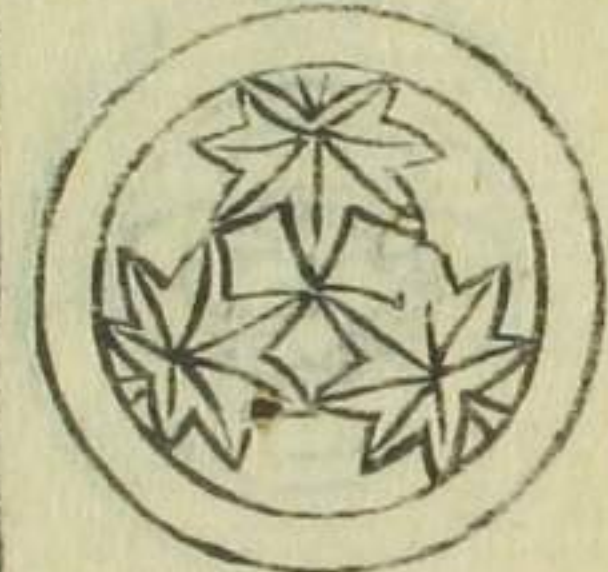
しら色さか

しら色さか

字篆



ちりほひふむ | ちりほひ丸 | ちりほひ三丸



楓



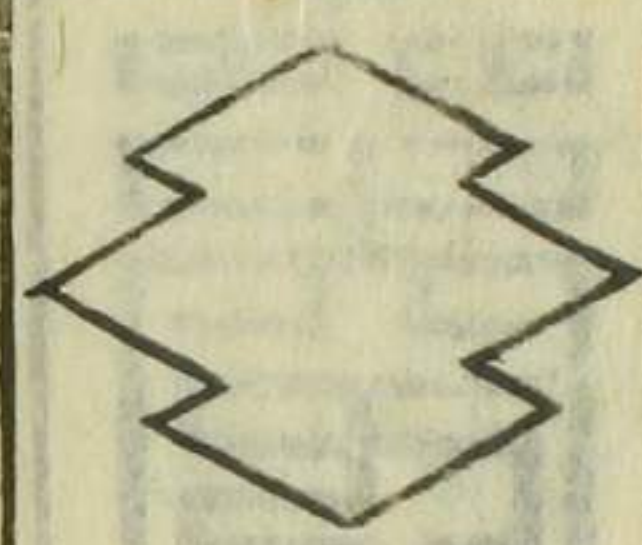
ちりほよふ | ちりほ里ち | ちりほつ三丸



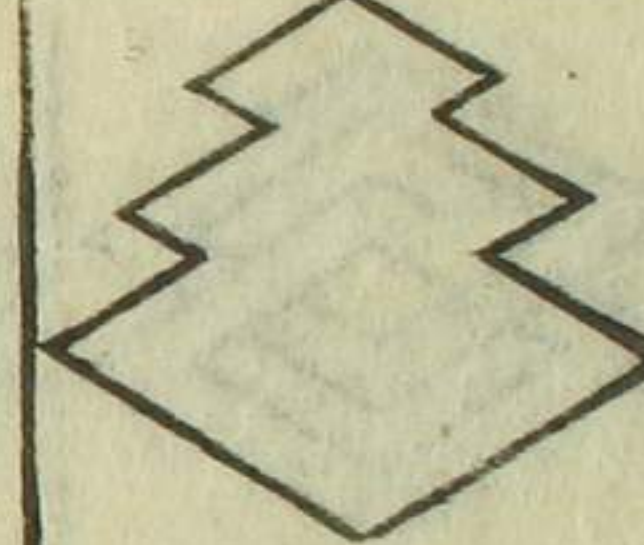
字篆



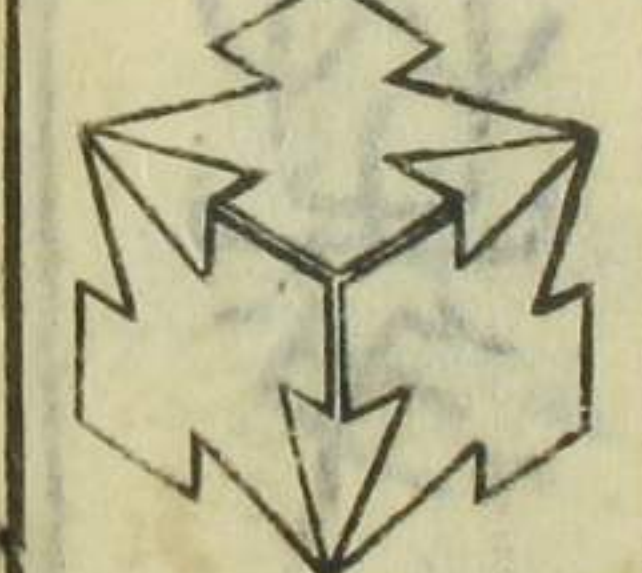
しほのつゆ



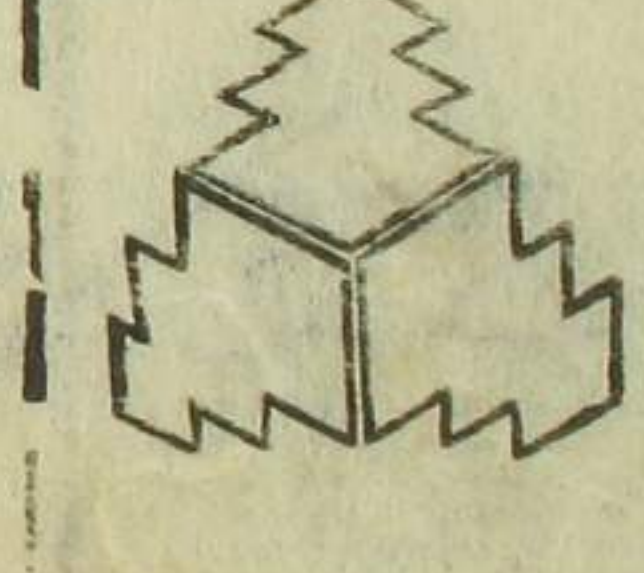
しほのつゆ



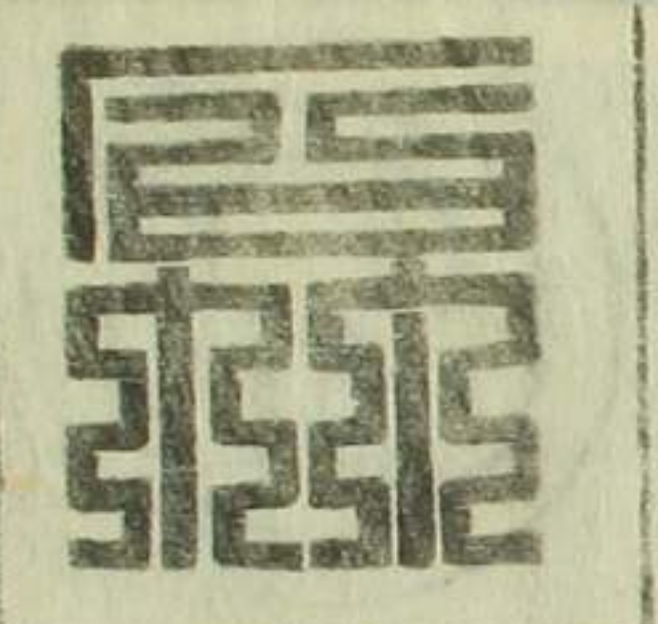
しほのつゆ



しほのつゆ



丸のくちせ 竹石 人せふらくさ 蒼け翁仙



くちせさ

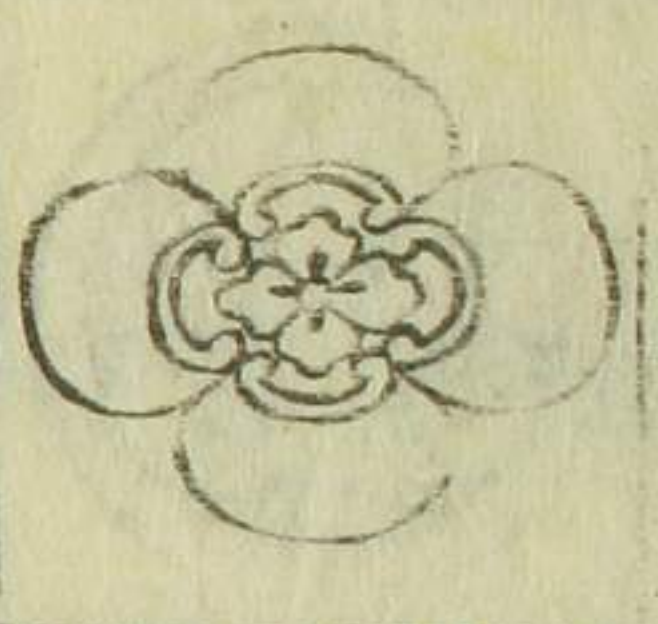
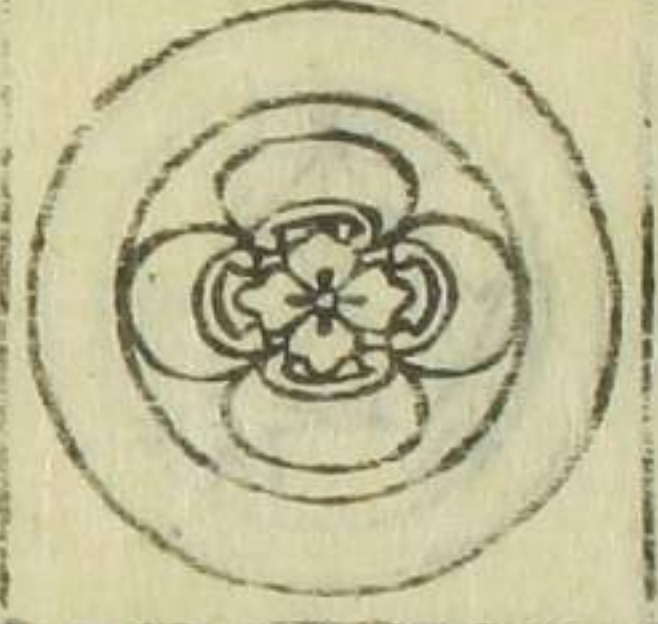
字篆

人せふく

字篆



うくもしむ うくも丸 うくも 香木



うくもしむ

うくも丸



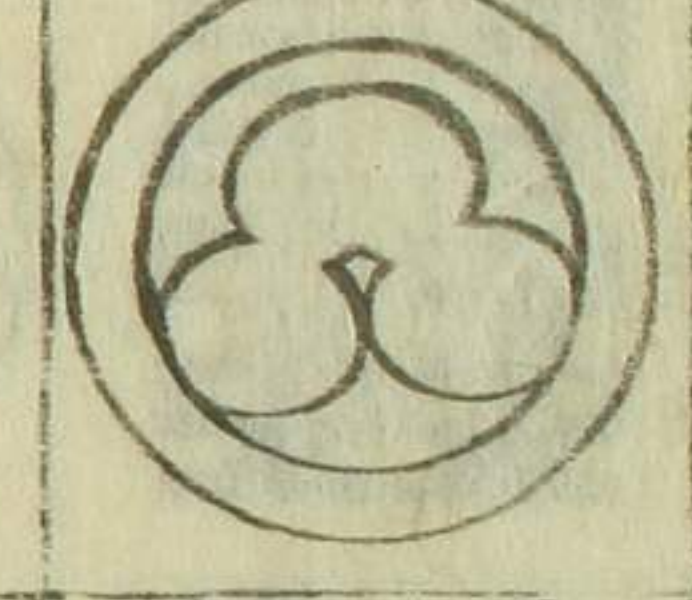
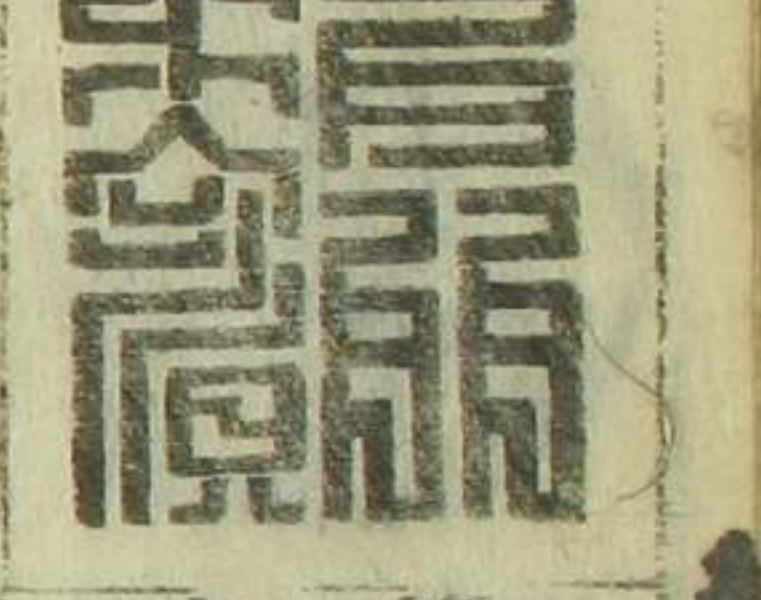


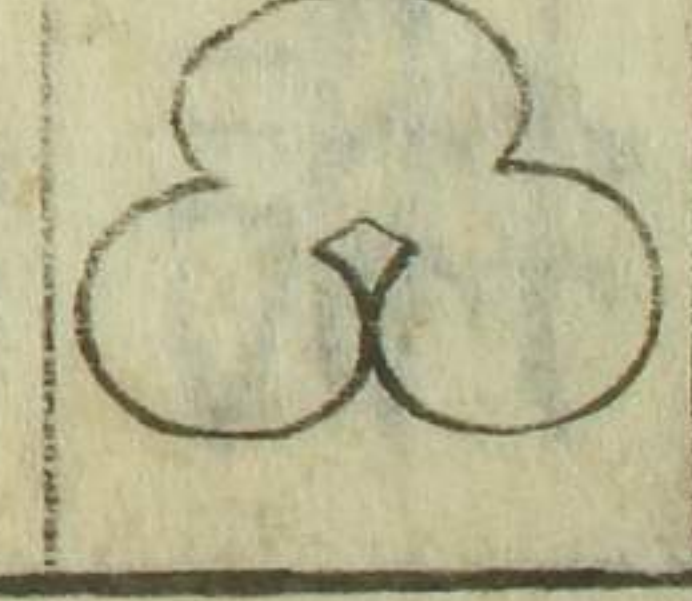

うくも

字篆



新五葉	新丸	龍	切千合引
			
瓜の龍	丸竜弱	丸屋王	巴切千
			

増補
並
お
ら
ん
ご
紋
に
し

死んが之	杉	酒ハ之丸	濱 洲 世
			
きんが之	字 篆	酒ハ之	字 篆
			

五

か立	か色た	方	みか
か平	か変	か	し

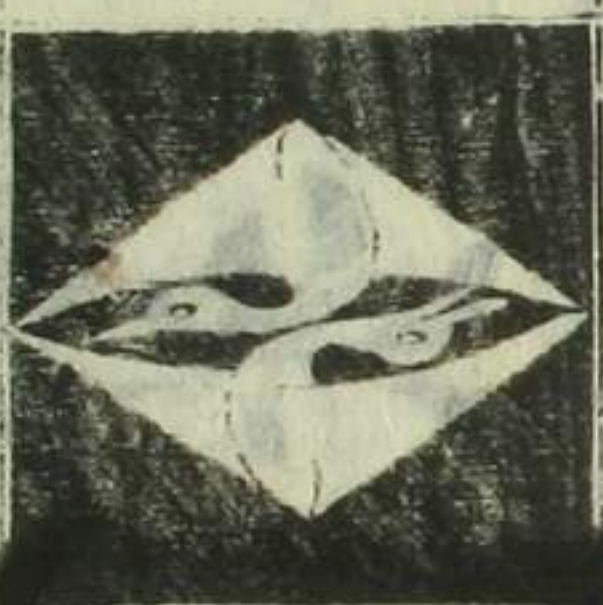
車	海	龍	比
通	し	く	角

梨

三眼鶴

鶴

折



三眼鶴

鶴

折

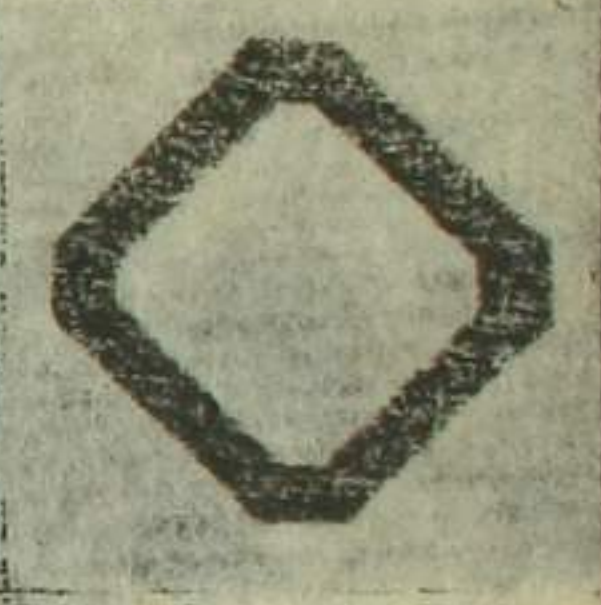
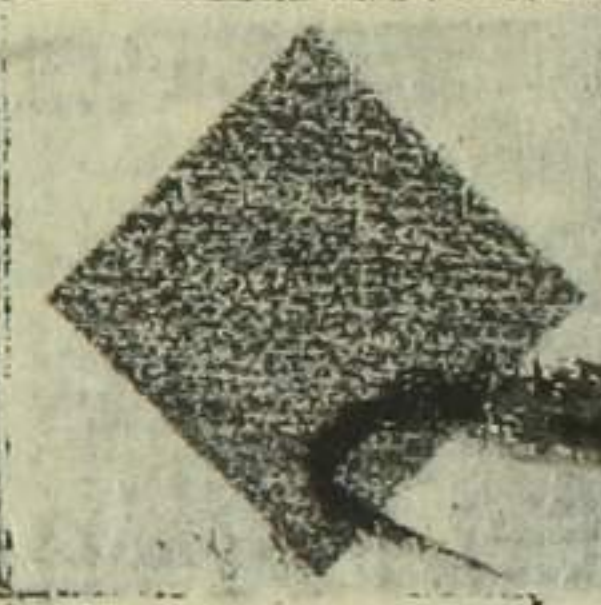
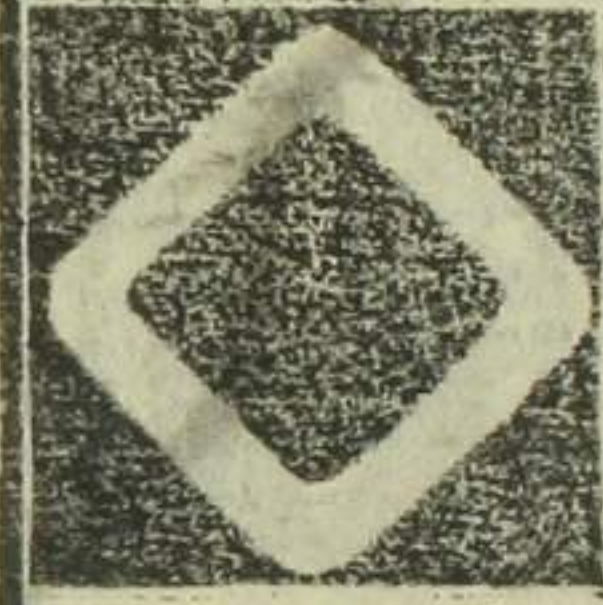


角

解

入

切

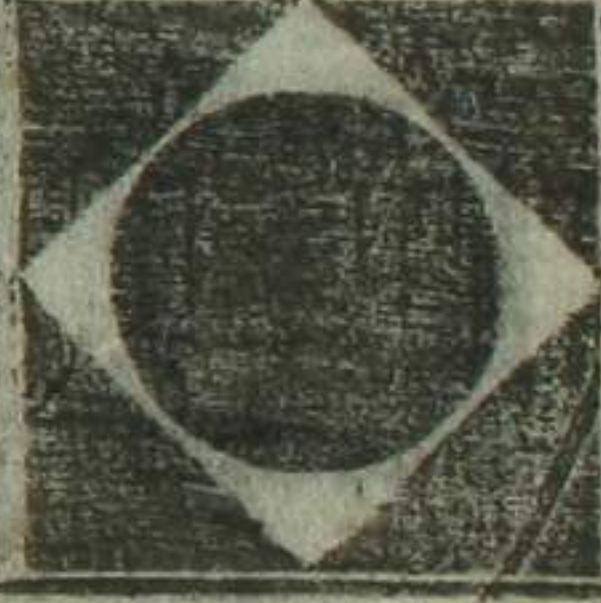
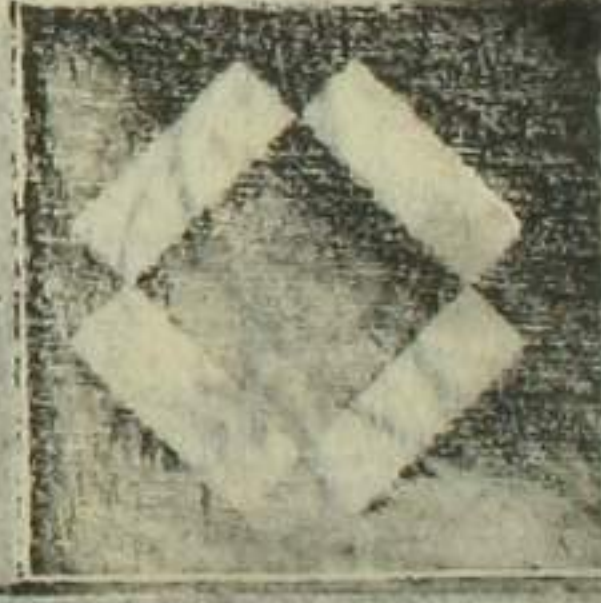
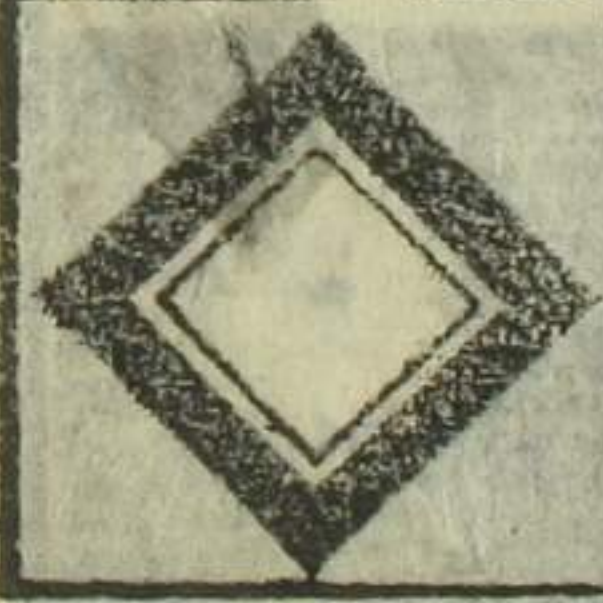


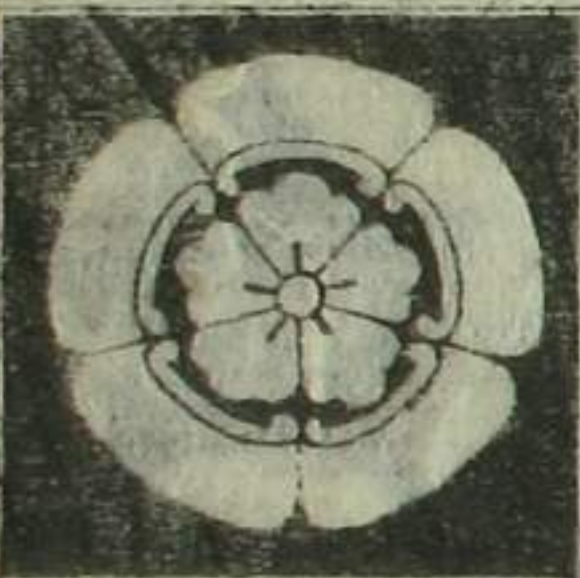

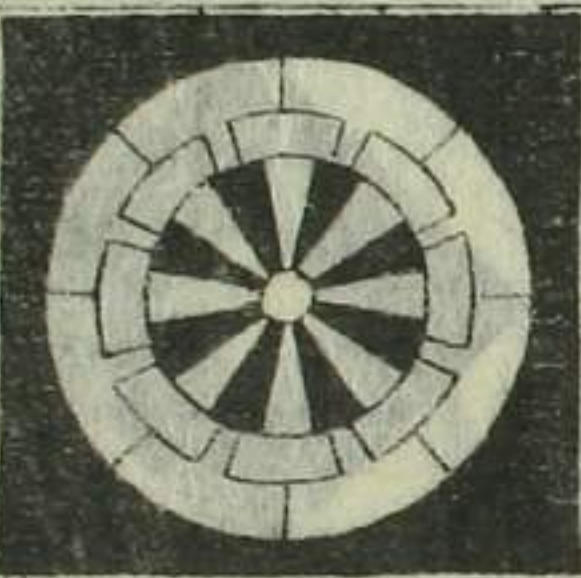
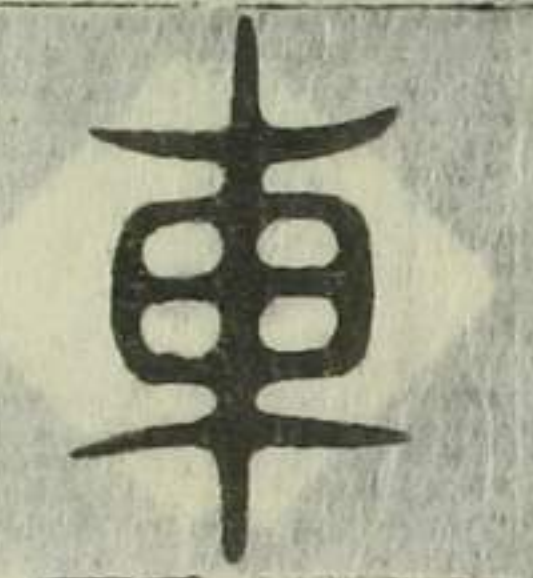




角



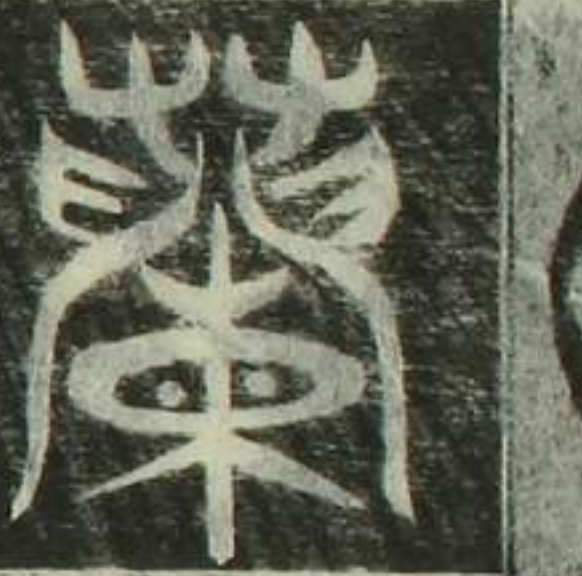
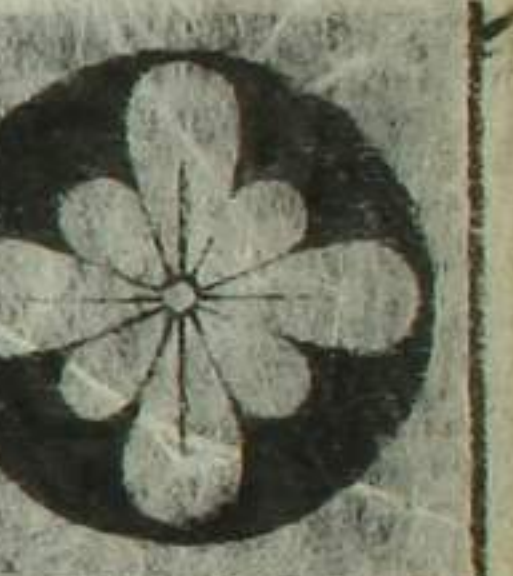

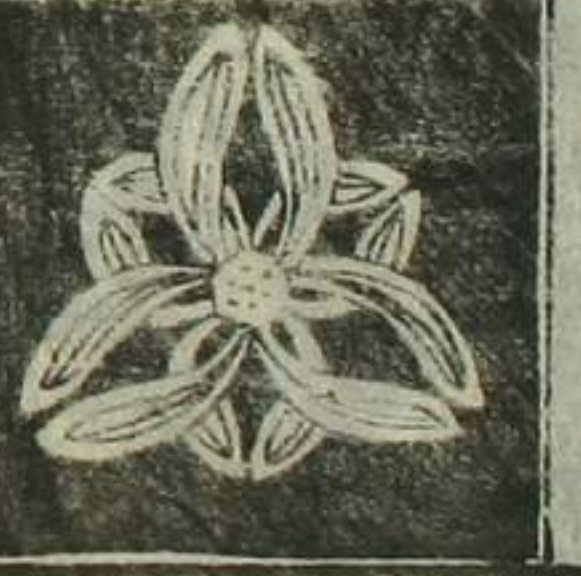

解

入

切



わく	瓦	車氏源	車
			
瓦片	わく	源氏車	車
			

茶	花	蘭	花
			
茶	花	蘭	花
			

丸	おまれ	守軍徳	守
るま	守てい	りま首	りま

打物思	きぬきく	抜釘	しほの丸
ぬきお	打物思	ぬきく	丸お新

王系廣	王系	王系三	王系
王系	王系	王系	王系

王系	王系	王系	王系
王系	王系	王系	王系

ほ	十 臣	いばみ	やらい
い	人たが	いばは	みだしい

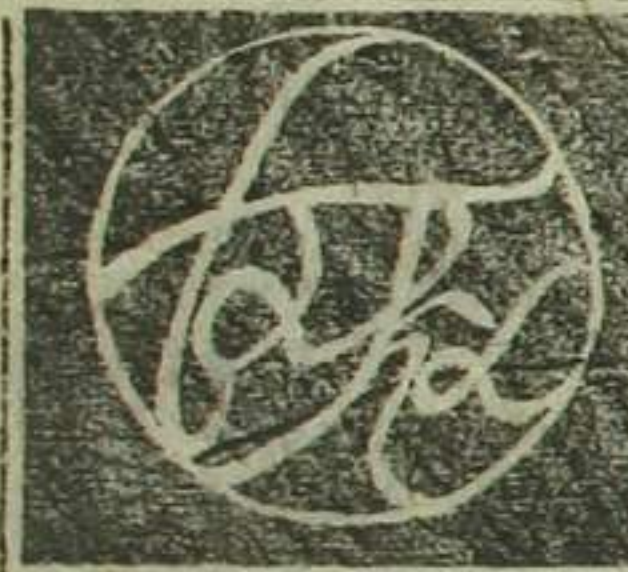
巴 菱	藤	のきす	とろに
とろ菱可	いぬ	とろ居	とろえ

このうた

アむたか

じか

いかにわ



子はらた

めつよ

ハしか

孫がかり



うぼ美

りきち

んしち

へもそ



らだもれ

ごうそ

しちち

このち



蝶	くご	うごんふ	後人せふ
ひふあ	んせつて	ちとこ	みぬ

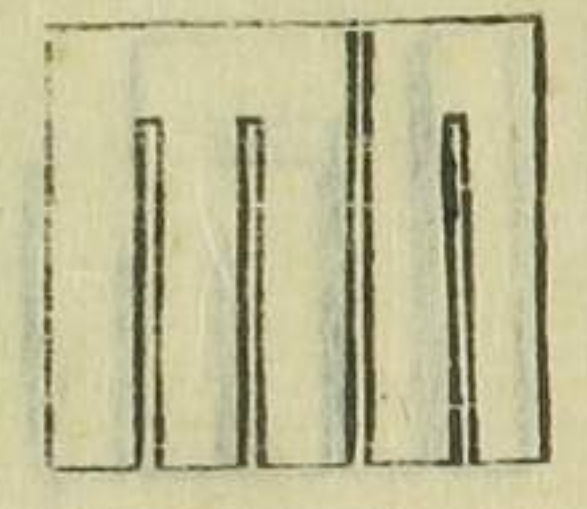
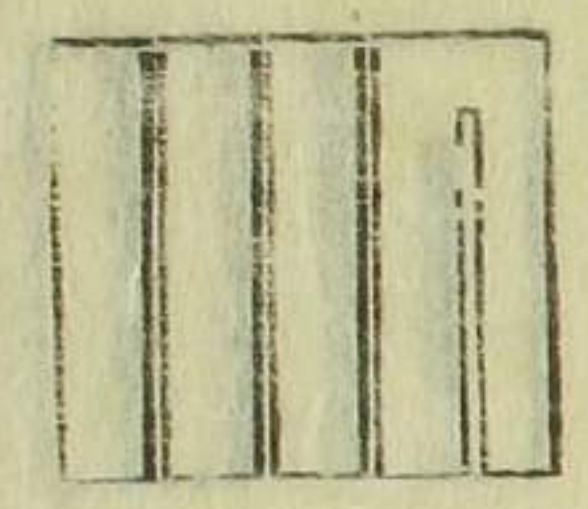
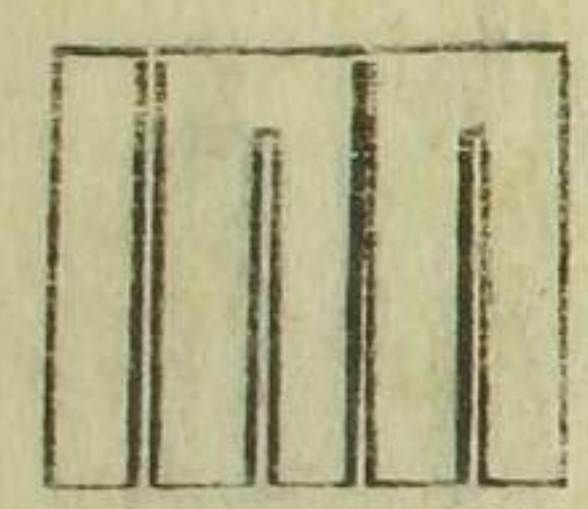
かまや	ころう	めじ	たつ
や	まつ	はら	る

ます	らきせ	らつも	しき
	へす	じみも	きらひ

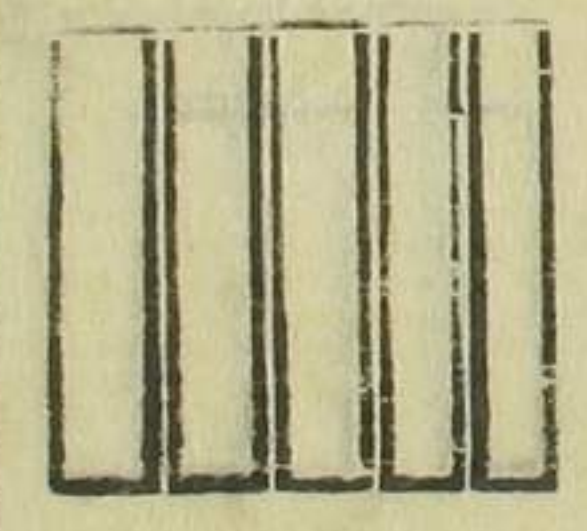
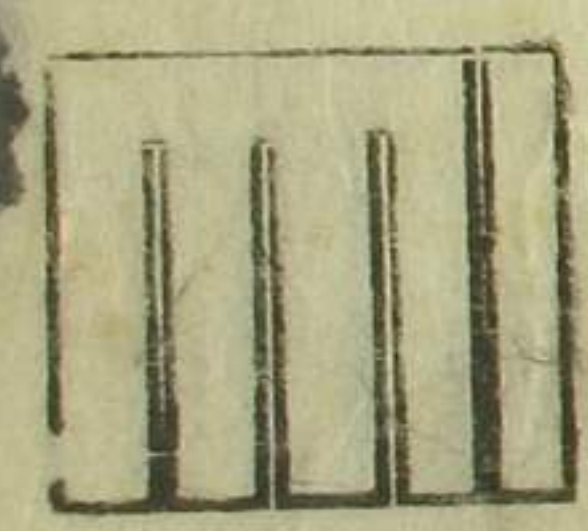
りき	らきせ	らさ	さあ
らきみ	らき		きあ

977A

至さらむる せせたり 不つまき 斷香

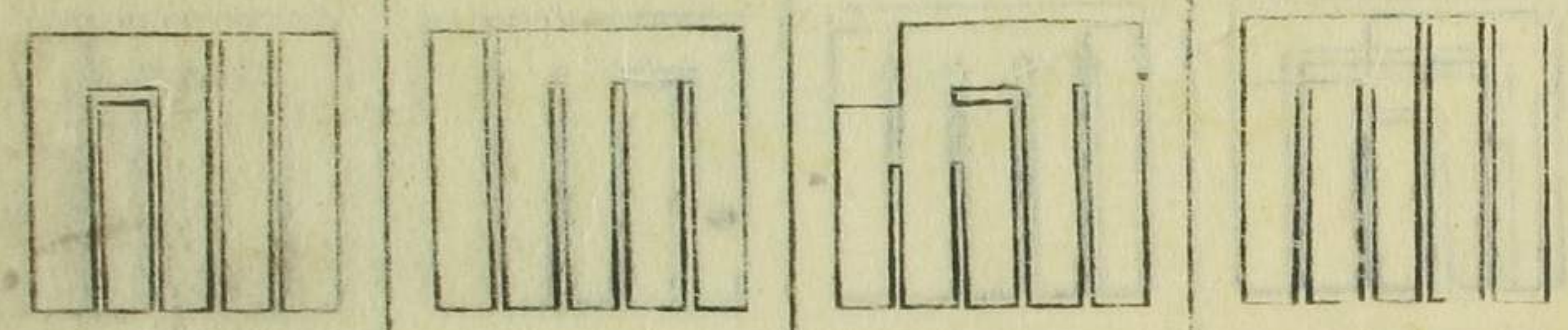


むむつ又 不う夕 さふそ 字篆



香	香	香	香
香	香	香	香

めとともくまう 合 候 ふとまよ



らつらあ とらさあ せうね やませ



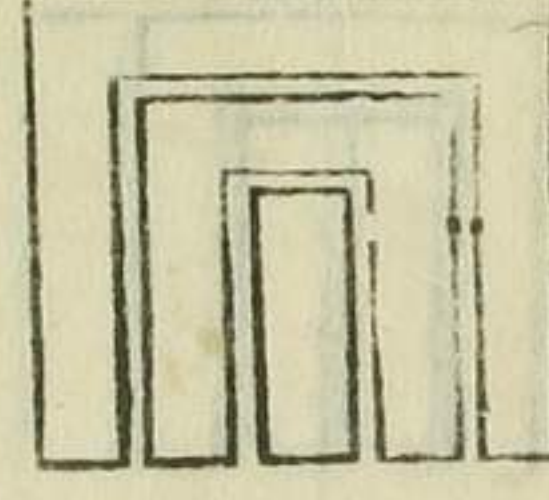
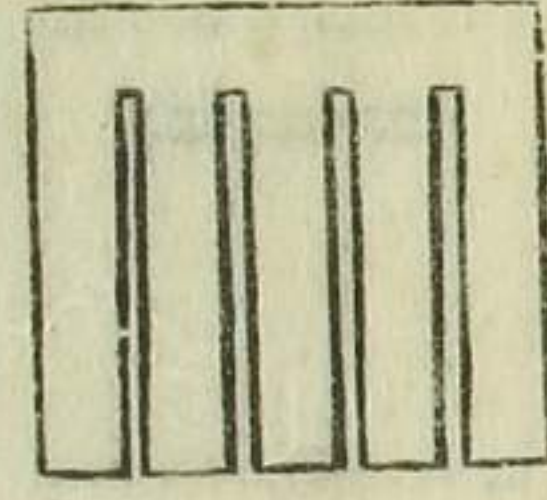
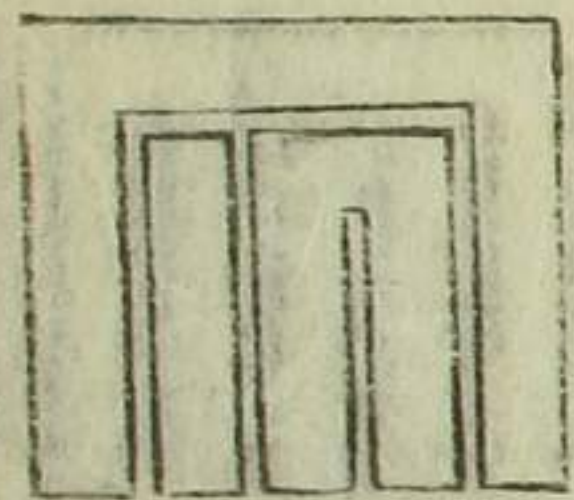
しうあ 里るちあ ひふあ がのトあ



しくとみ 魔 次 本りさ んえのあ



しむいそ えりめむ まりどや らしとき

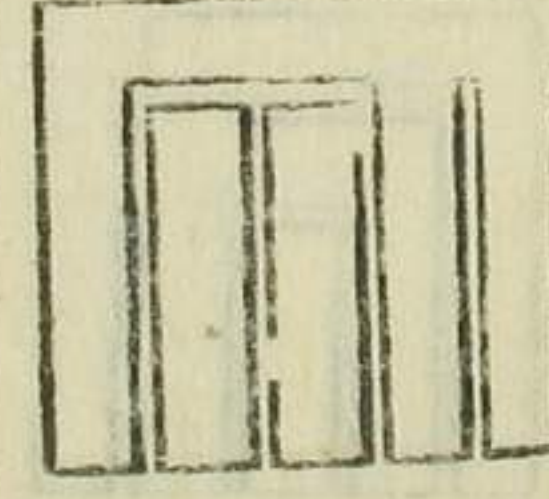
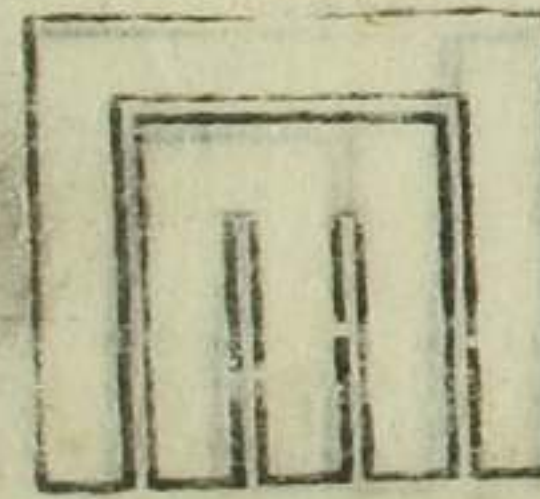


みふりう

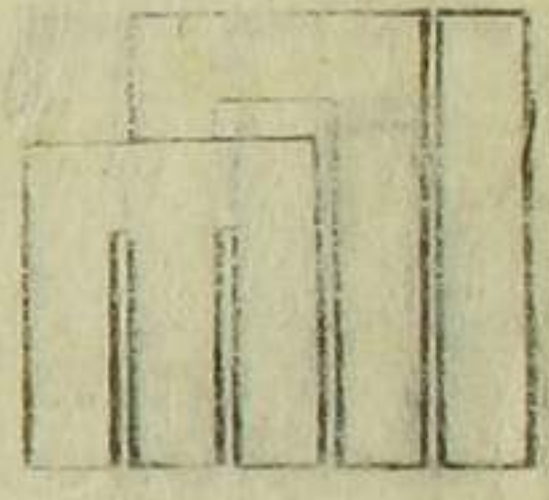
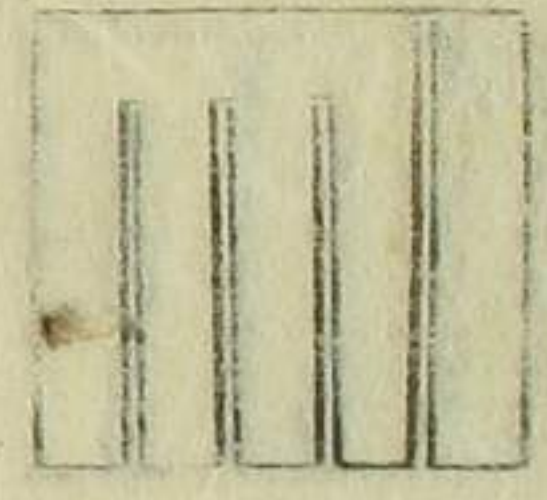
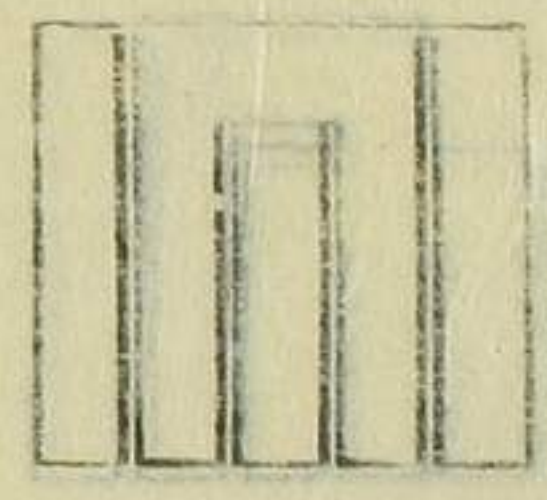
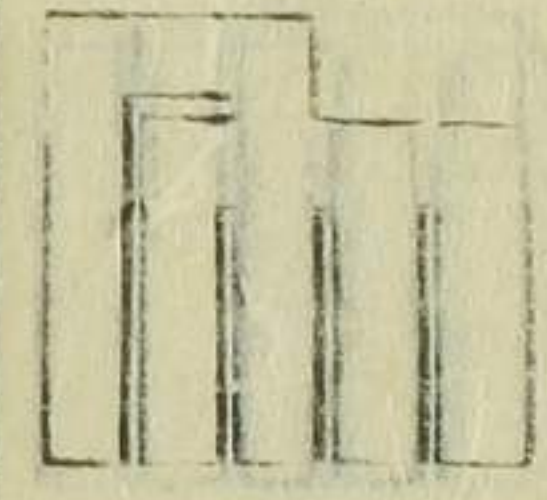
はう竹

いとわか

あか撲



きゆみ 火里がかる とほ ねほと

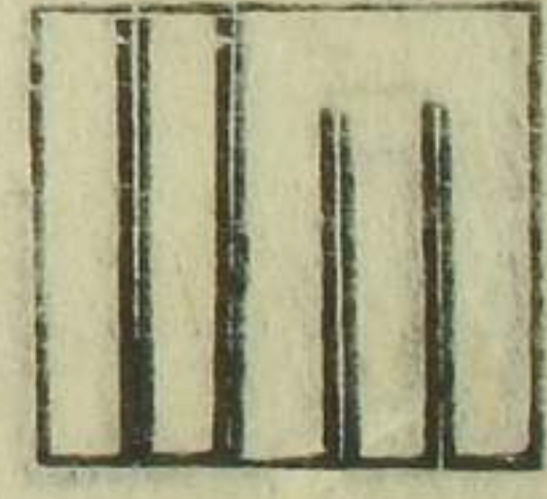
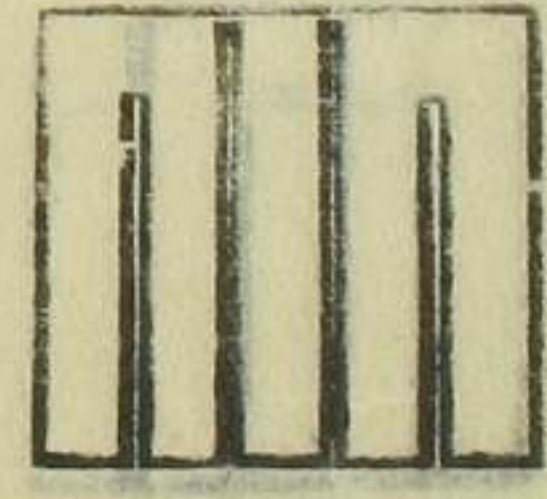


まうと後

とこの

つふこと

ふてあ



あ

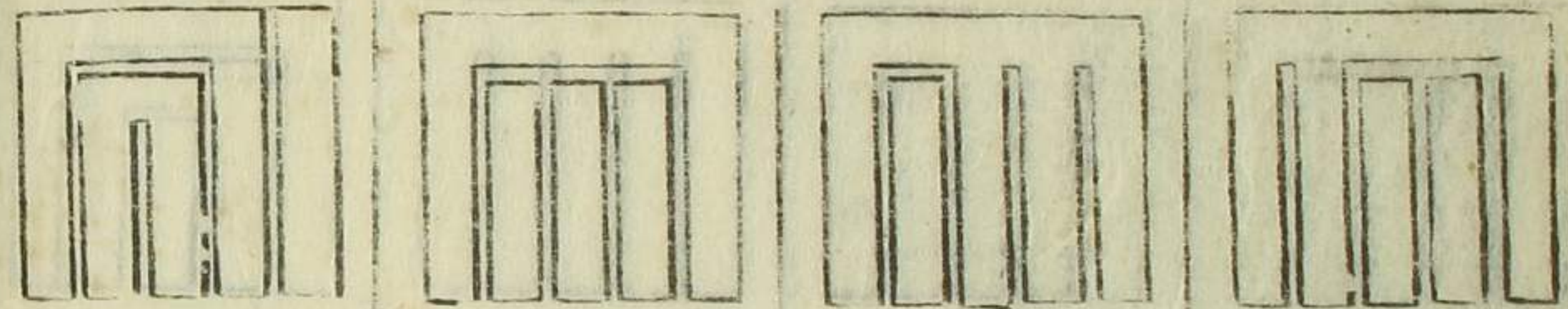
ひらきさ きりしか げのきつ ひらきて



けきのめゆ やまかれ さまげむ しろげり



どもりぬま しろすま めひして おまつあ



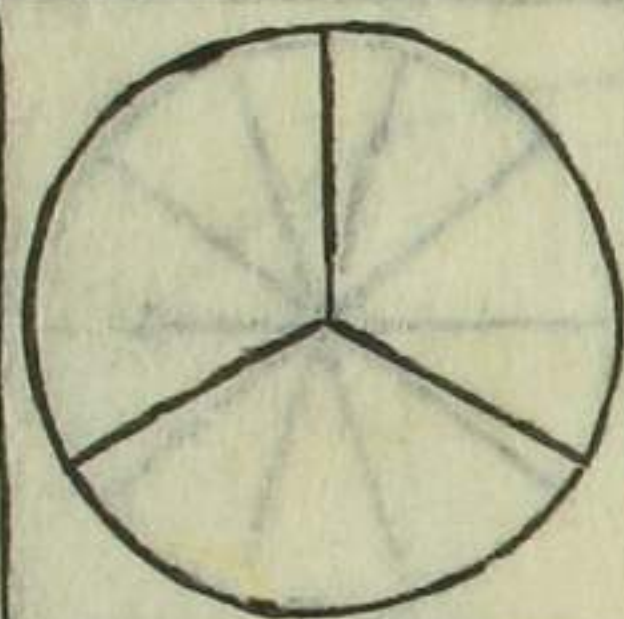
りのみ ちかお ころうのしお でき夕



四の二



三の割



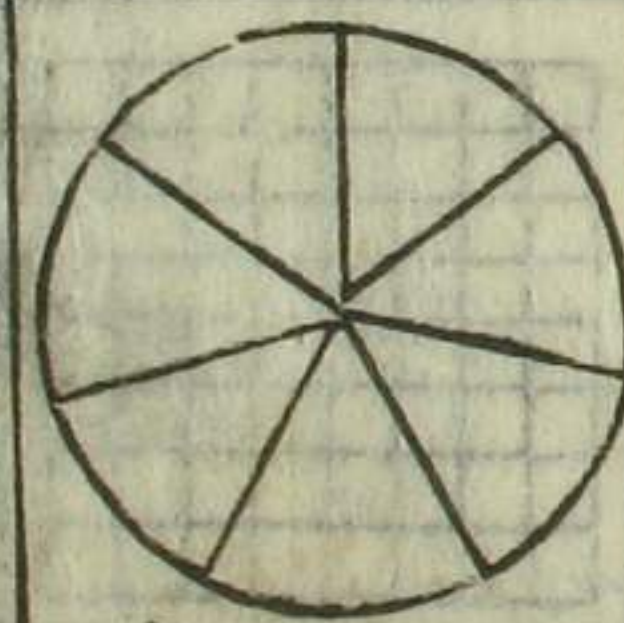
二の割



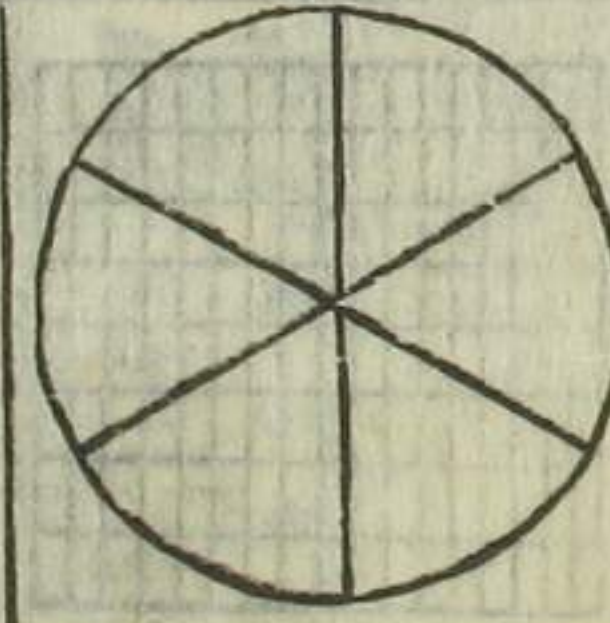
八の二



七の割

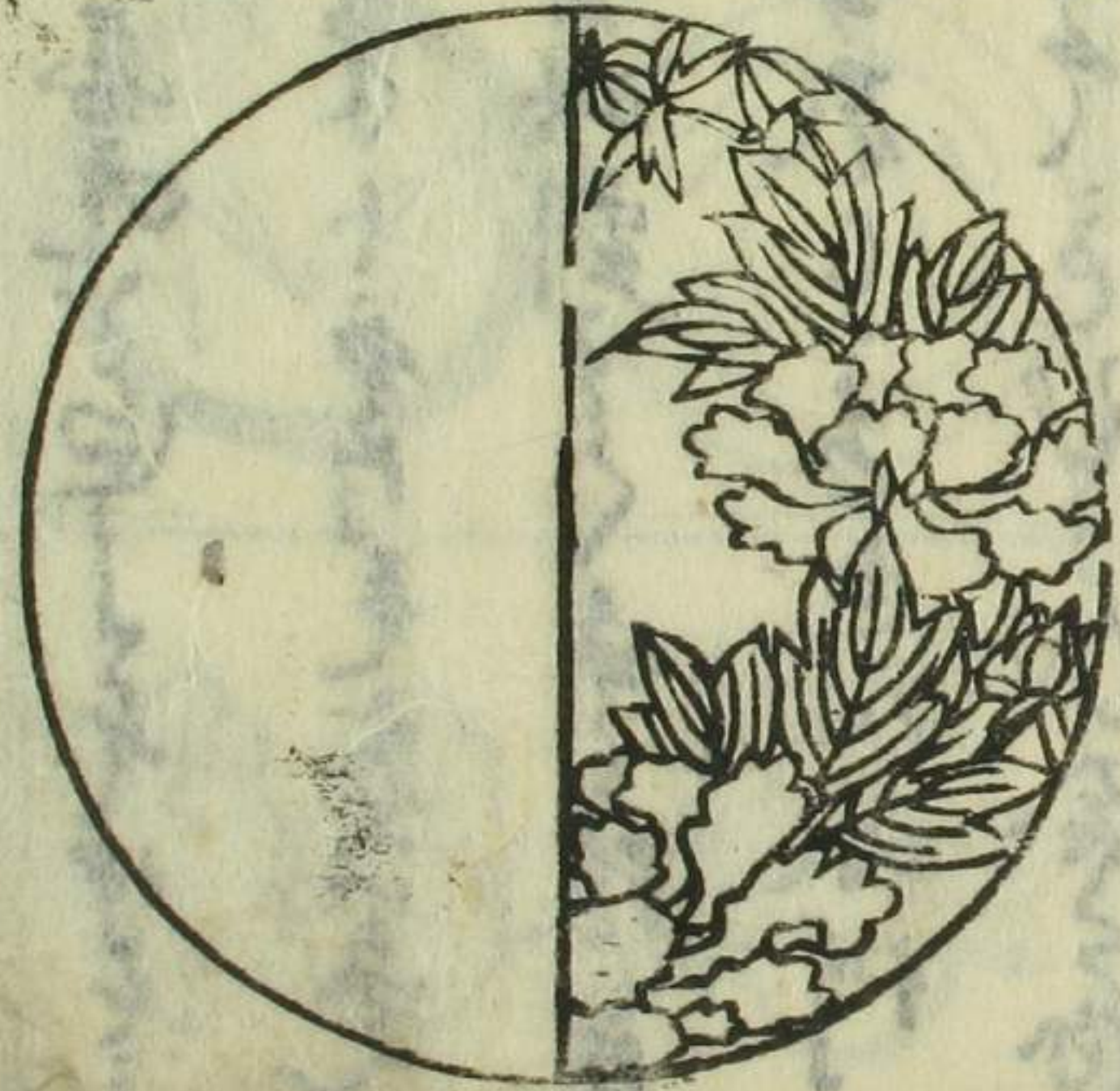


六のわり



○ 割
紋
離
形
の
り

割
紋
割
形
品



あ向合紋をなする部

○割紋秘傳たふさるに
 かく字濃むらゑたのぶらけいと
 引く又けいの上へ書き紙をめて
 書はたやそくかけるなり

割の字二月	りまの十	りまの五
割字ニてとに	りまのトくか	りまの九

白合世乃紋刻板

右邊の白合世乃紋刻板

白合世乃紋刻板

白合世乃紋刻板

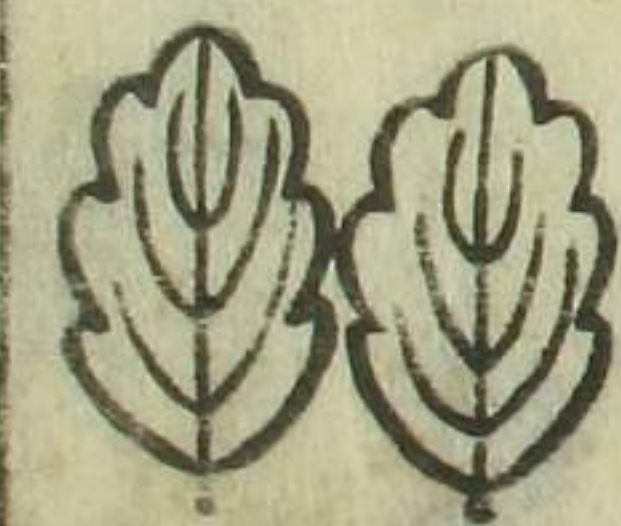
白合世乃紋刻板

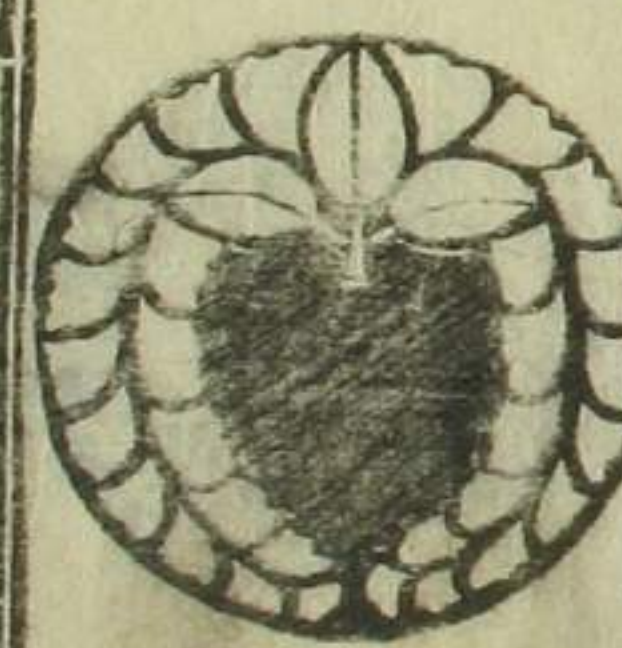
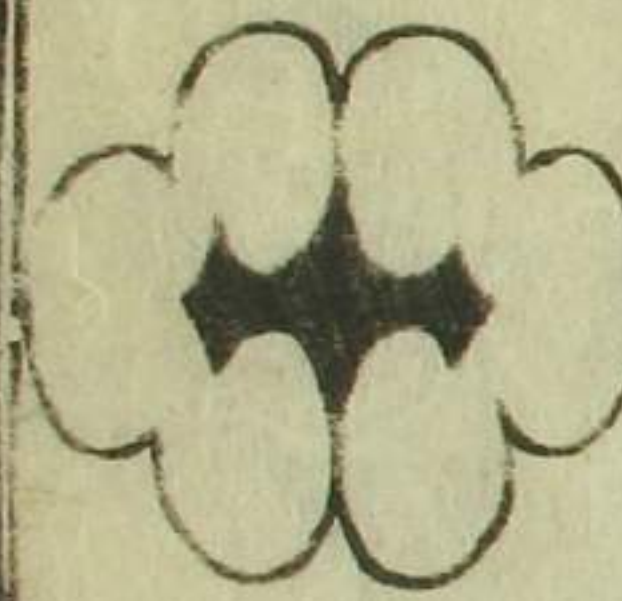
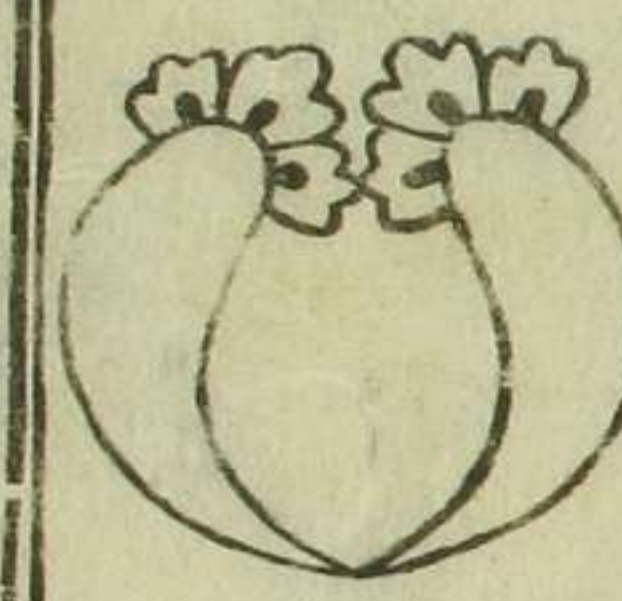
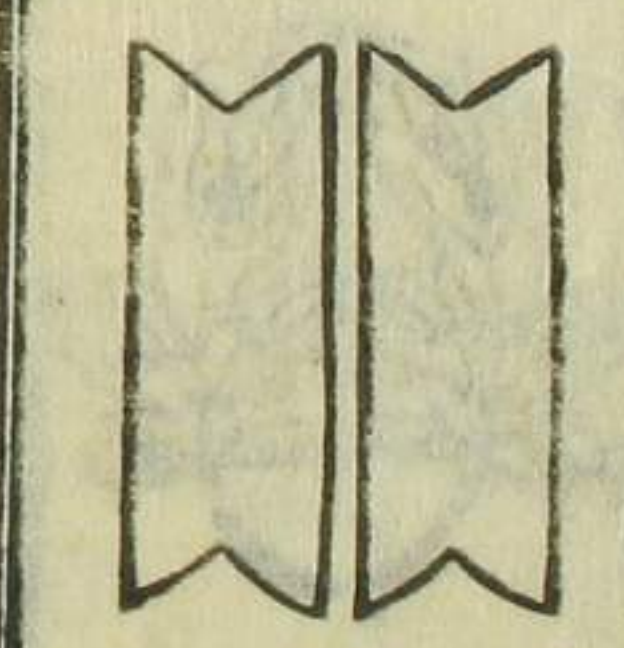
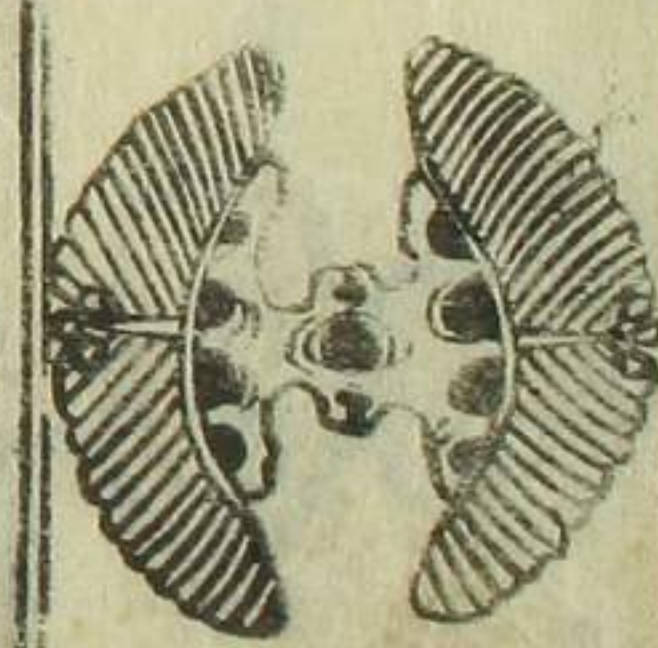
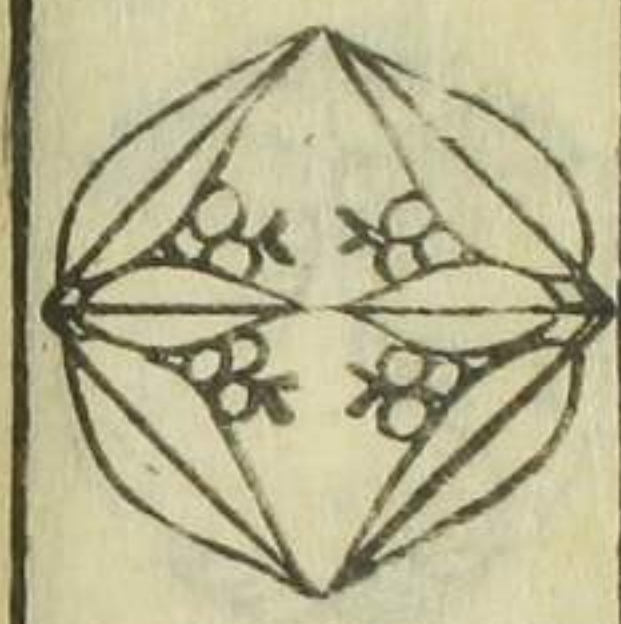
白合世乃紋刻板

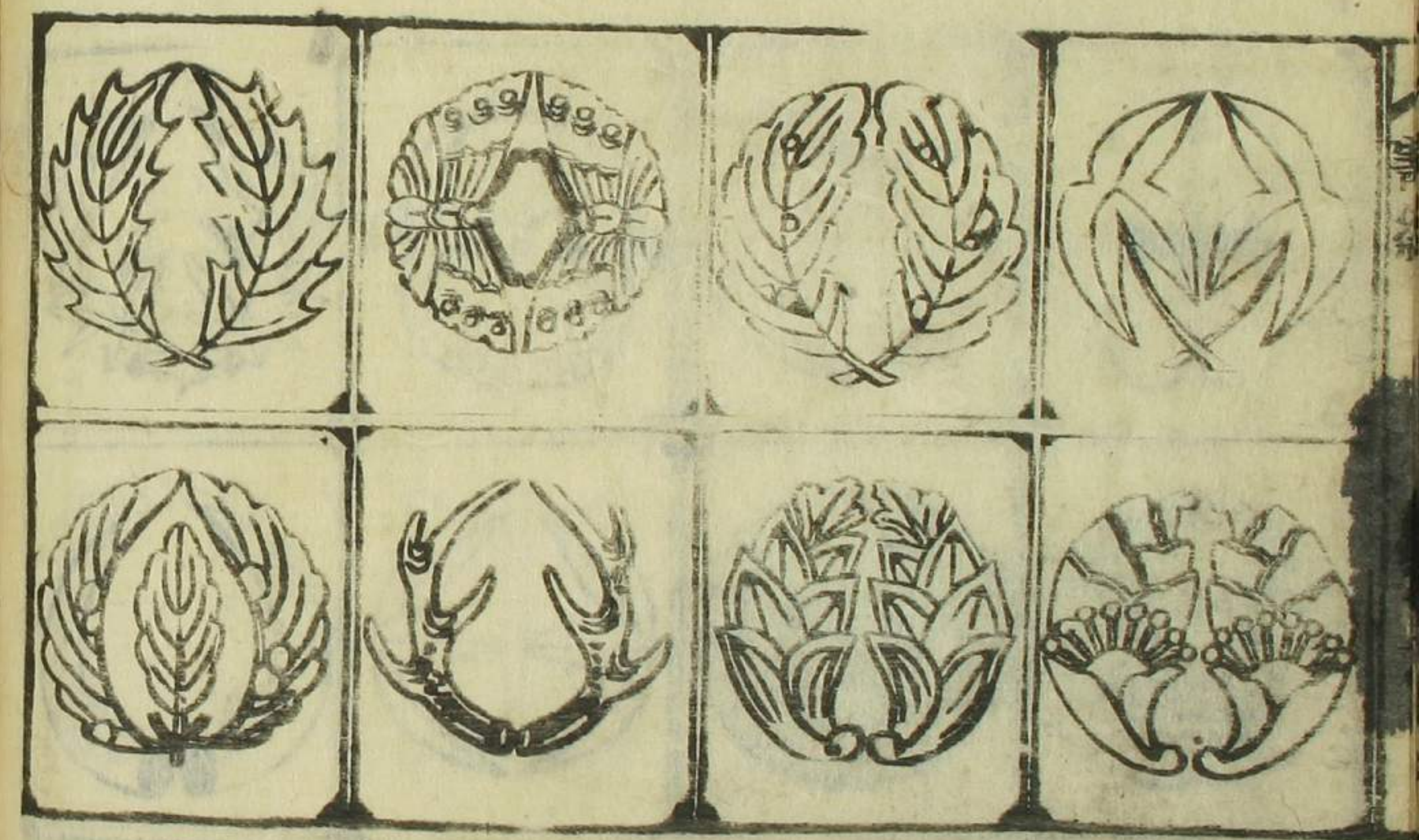
白合世乃紋刻板

白合世乃紋刻板

白合世

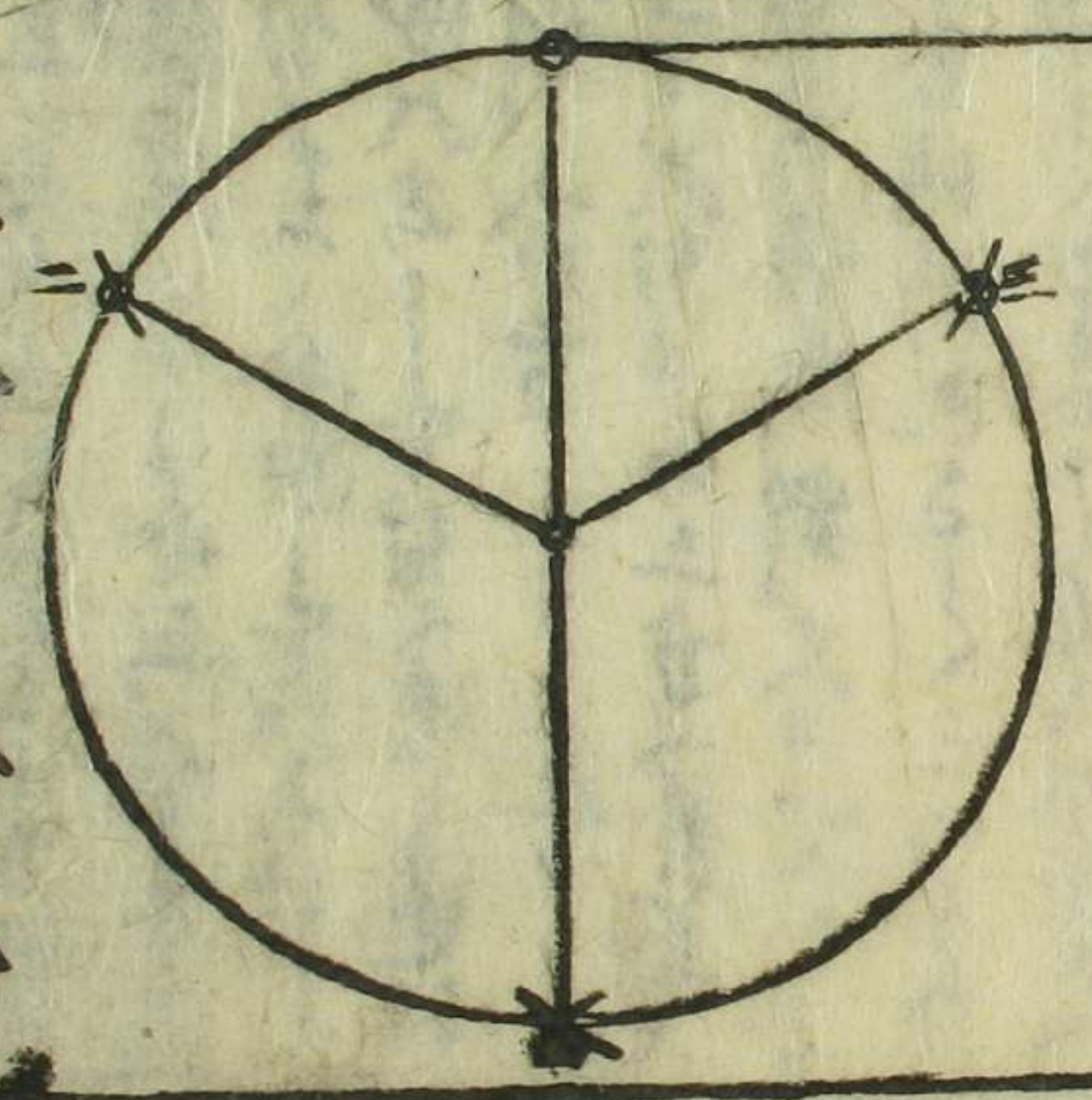






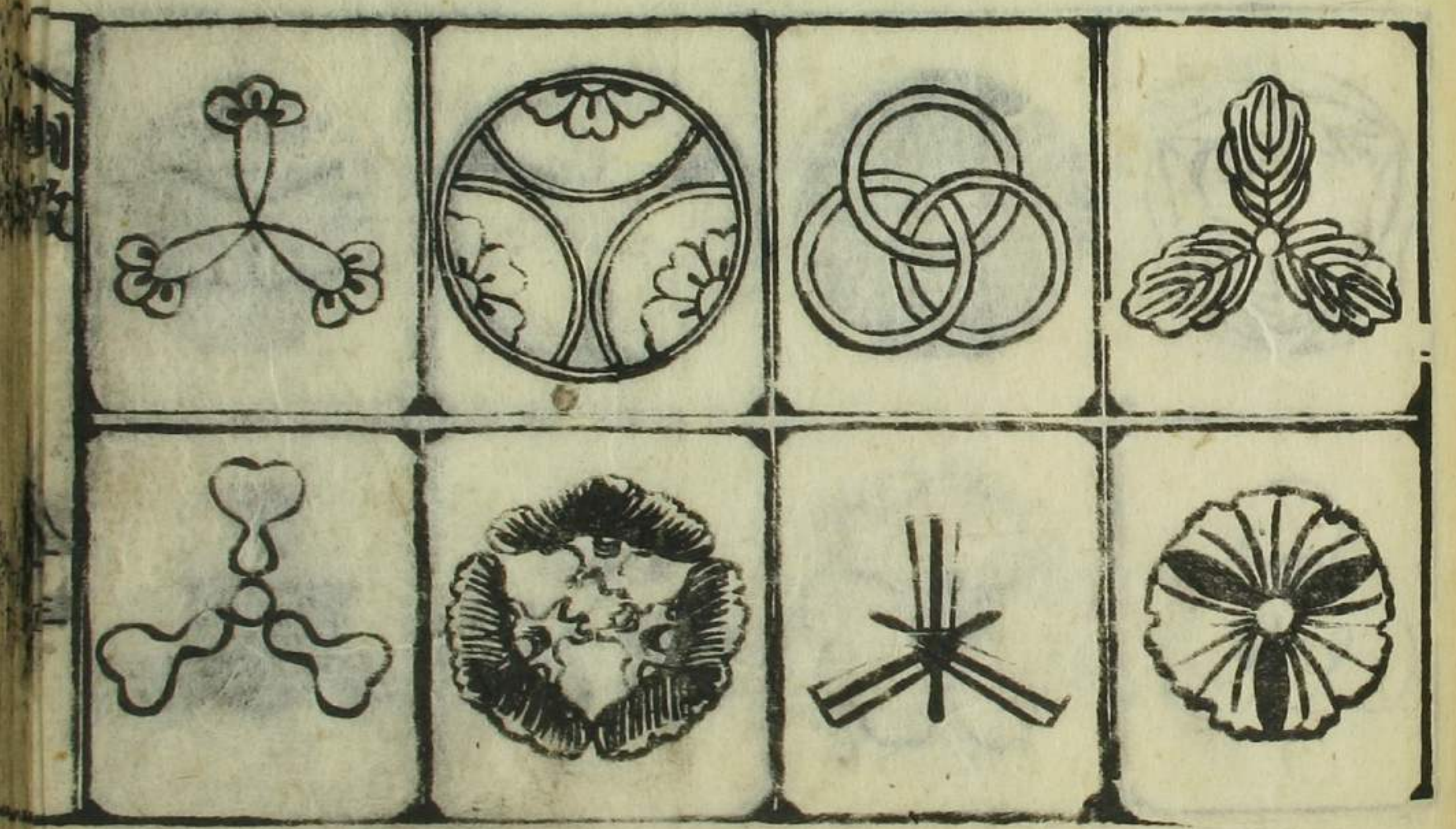
三つものやうな

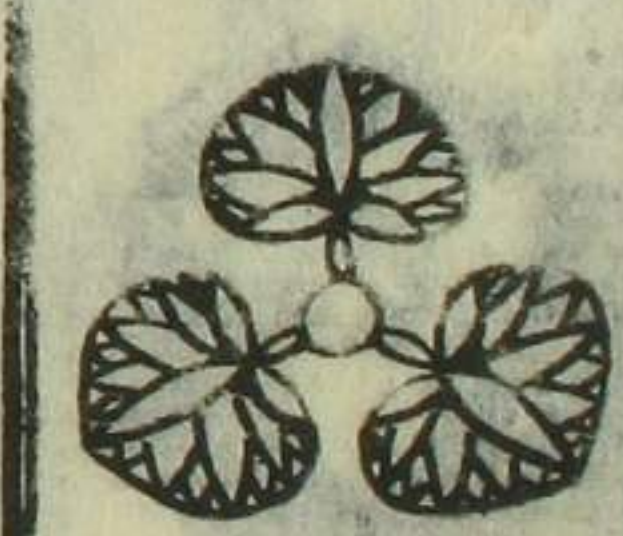
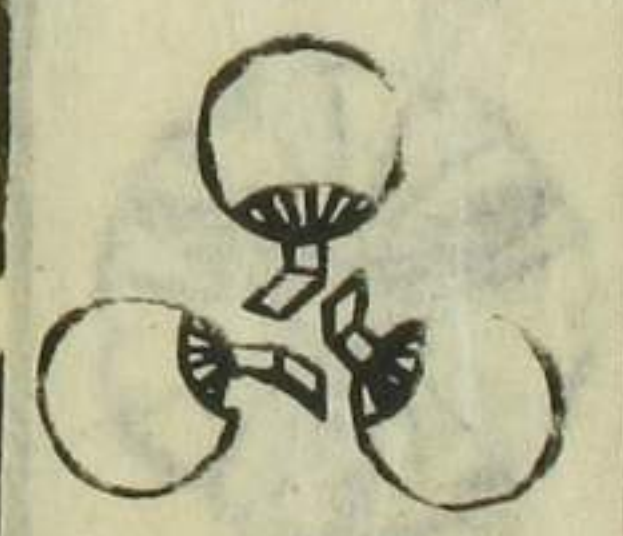
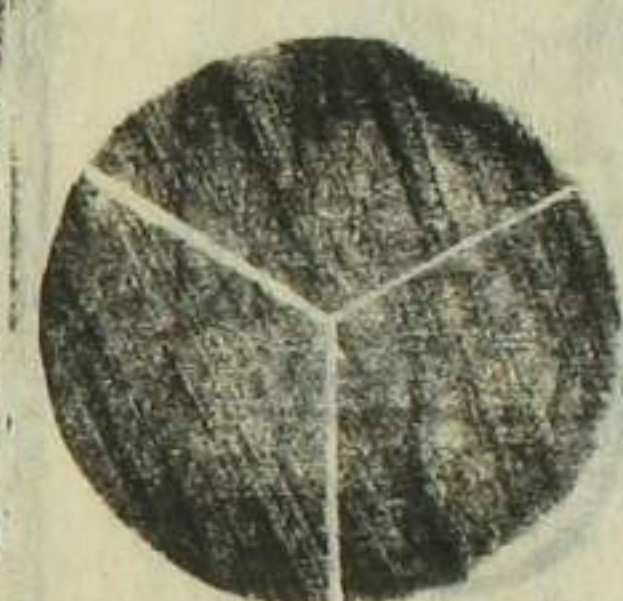
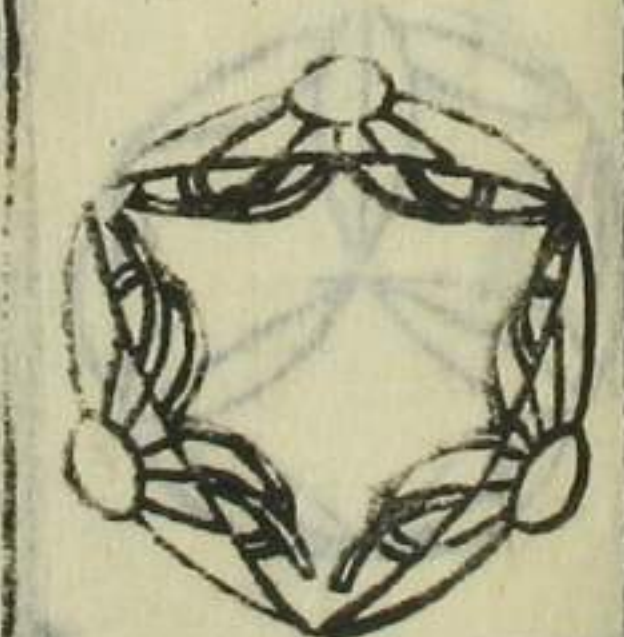
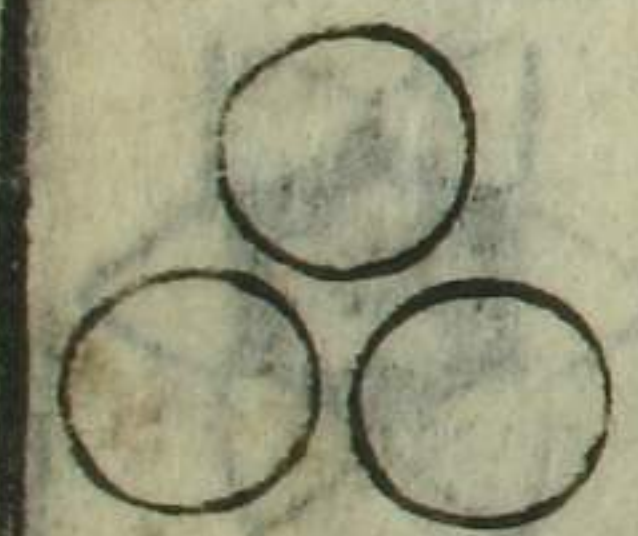
はかり何と金回し



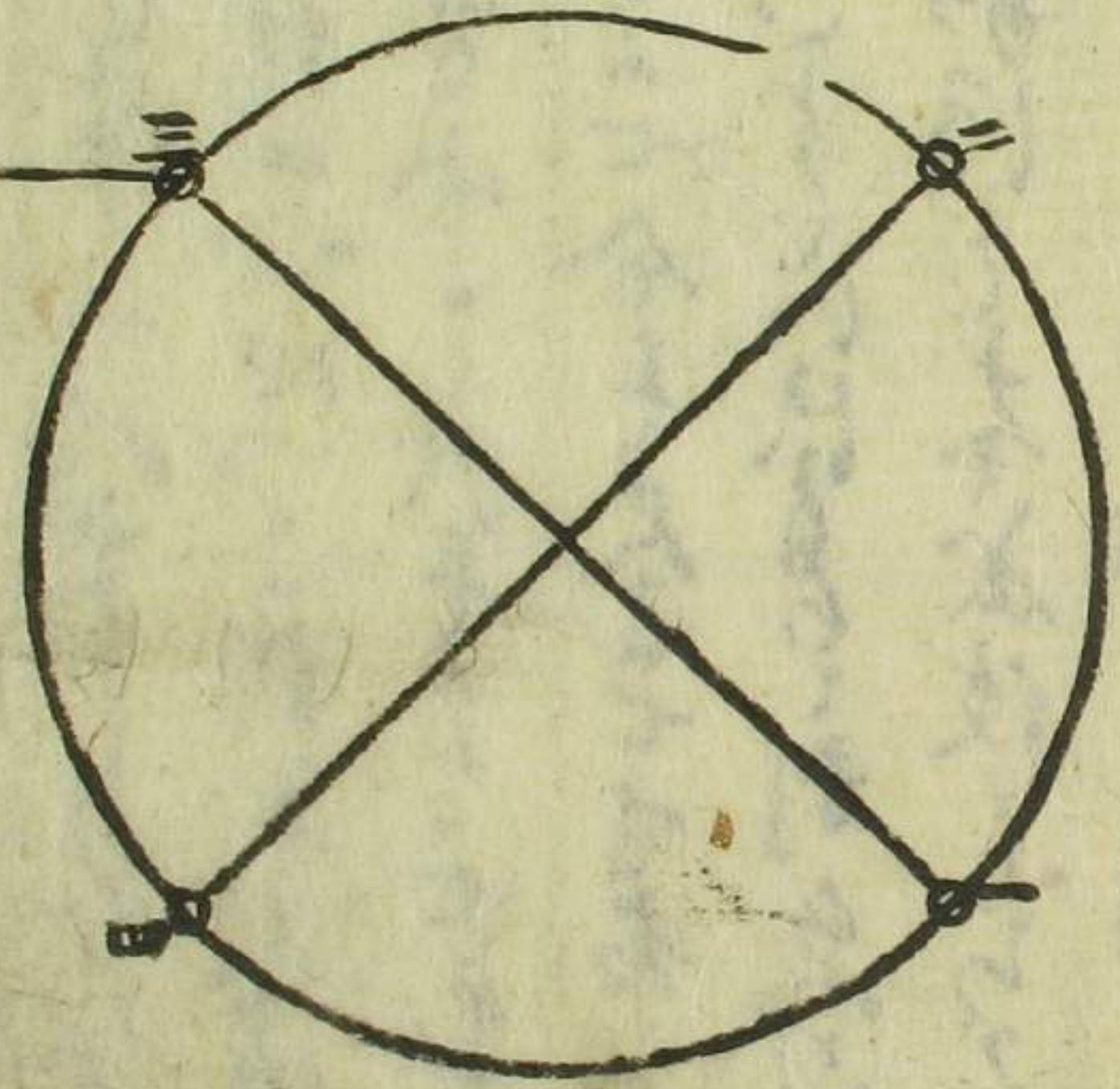
は丸を三つに分ける丸
 七寸五分有但まをすの丸
 丸廻り三寸有、可成り
 の丸三寸有、三寸五分

名ニツの物別やうの事先
 九と包一ニツまう此令包一ふ
 て如家一此京に令まうと
 立ある方二三此まうと付
 儀二乃京よ令包一とまう
 形まう令包一とまうけん
 四此まうと付之者く通に
 割一ハニツまうとまう
 中れりり三方一卦儀
 かり名三別大サハハ
 も同めとまうニツまう
 少く出まうり人此まう
 方書儀も物也け何
 まうまうニツまう
 一別也

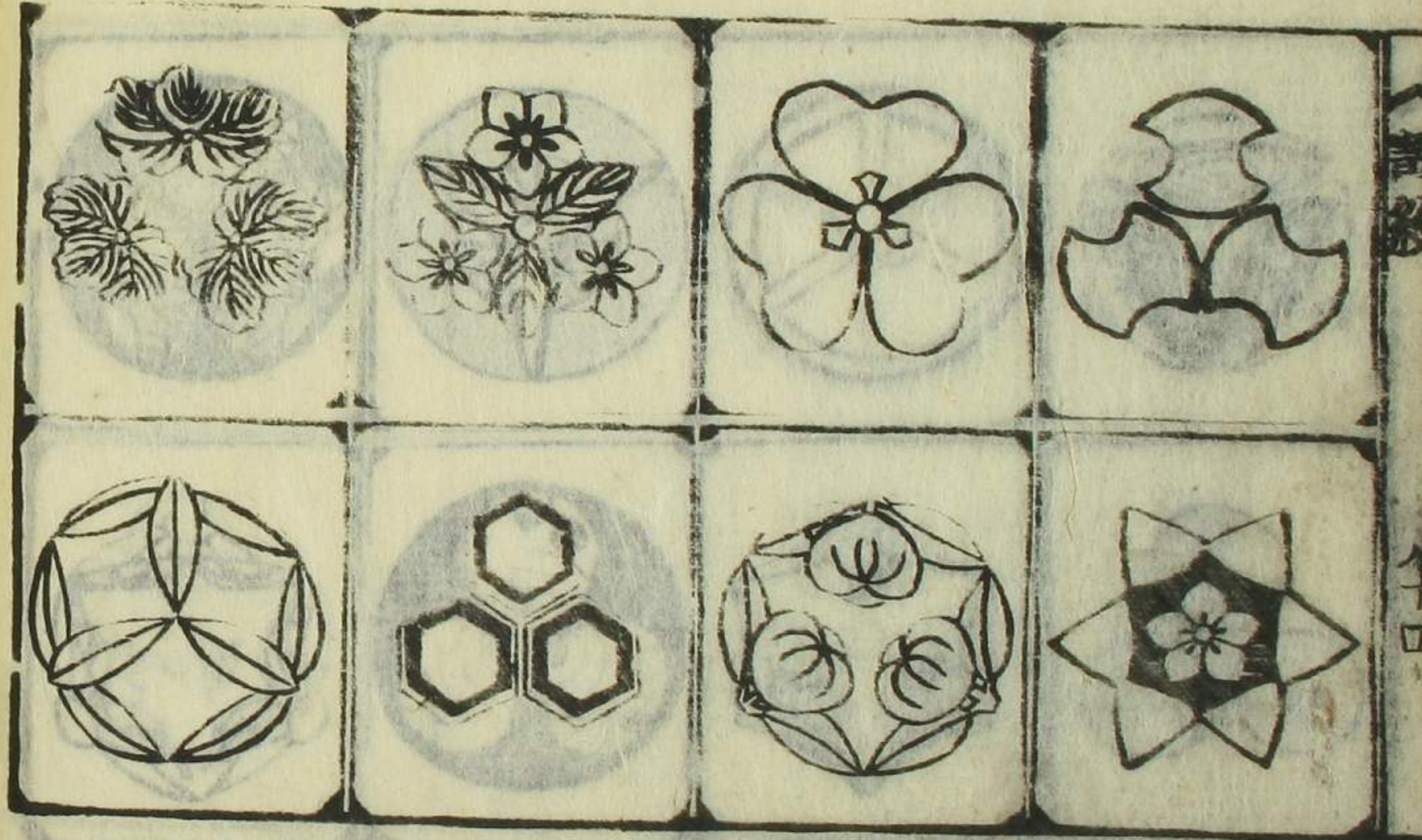




四ツ刻をうゑる

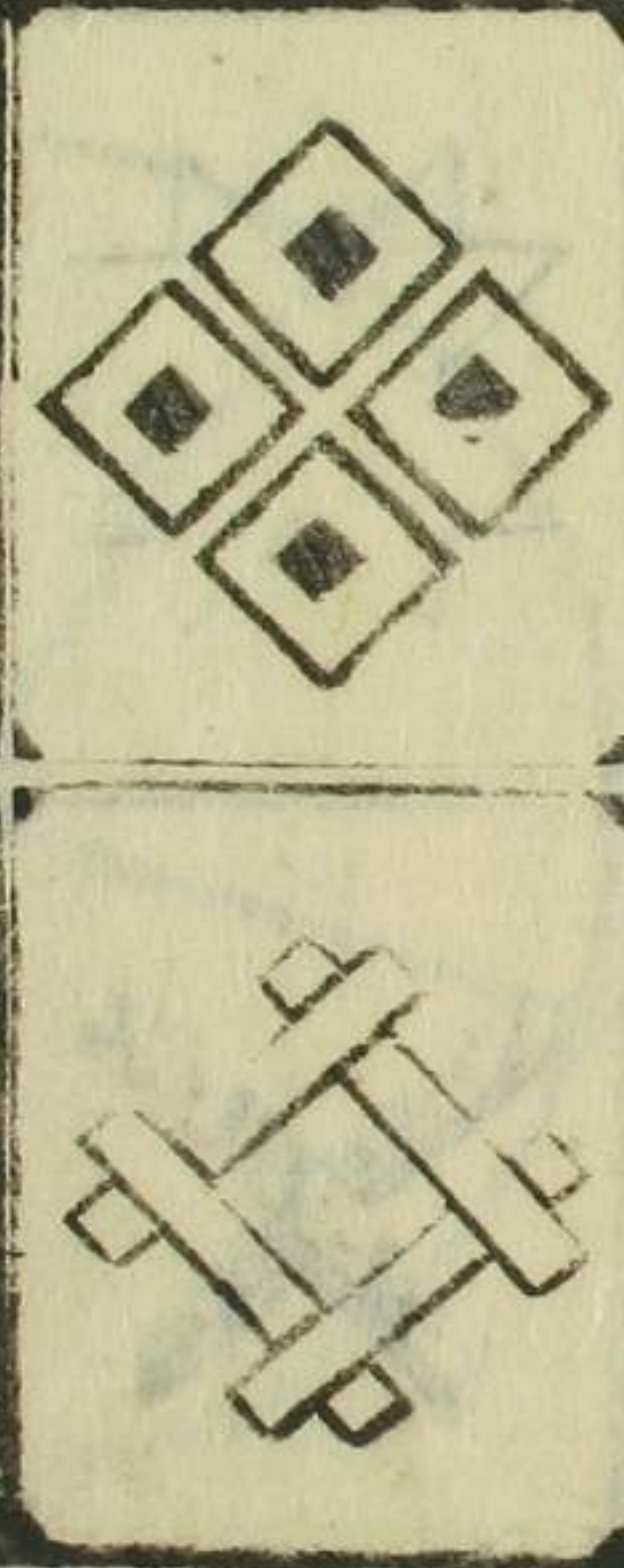


びりしちんまをうゑる
まうしちんま

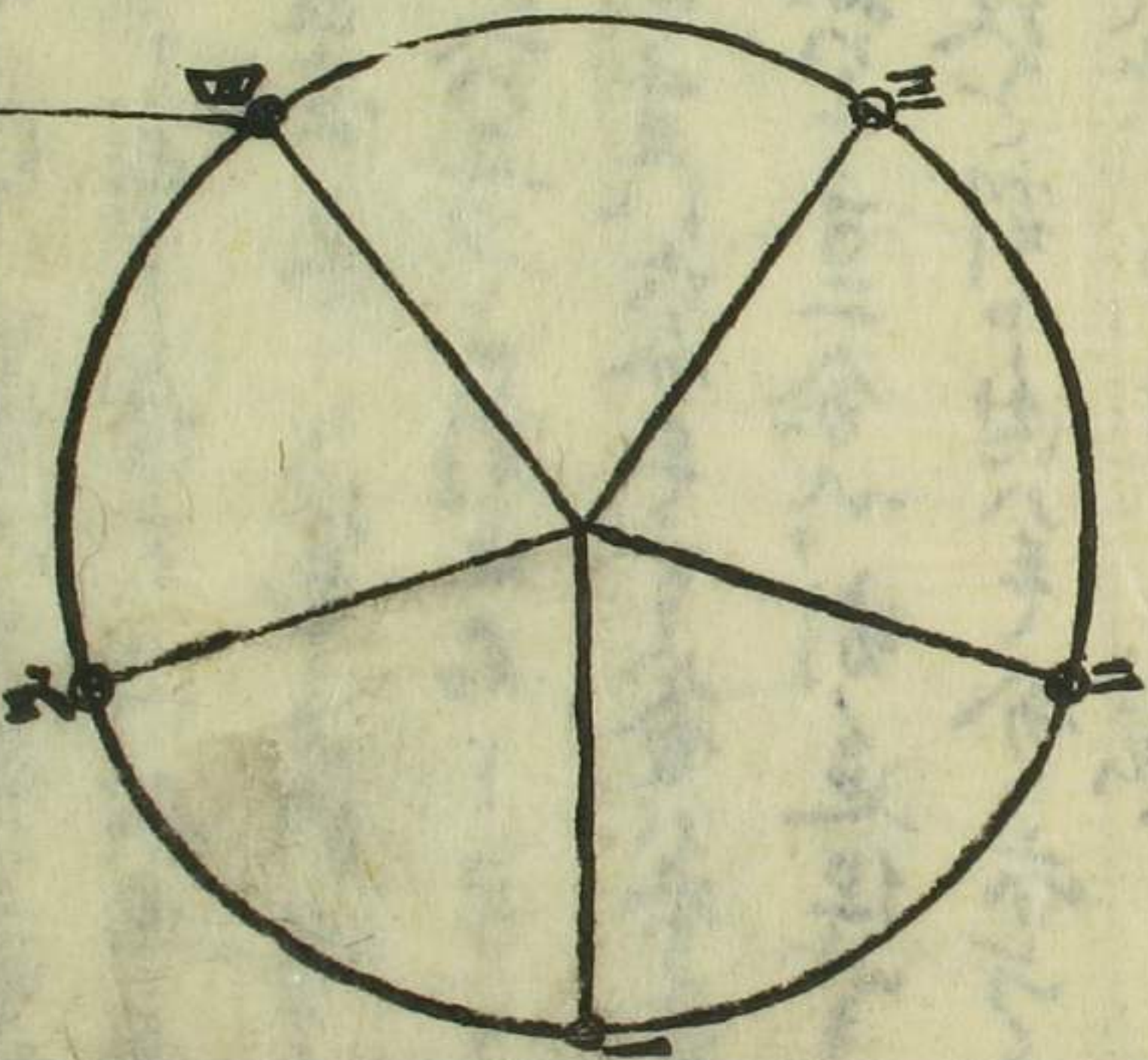


八重
半四

右の仕根え奉成金
 五ヶ所紋口ツよ割ヤ付
 分廻しと七分ひのけ湯
 のまじり此のりニニ
 付ひのつよ割也大
 すふらしびまりニ七毛
 一七分を人よ七寸者
 ごとくははらし別ひい
 如ほと奉成紋もらひ
 なく割也極ち割めて
 奉成紋のふあき書
 製物や也

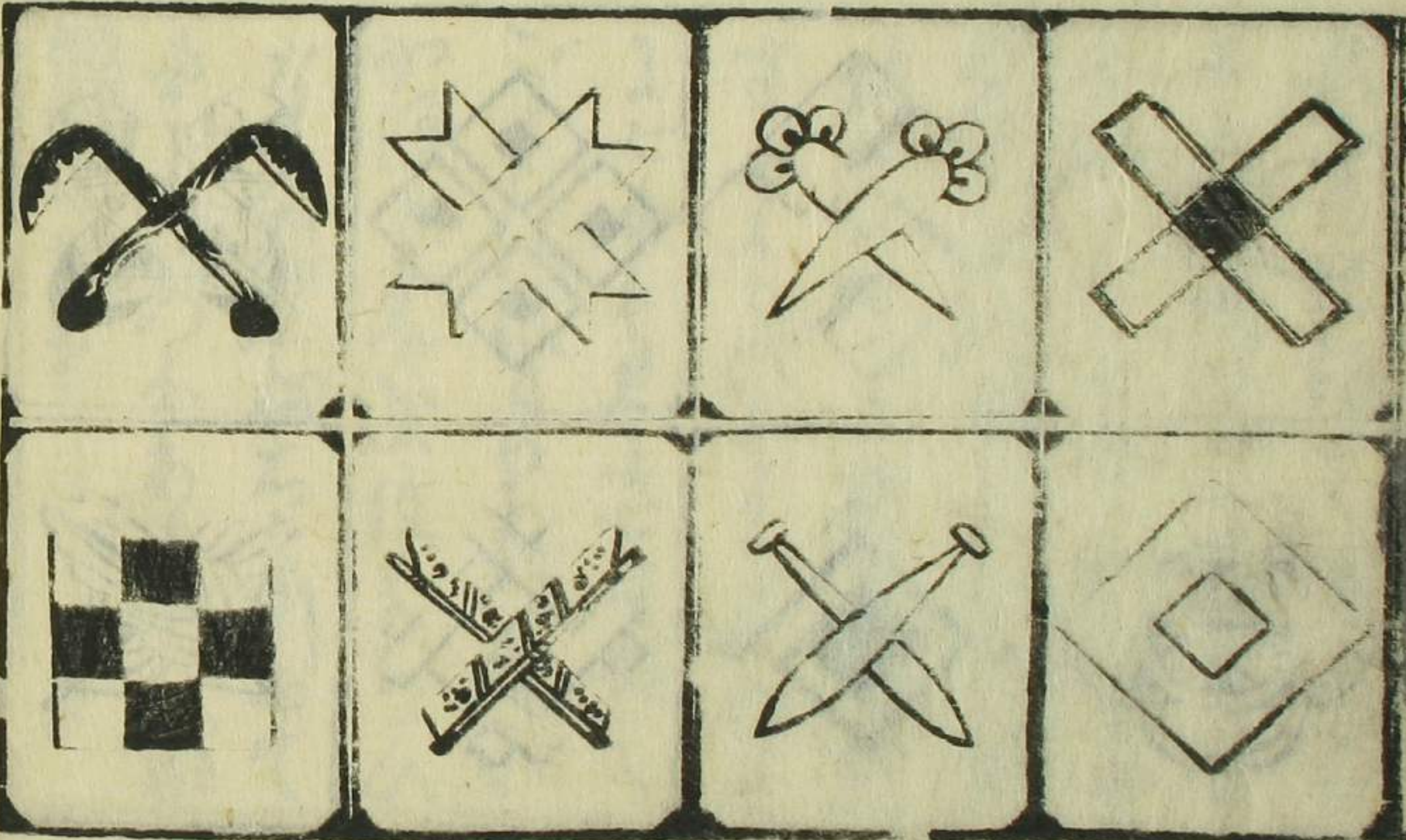


五ツ割やうの図



五ツ割
はつハスツ九ニ分
立不

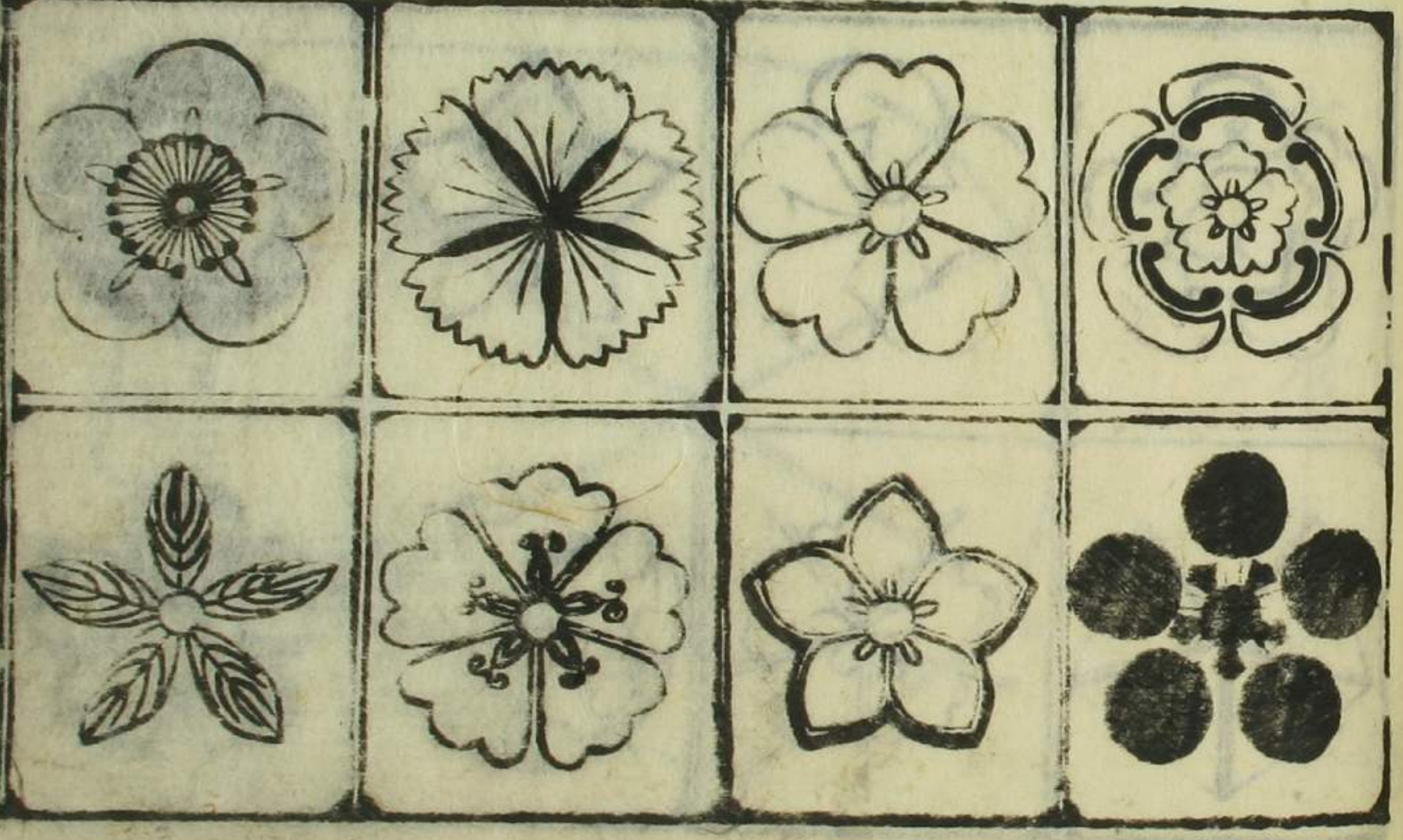
書



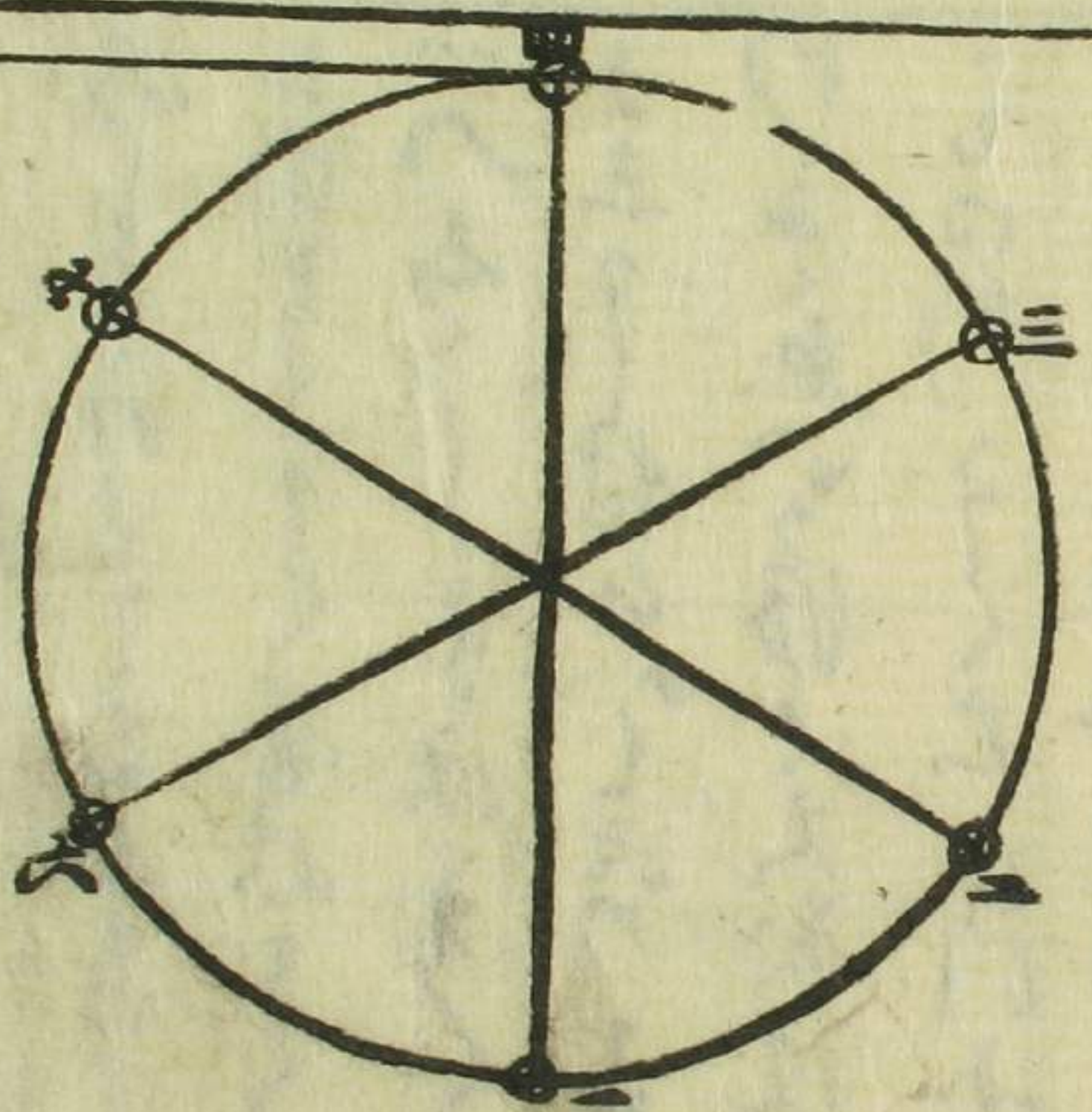
割

文

おろし物割やうは事或は弁
 をす丸とカツニ割付六分丸
 且止して割付の早き三三更
 三三更の付たるは一分目一
 立者若くは深きよ割付リ
 以ハ五ツ一割也ちこころく
 ます凡六分をす入谷ハ各す
 おろしす二分ハ割付也但此等
 紋と割付ハ八分ハ分ニ分ラ
 此はもわうけ毛ハ遠事ナリ
 儼スハ割付紋としく中
 以也色ハもくハ割付ハ割



六ツ割をうゑる図



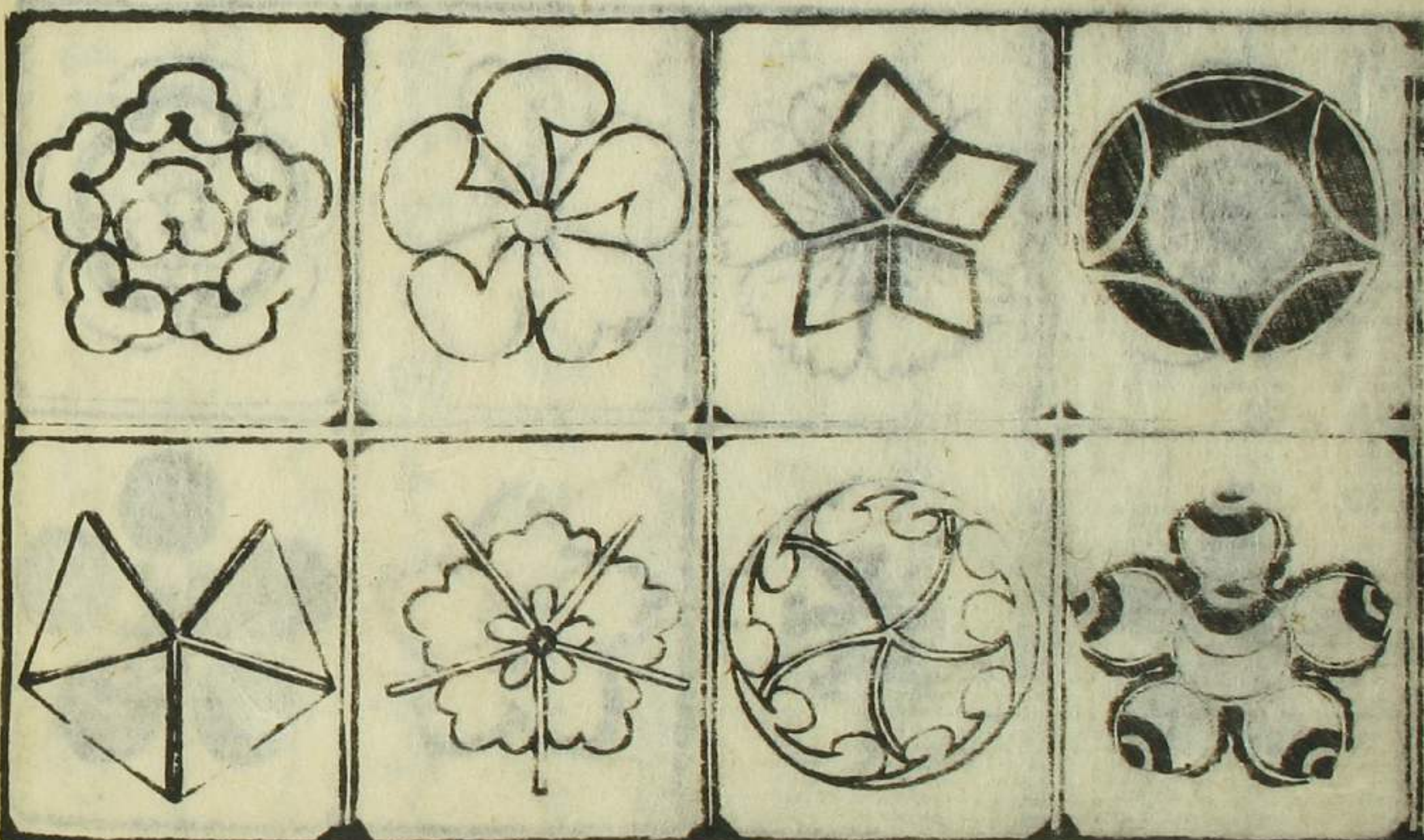
此のハツ割をうゑる図の
まゝにうゑる

割

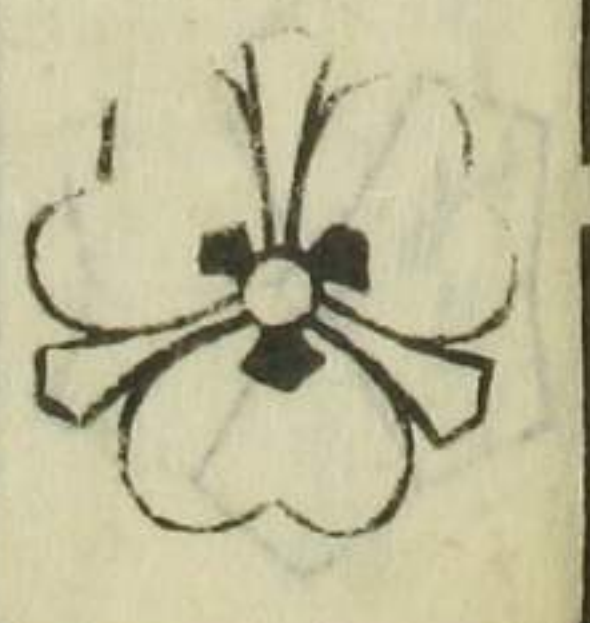
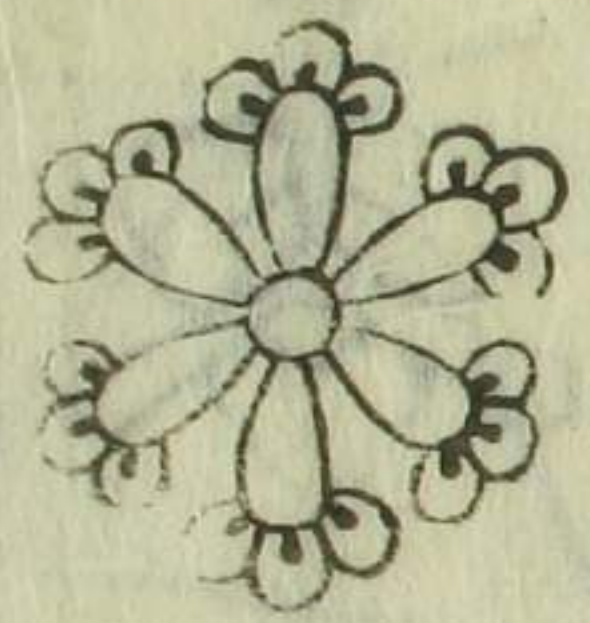
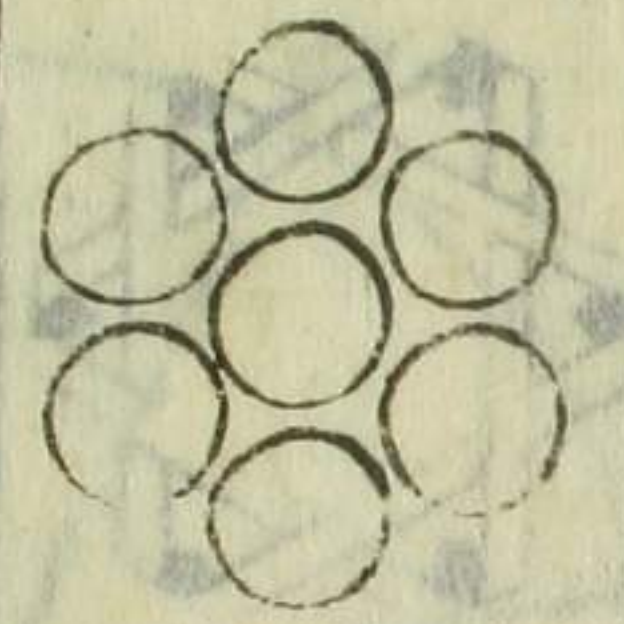
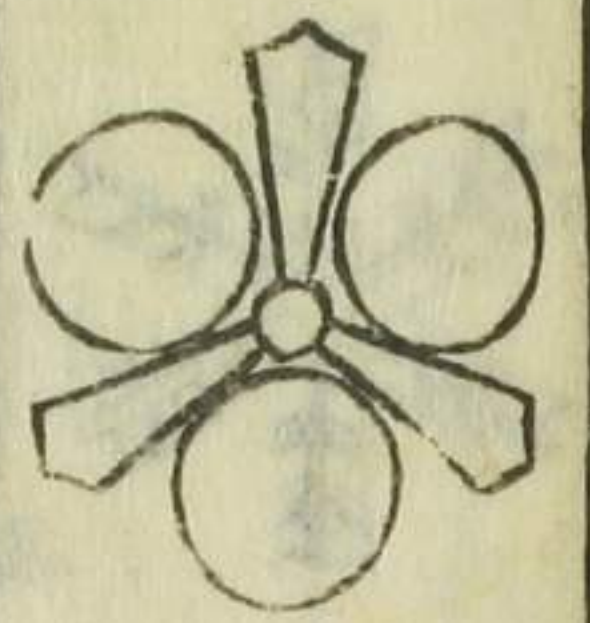
六

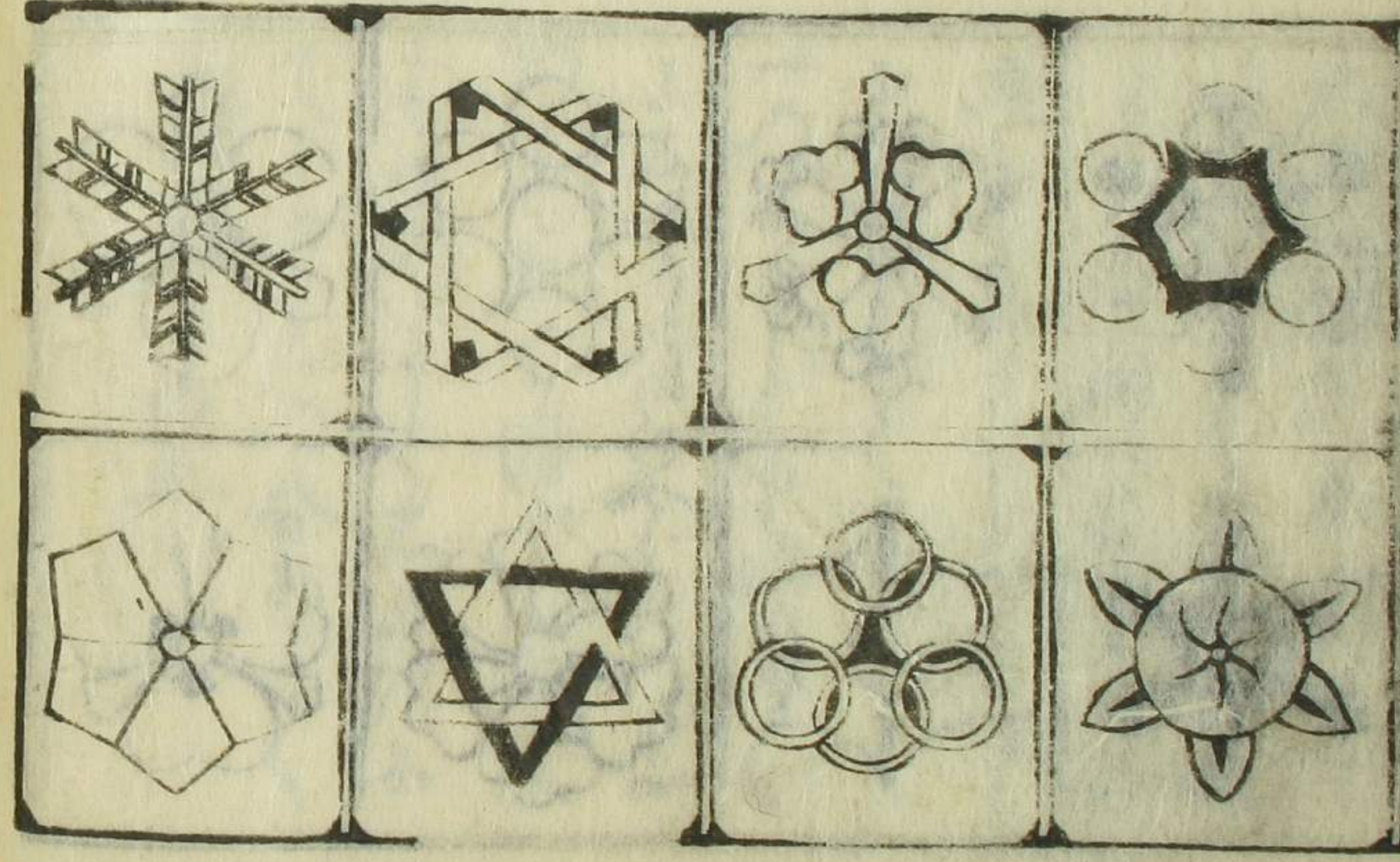
六

六

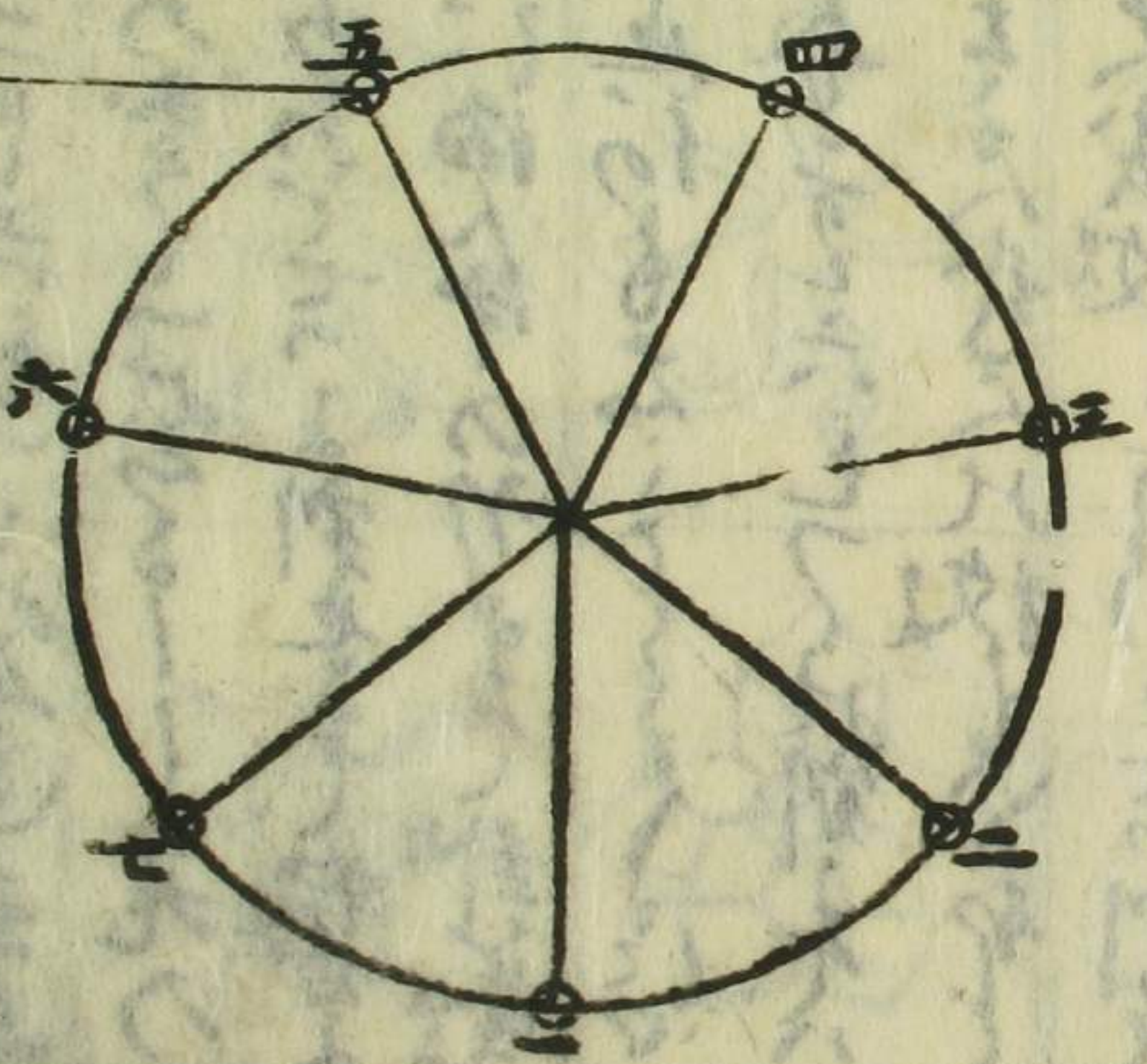


六ツの拍別屋うの事
 けりひまをきり九と
 よるに耐ハ者いまの
 九とまりいりあまう
 そのまういりあまう
 一うちういりあまう
 こまういりあまう
 けりあまういりあまう
 もいりあまういりあまう
 してりあまういりあまう
 書集もの也



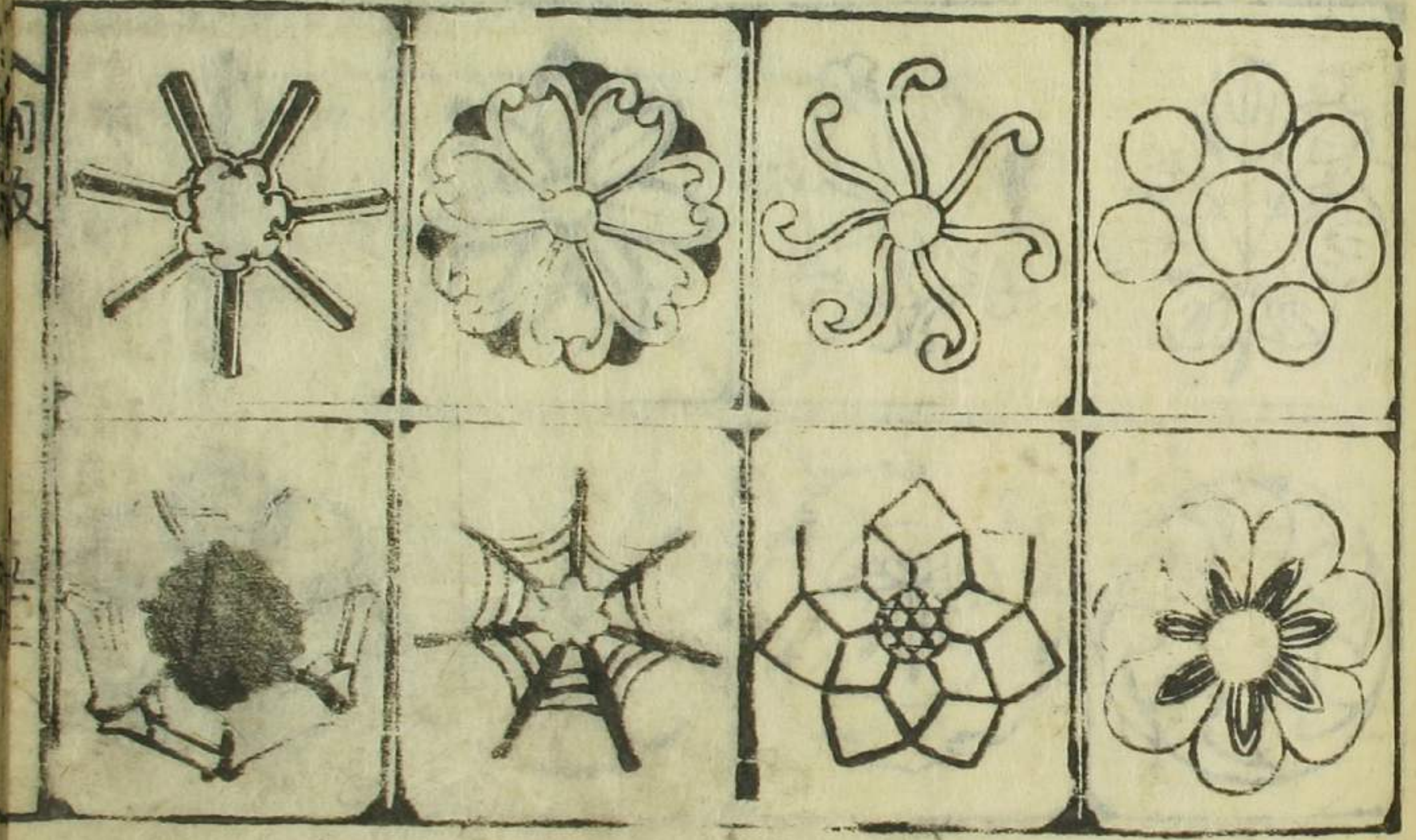


七ツりりるるれる



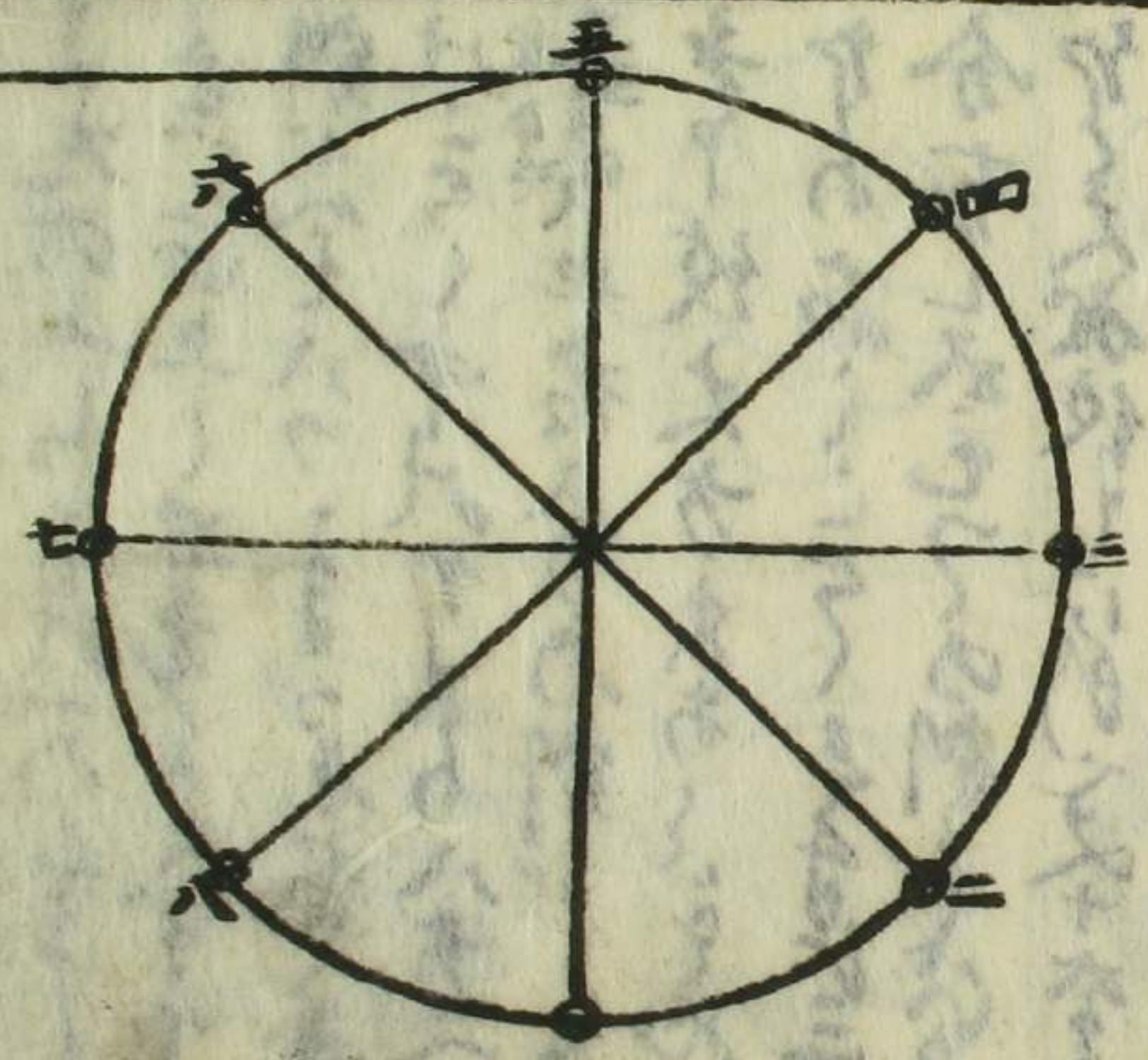
七ツりりるるれる

名セツ割仕極の事水
 手これ九とセツ割内分
 ニし六もつれ分道事
 乃きく一はく一り先
 ちらとセツ割也そ物
 に海入中の初日を卦
 也何もあはくも手に
 命ニり六もつれ割
 去る人式人此紋も
 之成紋と日然也七
 くの紋あはく虫集
 かり

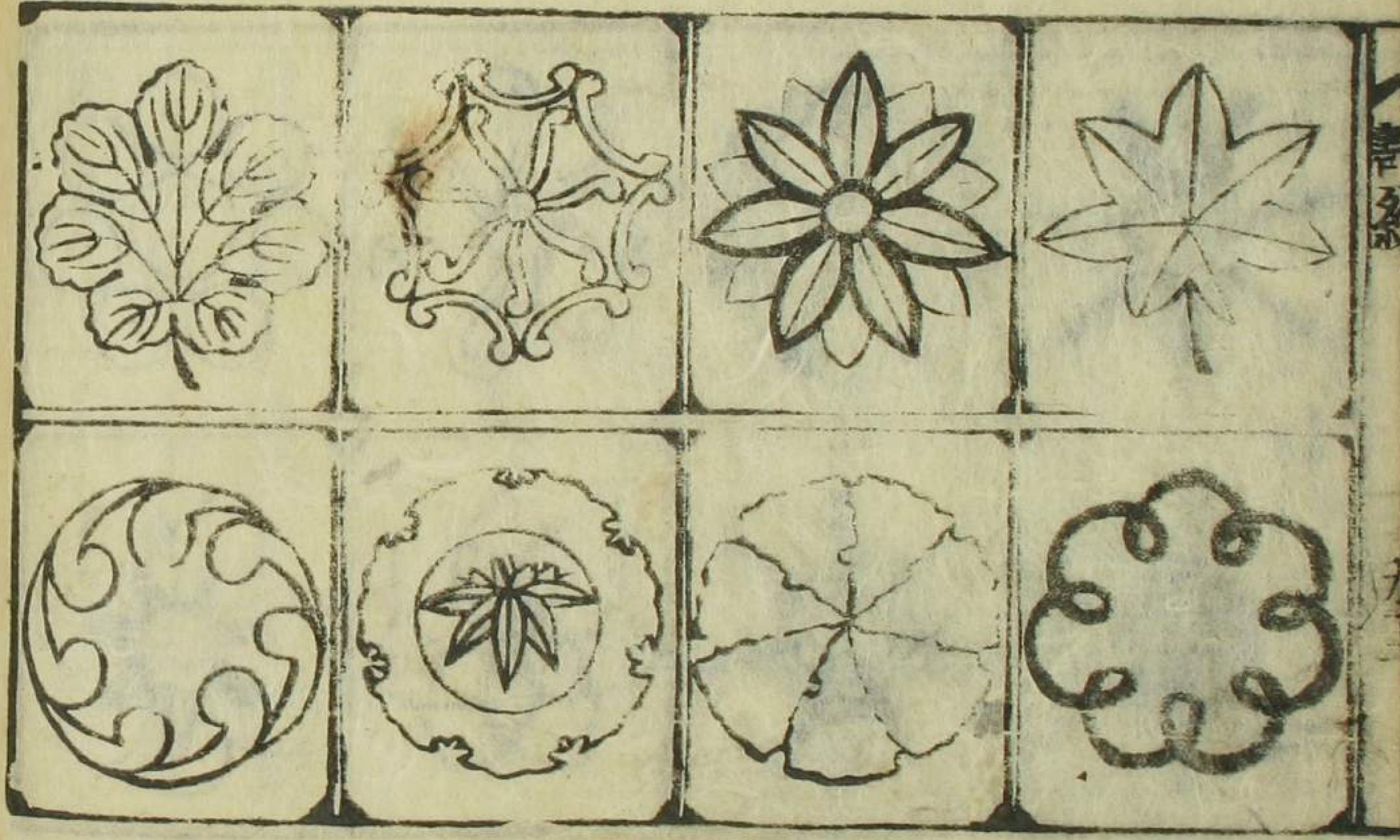


月文

此の形は月文の式也

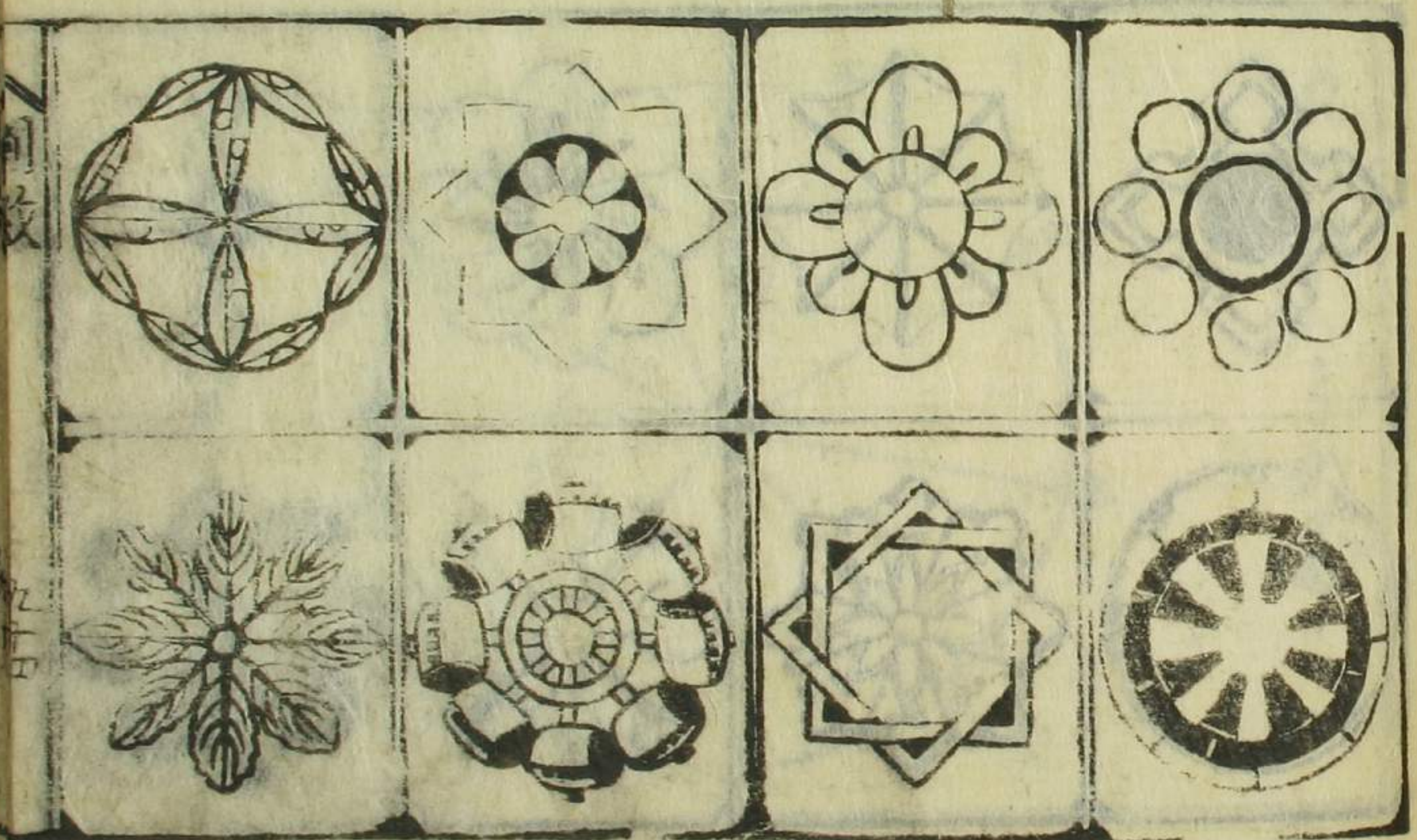


ハシロシロ



書名

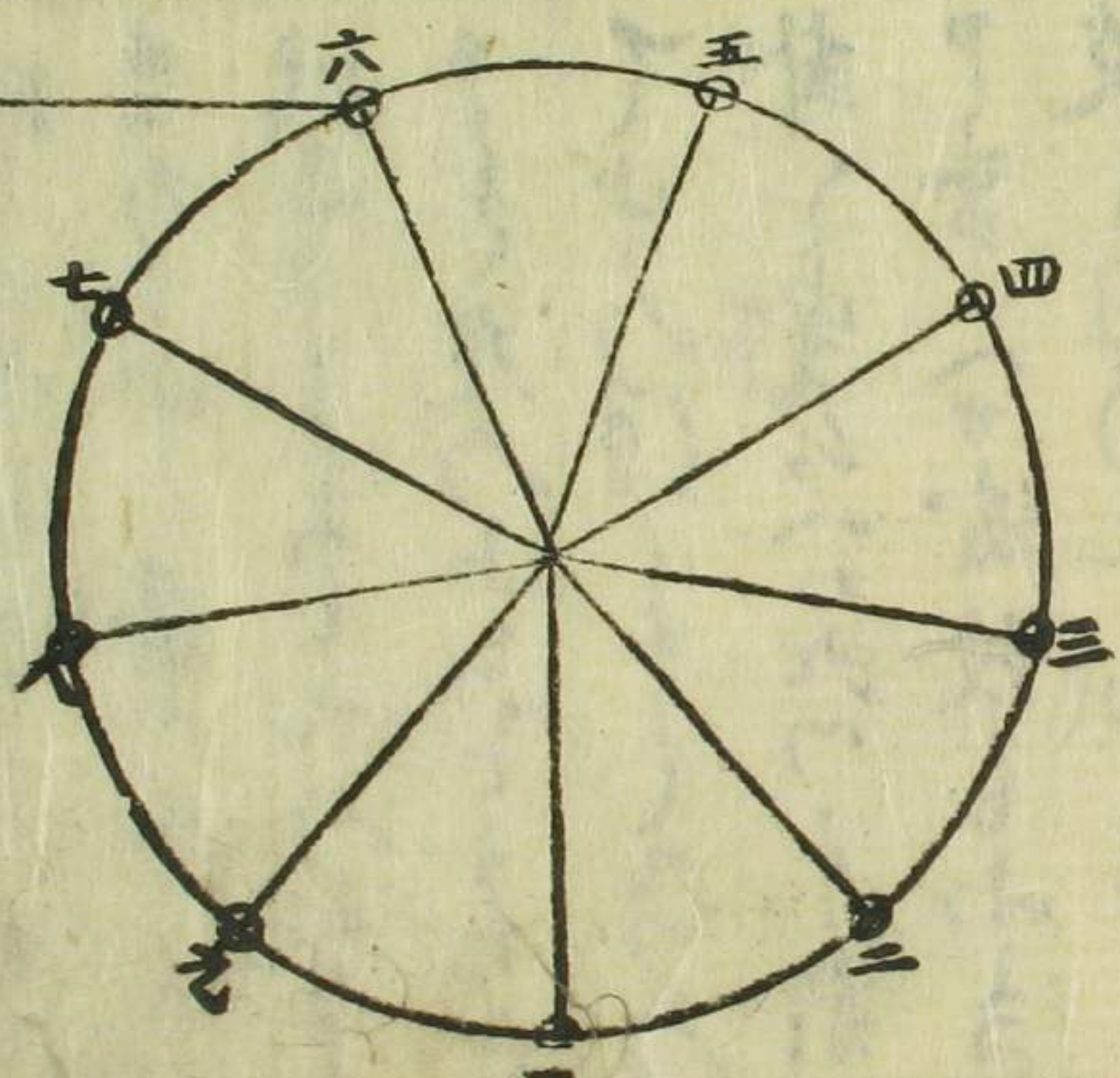
右ハツ割をう此事或全書
 ノ丸と公ハツ割時三分七
 五毛つて此分母一五ノ葉
 一丸の少ら下此一乃ら一
 五三四五ノ次先トハ生で
 別ニハツコヨウ也者ハ
 此ニミク中此カレハハ方ハ
 卦變也者ハツノ割ニミク
 才ノ紋大方出ホハミカ
 カレ右ノミクミカハ三
 分七カレ五毛つての割ニミカ
 何ノ人カ紋ミカハミカ
 ノ割ミカハツノ割ニミカ
 ハツカレハミカハツカレ
 何ノ人カ紋ミカハミカ



割紋

七十四

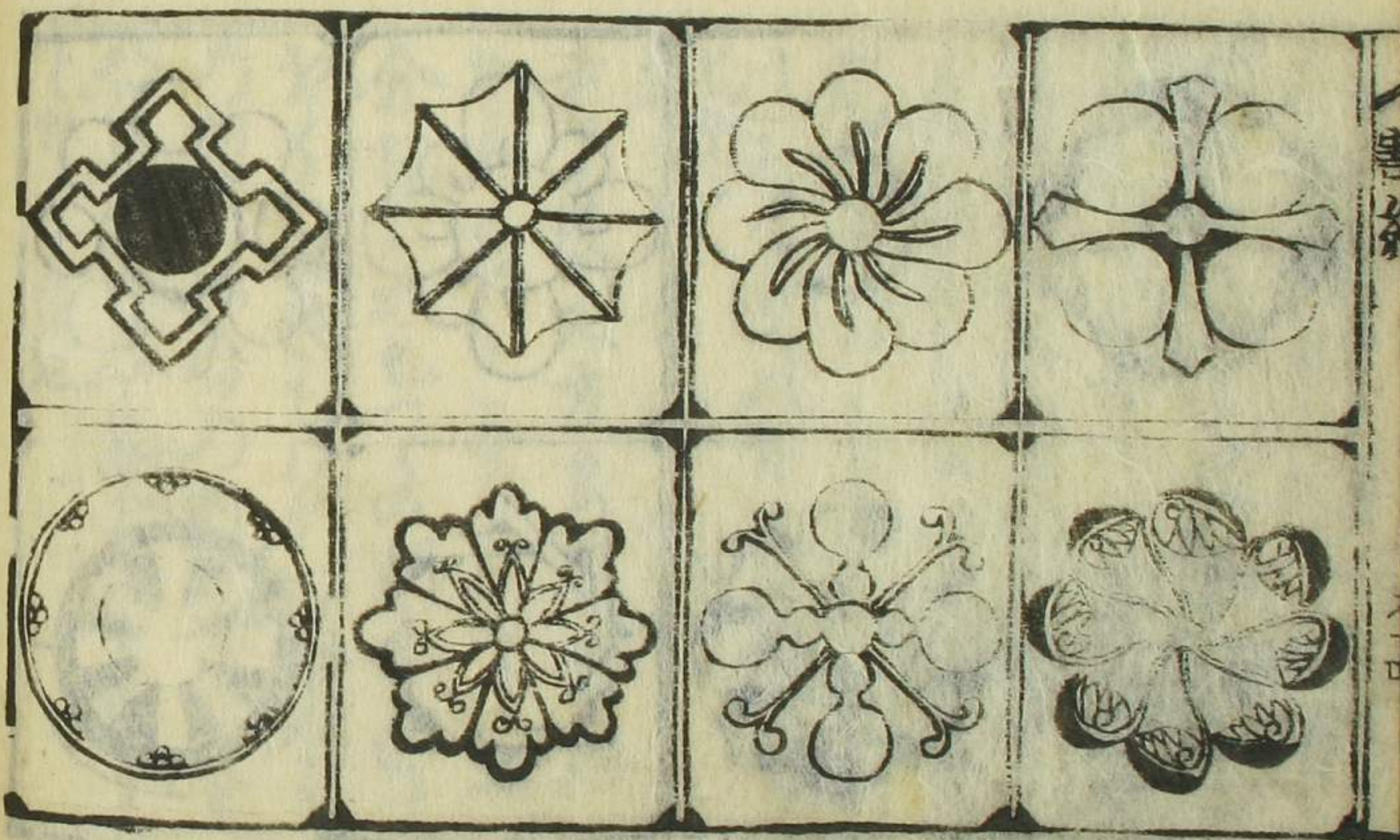
九ツ割やうの家



ひりふらとてしん分道とす

割紋

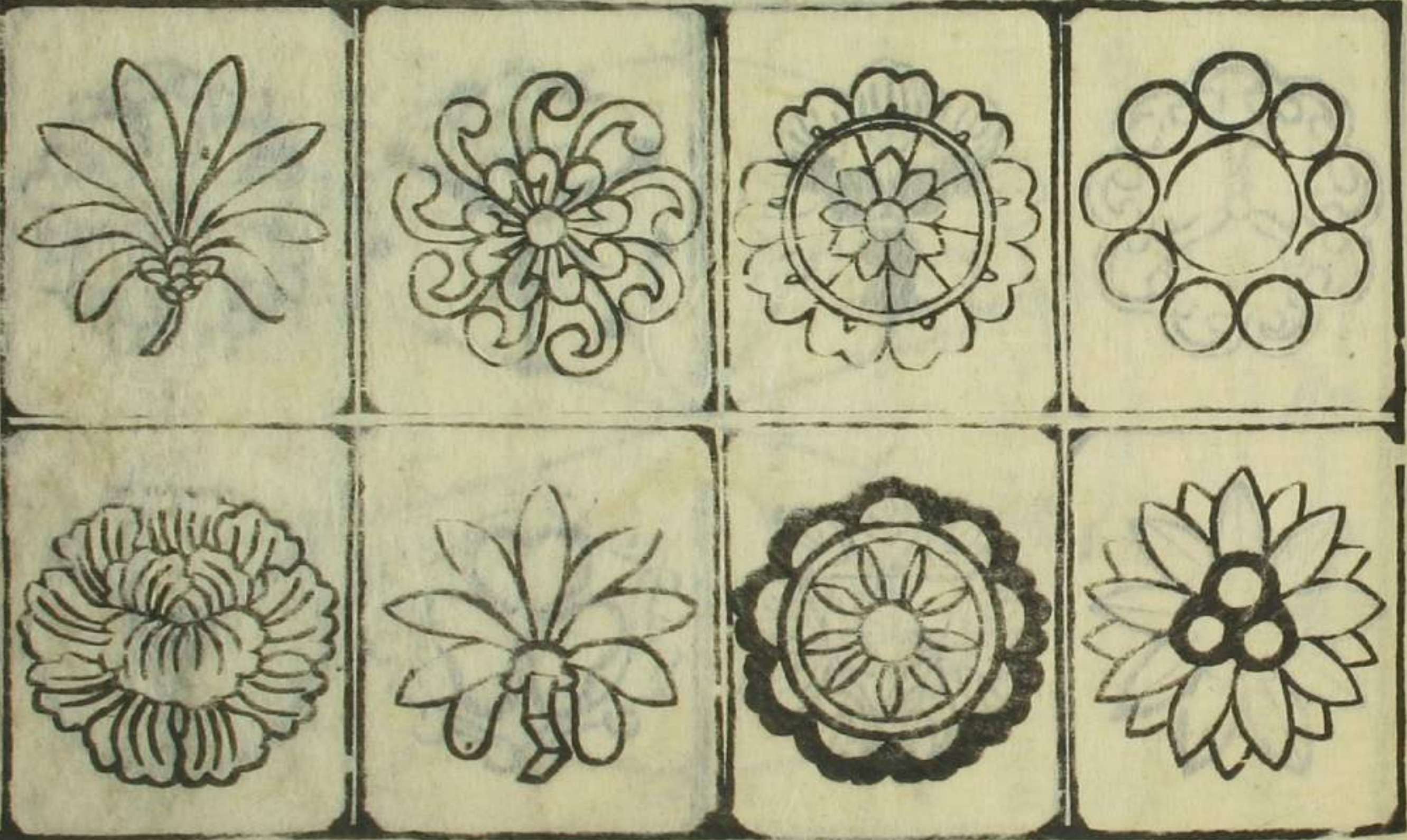
九十五



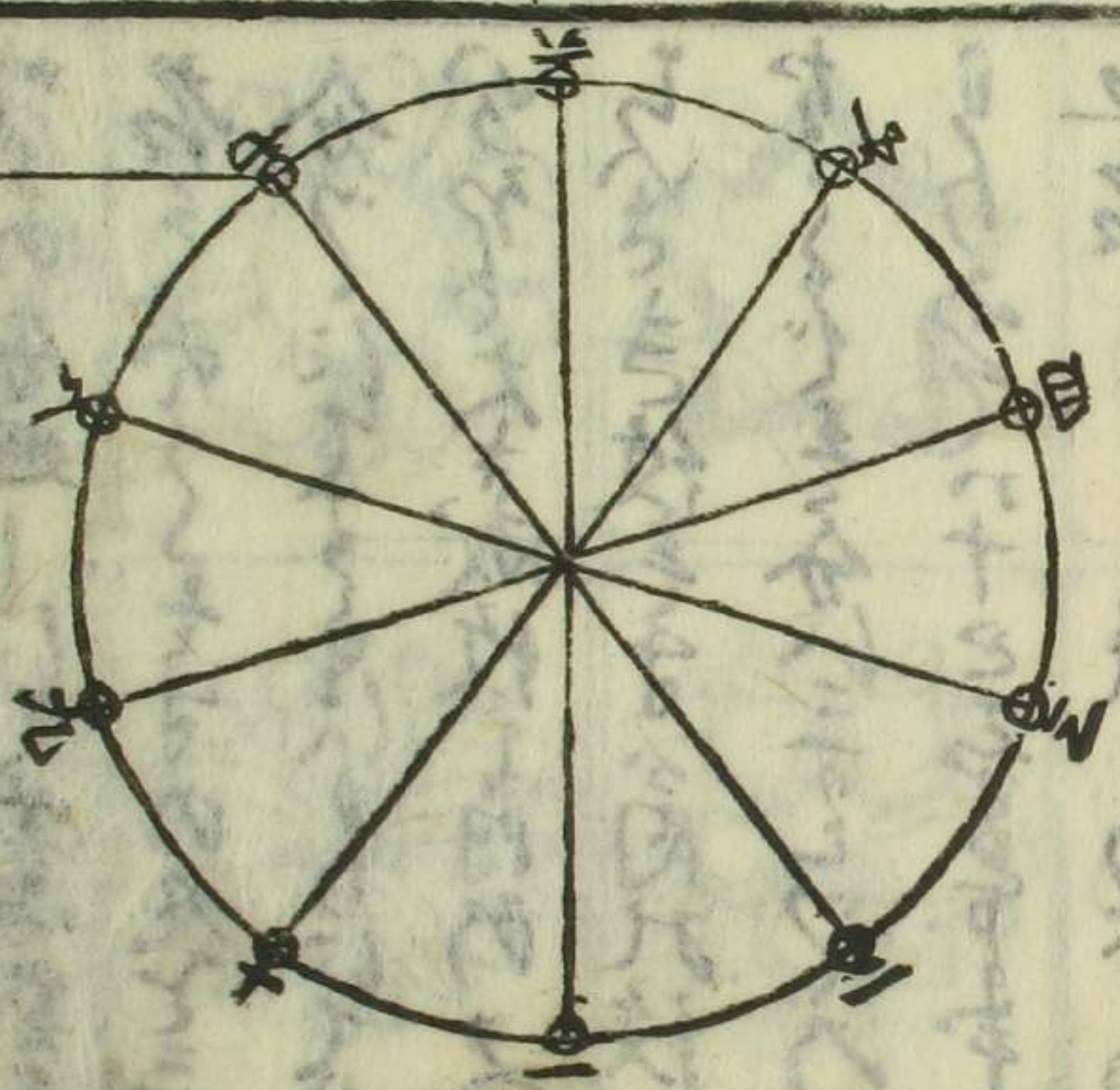
割紋

九十六

右九ツ此刻をうき先
 を守れ九とたつし刻付
 海よニ分三ツツのふん
 まりやぐふのふんこ
 此ふんこふん九のふん
 まる九のふんとまりこ
 て中のほしまる九のふ
 卦と曳^ひふふ九のふ刻
 中事大サ成紋もふき
 紋も同の也 備九のふ
 割^り九のふあふく書出
 ものなり



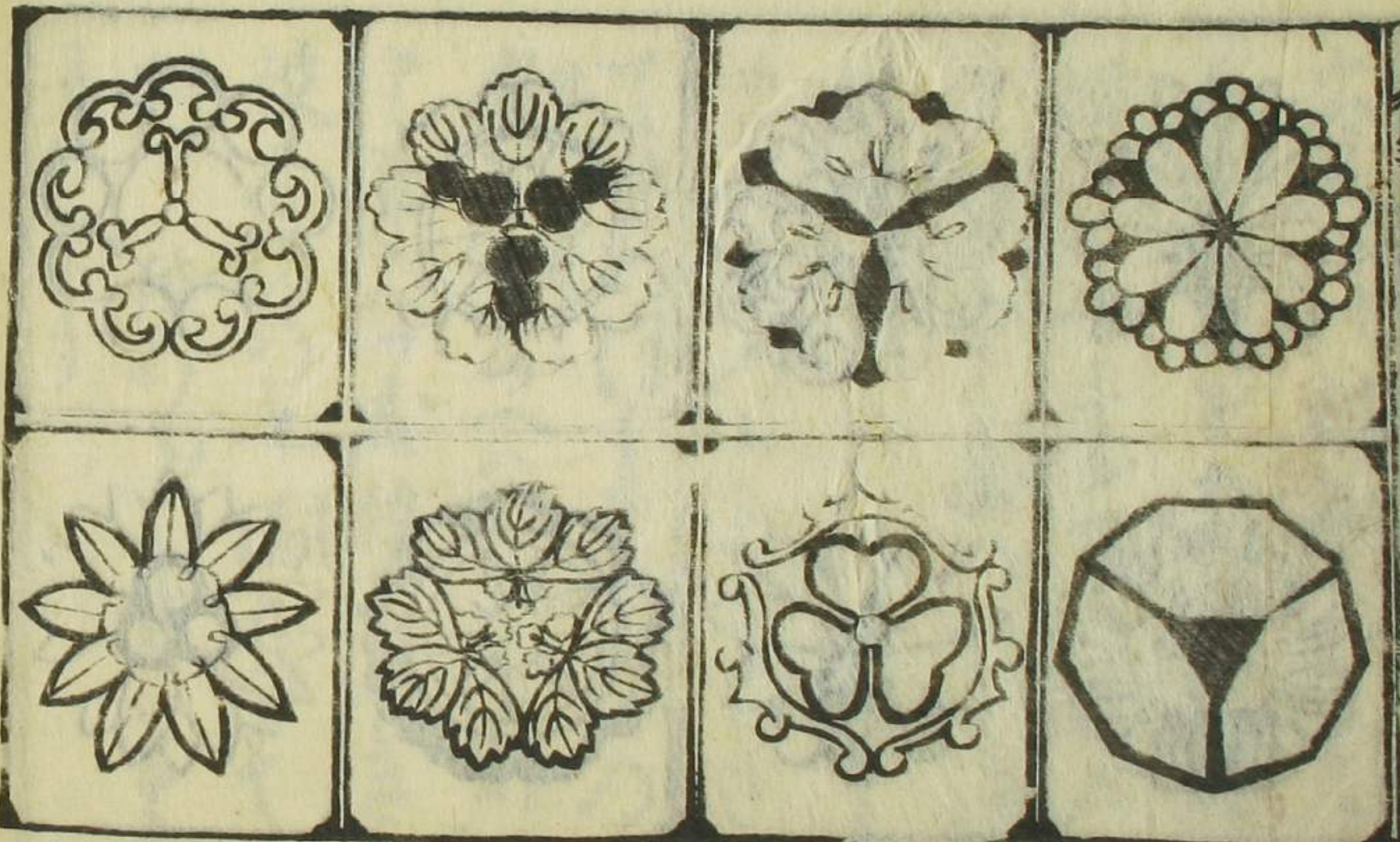
十之別屋の番



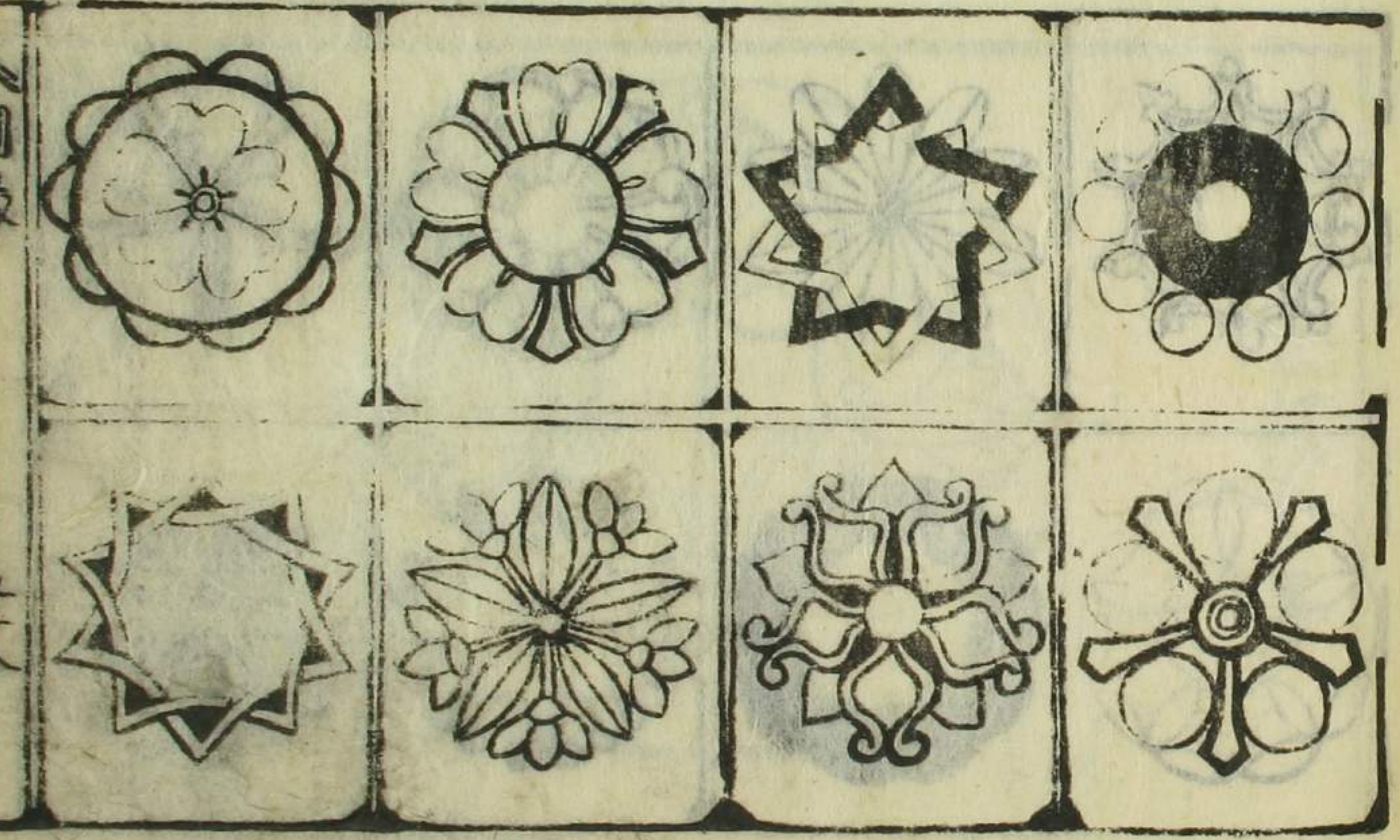
此の八何れも人通に可く

書録

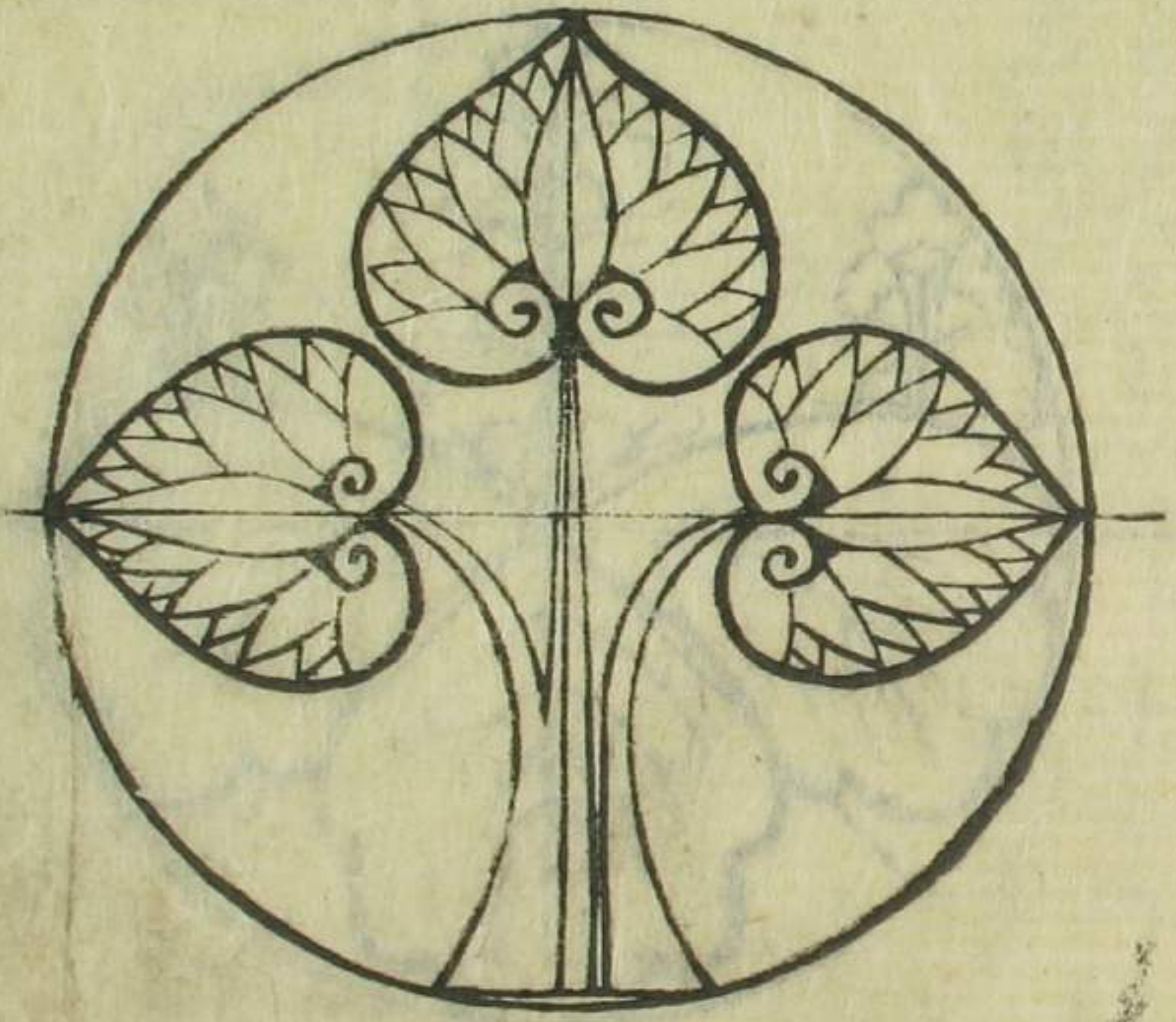
六十一



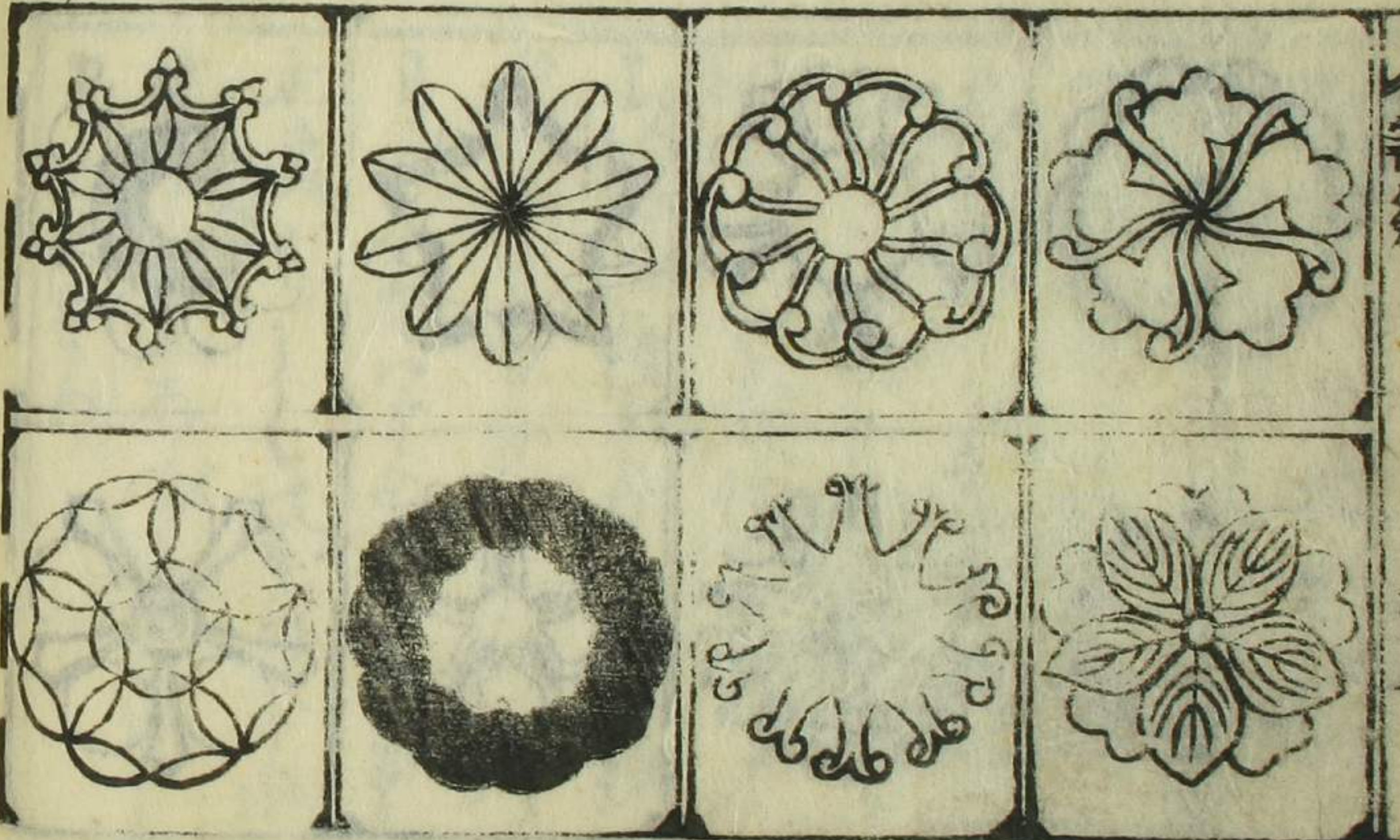
右へあつく十三割をうへえ一
 寸此丸を十に割り附三分
 つの分廻しにして常割を
 名えおろくま寸の丸と三
 分つてにしてまゝはゆりにて
 けりやと大ま成致し内め又
 りんさま紋を寺の筒れ紋
 かゝるまを分は三つつて乃
 日りめて十とちま平
 也者こゝろはゆりのに
 本平のんあらく書出
 中ものなり



立葵虫扱し番

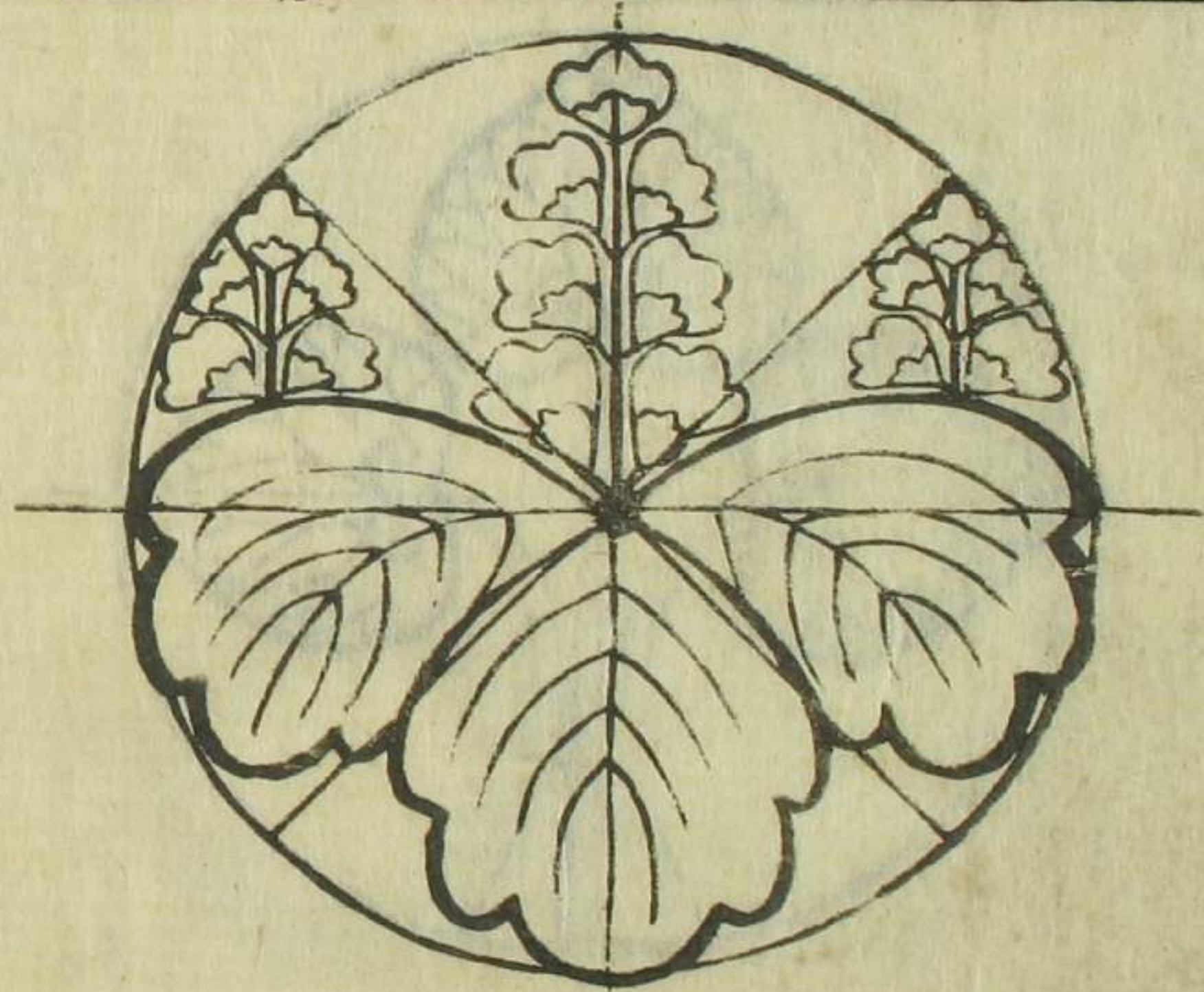


立葵別也
 此乃葵也
 四ツ刻



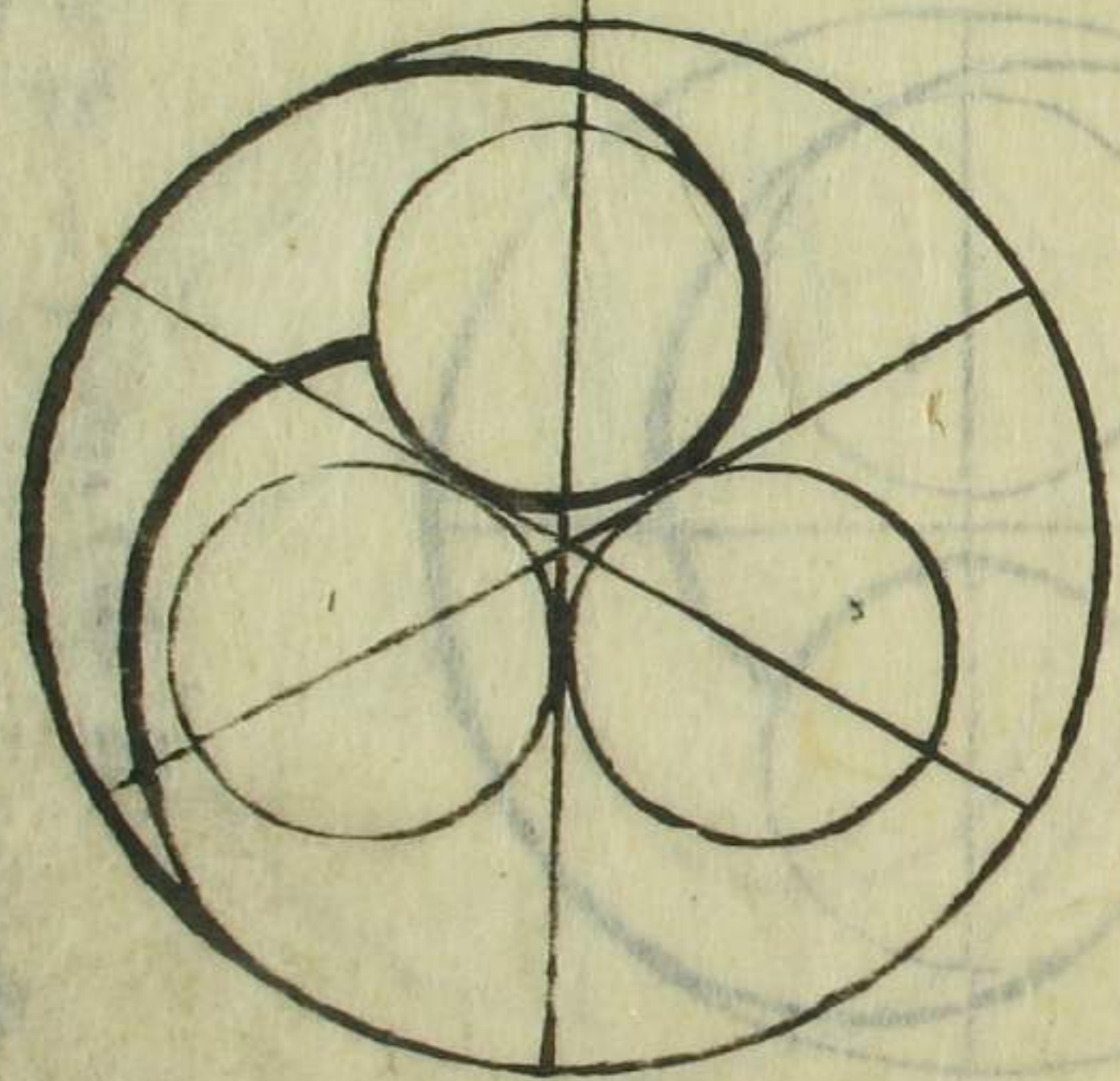
青糸

桐書振こま

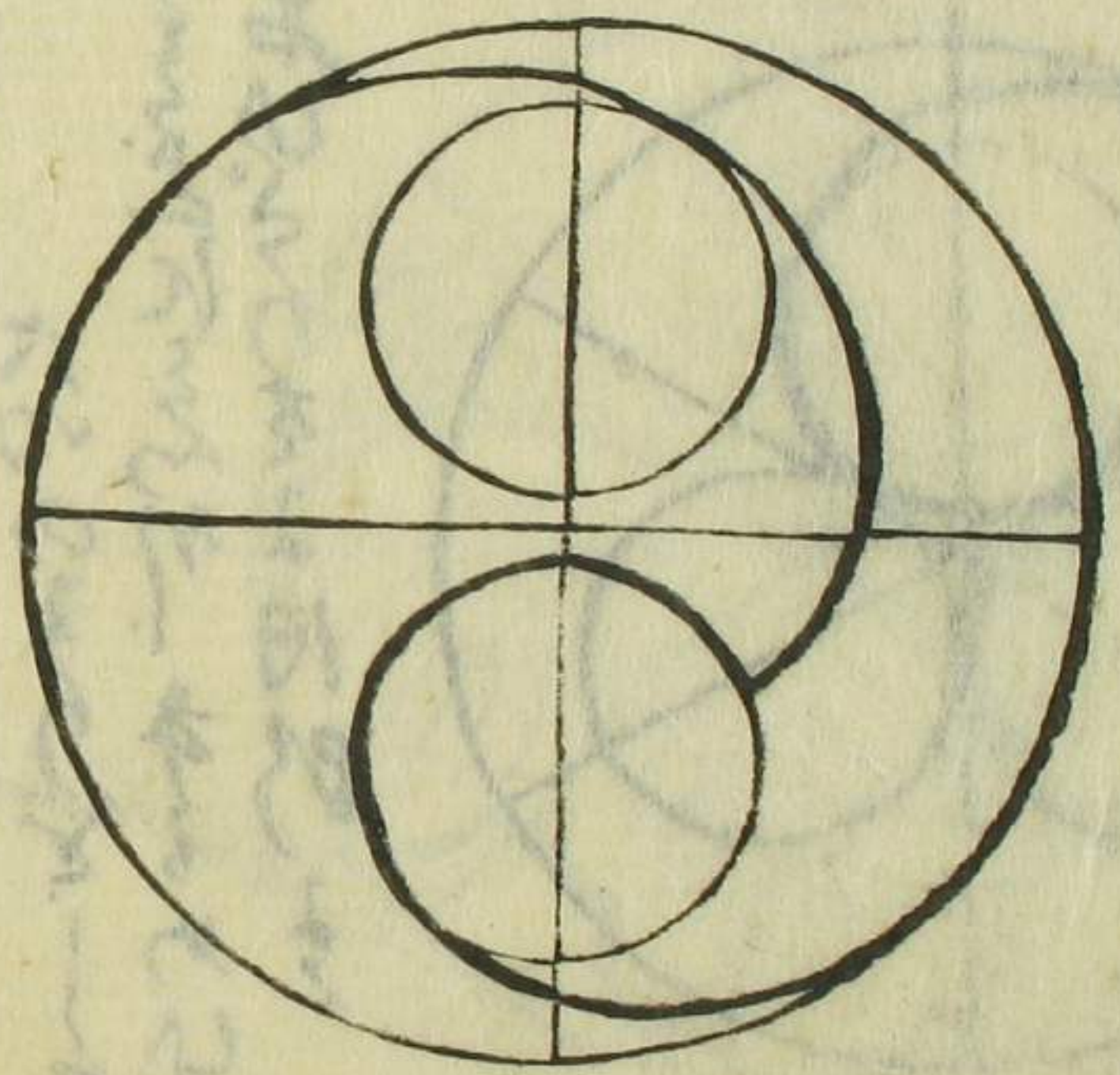


桐の刺やう
ま振ぬりえ
ハツれまへ

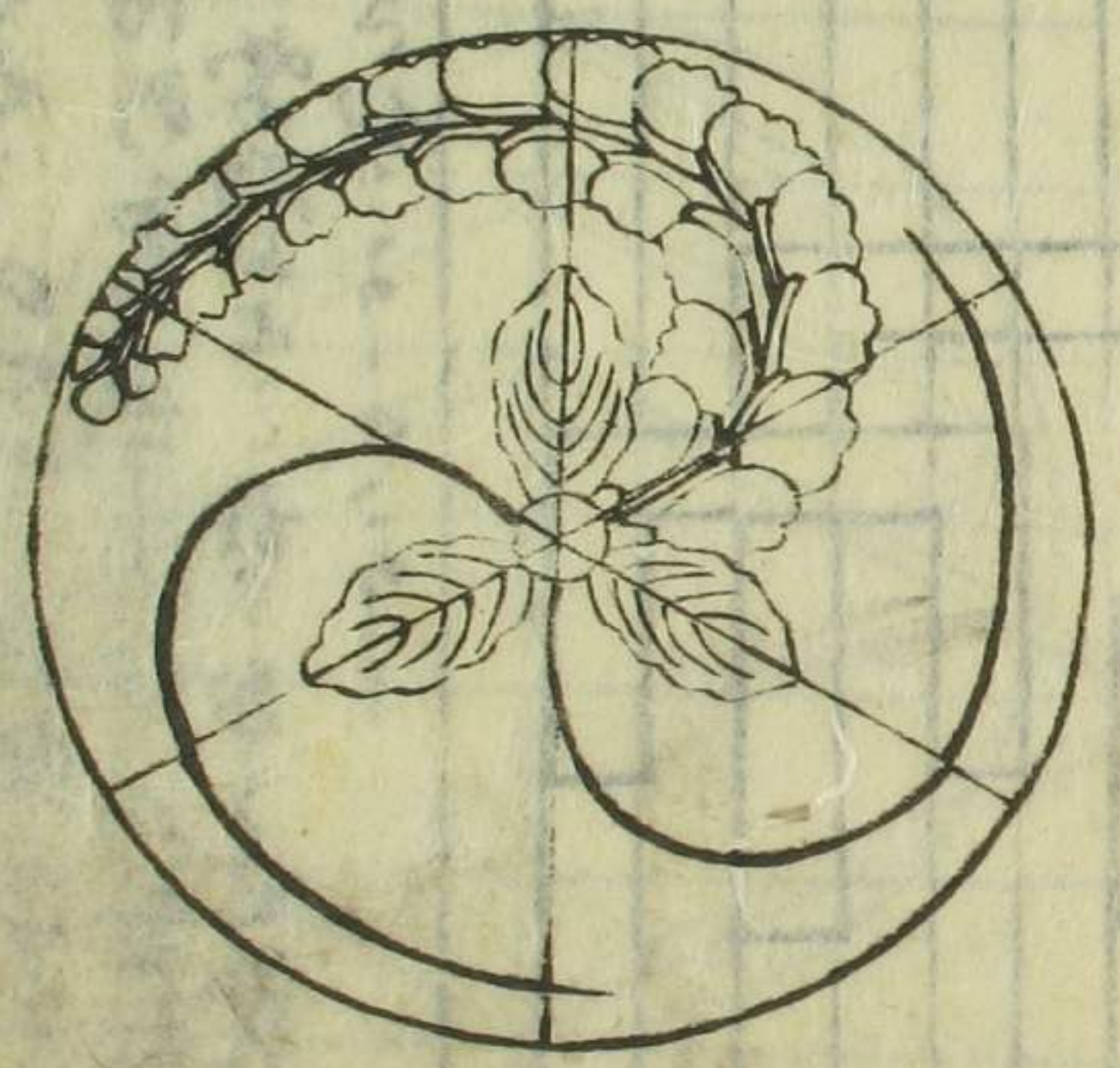
こまのりへまう丸とぬし
六のまりとし
こまにこまのりへまう丸とぬし
右ひごりたよ月郎よ



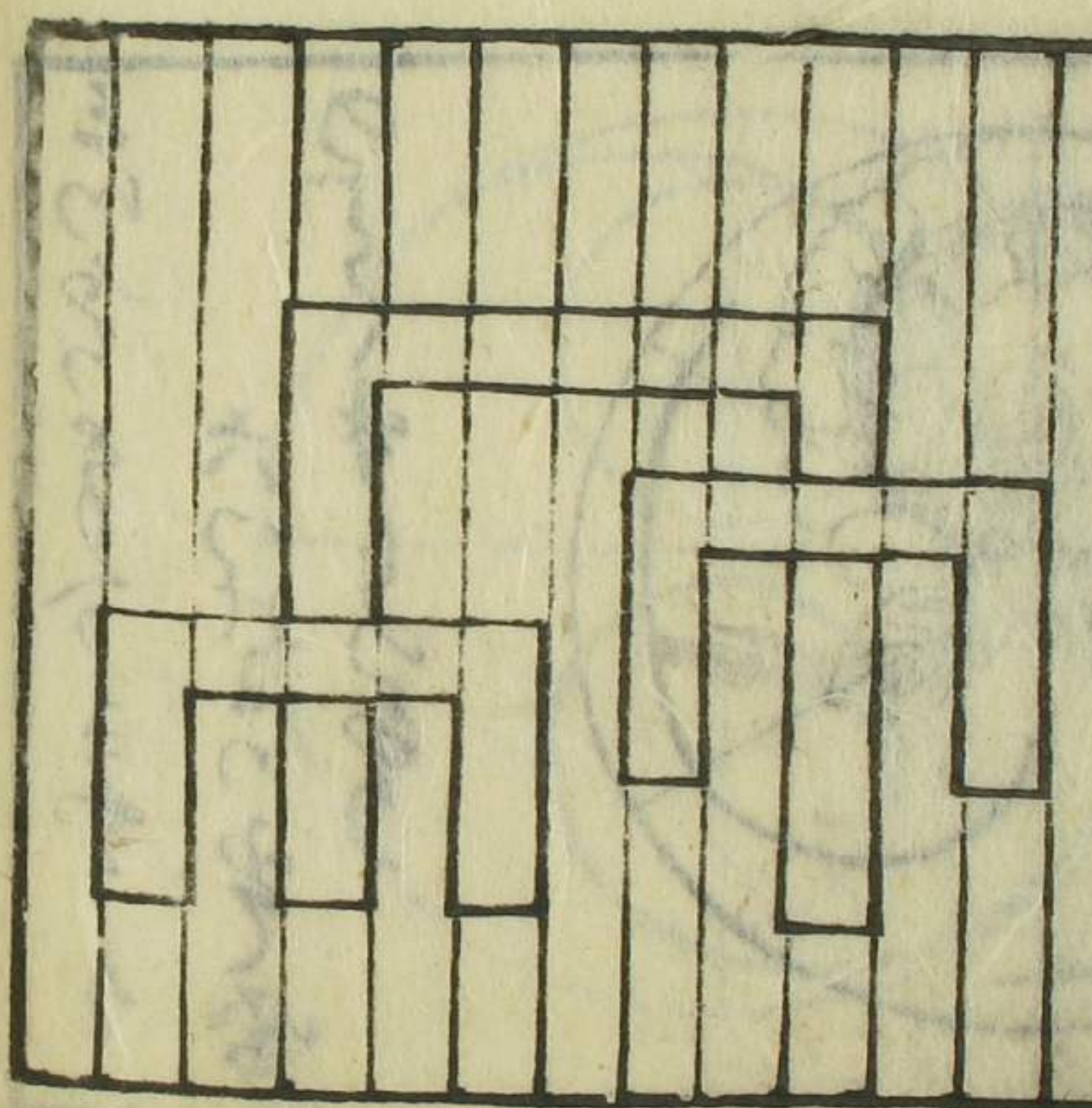
三つ張りのへん先丸と廻り
依十のやだれ封ひるい下
より一とさくまの



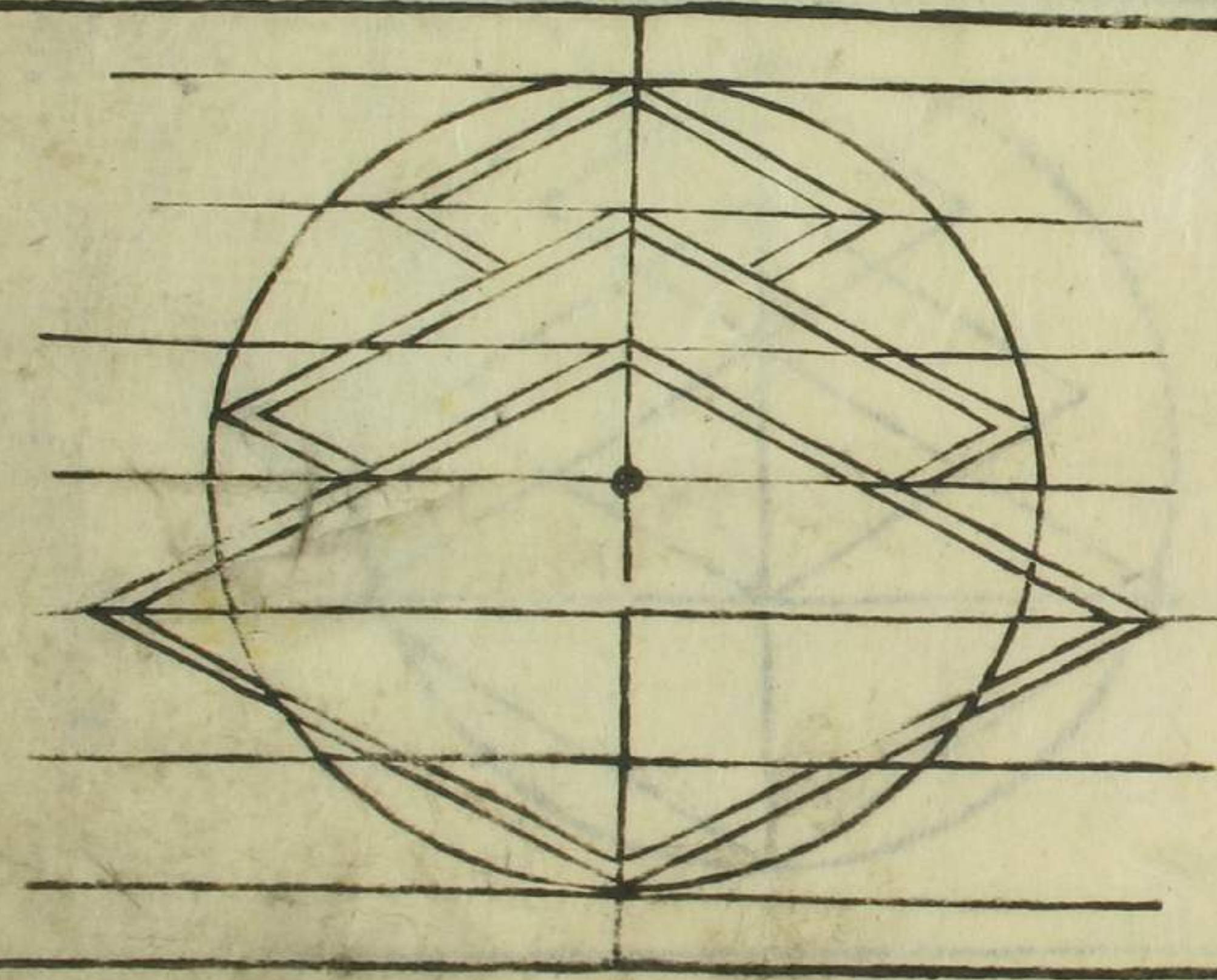
三つ張りのへん先丸と廻り
六つ張りのめし寄
のどくまとのあり



香の雲の雲はごまくよなごしに
 卦ひごしごしとてはごまくごまくに
 りごまくのりごまくのりごまくのり
 内あり但ごまくのりごまくのり
 ハ雲のふごごまくのりごまくのり
 ごまくのりごまくのり



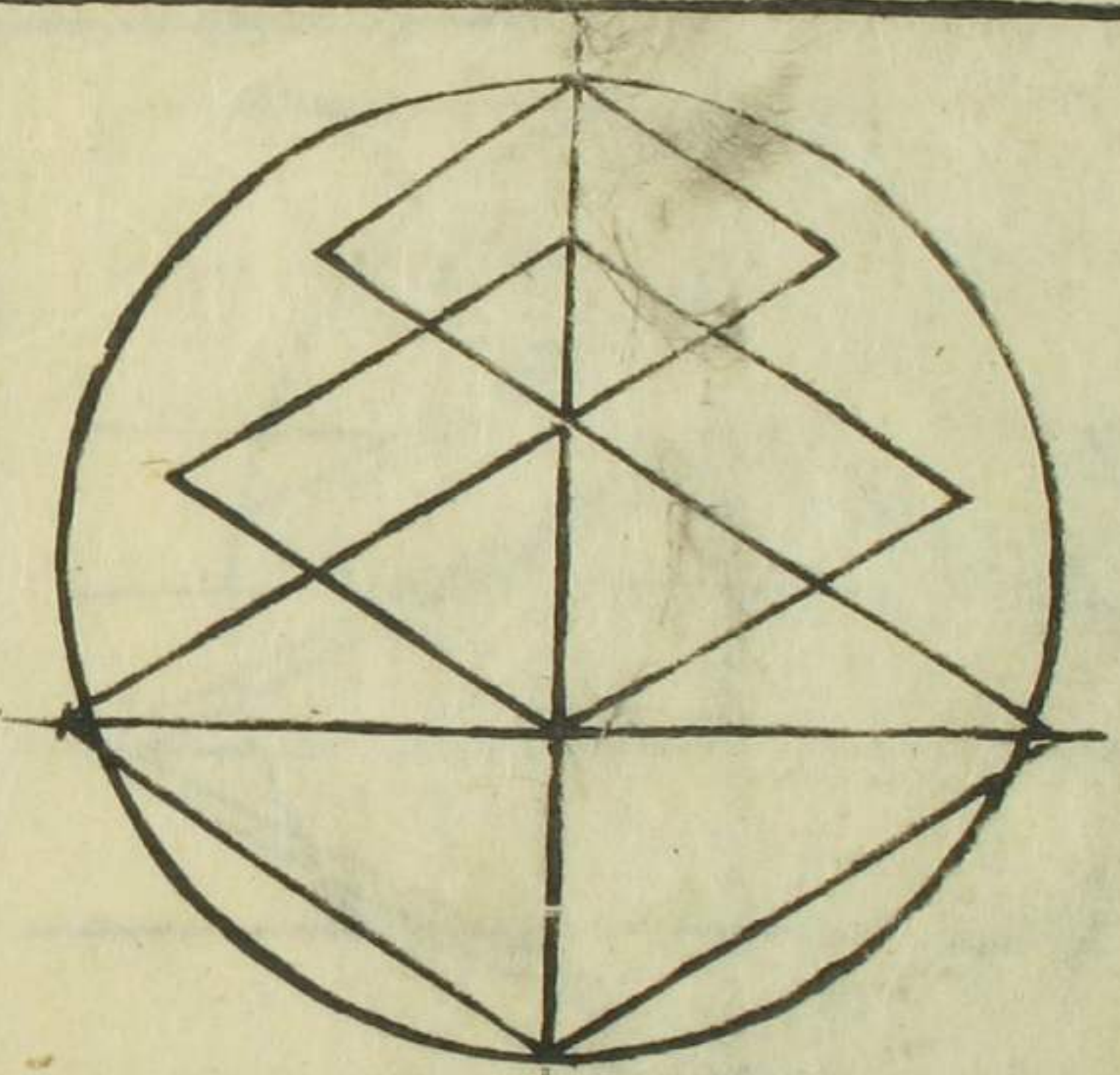
三かいひごまくのりごまくのり
 ごまくのりごまくのり
 りごまくのり



割紋

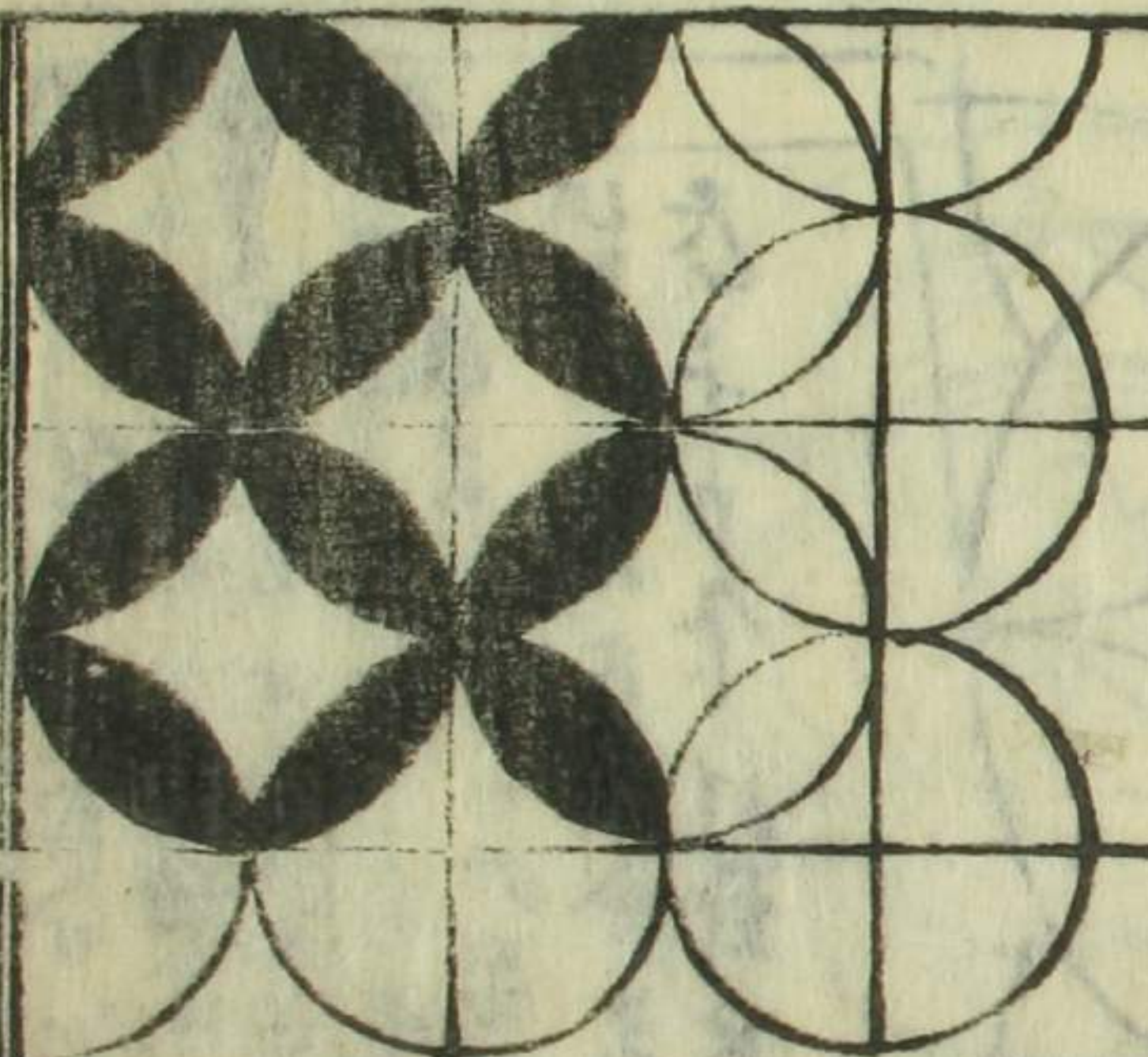
三

日三つひひきんみり
 あり



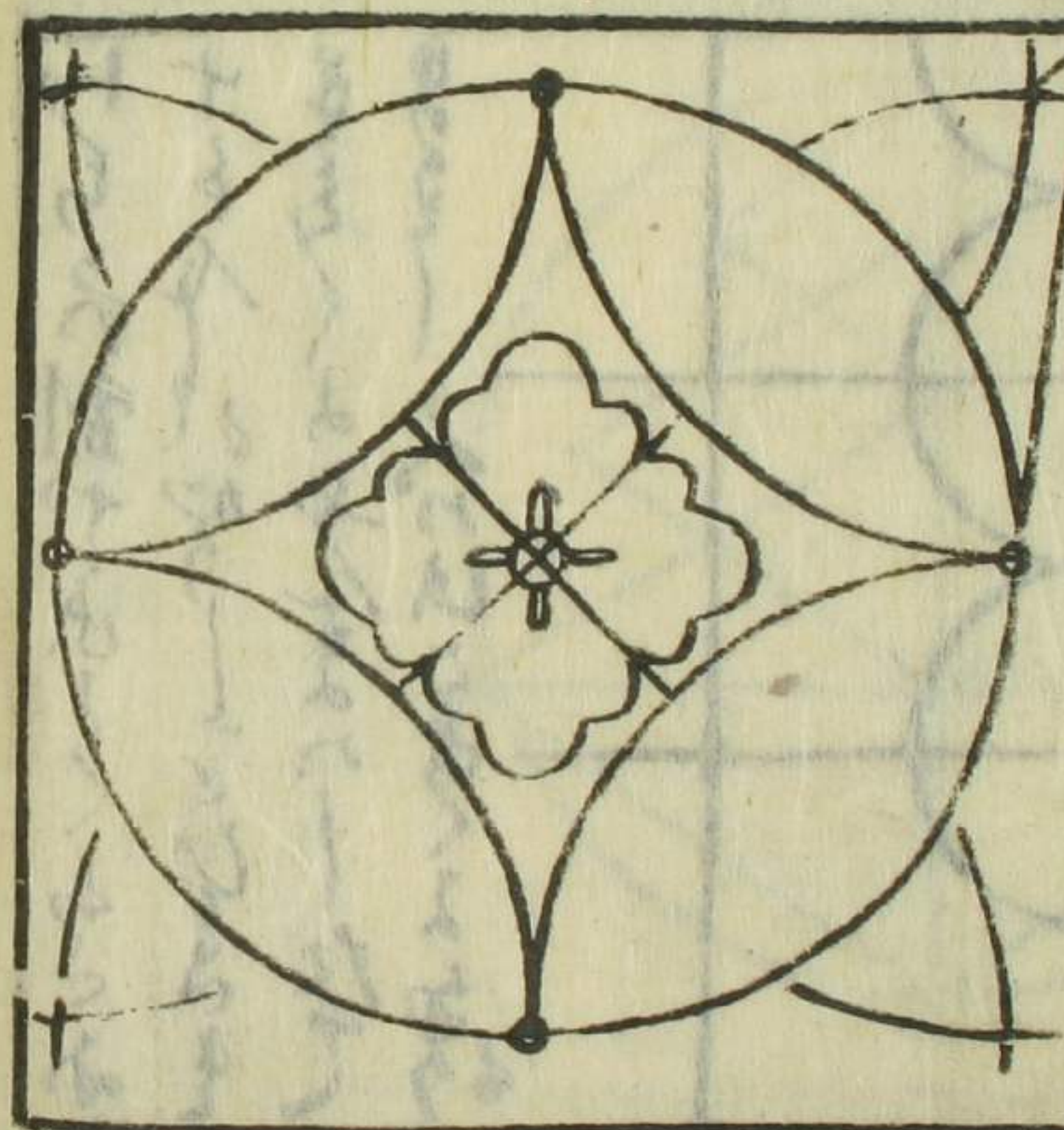
二色ハ老と如きより下まで
 三つにかりはじくよき一か
 ちがよきあり

けらる割やあはくちい
 十もやれかりしとひき
 せんよあまなりたて
 せんしんきんみりあり

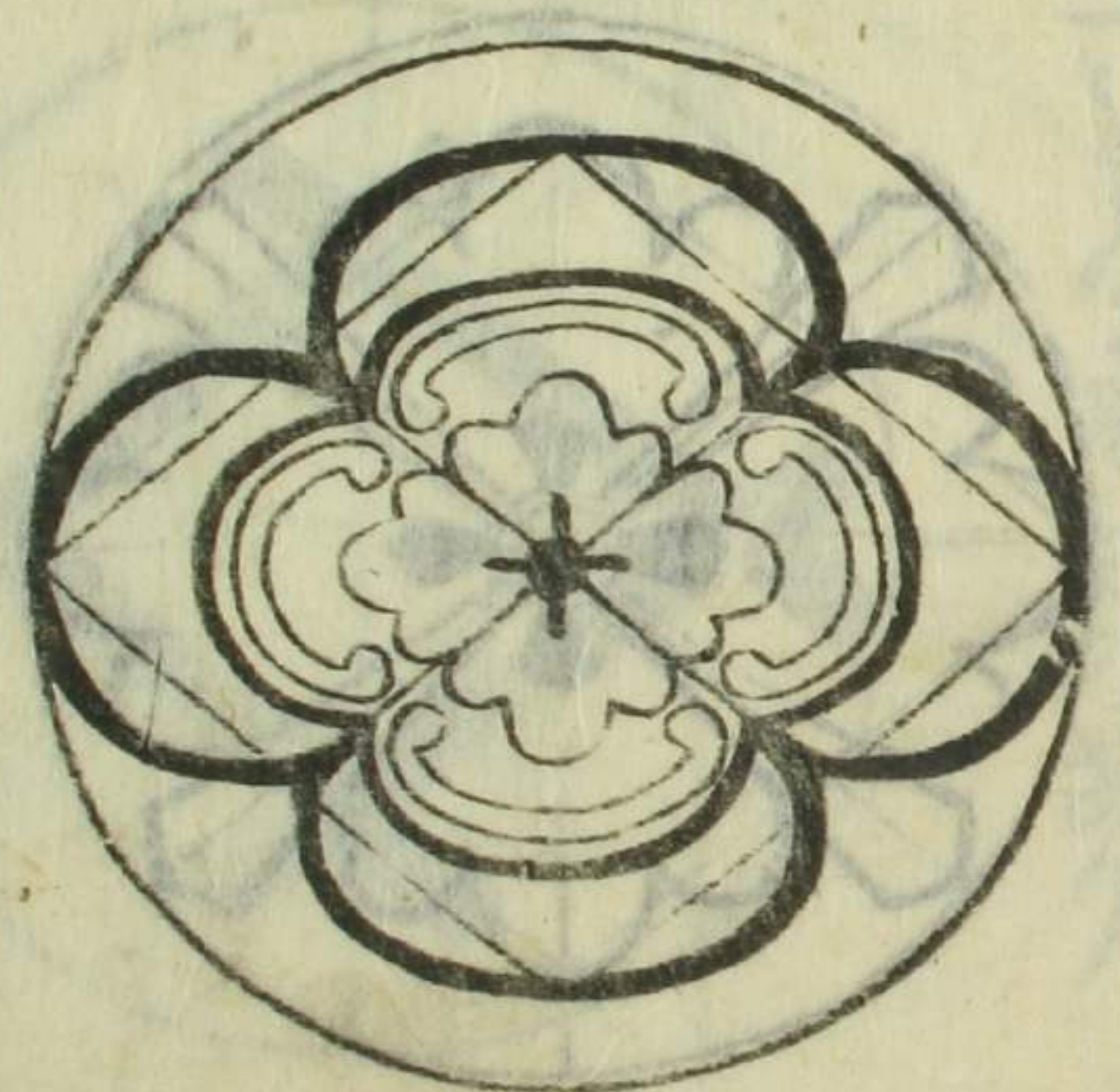


割文
 四三

此の形は...
 そのまは...
 のり...
 分...
 び...
 び...

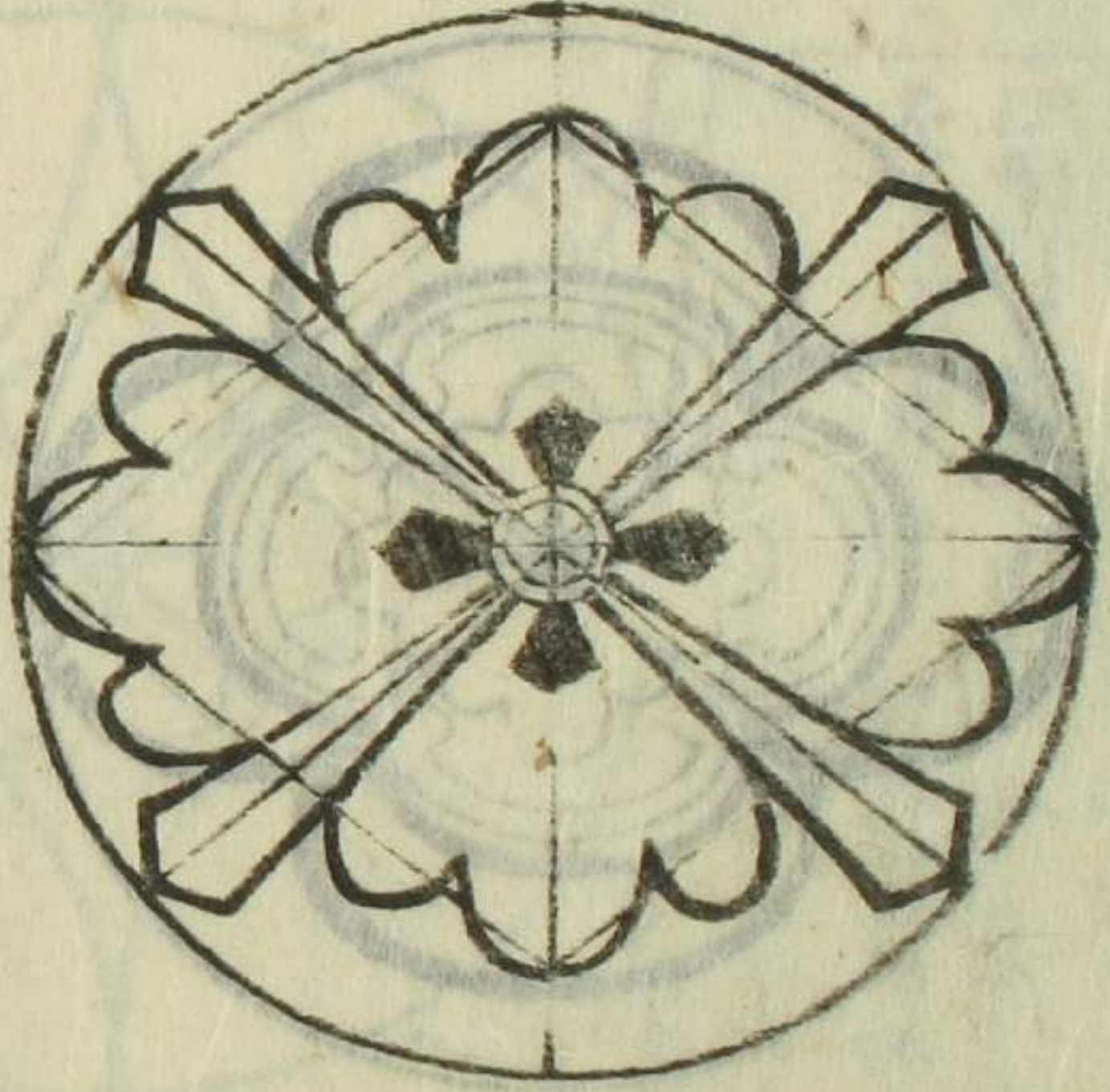


木瓜才招造



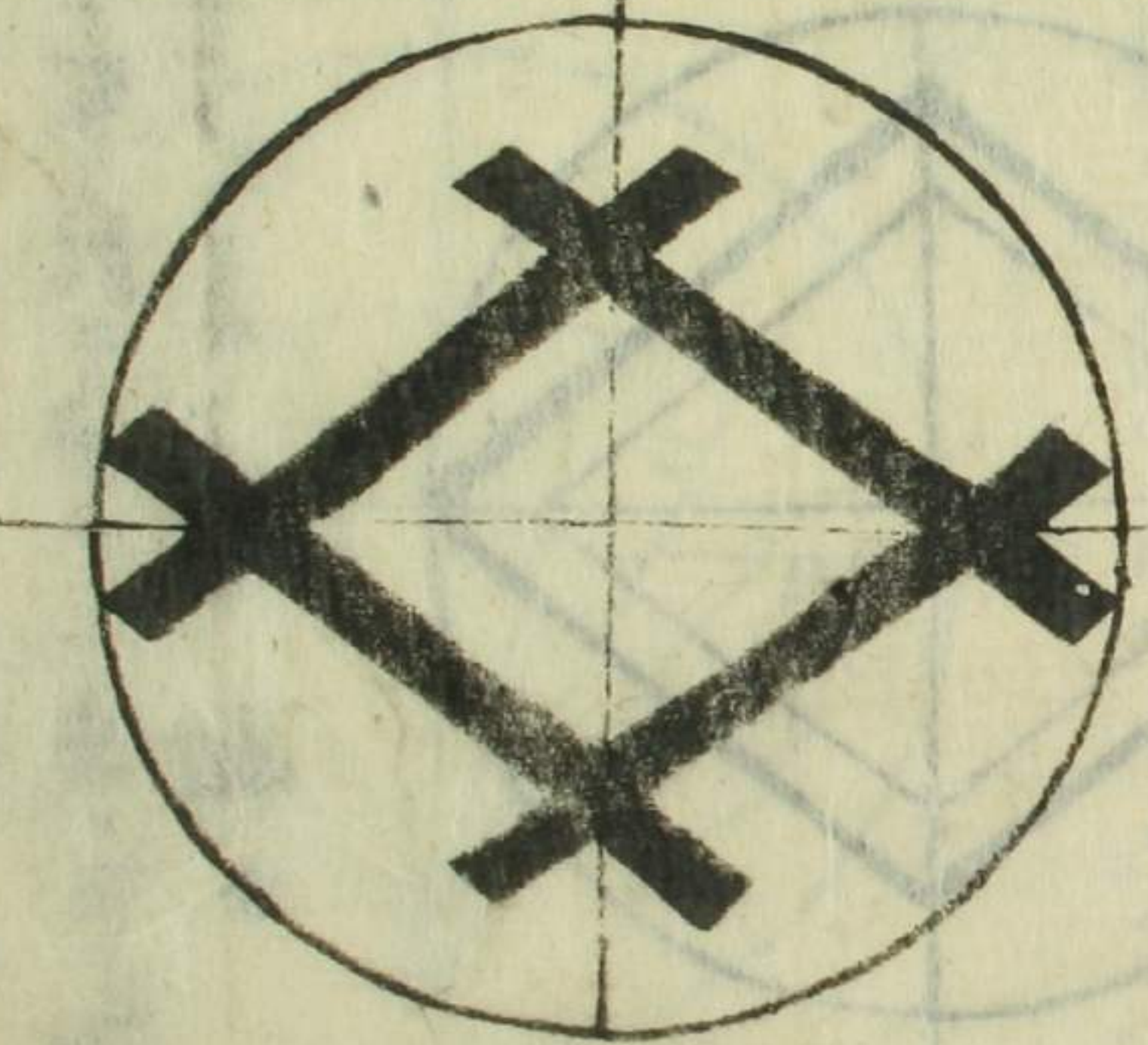
此の形は...
 そのまは...
 のり...
 分...
 び...

見こみり、
海ノ死葉之場



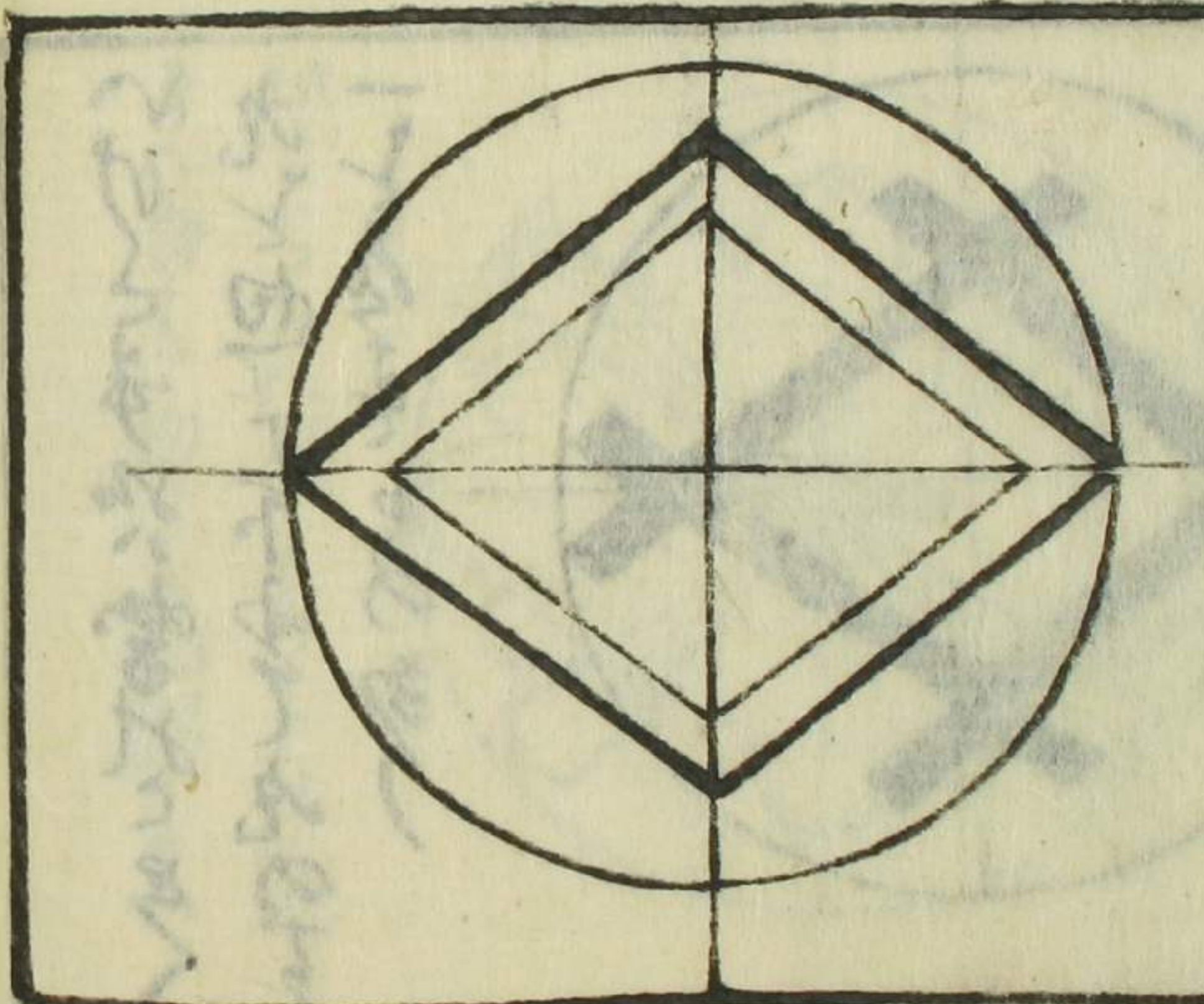
いごころひり
いごころひり
いごころひり
いごころひり
いごころひり

いけこまゆが
いけこまゆが
いけこまゆが
いけこまゆが
いけこまゆが

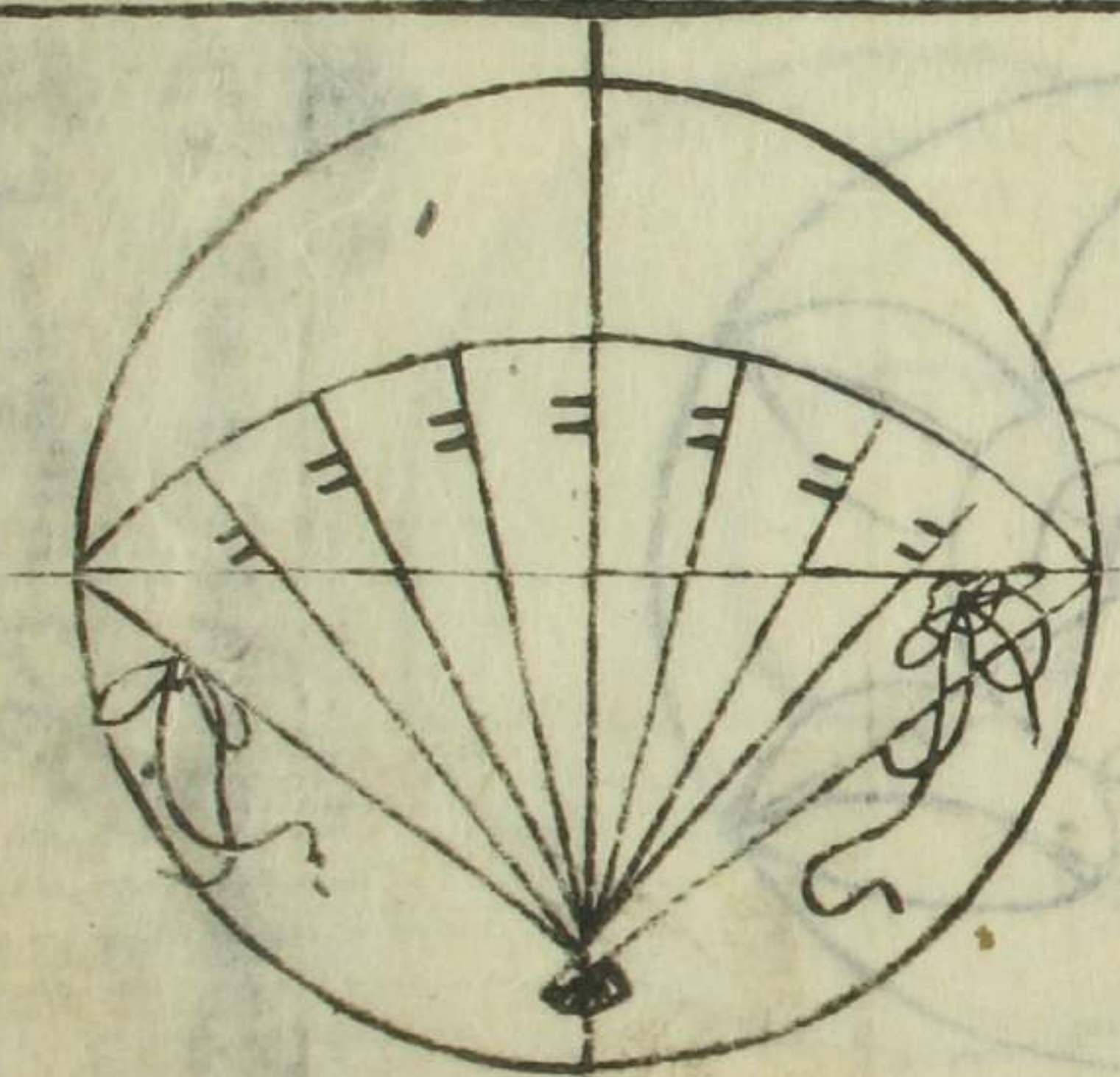


剛文
百五

到入事招え丸と廻一
 上下にて十ア一をささげ
 しくまてあり 磁の

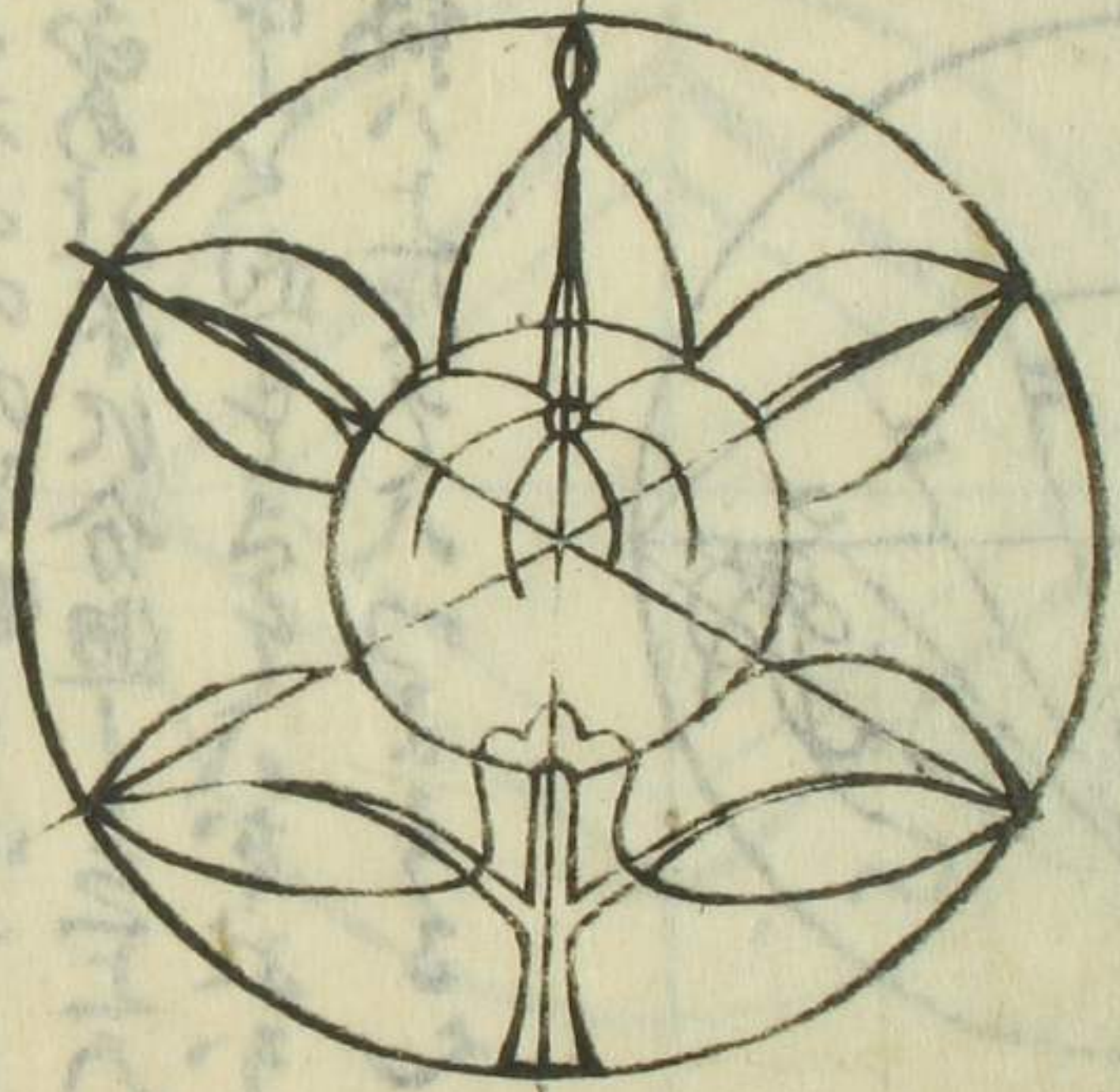


ひあふさ別やうのいこく
 ふたりの丸と廻一 中すまう
 であれおに分廻一を上の
 中と廻ささて八がれが
 輪八上にて八のよらさく

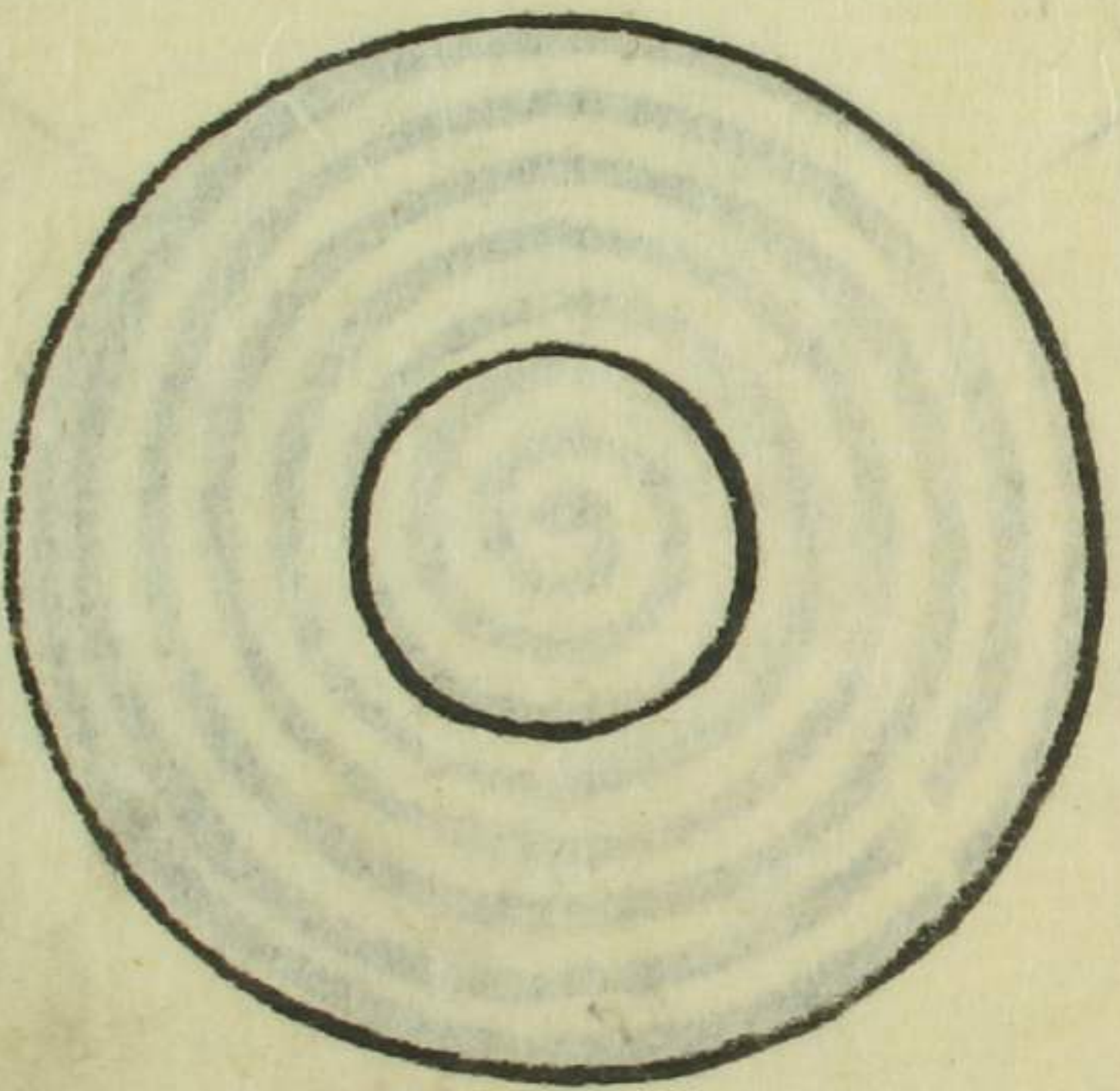


たらしむるものなり

六分のものなりと云ふ
割る



地乃目りて松塔



は剣振をまきれ地前かゝ中
とニヤニリニにしそ中竹
何れ外乃丸の三分をい
ぬみし口あり也

別文

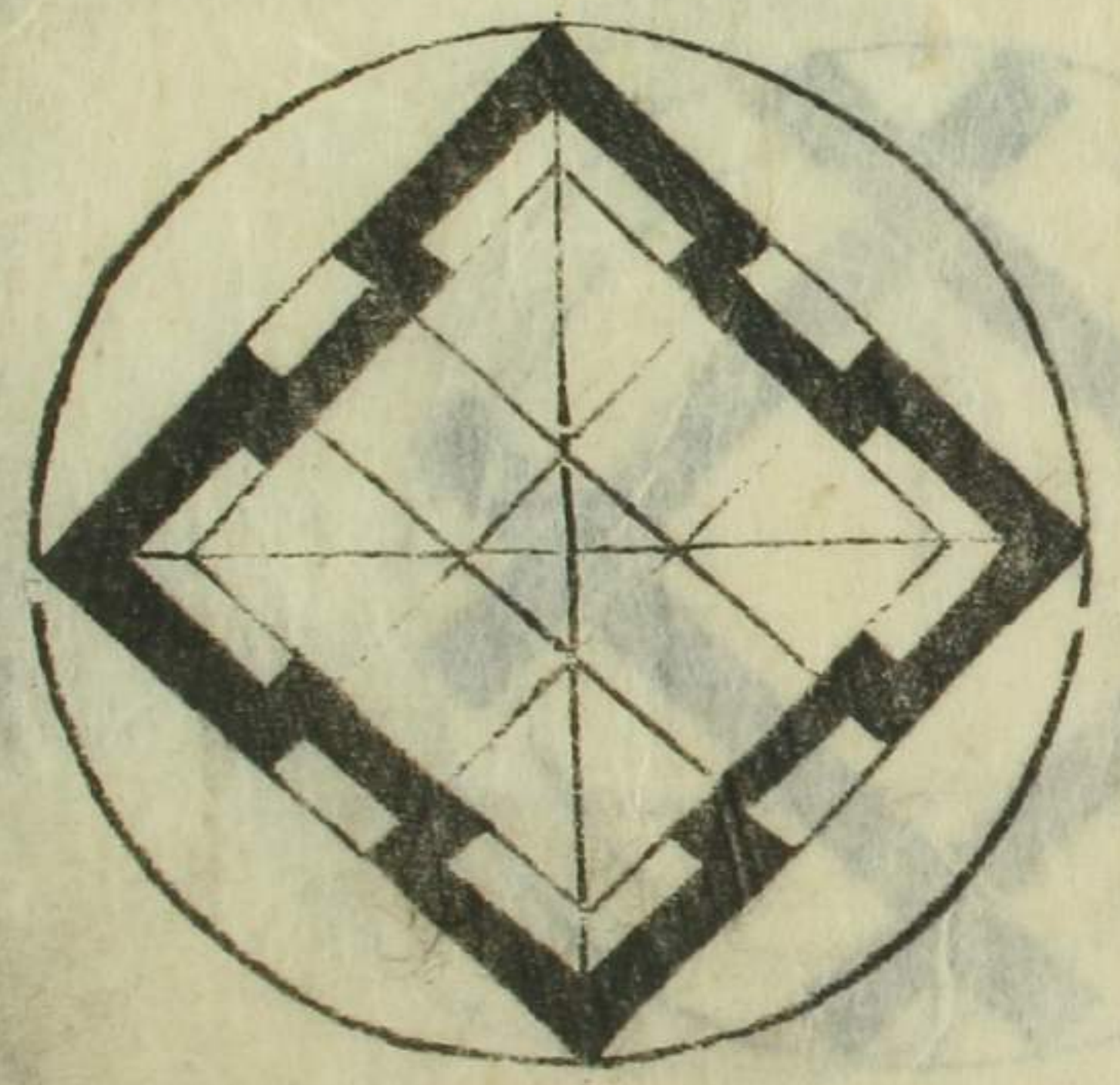
目

此の如く分廻り一五中より三分
たす十廻り一五上九を
とす一七下六針の云々

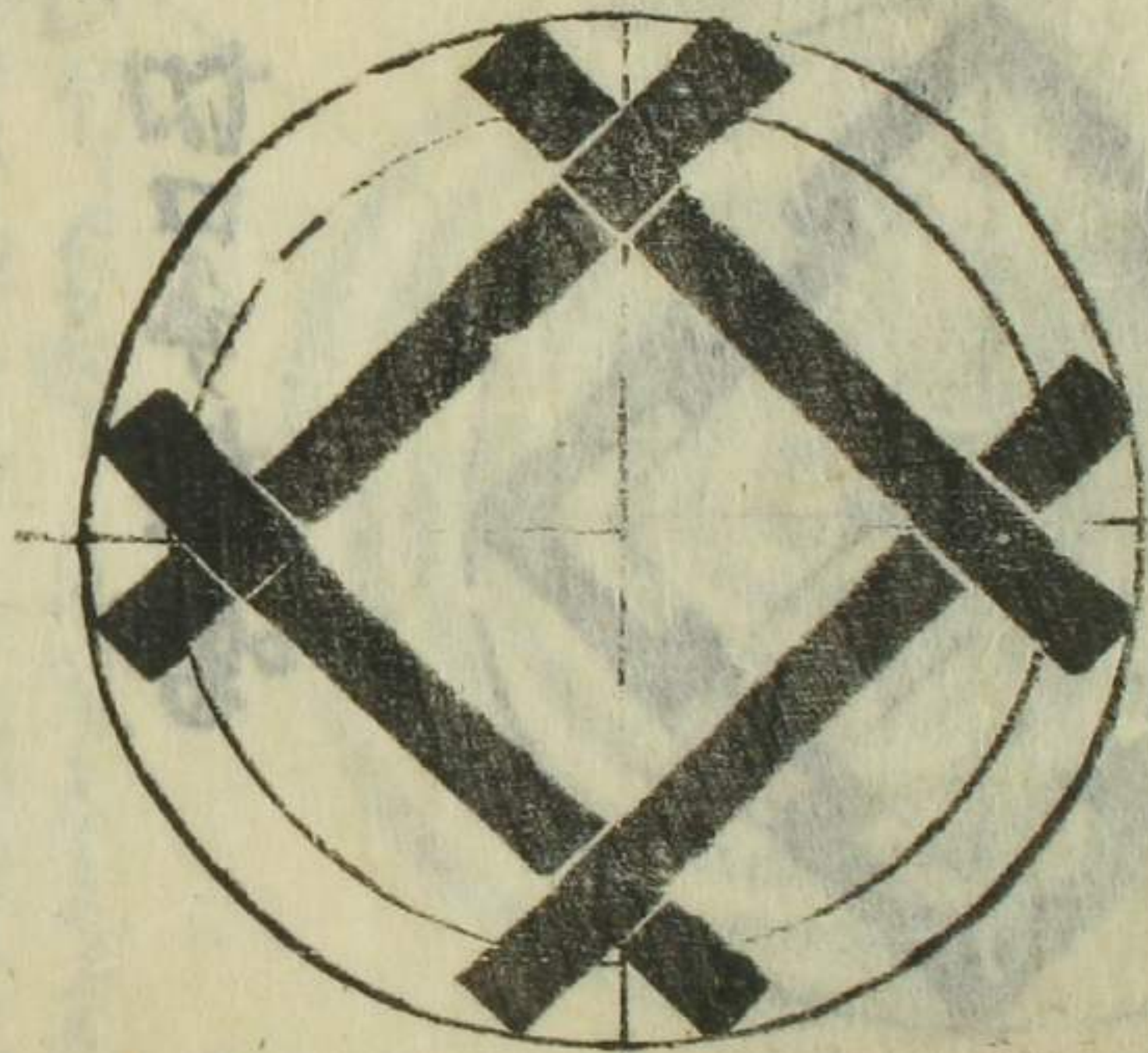


此の如く分廻り一五中より三分
たす十廻り一五上九を
とす一七下六針の云々

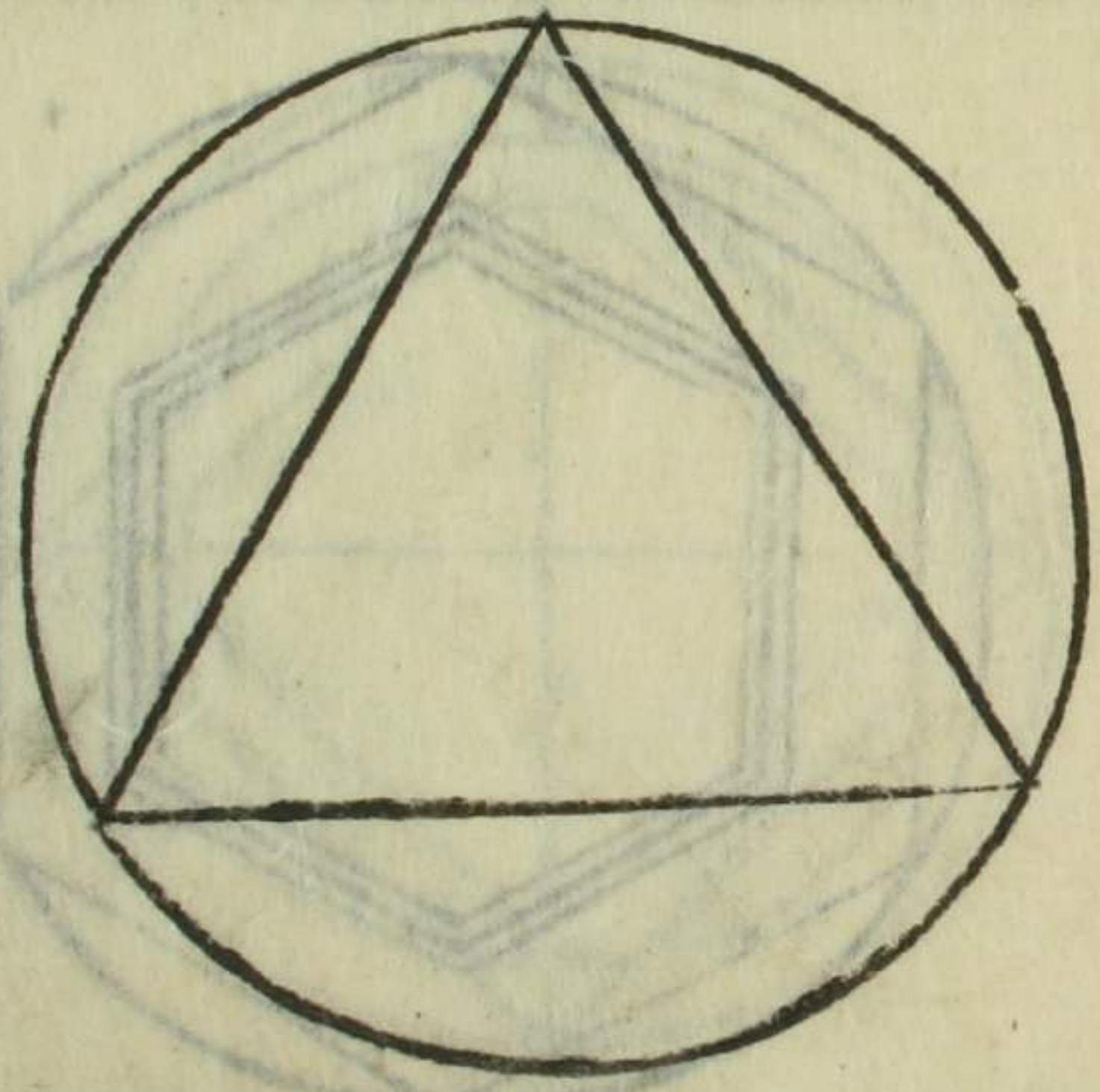
切口手招書



井筒寺様當

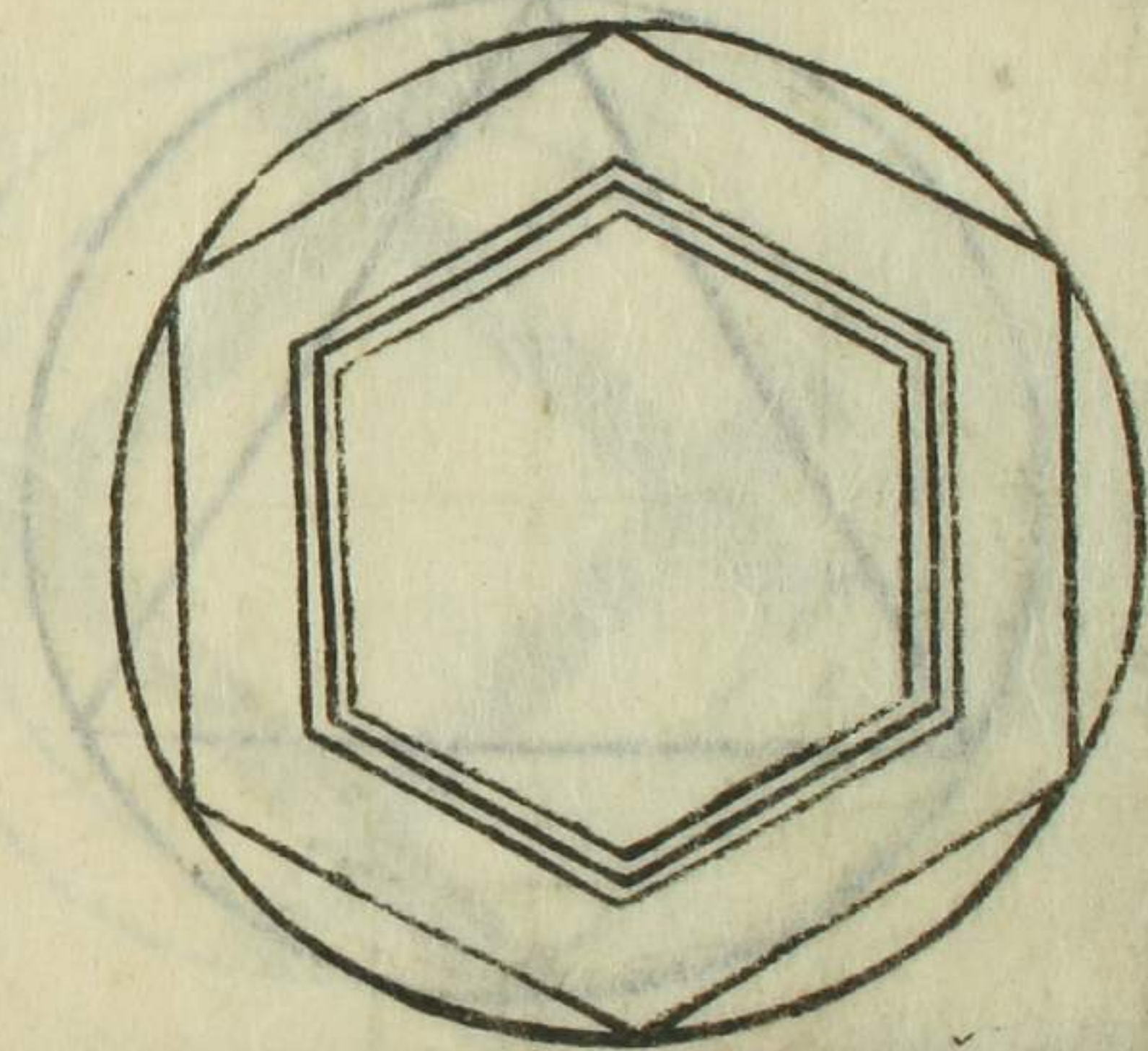


鱗形半招北場



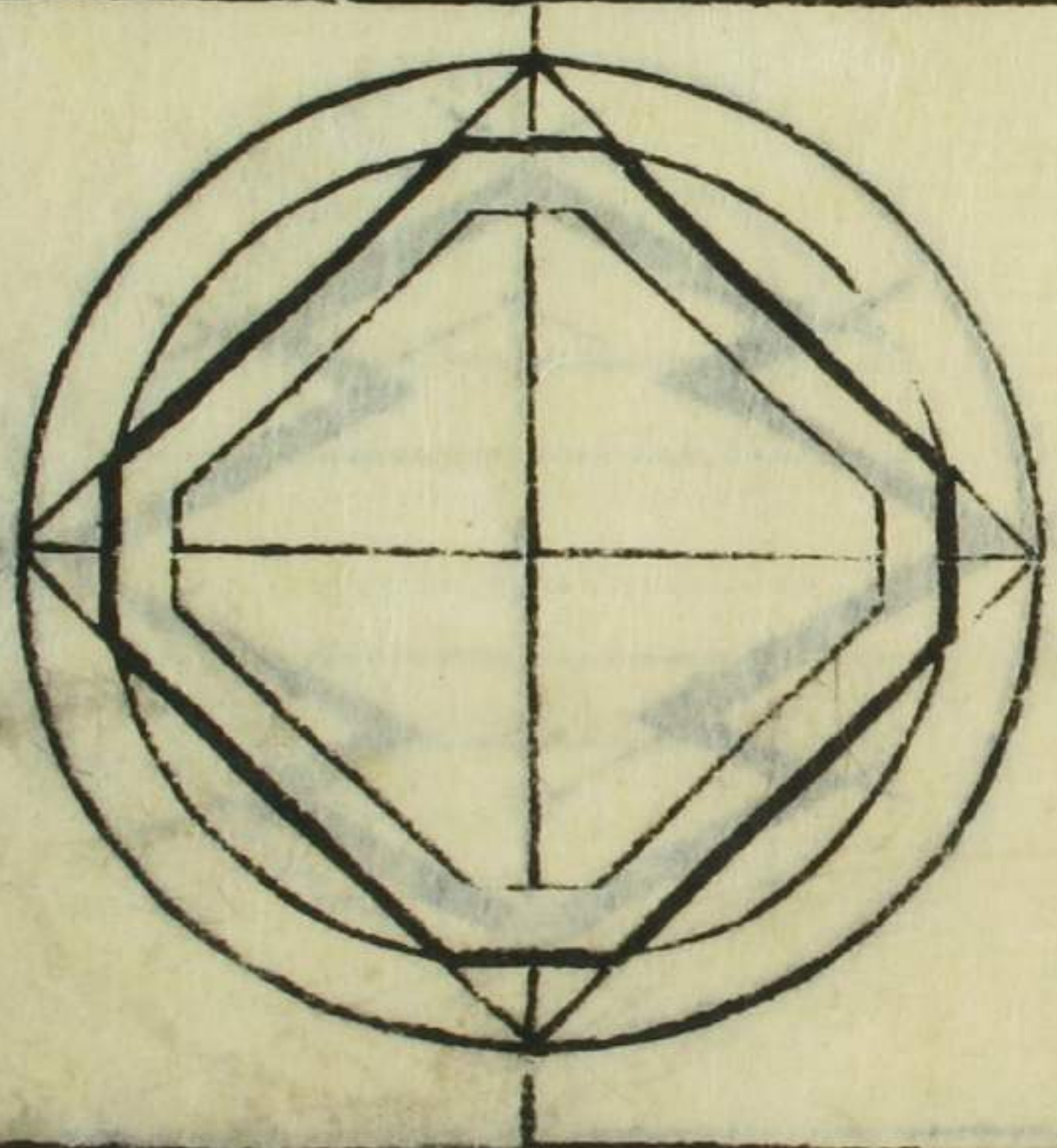
此則やうに半三丁を三ツの
角の三つより
別也也

六の角乃おき根巻



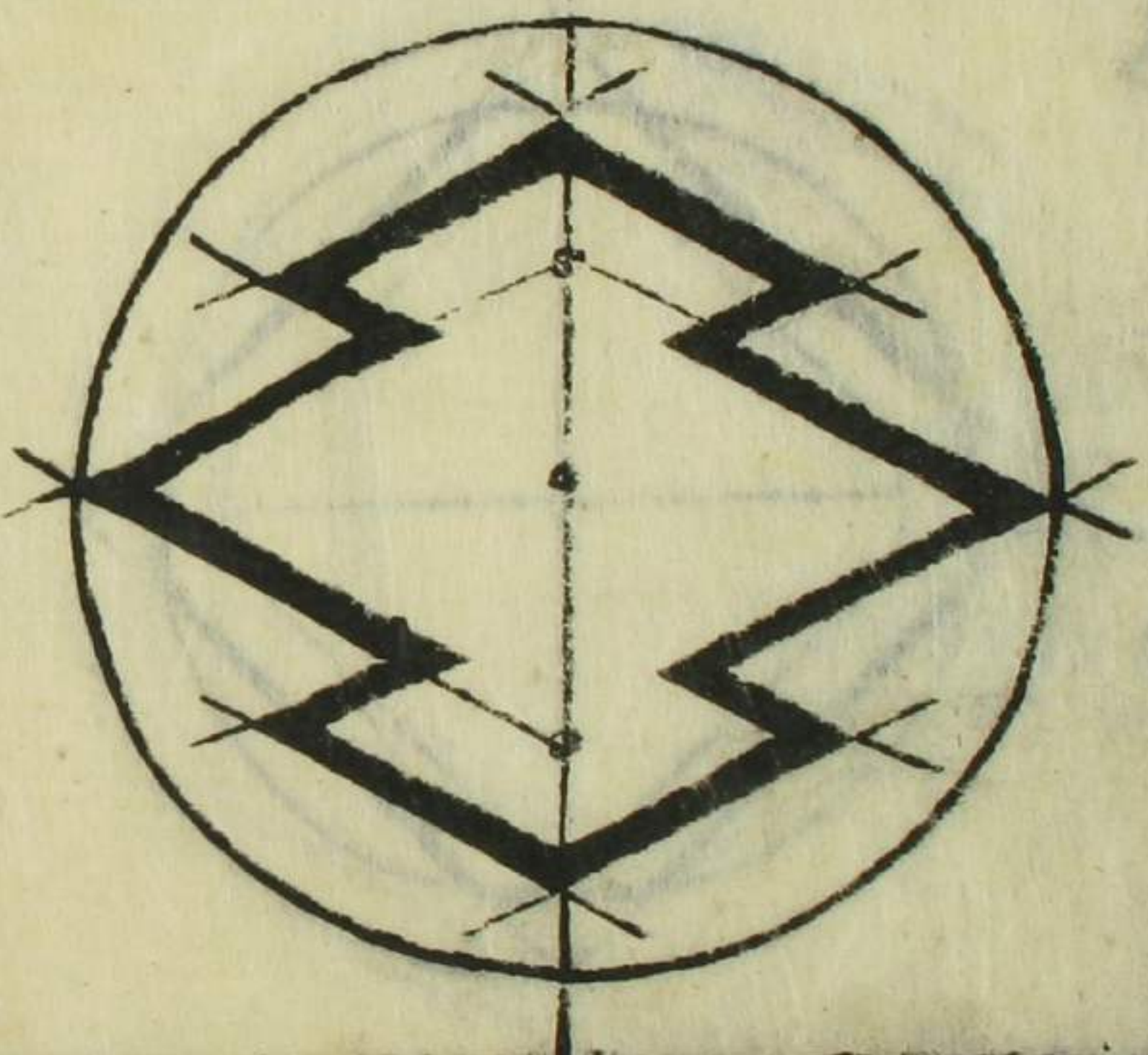
はよりや
くあり六の角乃りより
わのこくくまりひくこ

まの切角の割り形
丸八内の丸十と
まのあり



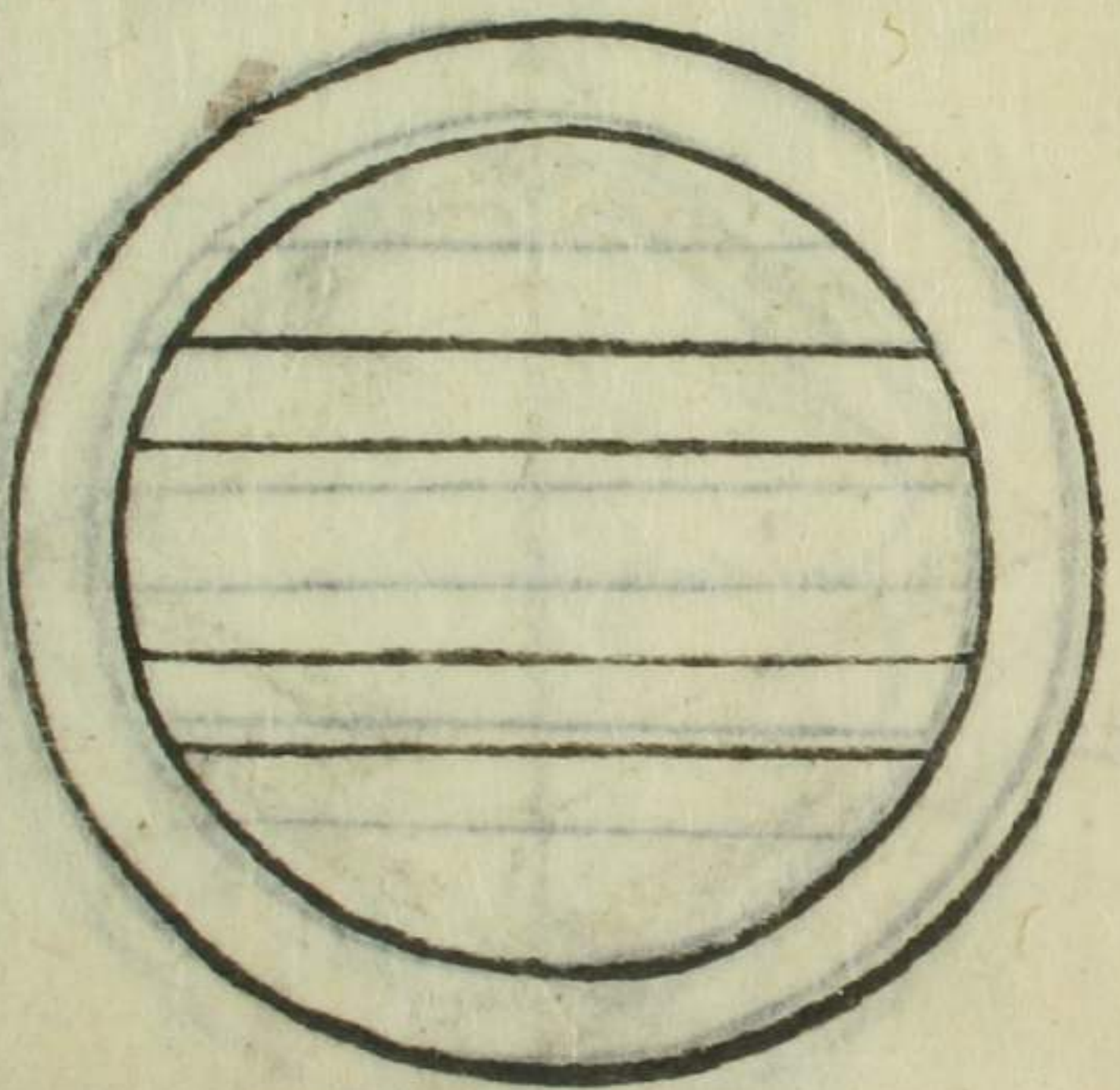
うやうよ
うわうくうけい

まのくさひりハめ薬丸の
 よろのたまそとほりよ別



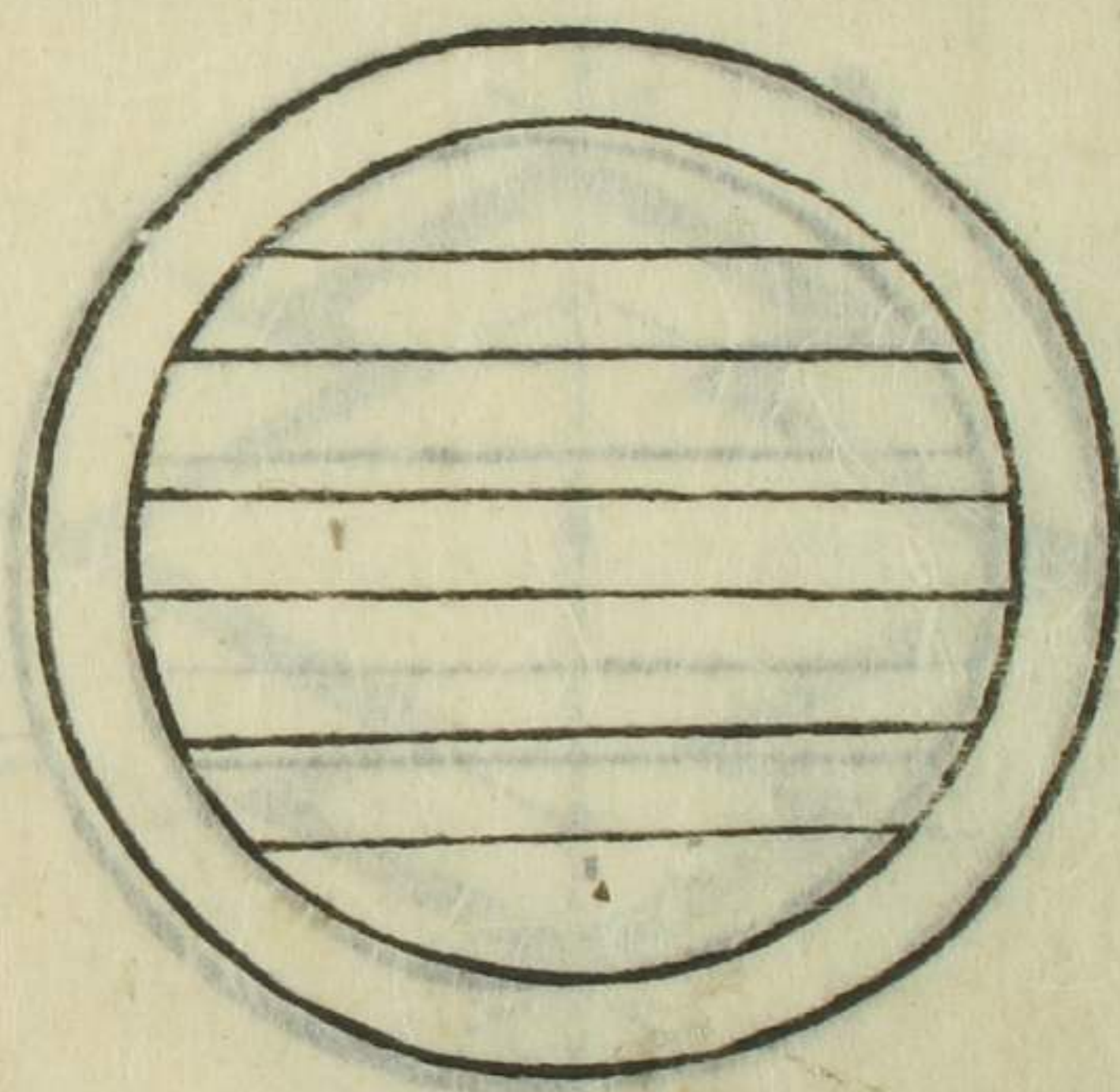
よまそいらのいそくをま
 とのあう

丸にえりハれどくかの
 輪のそとこの介廻しよて丸
 申の切にはさよ下にち



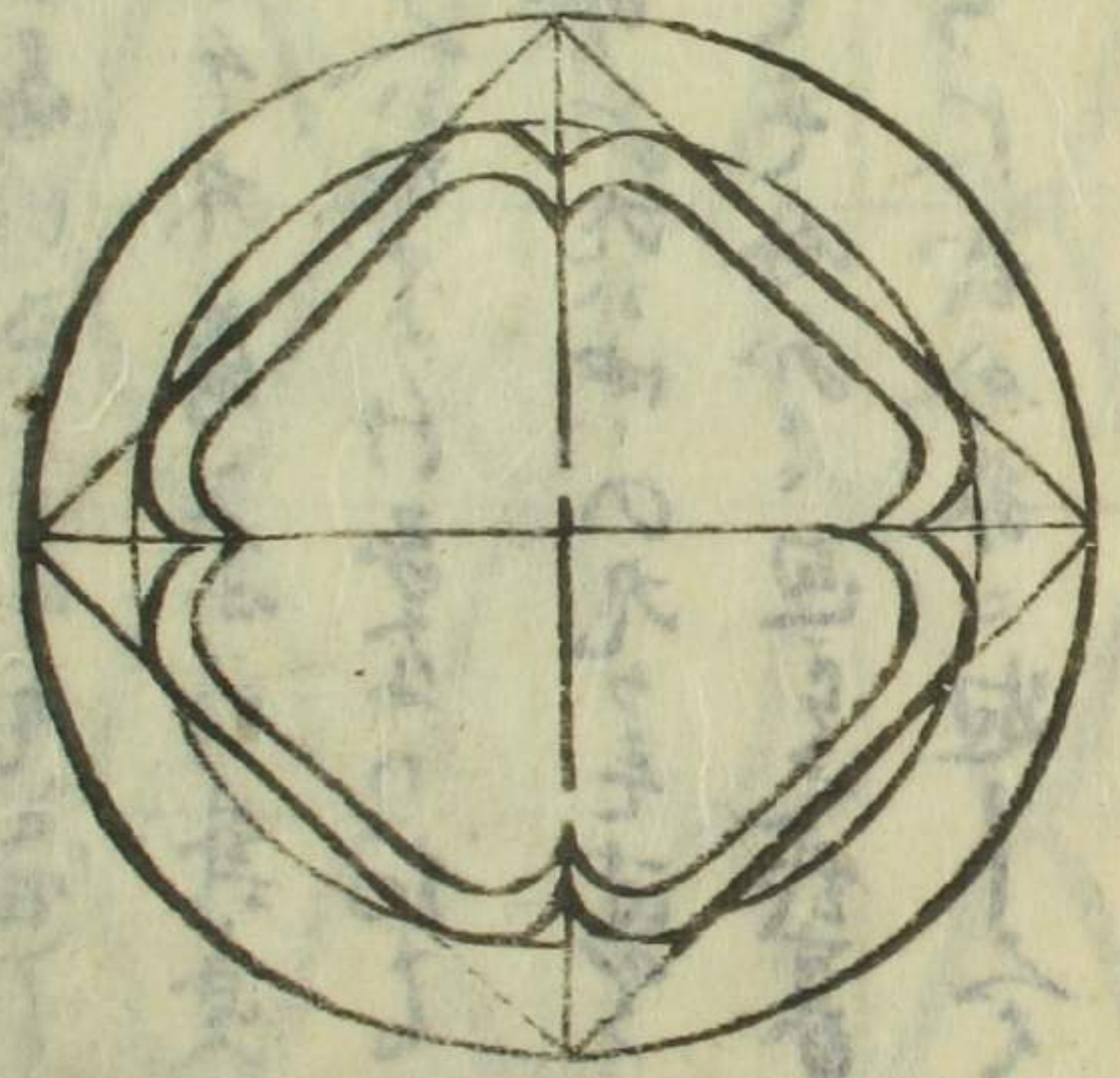
付まあるしに分白を右
 乃めん廻しよてえり接丸
 のふらこてきけのすしと

丸にこの引乃別座の丸
のふちこ此ふんまの丸に
て中乃ふんまの丸に

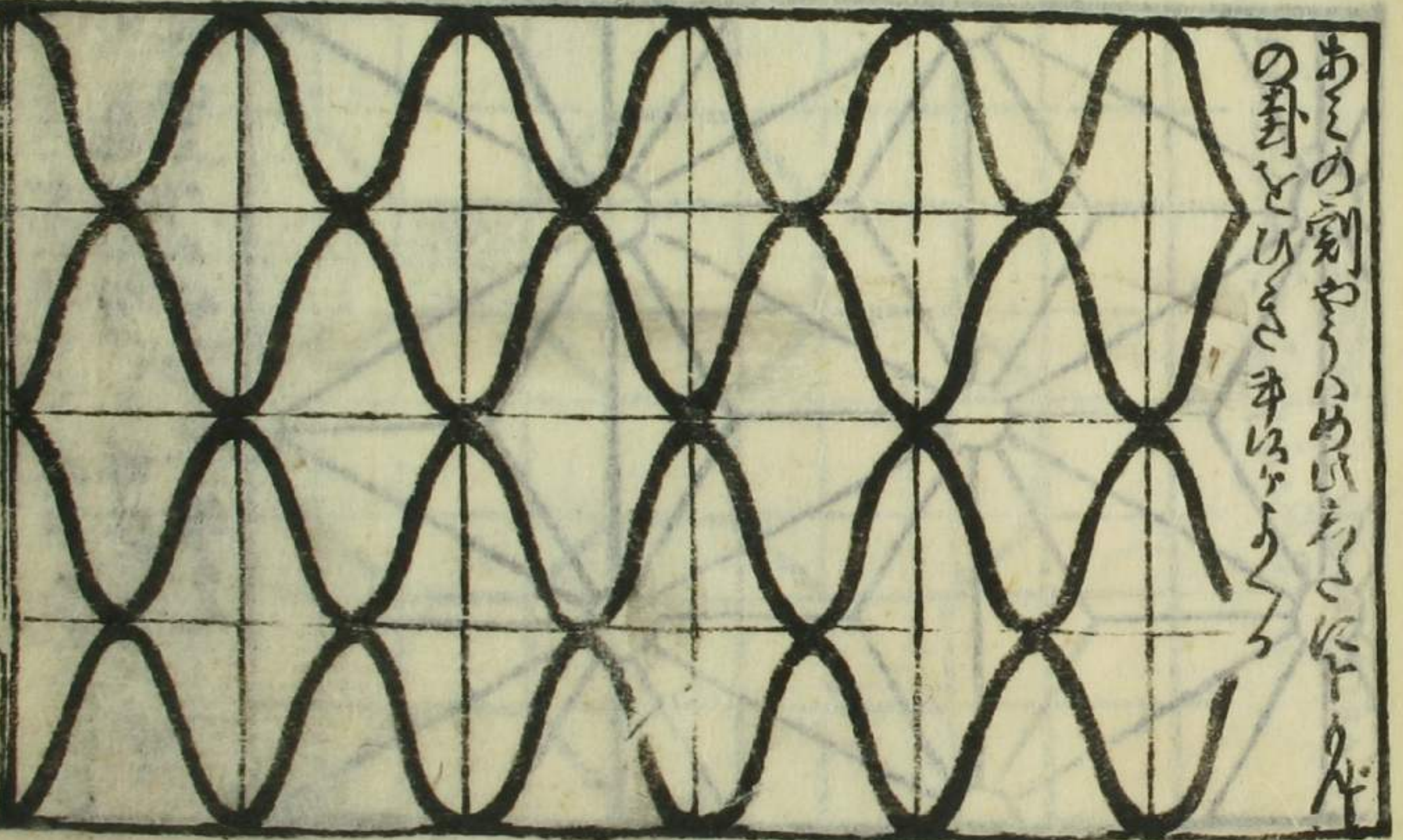


さへ上平ハ見合てさへ
丸にこの引乃別座の丸

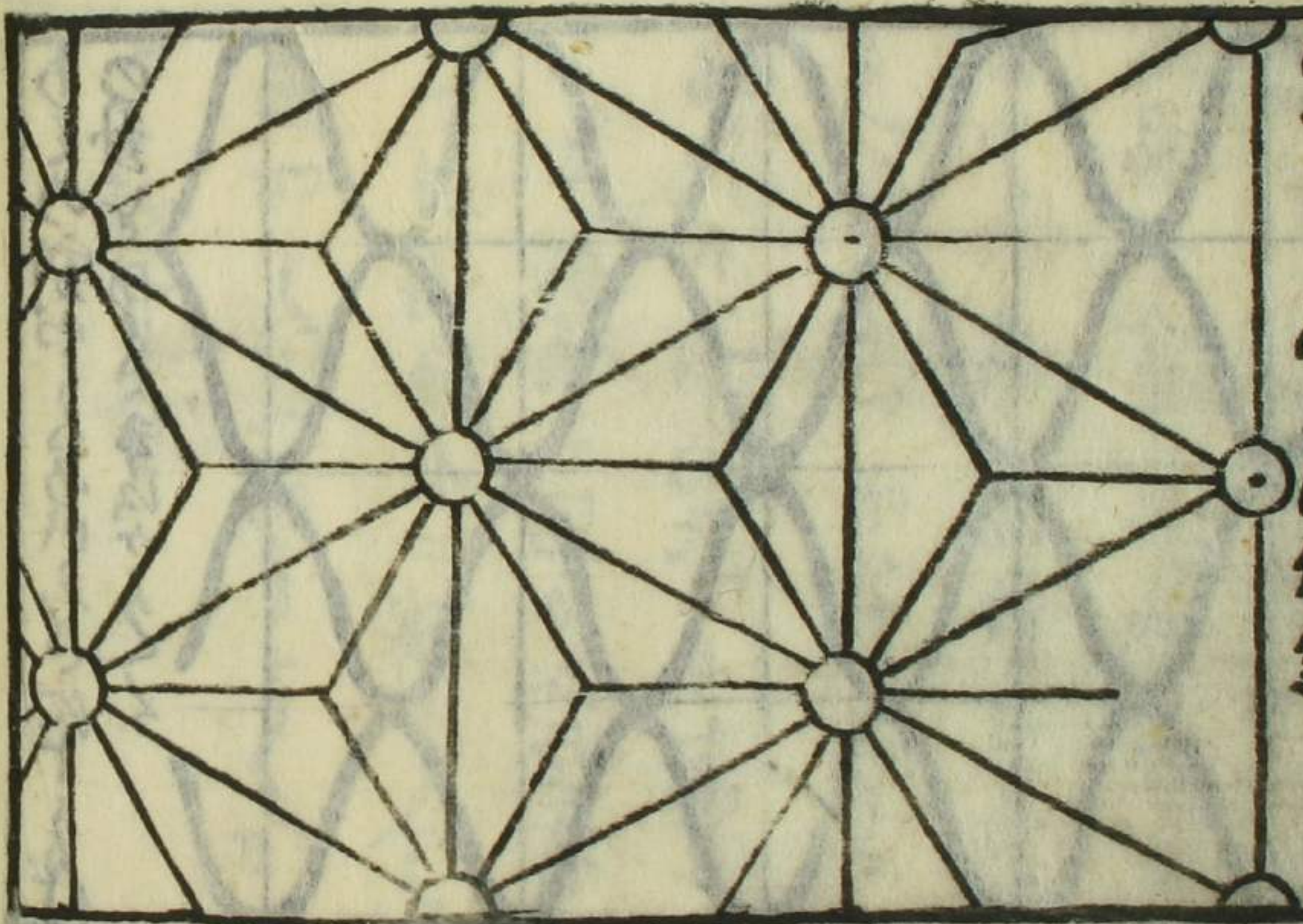
折入角丸別極点



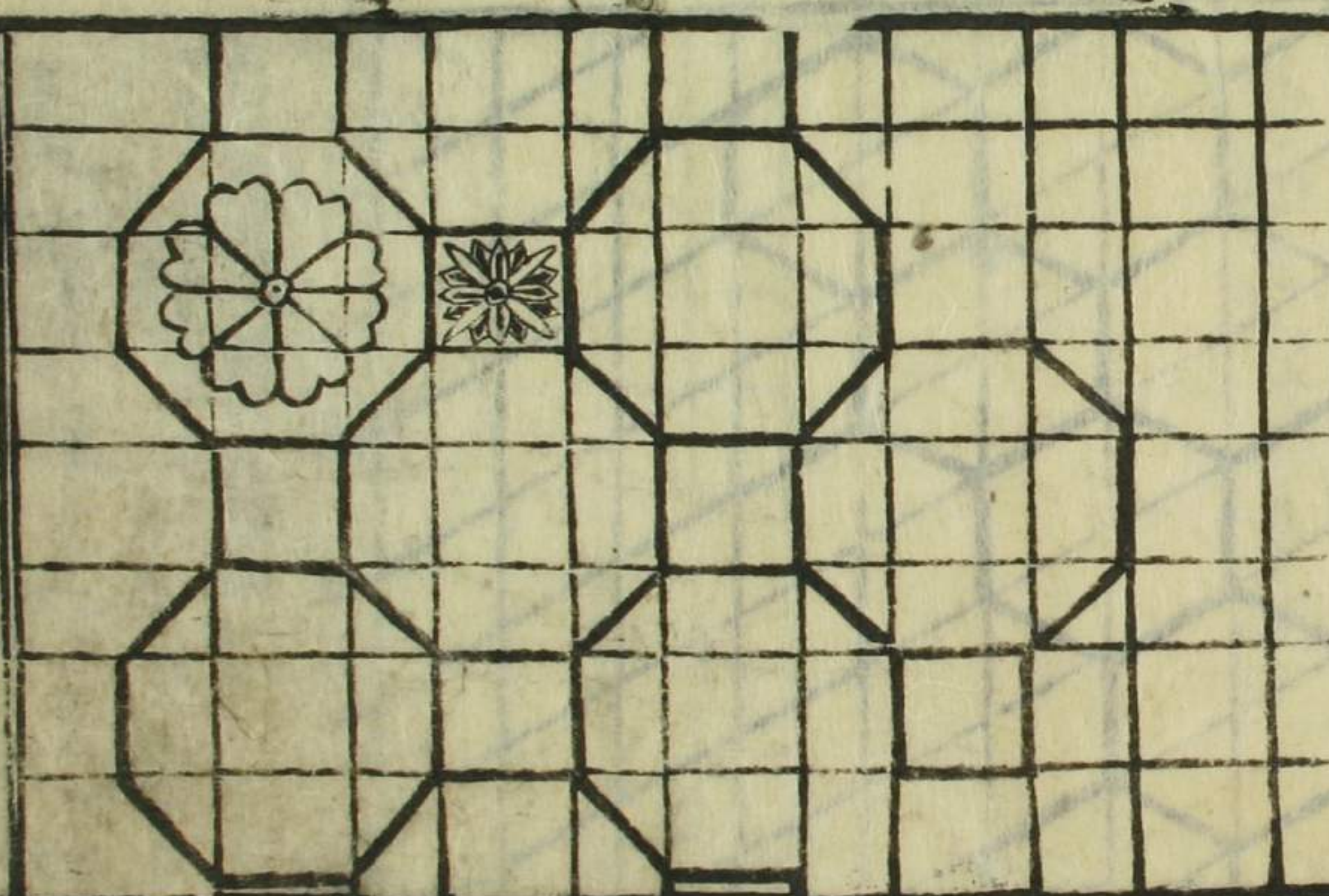
於八角の別振未まは倍
 割としてせきすの級なる
 品易に全を成丸と回し
 させ丸角の全形其受
 へるのけりけりあり何し
 解れ丸中の丸をすめり
 こま分か。回し之をすめ
 らは成分外に廻し全
 角かしわつりよくか
 くりはなる



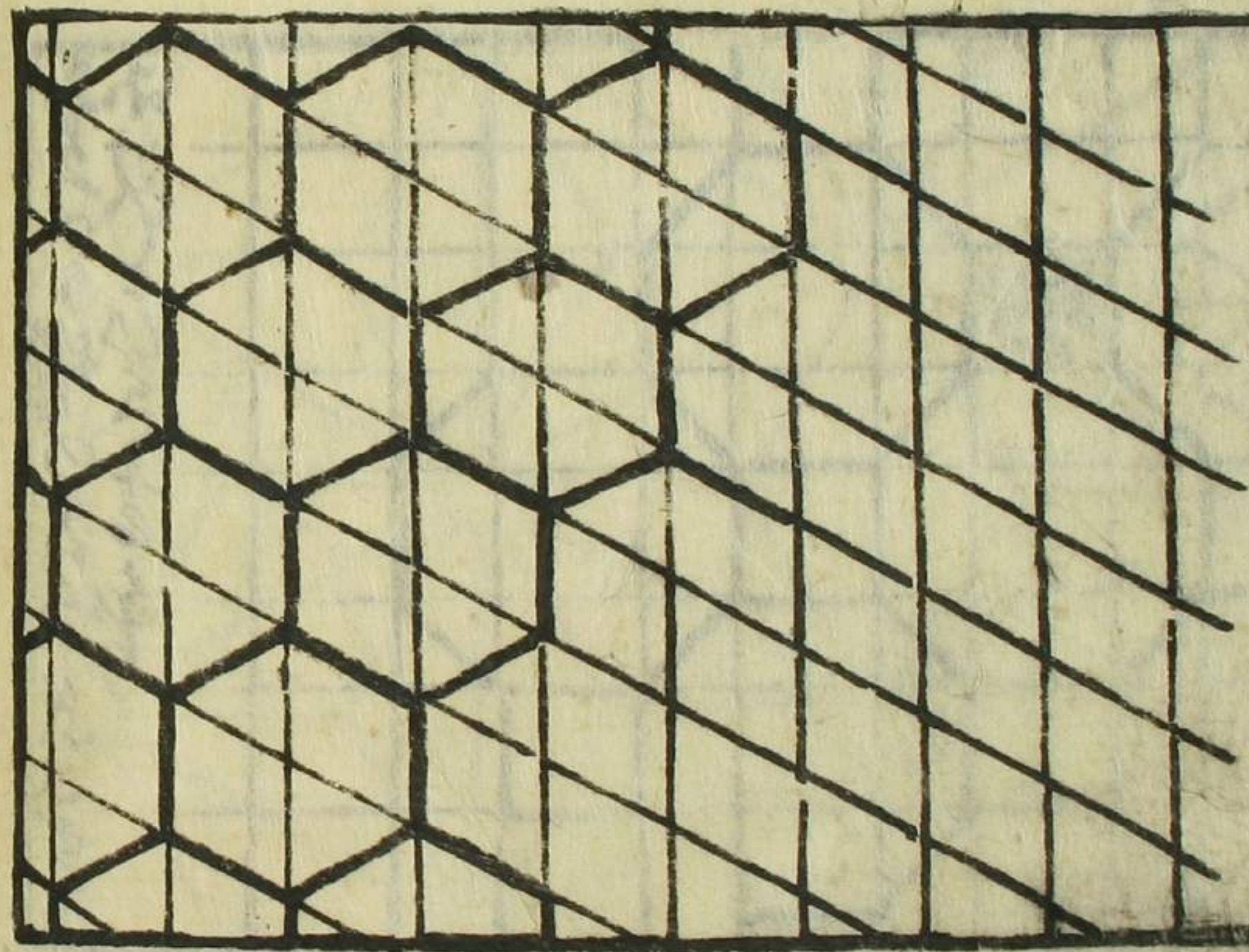
あまのついでにけしきとて甲のめいれ
こまのまじりとは針と引中
のまじりのちんけい



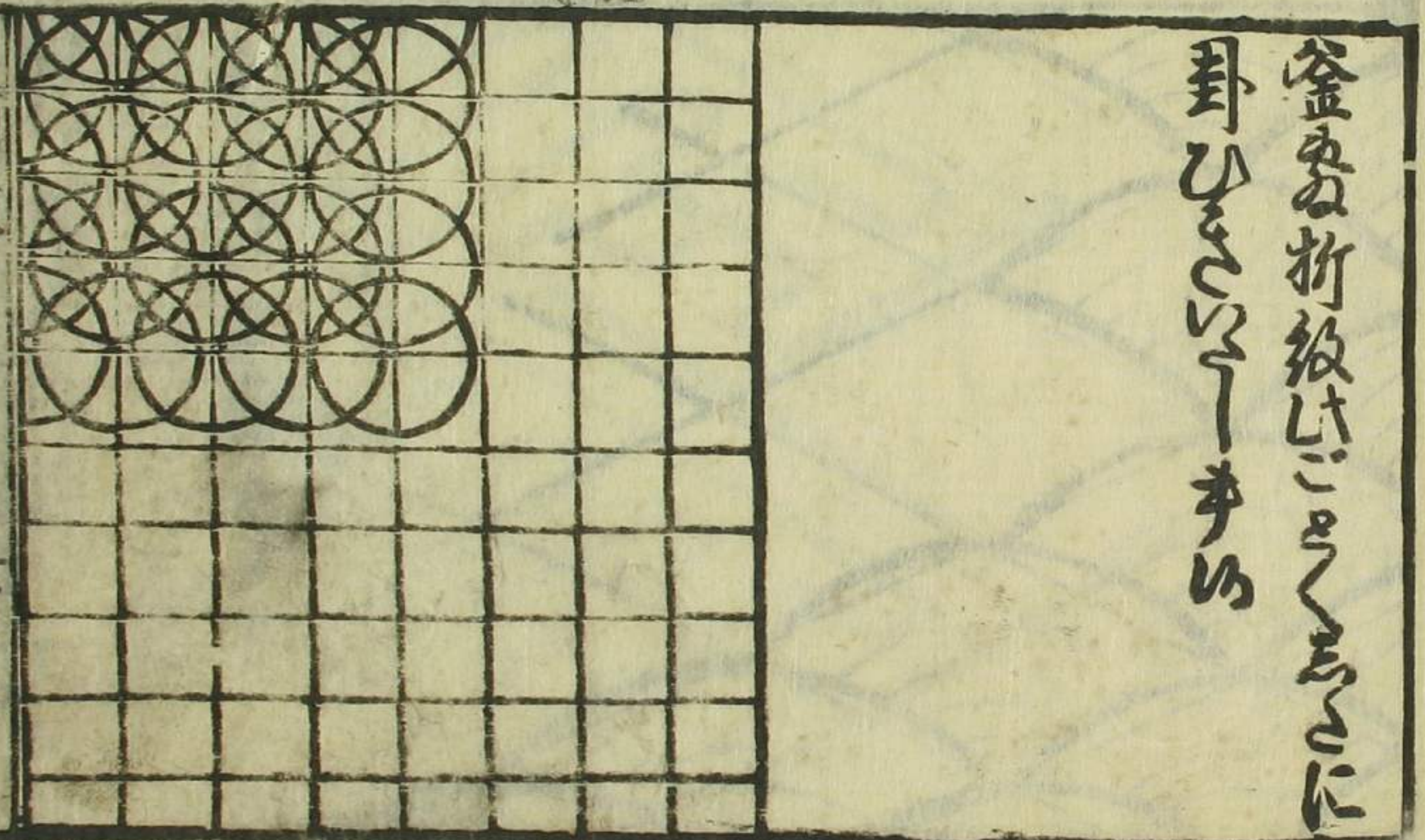
あまのついでにけしきとて甲のめいれ
こまのまじりとは針と引中
のまじりのちんけい



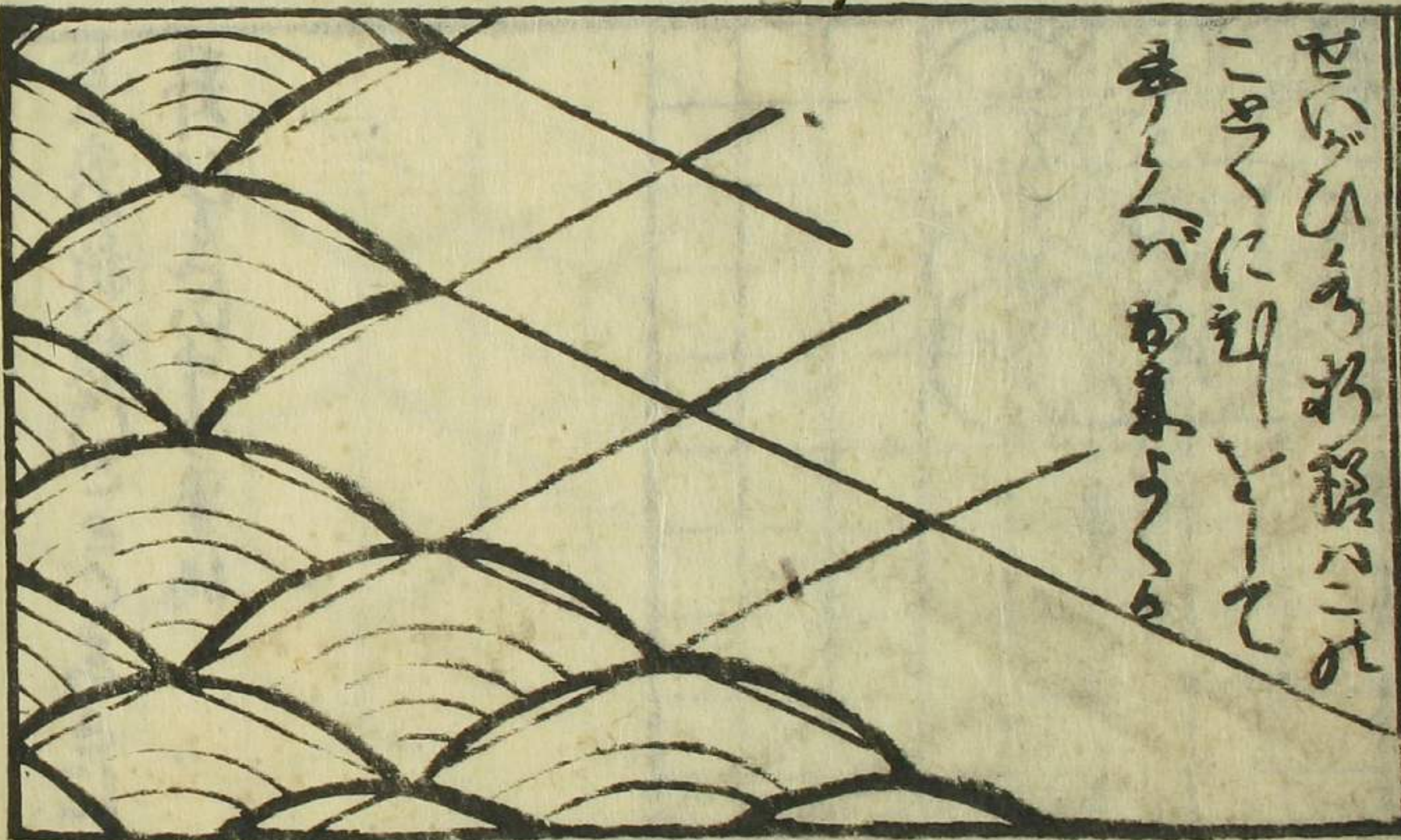
毎甲のよりをうけにんを
ひくはひんをうけにん
ごんをうけにん



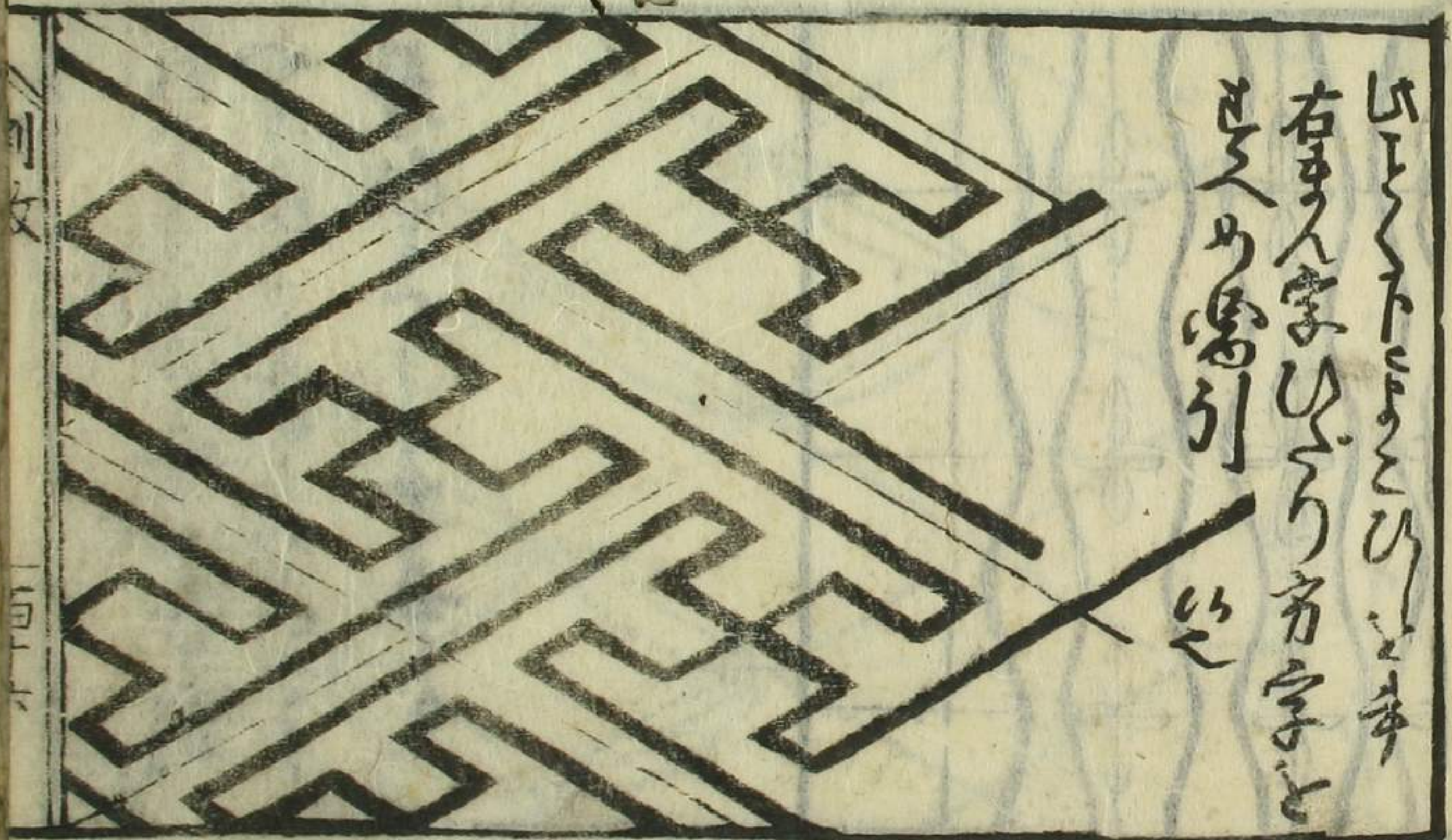
釜を折敷にこくをうけ
卦ひんをうけにん



世のひまを好む者ハこれ
二多くに好むとして
争ふハ其意をうくる



はとく下をとりひき
右より字ひきり方字と
是より引
之

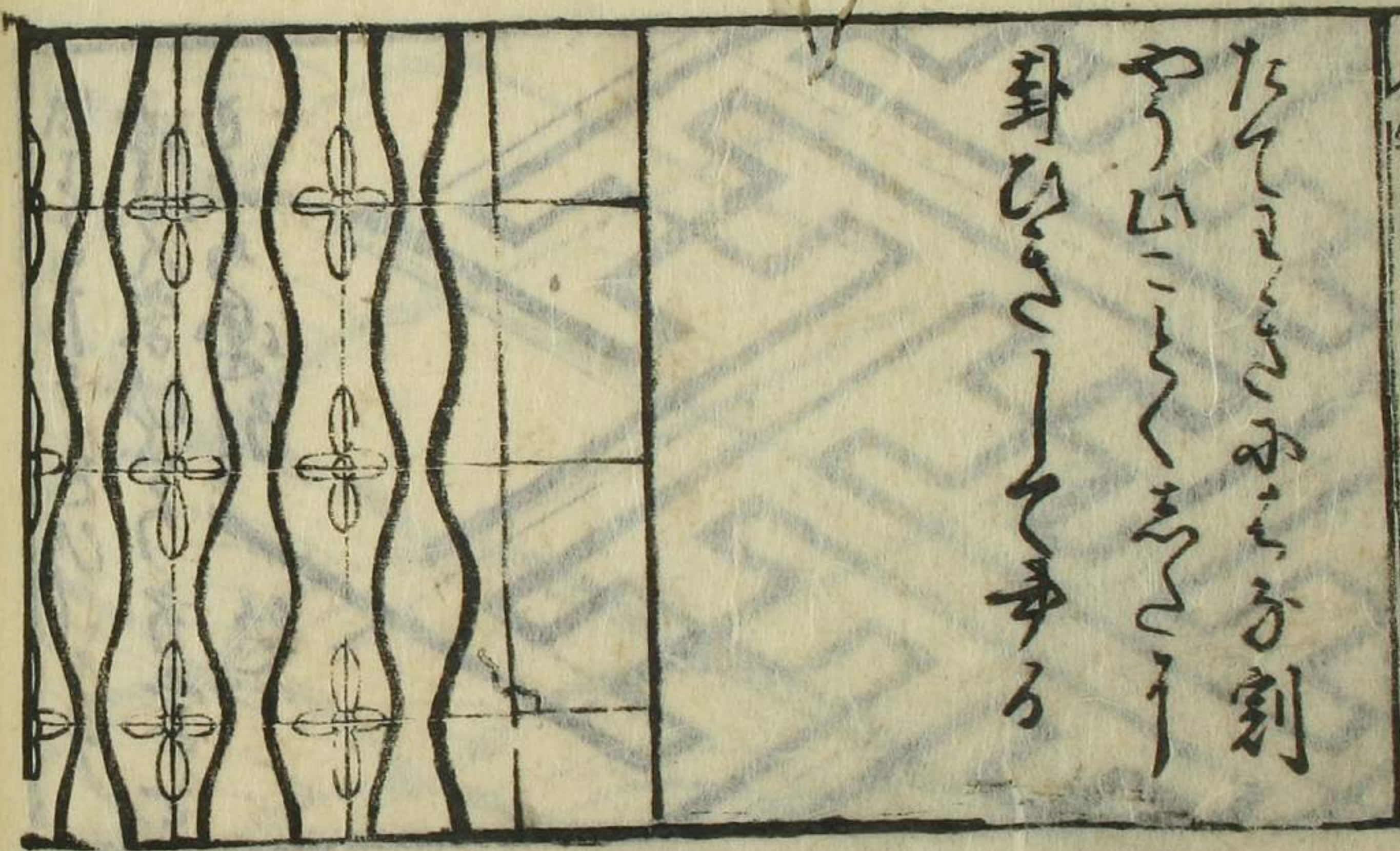


列女

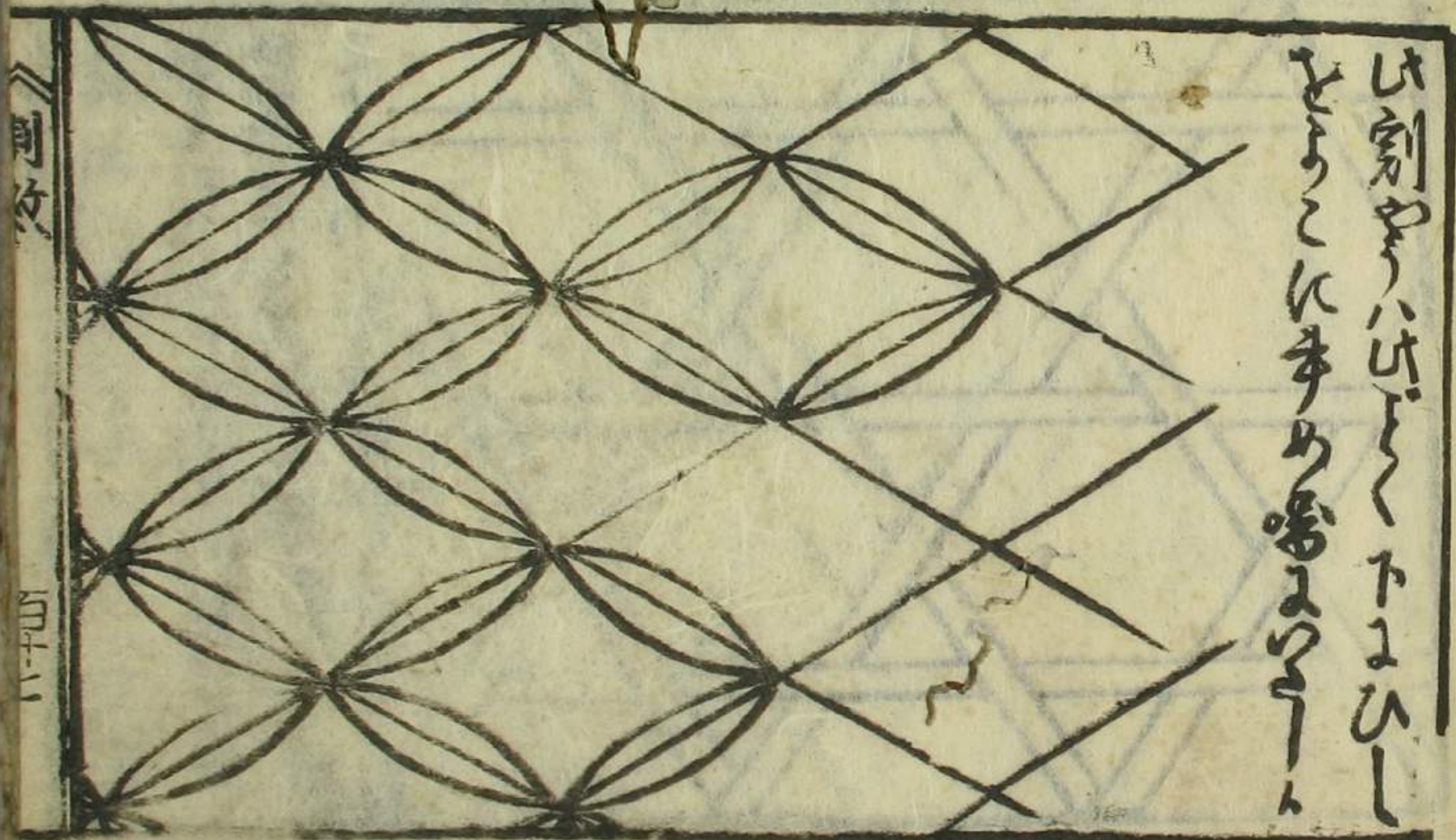
四十一

善公
百六

たてこころみちを割
やういこころみちを
身ひこころみちを



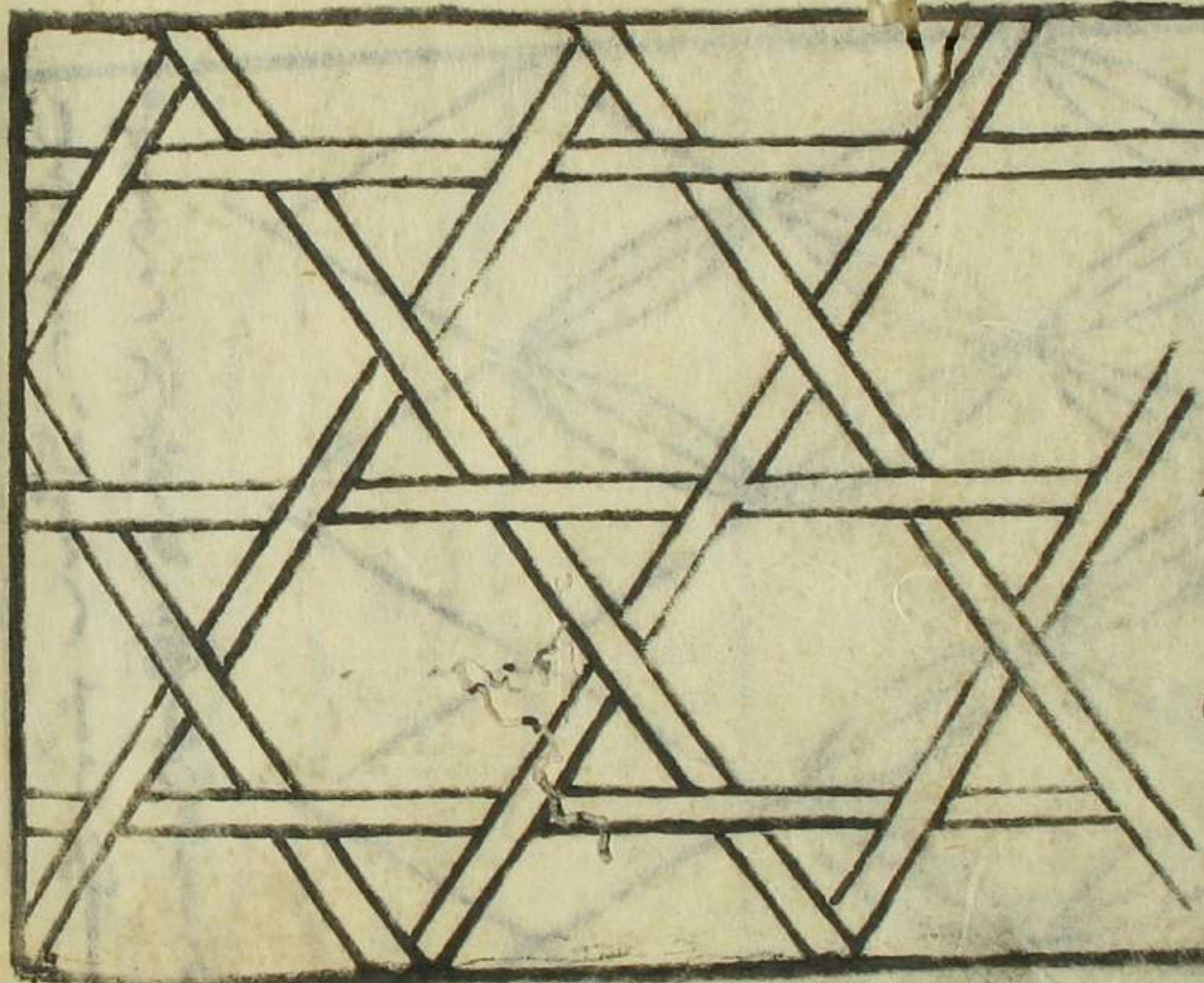
は割やういこころみちを
たてこころみちを



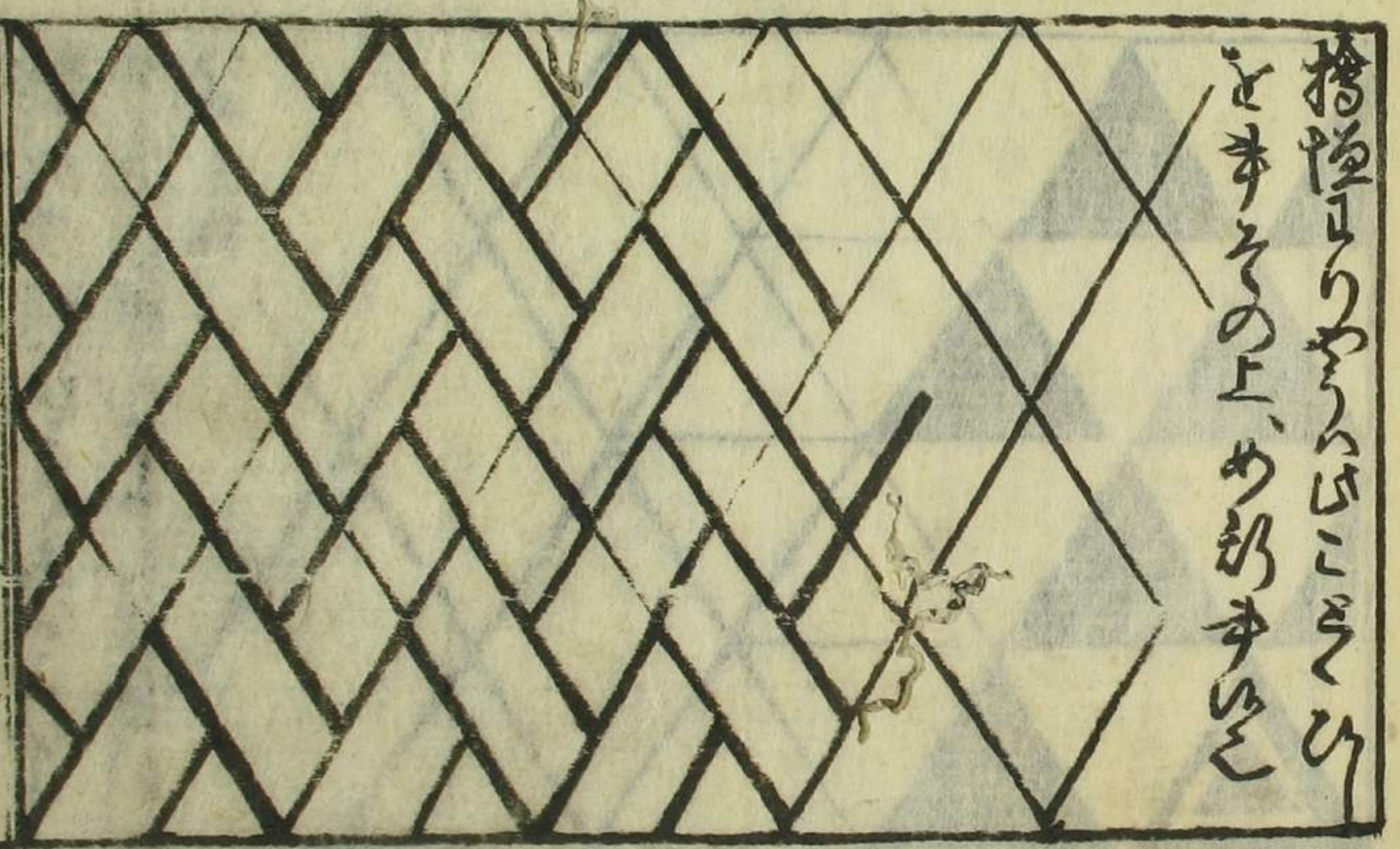
割文

百六

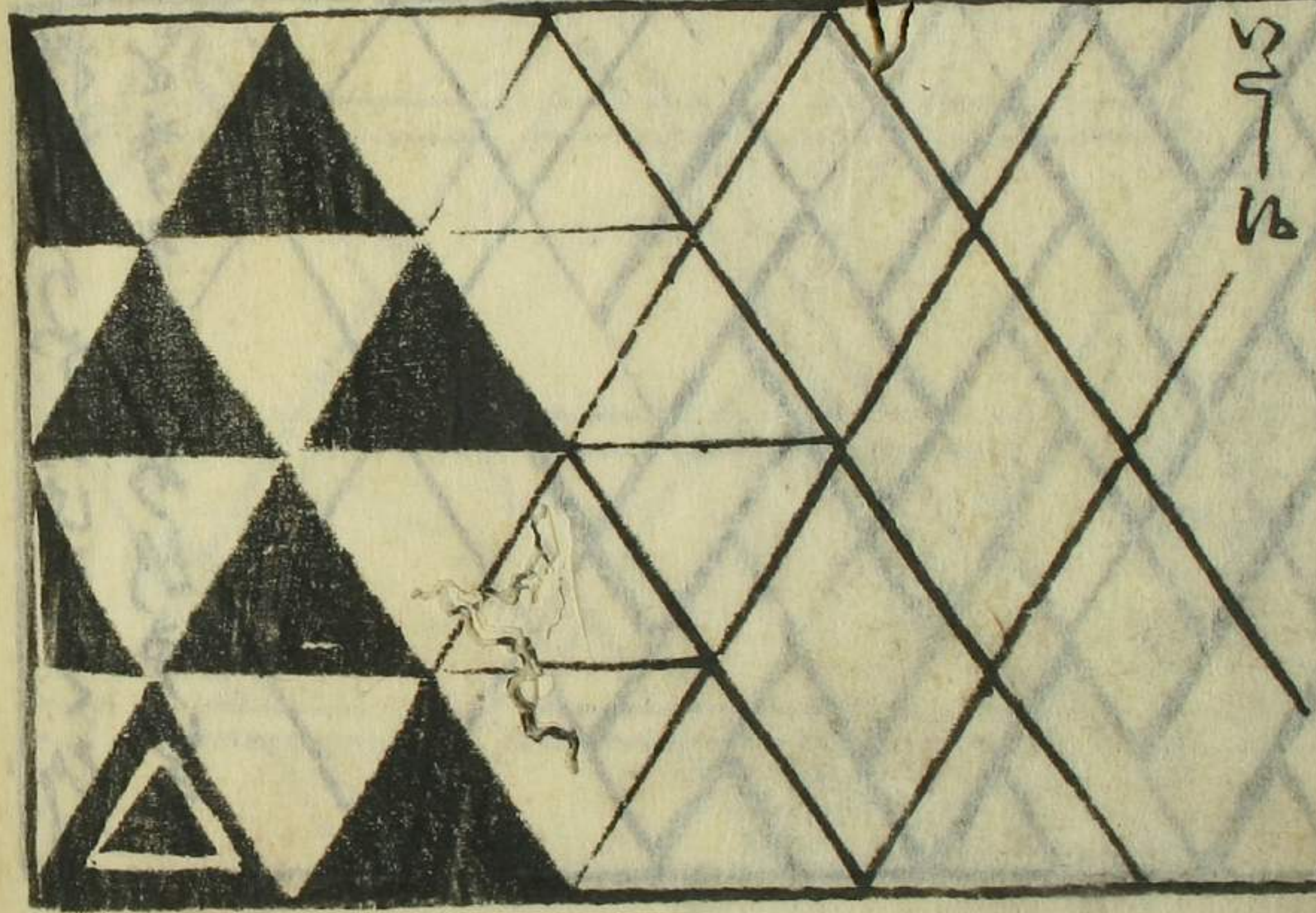
葛の刺根ハせんのこと夫右
あし引こたせたるに刺とす
のり世もあつた方とせよ日
こころいふ合のり



捨障りのちうはにそり
とすその上、めあすいこ



鱗形手紙はよくあるが
 本印の中よりの対角
 線を



改正紋所帳

全部一冊

一名改正の紋帳と名附由世に改むるのつ
 かき好もも漢字は素も老くいろはか
 て見易きやうに考次其命大と小の
 小紙大小は法刻と秘傳書やうく
 わく生る次

賞世紺屋雛形全三冊

此の紺屋の物とやうな
 伊を紋帳きり紋帳

新增改正紋所帳全三冊

右の二に紋帳と漢字の風流あり紋十千十二
 支八卦一より手考と紋字車一と地上下
 その小風流のて車一繪者紋澤と子木里
 考案紋一とまも此かて区持とと安
 二の由は紋帳いりやうあらかると紋
 一と下はとらとらの中を

四の紋帳

全部四冊

此書は源平の源氏と白鳥とを

改正五の紋帳全部五冊

此書は源平の源氏と白鳥とを
一各所所
紋帳と名
此書は源平の源氏と白鳥とを
紋帳と名
此書は源平の源氏と白鳥とを
紋帳と名

篆字 筆法早指南 全部二冊

此書は篆字と角字とを
篆字と角字とを
篆字と角字とを
篆字と角字とを

嫁入談合柱 画八 全部二冊

此書は法折形色やうとく九の孟た身
兼て技探の仕やうをのりて男女
兼て技探の仕やうをのりて男女

和漢歴代名公法帖 廣澤先生鑒定

唐の倉頡始 子 形ヲナセシヨリ漢魏六朝唐
宋元明の間ノ名書ヲ 半テモラスコトナシ
本朝ハ用明天皇ノ御代ヨリトハモ公貴人ヲ始
世ノ名蹟ヲク數帖ヲ熟習スシテ百家諸流
ニ涉テ其妙ヲナス奇書ナリ

呼子鳥 全部二冊

此書は昔の公のうらみをして昔の法も子相
裏も銅やりの餅餅四事加減の秘密とらひ
妙筆の好やう書とて一書一やうふとて法も
育の公は各法とて一画師の色の極りもあら

百千鳥 小本 全一冊

在ふはしや梅何極秘成き好入乃一助
多しは花 随筆なり 全三冊

此書は源平の源氏と白鳥とを
一各所所
紋帳と名
此書は源平の源氏と白鳥とを
紋帳と名

萬曆西面曆 一名永代萬年曆
 此年代記天地開闢より
 今上皇帝の御代
 まで年々の事實をらす
 の大正元年の事
 御神代より
 毎年の事
 皇朝公記

書夜重寶萬年曆 西面曆
 皇朝公記
 皇朝の事
 中位下位

墨色小笈 雀峯成申先生著
 此書は墨色ノ権輿ヨリスヘテ文字ヲ相シ判形ヲ
 占スル例ニ至ルテ委ク和漢諸賢ノ占例ヲ舉テ
 其奇術詭法ヲサテ文字ヲ相シテ人吉凶禍福
 ヲ察スルモノ此書ニマサルモアラジ

大阪書林 心齋橋通 南大太町 極屋喜助板

新版 商人取引状 懐中一本
 文章 全巻冊

使用文章の至宝なる世の人知る
 所好し是と有来用文行をも要か
 るは其内至差の文言と省と巨交と
 在て初小者人日用の文通と教を
 けざ小四季の燈答紙巻の折を中ひ
 遊山散水の誘ひ状といふと短き
 多に云に何程六ヶ表裏の裡延も家
 両ひとけふがどく自他之縁の小紙れ
 ど便用の大成なり人々にあな

御書物所

大阪公称橋通南大太町
 志月や季助

